

島根県の地名鑑

第9次改訂版

平成23年10月1日現在

島根県地域振興部市町村課編

凡

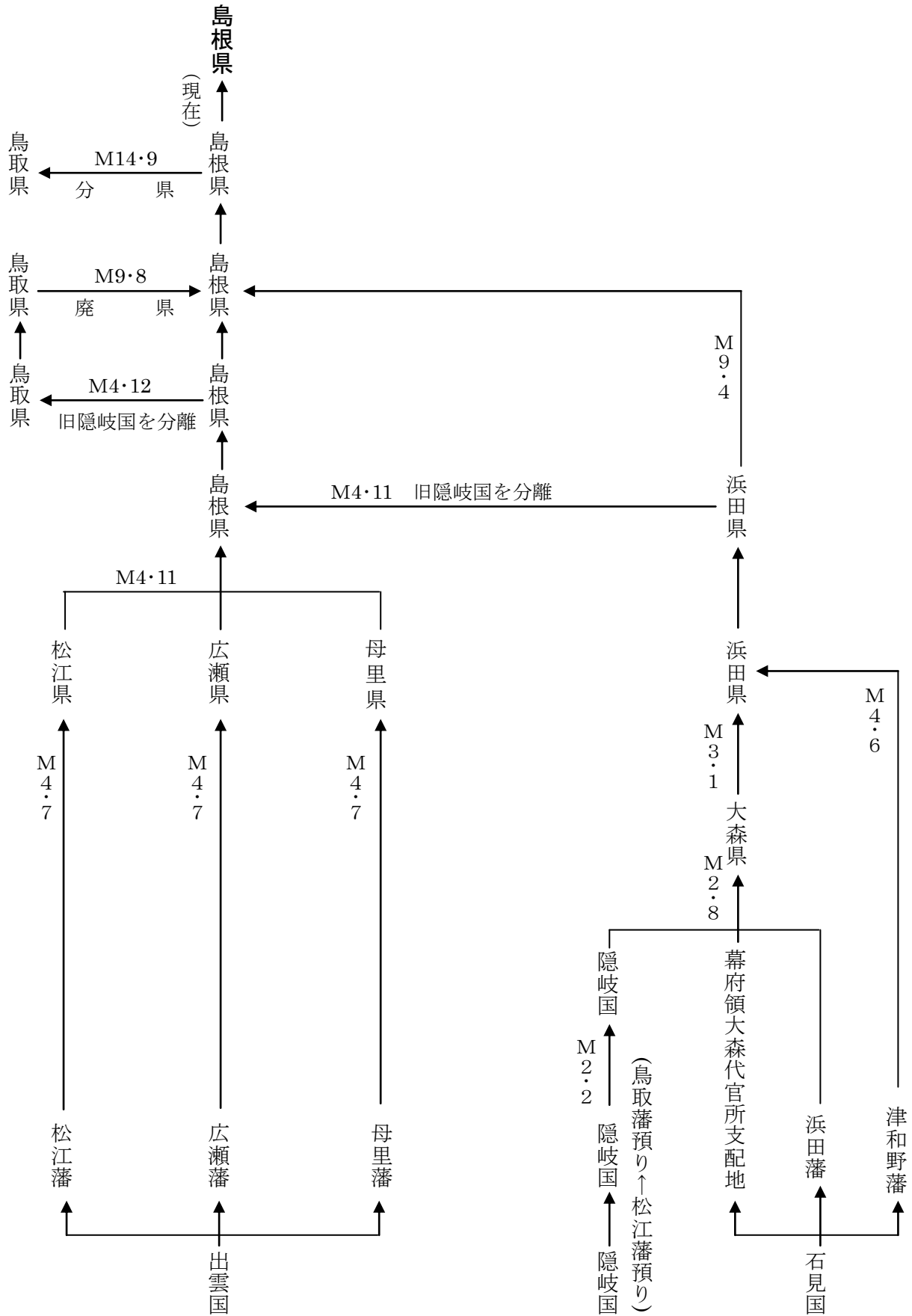
例

1. 内容は、平成 23 年 10 月 1 日現在で作成した。
2. 市町村合併等の状況は、明治 22 年 4 月 1 日(市制町村制実施)以降のものとした。
3. 昭和 22 年 5 月 3 日当時の市町村の人口及び戸数は、昭和 21 年 4 月 26 日現在で実施の昭和 21 年人口調査による。また、面積は総務省統計局の調査による。
4. 市町村の人口及び世帯数は、昭和 40 年から平成 22 年までの間に実施された国勢調査による。また、面積は、昭和 40 年から平成 22 年までの間に国土交通省国土地理院により公表された全国都道府県市町村別面積による。
5. 市町村の個表の合併等の状況欄は、昭和 22 年 5 月 3 日(地方自治法施行)以降のものとした。
6. 町名、字名は原則として戸籍簿及び土地台帳による。
7. 旧市町村及び大字名欄には、昭和 22 年 5 月 3 日現在の旧市町村及び大字名を記入した。また、昭和 62 年 2 月 1 日現在(第 7 次改訂版作成時)の市町村名を()書とした。
8. 通称が町名又は字名と同一の場合並びに市町村の判断による場合は、通称欄は空欄とした。
9. 小字の区域は町又は字の区域ごとに、全域有、一部有、廃止済に区分し、それぞれ該当欄に○印とした。
10. 住居表示は、該当する市の個表欄外へ設定年月日、設定区域を注書とした。
11. 市町村名及び通称の振り仮名は現代仮名遣いによった。
12. 市町村名の由来は、原則として一般に通説といわれる説によった。
13. 市町村の変遷は、原則として、幕末以降のものとした。
14. 市町村の個表の人口等の状況欄は、平成の合併により新たな市町村名を冠した場合には、新市町村からのデータのみ記載した。また、市町村の名称が変わらない場合の過去のデータについては、当時の市町村域のデータを記載した。
15. 市町村の花・木等について未制定又は制定中の場合は空欄とした。

目 次

I 島根県の変遷	1
II 市町村合併等の経過	
1. 明治22年4月1日現在の市町村名一覧	3
(1)市制町村制施行市町村	3
(2)市制町村制未施行町村(隠岐島)	5
2. 明治37年4月1日隠岐国町村制施行当時の町村	6
3. 市制町村制施行後の市町村合併等の状況(明治22年～昭和22年)	7
4. 昭和22年5月3日現在の市町村名一覧(地方自治法施行当時)	10
5. 地方自治法施行後の市町村合併等の状況(昭和22年～昭和62年)	22
6. 昭和62年2月1日現在の市町村名一覧	29
7. 平成の市町村合併等の状況(昭和62年～平成18年)	33
8. 平成の市町村合併等の状況(平成23年度)	35
9. 平成23年10月1日現在の市町村名一覧	35
III 市町村数の変遷	37
IV 島根県市町村図	40
1. 昭和22年5月3日(地方自治法施行)現在	41
2. 昭和62年2月1日現在	42
3. 平成18年3月31日現在	43
4. 現在の白地図(19市町村)	44
現在の白地図(19市町村:59市町村境有り)	45
V 市町村の概要	46
1 市の部	46
松江市	47
浜田市	80
出雲市	97
益田市	129
大田市	143
安来市	152
江津市	161
雲南市	169
2 郡の部	185
奥出雲町	188
飯南町	193
川本町	198
美郷町	203
邑南町	209
津和野町	216
吉賀町	222
海士町	228
西ノ島町	233
知夫村	237
隠岐の島町	241
参考 島根県内の市町村役場住所一覧	249

I 島根県の変遷



島 根 県

県名の由来

「島根」の県名は、明治4年（1871年）11月廃藩置県後の松江県・広瀬県・母里県の統廃合の際に付されたもので、県庁所在地（松江殿町）が古くは島根郡に属していたことから、この郡名を採用したものです。



県 章

中心から放射線状に伸びる四つの円形が雲形を構成して、島根県の調和のある発展と躍進を象徴し、円形は「マ」を四つ組み合わせたもので、シマと読まれ、県民の団結を表している。

県の花 牡丹（ぼたん）

県の木 黒松（くろまつ）

県の鳥 ハクチョウ

県の魚 とびうお（アゴ）

人口等の状況	年 月 日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人 口 (人)	742,223	717,397
	世 帯 数 (世帯)	260,864	262,219
	面 積 (km ²)	6,707.56	6,707.95

Ⅱ 市町村合併等の経過

1. 明治22年4月1日現在の市町村名一覧

(1) 市制町村制施行市町村

区 分	市 町 村 名
市(1市)	まつえし 松江市
しまねぐん 島根郡 (16村)	ほつきむら・いくまむら・こうぶむら・みつむら・おあしむら・かがむら・のなみむら・ ちくみむら・かたえむら・みほのせきむら・もりやまむら・ほんじょうむら・もちだむら・ひがしかつむら・ にしかわつむら・あさくみむら 西川津村・朝酌村
あいかぐん 秋鹿郡 (8村)	いのむら・おおのむら・あいかむら・ながえむら・こそしむら・こしむら・きたむら・ えとむら 恵曇村
いうぐん 意宇郡 (16村)	つだむら・ちくやむら・あだかやむら・揖やむら・意東むら・いわさかむら・くまのむら・ おおばむら・のぎむら・いんべむら・ゆまちむら・たまつくりむら・きまちむら・しんじむら・ はにゅうむら・ふたごむら 波入村・二子村
のぎぐん 能義郡 (2町) (14村)	ひろせまち・いいなしむら・のぎむら・あらしまむら・あかえむら・やすぎまち・しまだむら・ うがしやむら・おおつかむら・やすだむら・もりむら・いじりむら・あかやむら・ひだむら・ やまきむら・ふべむら 山佐村・布部村
にたぐん 仁多郡 (10村)	ふせむら・みなりむら・かめだけむら・よこたむら・とりかみむら・やかわむら・まきむら・ あいむら・みざわむら・おんせんむら 阿井村・三沢村・温泉村
おおほらくん 大原郡 (11村)	やうちむら・かもむら・かんぼらむら・きすきむら・ひのぼりむら・させむら・はたやむら・ はるえむら・あようむら・だいとうむら・うしおむら 春殖村・阿用村・大東村・海潮村
いしぐん 飯石郡 (16村)	いちのみやむら・みとやむら・いしむら・なべやまむら・なかのむら・たいむら・よしだむら・ かけやむら・たねむら・まつかさむら・はたむら・すきむら・しむら・とんぼらむら・ きじまむら・あかなむら 来島村・赤名村
しゅつとうぐん 出雲郡 (6村)	しょうばらむら・しゅつさいむら・いわのむら・なおえむら・ひさぎむら・しゅつとうむら 莊原村・出西村・伊波野村・直江村・久木村・出東村

区 分	市 町 村 名
たてぬいぐん 楯 縫 郡 (1 町) (10 村)	なだぶんむら・ひらたまち・くにどみむら・とびすむら・おにぶちむら・にしだむら・きたはまむら 灘 分 村・平 田 町・国 富 村・鳶 巢 村・鰐 淵 村・西 田 村・北 浜 村・
	くたみむら・さかむら・ひやまむら・ひがしむら 久 多 美 村・佐 香 村・檜 山 村・東 村
かんどぐん 神 門 郡 (2 町) (28 村)	くぼたむら・やまぐちむら・おつたちむら・たぎむら・たきむら・くむら・こうなんむら 窪 田 村・山 口 村・乙 立 村・田 儀 村・田 岐 村・久 村・江 南 村・
	にしはまむら・じんざいむら・ちいみやむら・ふちむら・こしむら・たかまつむら・そのむら 西 浜 村・神 西 村・知 井 宮 村・布 智 村・古 志 村・高 松 村・園 村・
	あらかやむら・あらかむら・きづきまち・きづきむら・ひのさきむら・うさぎむら・ようかんむら 荒 茅 村・荒 木 村・杵 築 町・杵 築 村・日 御 碕 村・鶉 鷺 村・遙 堪 村・
	たかはまむら・よつがねむら・かわとむら・おおつむら・いまいちまち・えんやむら・あさやまむら 高 浜 村・四 纏 村・川 跡 村・大 津 村・今 市 町・塩 冶 村・朝 山 村・
	ひえぼらむら・かみつむら 稗 原 村・上 津 村
にまぐん 邇 摩 郡 (19 村)	みなかみむら・おおもりむら・おおえむら・やしるむら・井だむら・はづみむら・ふくうらむら 水 上 村・大 森 村・大 家 村・八 代 村・井 田 村・波 積 村・福 浦 村・
	ふくみつむら・おおはまむら・ゆのつむら・ゆざとむら・めいじむら・にまむら・たくのむら 福 光 村・大 浜 村・温 泉 津 村・湯 里 村・明 治 村・仁 万 村・宅 野 村・
	いそたけむら・しずまむら・くりむら・おしぼらむら・おおやむら 五 十 猛 村・静 間 村・久 利 村・忍 原 村・大 屋 村
あんのぐん 安 濃 郡 (10 村)	おおだむら・ながひさむら・とりいむら・さつかむら・はねにしむら・はねひがしむら・あさやまむら 大 田 村・長 久 村・鳥 井 村・刺 鹿 村・波 根 西 村・波 根 東 村・朝 山 村・
	とみやまむら・さひめむら・かわいむら 富 山 村・佐 比 売 村・川 合 村
おおちぐん 邑 智 郡 (30 村)	かわもとむら・あごうむら・かすぶちむら・はまはらむら・さわだにむら・たにむら・つがゆきむら 川 本 村・吾 郷 村・粕 淵 村・浜 原 村・沢 谷 村・谷 村・都 賀 行 村・
	つがむら・くちぼむら・あすなむら・ふせむら・たかはらむら・いずわむら・たどころむら 都 賀 村・口 羽 村・阿 須 那 村・布 施 村・高 原 村・出 羽 村・田 所 村・
	いばらむら・なかのむら・やかみむら・いちぎむら・ひぬいむら・ながたにむら・いちやまむら 井 原 村・中 野 村・矢 上 村・市 木 村・日 貫 村・長 谷 村・市 山 村・
	ひわむら・かわどむら・たにじゅうごうむら・かわごえむら・かわくだりむら・みはらむら・みたにむら 日 和 村・川 戸 村・谷 住 郷 村・川 越 村・川 下 村・三 原 村・三 谷 村・
	そじきむら・きみだにむら 祖 式 村・君 谷 村
なかがぐん 那 賀 郡 (1 町) (44 村)	はまだまち・いわみむら・かみこうむら・しもこうむら・こくぶむら・かわなみむら・にのみやむら 浜 田 町・石 見 村・上 府 村・下 府 村・国 分 村・川 波 村・二 宮 村・
	つのづむら・つのもむら・ごうつむら・わたづむら・あさりむら・つちむら・くろまつむら 都 野 津 村・都 濃 村・江 津 村・渡 津 村・浅 利 村・都 治 村・黒 松 村・
	しもまつやまむら・まつやまむら・かわひらむら・あといちむら・ありふくむら・いなんむら・くもぎむら 下 松 山 村・松 山 村・川 平 村・跡 市 村・有 福 村・伊 南 村・雲 城 村・
	くざむら・みまたむら・きだむら・わだむら・つがわむら・いまいちむら・はざむら 久 佐 村・美 又 村・木 田 村・和 田 村・都 川 村・今 市 村・波 佐 村・
	たかぎむら・ながやすむら・きつかむら・くろさわむら・にしすみむら・おかみむら・ふるいちばむら 高 城 村・長 安 村・杵 束 村・黒 沢 村・西 隅 村・岡 見 村・古 市場 村・
	にしみなとむら・おかざきむら・あしだにむら・たいまむら・いのむら・いさりやまむら・みはしむら 西 湊 村・岡 崎 村・芦 谷 村・大 麻 村・井 野 村・漁 山 村・三 階 村・
	おおうちむら・すふむら・ながはまむら 大 内 村・周 布 村・長 浜 村

区 分	市 町 村 名
美濃郡 (1町) (20村)	益田町・鎌手村・種村・北仙道村・東仙道村・都茂村・二川村・ 道川村・匹見上村・匹見下村・真砂村・小野村・安田村・豊川村・ 豊田村・高城村・二條村・美濃村・中西村・高津村・吉田村
鹿足郡 (1町) (11村)	津和野町・喜時雨村・木部村・青原村・日原村・須川村・小川村・ 柿木村・七日市村・朝倉村・六日市村・蔵木村
計	1市8町269村(隠岐島は除く。)

(2) 市制町村制未施行町村(隠岐島)

区 分	町 村 名
周吉郡 (3町) (23村)	中町・西町・東町・蛸木村・加茂村・今津村・西田村・ 下西村・平村・上西村・原田村・池田村・有木村・八田村・ 布施村・飯田村・犬来村・釜村・大久村・卯敷村・東郷村・ 飯美村・中村・元屋村・湊村・西村
隠地郡 (14村)	小路村・津戸村・都万村・那久村・油井村・南方村・苗代田村・ 那久路村・郡村・山田村・北方村・代村・久見村・伊後村
海士郡 (8村)	布施村・崎村・太井村・知々井村・豊田村・宇受賀村・海士村・ 福井村
知夫郡 (5村)	浦郷村・知夫村・美田村・別府村・宇賀村
計	3町50村

2. 明治 37 年 4 月 1 日 隠岐国町村制施行当時の町村

郡 名	町 村 名	明治 22 年 4 月 1 日 当時の町村名
すきぐん郡 周吉郡	いそむら村 磯 村	西田村 下西村 今津村 加茂村
	なかすじむら村 中 條 村	原田村 上西村 池田村 有木村 平 村 八田村
	とうごうむら村 東 郷 村	飯田村 東郷村 犬来村 釜 村 大久村
	なかむら村 中 村	元屋村 中 村 湊 村 西 村 伊後村(隠地郡)
	ふせむら村 布 施 村	卯敷村 布施村 飯美村
	さいごうまち 西 郷 町	中 町 東 町 西 町
おちぐん郡 隠地郡	ごかむら村 五 箇 村	郡 村 山田村 那久路村 小路村 北方村 代 村
		苗代田村 久見村 南方村
	つまむら村 都 万 村	都万村 津戸村 那久村 油井村 南方村の蔵田里
		蛸木村(周吉郡)
あまぐん郡 海士郡	あまむら村 海 士 村	海士村 宇受賀村 豊田村 福井村 布施村 知々井村
		太井村 崎 村
ちぶぐん郡 知夫郡	うらごうむら村 浦 郷 村	浦郷村
	くろきむら村 黒 木 村	別府村 宇賀村 美田村
	ちぶむら村 知 夫 村	知夫村

3. 市制町村制施行後の市町村合併等の状況

(明治 22 年 4 月 1 日～昭和 22 年 5 月 3 日)

明 21. 4. 17	市制町村制公布(法律第 1 号)
22. 4. 1	市制町村制実施 1 市 8 町 269 村
〃	「町村制ヲ施行セサル島嶼」(隠岐国 3 町 50 村)
23. 2. 18	鹿足郡小川村のうち大字瀧元の区域を日原村に編入
5. 17	郡制公布(法律第 36 号)
24. 4. 1	大原郡木次村大字里方、山方をもって斐伊村をおき、残りは町制
〃	邇摩郡明治村を廃し、大字馬路をもって馬路村を、大字大国、天河内をもって大国村をおく。
5. 31	鹿足郡喜時雨村を畑迫村に改称
25. 10. 5	那賀郡岡崎村を三隅村に改称
26. 7. 9	意宇郡来海村を来待村に改称
29. 2. 20	飯石郡須佐村が分割され、東須佐村、西須佐村となる。
4. 1	意宇郡、島根郡、秋鹿郡を廃して八束郡を、出雲郡、神門郡、楯縫郡を廃して簸川郡をおく。
32. 3. 16	郡制制定(法律第 65 号)により郡制(明 23. 5. 17 法律第 36 号)廃止
36. 4. 1	八束郡西川津村、東川津村を廃し、川津村をおく。
11. 6	大原郡大東町、安濃郡太田村、邇摩郡大森村、温泉津村町制施行
37. 1. 8	隠岐国に町村制実施に先立ち、1 町 11 村に統合(2 町 39 村減)
3. 12	島根県隠岐国ニ於ケル町村ノ制度ニ関スル件(勅令第 63 号)により隠岐国は町村制実施
4. 1	島根県隠岐国ニ於ケル町村ノ制度ニ関スル勅令施行(内務省令第 6 号)
38. 4. 1	八束郡玉造村、湯町村を廃し、玉湯村をおく。
41. 5. 1	八束郡古志村、古曾志村、長江村を廃し、古江村をおく。

明 43. 10. 1	那賀郡古市場村、西湊村を廃し、三保村をおく。
44. 4. 7	市制改正(法律第 68 号)及び町村制改正(法律第 69 号)の制定により、市制町村制 (明 21. 4. 17 法律第 1 号)を廃止
大 2. 7. 1	那賀郡江津村町制施行
8. 4. 1	那賀郡井野村、芦谷村を廃し、井野村をおく。
10. 4. 12	郡制廃止ニ関スル件(法律第 63 号)制定
11. 4. 1	那賀郡都野津村町制施行
7. 1	那賀郡高城村、長安村を廃し、安城村をおく。
10. 1	美濃郡高津村町制施行
12. 2. 11	那賀郡石見村、三階村、伊南村、久佐村、美又村を廃し、石見村、三階村、伊南村 大字後野をもって石見村を、久佐村、美又村、伊南村大字佐野、宇津井をもって今 福村をおく。
3. 15	大正 12 年法律第 63 号第 1 条施行期日の件(勅令第 44 号)制定
4. 1	同勅令実施による郡廃止
13. 1. 1	八束郡美保関村町制施行
14. 4. 1	簸川郡杵築町、杵築村を廃し、大社町をおく。
昭 2. 4. 1	那賀郡三隅村、西隅村を廃し、三隅町をおく。
”	邑智郡川本町制施行
11. 1	八束郡宍道村町制施行
3. 11. 1	飯石郡三刀屋村町制施行
4. 1. 1	八束郡二子村、波入村を廃し、八束村をおく。
4. 1	邇摩郡忍原村を廃し、字戸蔵を邇摩郡久利村に、その他の区域を安濃郡川合村に編 入
10. 1	大原郡加茂村町制施行
9. 4. 1	那賀郡松山村、下松山村を廃し、松川村をおく。

昭9. 5. 1	大原郡加茂町、神原村、屋裏村を廃し、加茂町をおく。
7. 1	美濃郡吉田村町制施行
8. 1	飯石郡赤名村町制施行
12. 1	八束郡津田村を松江市に編入
10. 1. 1	八束郡揖屋村町制施行
2. 11	那賀郡漁山村、大内村を廃し、美川村をおく。
〃	鹿足郡日原村、須川村を廃し、日原村をおく。
11. 5. 10	邇摩郡仁万村町制施行
12. 5. 28	安濃郡刺鹿村、波根西村を廃し、久手町をおく。
14. 2. 11	八束郡川津村を松江市に編入
11. 1	八束郡朝酌村を松江市に編入
15. 4. 1	那賀郡江津町、都濃村、渡津村を廃し、江津町をおく。
11. 3	那賀郡浜田町、石見村、長浜村、周布村、美川村を廃し、浜田市をおく。
16. 2. 11	簸川郡今市町、塩冶村、大津村、高松村、高浜村、川跡村、四纏村、鳶巣村、古志村を廃し、出雲町をおく。
〃	美濃郡益田町、高津町、吉田町を廃し、石見町をおく。
7. 1	仁多郡三成村、横田村町制施行
8. 1	那賀郡上府村、下府村、国分村を廃し、国分村をおく。
〃	邇摩郡温泉津町、大浜村を廃し、温泉津町をおく。
11. 3	簸川郡出雲町市制施行
〃	飯石郡一宮村を廃し、宇西谷を簸川郡上津村に、その他の区域を飯石郡三刀屋町に編入
18. 4. 1	簸川郡知井宮村、布智村を廃し、神門村をおく。
7. 1	美濃郡石見町を益田町に改称
21. 11. 3	鹿足郡日原村、知夫郡浦郷村町施行

4. 昭和22年5月3日現在の市町村名一覧

(地方自治法施行当時)

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
市 (3市)	(市計)	136,218	28,548	197.71	
	まつえ市	57,401	12,498	35.32	松江市
	はまだ市	37,055	8,303	104.83	浜田市
	いずも市	41,762	7,747	57.56	出雲市
やつかぐ郡 (3町) (29村)	(郡計)	90,044	16,523	425.09	
	ほつきむら	1,831	403	7.29	松江市
	いくまむら	1,999	335	9.70	〃
	こうぶむら	2,329	375	13.24	〃
	みつむら	1,025	194	3.94	〃
	おあふむら	1,417	276	8.27	〃
	かがむら	1,644	326	13.73	〃
	のなみむら	2,781	484	15.50	〃
	ちくみむら	1,999	380	12.55	〃
	かたえむら	3,981	731	17.06	〃
	みほのせきまち	1,995	410	7.73	〃
	もりやまむら	2,093	395	12.27	〃
	ほんじょうむら	4,084	775	22.15	〃
	もちだむら	2,231	381	15.99	〃
	いのむら	1,943	369	9.92	出雲市
	おおのむら	2,322	450	10.15	松江市
	あいかむら	3,089	558	14.34	〃
	ふるえむら	3,628	629	17.93	〃

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現 在 市 町 村 名
	佐 太 村 きたむら	1,927	357	6.28	松 江 市
	恵 曇 村 えとむら	3,617	677	5.42	〃
	竹 矢 村 ちくやむら	2,534	458	6.28	〃
	出 雲 郷 村 あだかやむら	2,197	400	10.21	松江市（東出雲町）
	揖 屋 町 いやまち	3,472	668	7.28	〃
	意 東 村 いとむら	2,996	524	13.14	松江市（東出雲町）・安来市
	岩 坂 村 いわさかむら	2,383	429	24.79	松 江 市
	熊 野 村 くまのむら	1,752	306	25.28	〃
	大 庭 村 おおぼむら	2,831	496	15.86	〃
	乃 木 村 のぎむら	3,919	684	6.87	〃
	忌 部 村 いんべむら	2,016	375	16.99	〃
	玉 湯 村 たまゆむら	4,697	830	25.11	〃
	来 待 村 きまちむら	3,730	643	24.17	〃
	六 道 町 しんどまち	6,024	1,098	19.62	〃
	八 東 村 やつかむら	5,607	1,107	6.03	〃
能 義 郡 のぎぐん	（ 郡 計 ）	51,487	9,528	393.52	
（ 2 町 ）	広 瀬 町 ひろせまち	4,753	984	17.79	安 来 市
（ 14 村 ）	飯 梨 村 いいなしむら	2,805	475	16.45	〃
	能 義 村 のぎむら	2,553	428	11.38	〃
	安 来 町 やすぎまち	9,147	1,912	5.61	〃
	宇 賀 荘 村 うがしょうむら	2,661	467	13.66	〃
	荒 島 村 あらしまむら	3,280	594	7.17	〃
	赤 江 村 あかえむら	3,939	645	10.11	〃
	島 田 村 しまだむら	2,588	455	12.14	〃

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
	おつつかむら 大塚村	2,730	485	20.90	安 来 市
	やすだむら 安田村	1,625	326	13.98	〃
	もりむら 母里村	2,112	363	13.22	〃
	いじりむら 井尻村	2,054	395	31.02	〃
	あかやむら 赤屋村	2,058	399	36.84	〃
	ひだむら 比田村	3,043	520	55.00	〃
	ふべむら 布部村	3,013	530	58.07	〃
	やまきむら 山佐村	3,126	550	70.18	〃
にたぐん 仁多郡	(郡計)	27,628	5,051	382.13	
(2町)	ふせむら 布勢村	2,677	494	22.09	奥 出 雲 町
(8村)	みなりまち 三成町	3,094	599	31.22	〃
	かめだけむら 亀嵩村	2,672	473	33.04	〃
	とりかみむら 鳥上村	2,042	370	39.52	〃
	よこたまち 横田町	4,339	781	32.73	〃
	やかわむら 八川村	2,938	542	60.50	〃
	まきむら 馬木村	2,838	492	56.28	〃
	あいむら 阿井村	3,504	649	68.10	〃
	みざむら 三沢村	1,678	302	20.05	〃
おんせんむら 温泉村	1,846	349	18.60	雲 南 市	
おおはらくん 大原郡	(郡計)	37,736	6,968	223.73	
(3町)	だいとうまち 大東町	4,772	952	14.70	雲 南 市
(7村)	はるえむら 春殖村	2,425	418	12.03	〃
	はたやむら 幡屋村	2,582	436	13.61	〃
	させむら 佐世村	2,576	444	14.74	〃

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
	あ よ う む ら 村 阿 用 村	3,216	578	40.14	雲 南 市
	う し お む ら 村 海 潮 村	4,149	729	56.95	〃
	か も ま ち 町 加 茂 町	7,693	1,395	30.71	〃
	ひ い む ら 村 斐 伊 村	1,435	265	6.10	〃
	き す き ち ょ う 町 木 次 町	4,355	898	1.47	〃
	ひ の ぼ り む ら 村 日 登 村	4,533	853	33.28	〃
い い し ぐ 郡 飯 石 郡	(郡 計)	38,432	7,572	594.43	
(2 町)	み と や ま ち 町 三 刀 屋 町	5,600	1,080	24.47	雲 南 市
(14 村)	な べ や ま む ら 村 鍋 山 村	2,566	489	23.87	〃
	い い し む ら 村 飯 石 村	2,051	377	15.43	〃
	な か の む ら 村 中 野 村	1,750	318	22.97	〃
	た い む ら 村 田 井 村	1,467	266	42.21	〃
	よ し だ む ら 村 吉 田 村	3,021	555	77.68	〃
	か け や む ら 村 掛 合 村	2,318	517	20.31	〃
	た ね む ら 村 多 根 村	1,111	206	12.76	〃
	まつ か き む ら 村 松 笠 村	794	142	18.90	〃
	ひ が し す き む ら 村 東 須 佐 村	1,799	373	30.61	出 雲 市
	にし す き む ら 村 西 須 佐 村	2,110	443	28.50	〃
	は た む ら 村 波 多 村	2,199	460	57.87	雲 南 市
	し し む ら 村 志 々 村	1,981	421	59.55	飯 南 町
	と ん ば ら む ら 村 頓 原 村	3,518	695	64.96	〃
	き じ ま む ら 村 来 島 村	3,309	648	68.19	〃
	あ か な ま ち 町 赤 名 町	2,838	582	26.15	〃
ひ か わ ぐ 郡 簸 川 郡	(郡 計)	115,435	22,831	492.78	

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
(2 町)	しようばらむら 莊 原 村	5,696	1,054	20.56	出雲市 (斐川町)
(34 村)	しゅっさいむら 出 西 村	3,815	644	19.85	〃
	いわのむら 伊 波 野 村	2,650	483	7.04	〃
	なおえむら 直 江 村	2,706	566	5.08	〃
	じさぎむら 久 木 村	2,622	466	6.78	〃
	しゅつとうむら 出 東 村	5,316	968	14.05	〃
	なだぶんむら 灘 分 村	3,200	561	8.36	出 雲 市
	くにどみむら 国 富 村	2,624	482	10.80	〃
	わにぶちむら 鰐 淵 村	1,798	367	20.79	〃
	にしだむら 西 田 村	2,071	379	15.07	〃
	くたみむら 久 多 美 村	2,400	426	12.67	〃
	ひやまむら 檜 山 村	1,646	299	9.32	〃
	ひがしむら 東 村	3,254	577	15.47	〃
	ひらたまち 平 田 町	8,824	1,874	5.80	〃
	きたはまむら 北 浜 村	2,248	472	9.45	〃
	さかむら 佐 香 村	2,805	585	9.66	〃
	くぼたむら 窪 田 村	1,464	314	14.57	〃
	やまぐちむら 山 口 村	2,080	418	46.57	大 田 市 ・ 出 雲 市
	おつたちむら 乙 立 村	2,389	475	27.11	出 雲 市
	たぎむら 田 儀 村	2,148	472	26.40	〃
	たきむら 田 岐 村	2,375	516	20.61	〃
	くむら 久 村	1,508	326	6.73	〃
	こうなんむら 江 南 村	2,933	568	15.63	〃
	にしはまむら 西 浜 村	5,014	1,093	6.22	〃

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
	じんざいむら 神 西 村	3,422	658	11.54	出 雲 市
	かんどむら 神 門 村	4,519	879	13.20	〃
	そのむら 園 村	3,715	731	7.53	〃
	あらきむら 荒 木 村	4,547	888	6.77	〃
	たいしやちまち 大 社 町	10,608	2,379	6.80	〃
	ひのさきむら 日 御 碕 村	1,532	307	8.78	〃
	うさぎむら 鵜 鷺 村	1,571	365	11.87	〃
	とうかんむら 遙 堪 村	2,264	426	7.75	〃
	あさやまむら 朝 山 村	3,045	588	26.78	〃
	ひえばらむら 稗 原 村	2,833	562	21.41	〃
	かみつむら 上 津 村	2,072	327	13.47	〃
	あらかやむら 荒 茅 村	1,721	336	2.29	〃
あんのぐん 安 濃 郡	(郡計)	32,266	6,972	200.85	
(2町)	おおだまち 大 田 町	7,299	1,641	21.85	大 田 市
(7村)	ながひさむら 長 久 村	2,321	457	7.89	〃
	とりいむら 鳥 井 村	2,583	538	5.31	〃
	くてまち 久 手 町	6,063	1,378	14.50	〃
	はねひがしむら 波 根 東 村	2,632	596	8.48	〃
	かわいむら 川 合 村	3,647	777	34.50	〃
	あさやまむら 朝 山 村	1,265	261	9.66	〃
	とみやまむら 富 山 村	2,021	408	31.01	大 田 市 ・ 出 雲 市
	さひめむら 佐 比 売 村	4,435	916	67.65	大 田 市
にまぐん 邇 摩 郡	(郡計)	39,639	9,005	216.01	
(3町)	おおもりまち 大 森 町	1,829	484	10.87	大 田 市

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
(15 村)	水 上 村	1,393	308	18.51	大 田 市
	井 田 村	2,775	645	25.00	〃
	大 家 村	1,249	480	19.16	大 田 市・川 本 町
	八 代 村	893			〃 ・ 〃
	波 積 村	1,712	359	18.47	江 津 市・大 田 市
	福 浦 村	1,323	311	2.06	大 田 市
	福 光 村	2,096	513	9.99	〃
	温 泉 津 町	4,845	1,121	15.44	〃
	湯 里 村	2,786	592	18.72	〃
	馬 路 村	2,398	609	4.40	〃
	大 国 村	2,100	463	19.34	〃
	仁 万 町	3,222	706	3.99	〃
	宅 野 村	1,792	405	3.77	〃
	五 十 猛 村	2,785	595	9.16	〃
	静 間 村	2,838	660	6.59	〃
大 屋 村	1,246	246	11.04	〃	
久 利 村	2,357	508	19.50	〃	
お ち ぐ 郡	(郡 計)	65,395	13,963	994.58	
(1 町)	川 本 町	4,623	1,013	40.73	川 本 町
(29 村)	吾 郷 村	2,551	549	34.74	美 郷 町
	粕 淵 村	2,417	533	32.87	〃
	浜 原 村	1,965	420	26.00	〃
	沢 谷 村	2,002	401	39.26	〃
	谷 村	919	195	23.96	飯 南 町

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
	つがゆきむら 都賀行村	1,757	346	61.83	美 郷 町
	つがむら 都賀村	2,049	435	25.96	〃
	くちばむら 口羽村	3,168	657	27.21	邑 南 町
	あすなむら 阿須那村	3,343	696	46.96	〃
	ふせむら 布施村	1,833	367	32.34	美郷町・邑南町
	たかはらむら 高原村	2,375	508	46.26	邑 南 町
	いずむら 出羽村	1,809	397	27.79	〃
	たどころむら 田所村	3,646	788	84.06	〃
	いばらむら 井原村	1,864	380	21.75	〃
	なかのむら 中野村	2,211	452	23.61	〃
	やかみむら 矢上村	3,330	622	23.84	〃
	いちぎむら 市木村	2,575	587	54.30	邑南町・浜田市
	ひぬいむら 日貫村	1,828	392	38.41	邑 南 町
	ながたにむら 長谷村	1,720	384	26.10	江津市・浜田市
	いちやまむら 市山村	1,776	381	23.40	江 津 市
	ひわむら 日和村	1,201	258	25.30	邑 南 町
	かわどむら 川戸村	1,712	375	12.97	江 津 市
	たにじゅうごうむら 谷住郷村	1,712	372	24.78	〃
	かわごえむら 川越村	2,558	490	29.18	〃
	かわくだりむら 川下村	2,070	461	28.85	川本町・江津市
	みはらむら 三原村	1,539	370	17.30	川 本 町
	みたにむら 三谷村	839	171	11.93	〃
	そじきむら 祖式村	1,829	395	31.09	大田市・川本町
	きみだにむら 君谷村	2,474	568	51.80	美 郷 町

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
な が け ぐ ん 郡 (3 町) (24 村)	(郡 計)	77,816	17,476	695.56	
	こ く ぶ り 村	7,129	1,512	21.35	浜 田 市
	か わ な み む ら 村	3,426	788	10.83	江 津 市
	に の み や む ら 村	1,989	421	10.14	〃
	つ の つ ま ち 都 野 津 町	3,239	750	2.87	〃
	こ う つ ま ち 江 津 町	11,424	2,831	17.68	〃
	あ さ り む ら 村	1,696	435	5.77	〃
	つ ち む ら 村	2,842	663	8.51	〃
	く ろ ま つ む ら 村	1,484	358	1.82	〃
	ま つ か わ む ら 村	2,525	556	29.33	〃
	か わ ひ ら む ら 村	1,236	256	19.37	〃
	あ と い ち む ら 村	2,150	458	20.51	〃
	あ り ふ く む ら 村	2,916	591	20.95	浜 田 市 ・ 江 津 市
	く も ぎ む ら 村	2,633	572	33.28	浜 田 市
	い ま ふ く む ら 村	3,930	857	64.44	〃
	き だ む ら 村	887	189	7.53	〃
	わ だ む ら 村	1,692	372	22.14	〃
	つ が わ む ら 村	1,916	384	43.86	〃
	い ま い ち む ら 村	1,922	445	29.34	〃
	は ぎ む ら 村	2,153	483	78.92	〃
	や す ぎ む ら 村	2,819	621	77.60	〃
	き つ か む ら 村	1,986	475	28.11	〃
	く ろ さ わ む ら 村	1,589	357	27.32	〃
	お か み む ら 村	2,214	480	13.08	〃

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
	三保村	3,281	749	6.60	〃
	三隅町	3,408	767	33.50	〃
	井野村	3,761	765	43.41	〃
	大森村	1,569	341	17.30	〃
美濃郡	(郡計)	62,676	13,194	734.49	
(1町)	益田町	21,043	4,398	33.09	益田市
(18村)	安田村	2,835	567	9.39	〃
	北仙道村	1,438	283	15.47	〃
	豊川村	1,733	365	30.00	〃
	豊田村	3,682	737	24.49	〃
	高城村	2,919	561	37.16	〃
	小野村	3,264	641	20.32	〃
	中西村	3,178	616	27.83	〃
	鎌手村	3,875	772	14.29	〃
	種ね村	1,251	248	18.48	〃
	東仙道村	1,988	452	26.18	〃
	都茂村	3,378	783	66.23	〃
	二川村	1,231	289	40.36	〃
	道川村	984	204	80.93	〃
	匹見上村	2,819	677	131.09	〃
	匹見下村	2,215	492	89.43	〃
	真砂村	1,671	402	29.62	〃
	二條村	2,148	474	22.34	〃
	美濃村	1,024	233	17.19	〃

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名	
かのあしくん 鹿 足 郡	(郡計)	34,143	7,293	644.24		
	(2町)	つわのまち 津 和 野 町	6,453	1,512	11.08	津 和 野 町
	(9村)	はたきこむら 畑 迫 村	2,278	454	47.90	〃
		きべむら 木 部 村	2,453	487	38.50	〃
		あおぼらむら 青 原 村	1,919	379	34.73	〃
		にちはらまち 日 原 町	6,474	1,249	124.51	〃
		おがわむら 小 川 村	1,973	375	51.34	〃
		かきのきむら 柿 木 村	3,250	697	137.55	吉 賀 町
		なぬかいちむら 七 日 市 村	2,442	557	63.26	〃
		あさくらむら 朝 倉 村	1,801	406	51.35	〃
		むいかいちむら 六 日 市 村	3,421	789	45.19	〃
		くらぎむら 蔵 木 村	1,679	388	38.83	〃
すきぐん 周 吉 郡	(郡計)	17,122	3,705	141.59		
	(1町)	さいごうまち 西 郷 町	6,220	1,448	7.15	隠 岐 の 島 町
	(5村)	とうごうむら 東 郷 村	2,299	463	24.16	〃
		ふせむら 布 施 村	1,044	249	18.49	〃
		なかむら 中 村	2,128	459	31.20	〃
		なかすじむら 中 條 村	2,833	572	39.53	〃
		いそむら 磯 村	2,598	514	21.06	〃
おちぐん 穩 地 郡	(郡計)	7,700	1,601	101.95		
	(2村)	ごかむら 五 箇 村	3,659	785	51.86	隠 岐 の 島 町
		つまむら 都 万 村	4,041	816	50.09	〃
あまぐん 海 士 郡	(郡計)	6,219	1,379	33.93		
	(1村)	あまむら 海 士 村	6,219	1,379	33.93	海 士 町

区 分	市 町 村 名	人 口	戸 数	面 積 km ²	現在市町村名
知 夫 郡	(郡 計)	9,039	2,123	70.56	
(1 町)	黒 木 村	3,691	899	39.82	西 ノ 島 町
(2 村)	浦 郷 町	3,164	679	16.85	〃
	知 夫 村	2,184	545	13.89	知 夫 村
郡 計	28 町 218 村	712,777	145,184	6,345.44	
県 計	3 市 28 町 218 村	848,995	173,732	6,625.47	

・人口及び戸数は、昭和 21 年 4 月 26 日現在で実施の昭和 21 年人口調査による。

・面積は、総務省統計局の調査による。

(県計は、宍道湖 82.32 km²を含み、中海及び五箇村竹島を除く。)

5. 地方自治法施行後の市町村合併等の状況

(昭和22年5月3日～昭和62年2月1日)

年 月 日	合併等 市町村名	関係市町村名	合体編入等 の別
22・8・1	三原村	八代村の一部(大字北佐木)	境界変更
11・3	六日市町	六日市村	町制
11・15	大代村	大家村・八代村	合体
12・28	恵曇町	恵曇村	町制
〃	矢上町	矢上村	〃
〃	粕淵町	粕淵村	〃
23・6・15	荒島村	意東村の一部(大字下意東字下日白・渡)	境界変更
9・1	窪田村	山口村の一部(大字佐津目・下橋波・上橋波・吉野・高津屋)	〃
10・10	松江市	法吉村	編入
24・4・29	頓原町	頓原村	町制
25・4・1	川越村	川下村の一部(字坂本)	境界変更
5・3	朝山村	乙立村の一部(大字乙立)	分割編入
〃	窪田村	乙立村の一部(大字東村・八幡原)	〃
9・21	松江市	竹矢村・乃木村	編入
11・3	長浜村	園村・荒茅村	合体
12・20	岐久村	多岐村・久村・窪田村の一部(大字毛津の一部)	〃
26・1・1	杵束村	安城村の一部(大字大坪及び程原の一部)	境界変更
4・1	掛合村	掛合村・多根村・松笠村	合体
〃	江東村	都治村・黒松村・波積村	〃
〃	松江市	忌部村・大庭村の一部(大字大庭・佐草・大草・山代)	編入
〃	八雲村	岩坂村・熊野村・大庭村の一部(大字平原)	合体
〃	福波村	福光村・福浦村	〃

年 月 日	合 併 等 市町村名	関 係 市 町 村 名	合 体 編 入 等 の 別
26・4・1	湖 陵 村	西浜村・江南村	合 体
〃	安 来 町	安来町・能義村・宇賀荘村	〃
〃	大 社 町	大社町・荒木村・日御崎村・鵜鷺村・遙堪村	〃
〃	平 田 町	平田町・灘分村・国富村・鰐淵村・西田村・久多美村・東村・檜山村	〃
〃	大 森 町	大森町・水上村	〃
〃	木 次 町	木次町・斐伊村	〃
〃	大 東 町	大東町・春殖村・幡屋村・阿用村・佐世村	〃
〃	匹 見 上 村	匹見下村の一部(大字落合及び広瀬の一部)	境 界 変 更
〃	国 府 町	国府村	町 制
8・1	掛 合 町	掛合村	〃
27・4・1	福 波 村	江東村の一部(大字波積北の一部)	境 界 変 更
8・1	益 田 市	益田町・安田村・北仙道村・豊川村・豊田村・高城村・小野村・中西村	合 体 ・ 市 制
11・3	伯 太 村	安田村・母里村・井尻村	合 体
28・4・1	赤 名 町	赤名町・谷村	〃
〃	松 江 市	生馬村・持田村	編 入
11・10	須 佐 村	東須佐村・西須佐村	合 体
12・1	八 川 村	広島県比婆郡八銚村の一部(大字油木字三井野の一部)	境 界 変 更
〃	〔 広島県 八幡村 〕	波佐村の一部(大字波佐字滝平の一部)	〃
29・1・1	大 田 市	大田町・久手町・波根東村・鳥井村・長久村・川合村・久利村・静間村	合 体 ・ 市 制
1・20	三 刀 屋 町	三刀屋町・鍋山村・飯石村・中野村	合 体
4・1	安 来 市	安来町・飯梨村・赤江村・荒島村・島田村・大塚村	合 体 ・ 市 制
〃	江 津 市	江津町・都野津町・川波村・二宮村・跡市村・浅利村・松川村・川平村・江東村	〃 ・ 〃
〃	大 田 市	佐比売村・朝山村・山口村・富山村の一部(大字山中・才坂・神原の一部)	編 入
〃	田 儀 村	富山村の一部(大字神原の一部)	〃

年 月 日	合 併 等 市町村名	関 係 市 町 村 名	合 体 編 入 等 の 等 別
29・4・1	美 都 村	東仙道村・都茂村・二川村	合 体
〃	日 原 町	日原町・青原村	〃
〃	温 泉 津 町	温泉津町・福波村・湯里村・井田村	〃
〃	仁 摩 町	仁万町・宅野村・大国村・馬路村	〃
〃	東 出 雲 町	揖屋町・出雲郷村・意東村	〃
〃	桜 江 村	川戸村・谷住郷村・市山村・川越村・長谷村	〃
〃	伯 太 村	赤屋村	編 入
7・1	西 郷 町	西郷町・東郷村・中條村・磯村	合 体
10・1	旭 村	今市村・木田村・和田村・都川村・桜江村の一部 (大字八戸の一部)	〃
〃	江 津 市	桜江村の一部(大字清見・井沢の一部)	境 界 変 更
11・3	吉 田 村	吉田村・田井村	合 体
12・1	六 日 市 町	六日市町・朝倉村・蔵木村	〃
30・1・1	平 田 市	平田町・佐香村・北浜村	合 体・市 制
1・10	広 瀬 町	広瀬町・比田村・山佐村・安来市の一部(石原町)	合 体
〃	津 和 野 町	津和野町・畑迫村・木部村・小川村の一部(大字寺 田・耕田・笹山・商人及び直地の一部)	〃
〃	日 原 町	小川村の一部(大字商人及び直地の一部)	分 割 編 入
2・1	邑 智 町	沢谷村・浜原村・粕淵町・吾郷村・君谷村	合 体
〃	匹 見 町	匹見上村・匹見下村・道川村	〃
3・3	雲南木次町	温泉村・木次町・日登村	〃
3・10	松 江 市	古江村・本庄村	編 入
3・22	出 雲 市	朝山村・稗原村・上津村	〃
3・25	益 田 市	鎌手村・種村・真砂村・二條村・美濃村	〃
4・1	三 隅 町	三隅町・三保村・岡見村・黒沢村・井野村の一部(大 字井野(字羽原を除く)・室谷・芦谷)・大麻村の一 部(大字東平原及び折居の一部)	合 体

年 月 日	合 併 等 市町村名	関 係 市 町 村 名	合 体 編 入 等 の 別
30・4・1	浜 田 市	井野村の一部(大字井野字羽原)・大麻村の一部 (大字西村・折居及び東平原の一部)	分 割 編 入
〃	川 本 町	川本町・川下村・三原村・三谷村・大代村	合 体
〃	掛 合 町	掛合町・波多村	〃
4・3	宍 道 町	宍道町・来待村	〃
4・13	美 保 関 町	千酌村・片江村・美保関町・森山村	〃
4・15	斐 川 村	荘原村・出西村・伊波野村・直江村・久木村・出東 村	〃
〃	石 見 町	矢上町・日貫村・日和村・中野村・井原村	〃
〃	国 府 町	国府町・有福村	〃
〃	仁 多 町	布勢村・三成町・亀嵩村・阿井村・三沢村	〃
〃	出 羽 村	田所村・出羽村・高原村	〃
31・1・1	伯 太 町	伯太村	町 制
〃	桜 江 町	桜江村	〃
1・10	島 根 村	大芦村・加賀村・野波村	合 体
3・3	鹿 島 町	講武村・御津村・佐太村・恵曇村	〃
4・1	出 雲 市	神西村・神門村・長浜村	編 入
〃	大 東 町	海潮村	〃
〃	匹 見 町	匹見村	町 制
6・10	佐 田 村	須佐村・窪田村	合 体
8・1	金 城 村	雲城村・今福村・波佐村	〃
〃	弥 栄 村	安城村・杵束村	〃
〃	江 津 市	国府町の一部(大字本明・上有福)	境 界 変 更
9・30	多 岐 村	田儀村・岐久村	合 体
〃	大 田 市	大森町・五十猛村・大屋村・祖式村の一部(大字祖 式)	編 入
〃	川 本 町	祖式村の一部(大字川内・小谷・馬野原)	分 割 編 入

年 月 日	合 併 等 市 町 村 名	関 係 市 町 村 名	合 体 編 入 等 の 別
31・9・30	六 日 市 町	七日市村	編 入
32・1・1	赤 来 町	赤名町・来島村	合 体
2・1	頓 原 町	志々村・頓原町	〃
2・11	羽 須 美 村	口羽村・阿須那村	〃
〃	西 ノ 島 町	黒木村・浦郷町	〃
3・10	大 和 村	都賀行村・都賀村・布施村の一部(大字村之郷・宮内・比敷)	〃
〃	出 羽 村	布施村の一部(大字布施・八色石)	分 割 編 入
4・1	広 瀬 町	布部村の一部(大字菅原)	境 界 変 更
〃	美 都 町	美都村	町 制
5・3	木 次 町	雲南木次町	町 名 変 更
6・1	木 次 町	三刀屋町の一部(大字上熊谷及び下熊谷の一部)	境 界 変 更
8・1	出 羽 町	出羽村	町 制
〃	瑞 穂 町	出羽町	名 称 変 更
9・20	斐 上 町	鳥上村・横田町・八川町・馬木村	合 体
12・31	大 田 市	川本町の一部(大字新屋・大家本郷)	境 界 変 更
33・4・1	石 見 町	瑞穂町の一部(大字上田所の一部)	〃
6・1	浜 田 市	金城村の一部(大字佐野・宇津井の一部)	〃
10・20	瑞 穂 町	市木村の一部(1～964、1,226～2,270、4,486～4,521、4,523～6,241 の90、6,241 の93～6,735、8,079)	分 割 編 入
〃	旭 村	市木村の一部(瑞穂町に編入した区域を除く区域)	〃
11・1	大 田 市	川本町の一部(大字北佐木の一部)	境 界 変 更
〃	横 田 町	斐上町	町 名 変 更
11・3	旭 町	旭村	町 制
34・1・1	玉 湯 町	玉湯村	〃

年 月 日	合 併 等 市 町 村 名	関 係 市 町 村 名	合 体 編 入 等 の 別
34・4・1	松 江 市	東出雲町の一部(大字今宮の一部)	境 界 変 更
34・4・1	東 出 雲 町	松江市の一部(大草町及び竹矢町の一部)	〃
〃	平 田 市	伊野村	編 入
8・1	松 江 市	大野村・秋鹿村	〃
11・1	西 郷 町	中村	〃
40・4・1	斐 川 町	斐川村	町 制
42・8・1	広 瀬 町	布部村	編 入
44・1・1	海 士 町	海士村	町 制
3・1	浜 田 市	国府町	編 入
4・1	隠 岐 郡	周吉郡・穩地郡・海士郡・知夫郡	合 体
〃	島 根 町	島根村	町 制
11・3	佐 田 町	佐田村	〃
〃	多 伎 町	多伎村	〃
〃	湖 陵 町	湖陵村	〃
〃	金 城 町	金城村	〃
45・4・1	八 束 町	八束村	〃
8・1	出 雲 市	三刀屋町の一部(大字高窪の一部)	境 界 変 更
〃	〃	大社町の一部(大字入南及び遙堪の一部)	〃
〃	大 社 町	出雲市の一部(八島町の一部)	〃
11・1	五 箇 村	西郷町の一部(大字伊後の一部)	〃
46・4・1	出 雲 市	三刀屋町の一部(大字高窪の一部)	〃
11・1	桜 江 町	旭町の一部(大字山の内の一部)	〃
〃	旭 町	桜江町の一部(大字八戸の一部)	〃
47・2・1	木 次 町	三刀屋町の一部(大字下熊谷の一部)	〃

年 月 日	合 併 等 市町村名	関 係 市 町 村 名	合 体 編 入 等 の 別
〃	三 刀 屋 町	木次町の一部(大字下熊谷の一部)	〃
54・12・24	松 江 市	鹿島町の一部(大字名分の一部)	境 界 変 更
〃	鹿 島 町	松江市の一部(上佐陀町の一部)	〃
57・6・25	瑞 穂 町	旭町の一部(大字市木の一部)	〃
〃	旭 町	瑞穂町の一部(大字市木の一部)	〃
59・2・1	松 江 市	} 中海干拓地(揖屋地区)	境 界 決 定
	東 出 雲 町		

6. 昭和 62 年 2 月 1 日現在の市町村名一覧

区 分	市町村名	人 口	世 帯 数	面 積 km ²
市 (8 市)	(市計)	457,084	138,115	1,531.18
	松 ^ま つ江 ^え し市	140,005	45,716	175.28
	浜 ^は ま田 ^だ し市	51,071	16,584	163.85
	出 ^い ず雲 ^も し市	80,749	22,696	175.44
	益 ^ま す田 ^だ し市	54,049	16,392	302.04
	大 ^お お田 ^だ し市	38,242	11,494	333.18
	安 ^や す来 ^き し市	33,056	8,391	95.15
	江 ^ご う津 ^つ し市	28,597	9,356	158.63
	平 ^ひ ら田 ^た し市	31,315	7,486	127.61
八 ^や つ東 ^か ぐん郡 (7 町) (1 村)	(郡計)	61,021	15,875	279.77
	鹿 ^か しま島 ^{ちよ} う町	9,782	2,756	30.13
	島 ^し まね根 ^{ちよ} う町	5,054	1,172	37.69
	美 ^み ほのせき関 ^{ちよ} う町	8,208	2,032	50.13
	東 ^ひ がしいず雲 ^{ちよ} う町	11,507	3,129	31.14
	八 ^や くもむら村	5,508	1,344	55.41
	玉 ^た まゆちよ町	6,368	1,810	24.93
	宍 ^し んじ道 ^{ちよ} う町	9,987	2,434	44.37
	八 ^や つ東 ^か ちよ町	4,607	1,198	5.97
能 ^の ぎ義 ^ぎ ぐん郡 (2 町)	(郡計)	16,560	4,063	300.24
	広 ^ひ ろせちよ町	10,590	2,654	204.56
	伯 ^は くたちよ町	5,970	1,409	95.68
仁 ^に た多 ^た ぐん郡 (2 町)	(郡計)	18,706	4,751	366.25
	仁 ^に たちよ町	9,691	2,430	177.06

区 分	市町村名	人 口	世 帯 数	面 積 km ²
	横 越 田 町	9,015	2,321	189.19
大 原 郡 (3 町)	(郡 計)	34,445	8,307	245.80
	大 東 町	16,665	3,877	152.41
	加 茂 町	6,949	1,578	30.53
	木 次 町	10,831	2,852	62.86
飯 石 郡 (4 町) (1 村)	(郡 計)	24,186	6,474	553.45
	三 刀 屋 町	9,251	2,283	82.81
	吉 田 村	2,795	726	116.93
	掛 合 町	4,490	1,257	110.06
	頓 原 町	3,457	997	124.60
	赤 来 町	4,193	1,211	119.05
簸 川 郡 (5 町)	(郡 計)	58,465	14,514	299.81
	斐 川 町	24,592	5,584	72.78
	佐 田 町	5,316	1,328	108.40
	多 伎 町	4,543	1,257	54.43
	湖 陵 町	6,044	1,620	21.90
	大 社 町	17,970	4,725	42.30
邇 摩 郡 (2 町)	(郡 計)	11,035	3,874	102.38
	温 泉 津 町	5,283	1,949	71.62
	仁 摩 町	5,752	1,925	30.76
邑 智 郡 (5 町) (2 村)	(郡 計)	34,630	11,365	917.62
	川 本 町	6,123	2,123	106.84
	邑 智 町	5,861	1,942	184.20
	大 和 村	2,511	822	99.00

区 分	市町村名	人 口	世 帯 数	面 積 km ²
	羽 須 美 村	2,823	1,063	73.91
	瑞 穂 町	5,691	1,864	207.15
	石 見 町	7,281	2,083	135.87
	桜 江 町	4,340	1,468	110.65
那 賀 郡	(郡計)	21,458	6,886	527.05
(3町)	金 城 町	5,800	1,735	165.07
(1村)	旭 町	3,954	1,314	128.76
	弥 栄 村	2,075	733	105.25
	三 隅 町	9,629	3,104	127.97
美 濃 郡	(郡計)	6,031	2,142	434.29
(2町)	美 都 町	3,566	1,211	133.41
	匹 見 町	2,465	931	300.88
鹿 足 郡	(郡計)	22,167	6,923	642.50
(3町)	津 和 野 町	7,578	2,456	139.44
(1村)	日 原 町	5,424	1,598	167.72
	柿 木 村	2,243	647	137.37
	六 日 市 町	6,922	2,222	197.97
隠 岐 郡	(郡計)	28,841	9,872	348.42
(3町)	西 郷 町	14,623	4,829	123.42
(4村)	布 施 村	575	233	18.65
	五 箇 村	2,298	770	51.98
	都 万 村	2,179	739	50.35
	海 士 町	3,339	1,168	33.49
	西 ノ 島 町	4,886	1,711	56.87

区 分	市町村名	人 口	世 帯 数	面 積 km ²
	知 ぶ 夫 む ら 村	941	422	13.66
郡 計	41 町 10 村	337,545	95,046	5,017.58
県 計	8 市 41 町 10 村	794,629	233,161	6,628.42

・人口及び世帯数は、昭和60年国勢調査による。

・面積は、昭和60年全国都道府県市町村別面積(国土交通省国土地理院)による。

(県計は、宍道湖 79.66k m²及び五箇村竹島 0.23k m²を含み、中海を除く。)

7. 平成の市町村合併等の状況

(昭和62年2月1日～平成18年3月31日)

年 月 日	合併等 市町村名	関係市町村名	合体編入等 の別
昭63・3・24	大田市	仁摩町の一部(大字宅野町の一部)	境界変更
〃	仁摩町	大田市の一部(五十猛町の一部)	〃
平3・12・6	出雲市	湖陵町の一部(大字三部の一部)	〃
〃	湖陵町	出雲市の一部(西神西町の一部)	〃
4・5・25	松江市	} 中海	境界決定
	安来市		
	美保関町		
	東出雲町		
	八束町		
9・4	旭町	瑞穂町の一部(大字市木の一部)	境界変更
6・1・14	出雲市	湖陵町の一部(大字三部の一部)	〃
〃	湖陵町	出雲市の一部(西神西町の一部)	〃
8・9・19	松江市	} 宍道湖	境界決定
	平田市		
	玉湯町		
	宍道町		
	斐川町		
9・12・16	大東町	加茂町の一部(大字立原の一部)	境界変更
〃	加茂町	大東町の一部(大字前原の一部)	〃
15・1・31	宍道町	斐川町の一部(大字学頭の一部)	〃
〃	斐川町	宍道町の一部(大字伊志見及び佐々布の一部)	〃
16・10・1	安来市	安来市・広瀬町・伯太町(能義郡消滅)	合体

年 月 日	合併等 市町村名	関 係 市 町 村 名	合体編入等 の 別
16・10・1	江 津 市	桜江町	編 入
〃	美 郷 町	呂智町・大和村	合 体
〃	邑 南 町	羽須美村・瑞穂町・石見町	〃
〃	隠岐の島町	西郷町・布施村・五箇村・都万村	〃
〃	益 田 市	美都町・匹見町（美濃郡消滅）	編 入
11・1	雲 南 市	大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町（大原郡消滅）	合 体
17・1・1	飯 南 町	頓原町・赤来町	合 体
3・22	出 雲 市	出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町	〃
3・31	松 江 市	松江市・鹿島町・島根町・美保関町・八雲村・玉湯町・宍道町・八束町	〃
〃	奥出雲町	仁多町・横田町	〃
9・25	津 和 野 町	津和野町・日原町	〃
10・1	浜 田 市	浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町（那賀郡消滅）	〃
〃	大 田 市	大田市・温泉津町・仁摩町（邇摩郡消滅）	〃
〃	吉 賀 町	柿木村・六日市町	〃

8. 平成の市町村合併等の状況（平成 23 年度）

（平成 18 年 4 月 1 日～平成 23 年 10 月 1 日）

年 月 日	合併等 市町村名	関係市町村名	合体編入等 の別
23. 8. 1	松江市	松江市・東出雲町（八東郡消滅）	編入
23. 10. 1	出雲市	出雲市・斐川町（簸川郡消滅）	編入

9 平成 23 年 10 月 1 日現在の市町村名一覧

区 分	市町村名	人 口	世 帯 数	面 積 km ²
(8 市)	松 ^ま つ江 ^え し市	208,613	81,166	572.99
	浜 ^は ま田 ^だ し市	61,713	24,972	689.60
	出 ^い ず雲 ^も し市	171,485	55,952	624.12
	益 ^ま す田 ^だ し市	50,015	19,243	733.24
	大 ^お お田 ^だ し市	37,996	14,312	436.12
	安 ^や す来 ^ぎ し市	41,836	12,820	420.97
	江 ^ご う津 ^つ し市	25,697	10,320	268.51
	雲 ^う ん南 ^{なん} し市	41,917	12,905	553.37
市 計	8 市	639,272	231,690	4,298.92
仁多郡	奥 ^お く出 ^い ず雲 ^も ちよう町	14,456	4,713	368.06
飯石郡	飯 ^い いな南 ^{なん} ちよう町	5,534	1,944	242.84
邑智郡	川 ^か わも本 ^と まち町	3,900	1,666	106.39
	美 ^み さと郷 ^ち よう町	5,351	2,157	282.92
	邑 ^お お南 ^{なん} ちよう町	11,959	4,510	419.22
鹿足郡	津 ^つ わのちよう町	8,427	3,411	307.09
	吉 ^よ しか賀 ^か ちよう町	6,810	2,805	336.29

隠岐郡	あまちよ町 海士町	2,374	1,052	33.52
	にしノしまちよ町 西ノ島町	3,136	1,477	56.05
	ちぶむら村 知夫村	657	326	13.70
	おきのしまちよ町 隠岐の島町	15,521	6,468	242.95
町村計	11町村	78,125	30,529	2,409.03
県計	8市10町1村	717,397	262,219	6,707.95

・人口及び世帯数は、平成22年国勢調査確定値による。

松江市は東出雲町を、出雲市は斐川町を合算したものである。

・面積は、平成22年全国都道府県市町村別面積(国土交通省国土地理院)による。

(県計は、隠岐の島町竹島 0.21k m²を含む。)

Ⅲ 市 町 村 数 の 変 遷

現 在 日	市	町	村	計	備 考
明治 22. 4. 1	1	8	269	278	市制町村制施行(隠岐島を除く)
〃		(3)	(50)	(53)	隠 岐 島
25. 4. 1	1	9	270	280	} 隠岐島を除く
30. 4. 1	1	9	271	281	
35. 4. 1	1	9	271	281	
37. 4. 1	1	14	277	292	隠岐島町村制施行(1町11村に統合)
40. 4. 1	1	14	276	291	
45. 4. 1	1	14	273	288	
大正 5. 4. 1	1	15	272	288	
10. 4. 1	1	15	271	287	
15. 4. 1	1	18	263	282	
昭和 5. 4. 1	1	23	255	279	
10. 4. 1	1	26	246	273	
15. 4. 1	1	28	239	268	
20. 4. 1	3	26	220	249	
22. 5. 3	3	28	218	249	地方自治法施行
23. 4. 1	3	32	213	248	
24. 4. 1	3	32	212	247	
25. 4. 1	3	33	211	247	
26. 4. 1	3	34	177	214	
27. 4. 1	3	35	176	214	
28. 4. 1	4	34	164	202	

現在日	市	町	村	計	備 考
昭和 28. 10. 1	4	34	164	202	町村合併促進法施行
29. 4. 1	7	29	122	158	
30. 4. 1	8	28	78	114	
31. 4. 1	8	31	46	85	
31. 10. 1	8	30	37	75	新市町村建設促進法(関係分)施行
32. 4. 1	8	31	30	69	
33. 4. 1	8	32	26	66	
34. 4. 1	8	34	23	65	
35. 4. 1	8	34	22	64	
36. 4. 1	8	34	19	61	
36. 6. 29	8	34	19	61	新市町村建設促進法(関係分)失効
40. 3. 29	8	34	19	61	市町村の合併の特例に関する法律施行
40. 4. 1	8	35	18	61	
42. 8. 1	8	35	17	60	
44. 1. 1	8	36	16	60	
44. 3. 1	8	35	16	59	
44. 4. 1	8	36	15	59	
44. 11. 3	8	40	11	59	
45. 4. 1	8	41	10	59	
平成 11. 7. 8	8	41	10	59	市町村合併特例法の改正を施行
16. 10. 1	8	37	5	50	
16. 11. 1	9	30	4	43	
17. 1. 1	9	29	4	42	
17. 3. 22	8	25	4	37	

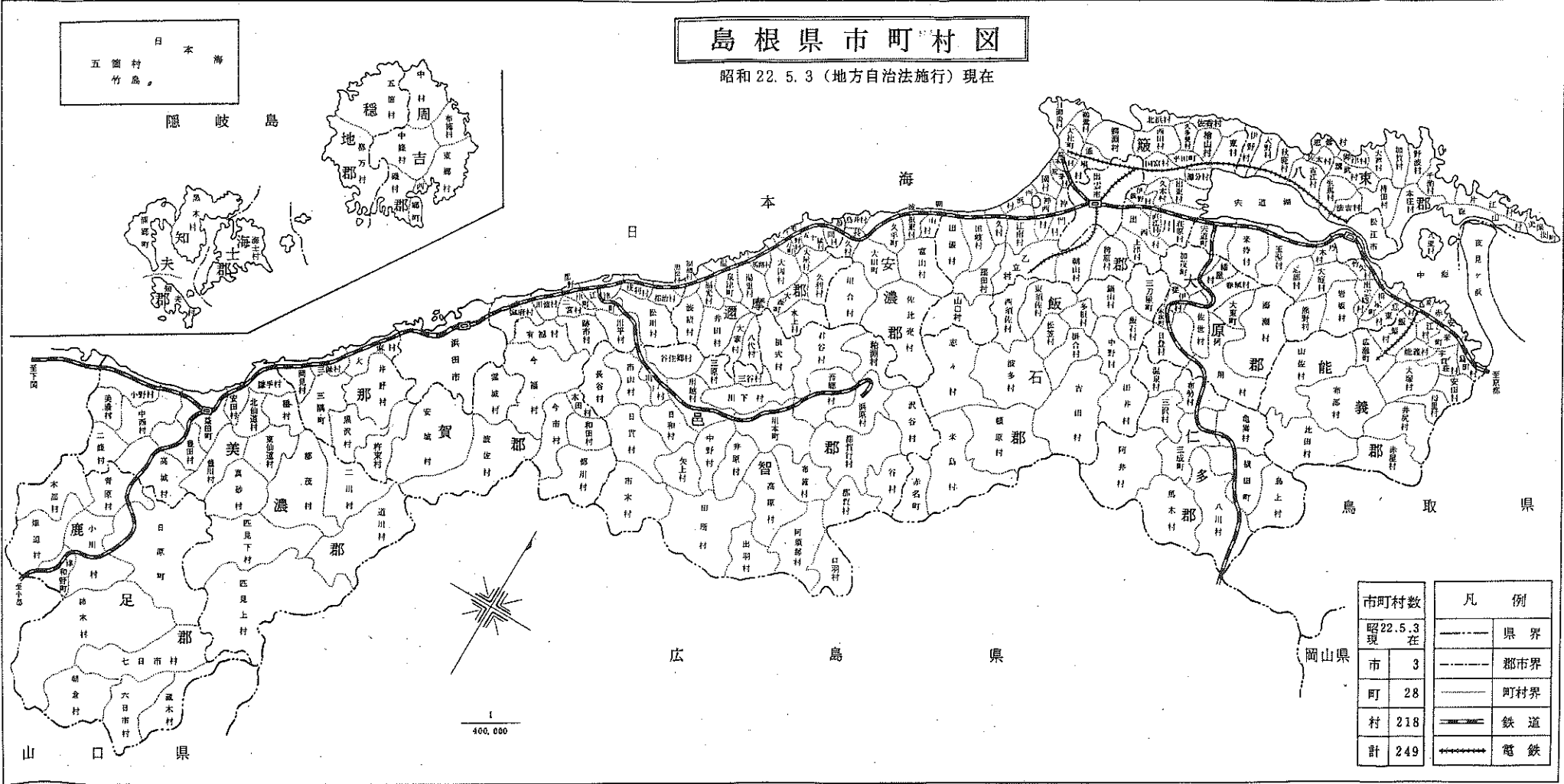
現在日	市	町	村	計	備 考
17. 3. 31	8	18	3	29	「市町村の合併の特例に関する法律」 旧 合併特例法が失効
17. 4. 1	8	18	3	29	「市町村の合併の特例等に関する法律」 新 合併特例法が施行
17. 9. 25	8	17	3	28	
17. 10. 1	8	12	1	21	
22. 4. 1	8	12	1	21	新 合併特例法の改正を施行 「市町村の合併の特例に関する法律」に 名称変更
23. 8. 1	8	11	1	20	
23. 10. 1	8	10	1	19	

IV 島根県市町村図

1. 昭和 22 年 5 月 3 日(地方自治法施行)現在
2. 昭和 62 年 2 月 1 日現在
3. 平成 18 年 3 月 31 日現在
4. 現在の白地図 (19 市町村)
現在の白地図 (19 市町村 : 59 市町村境有り)

島根県市町村図

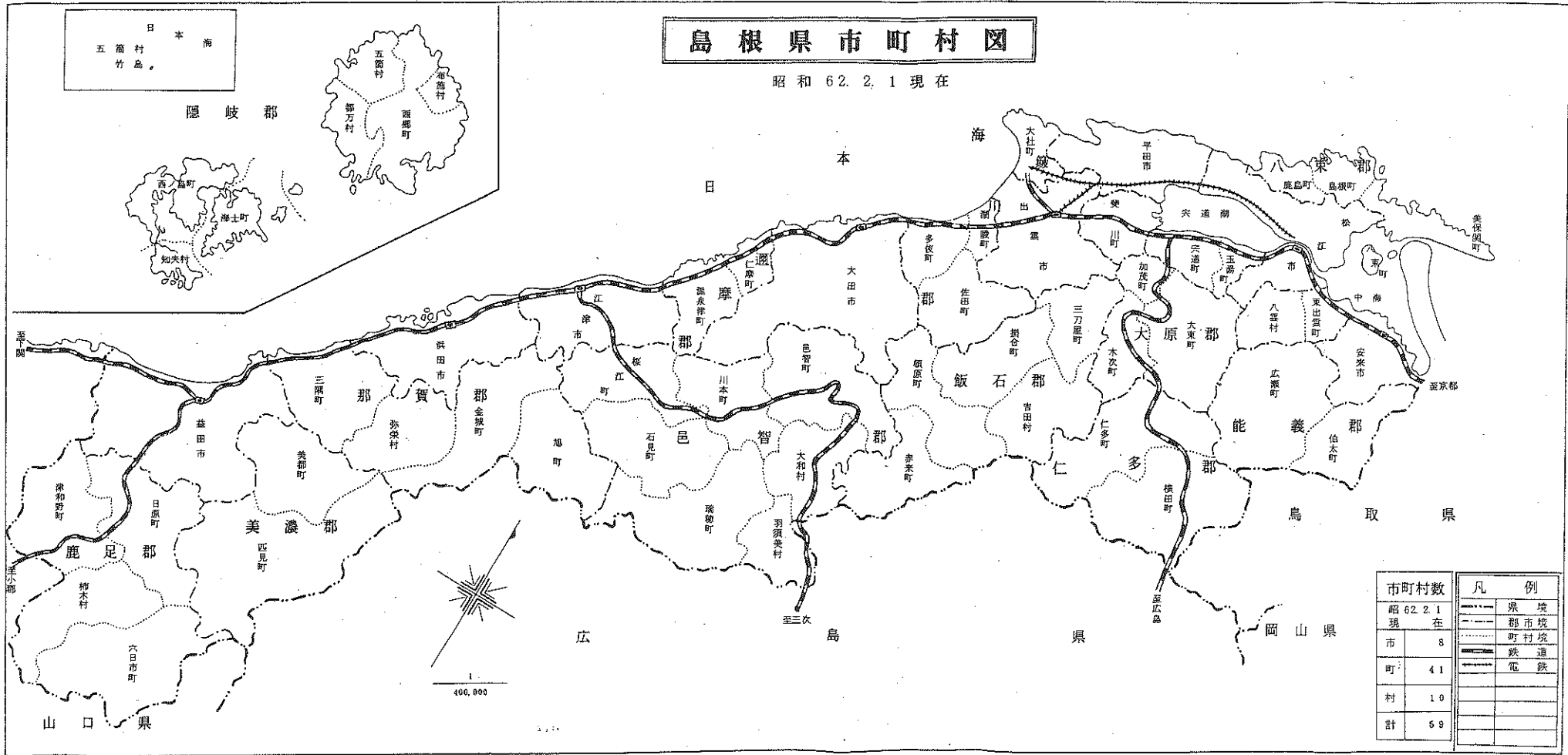
昭和22.5.3(地方自治法施行)現在



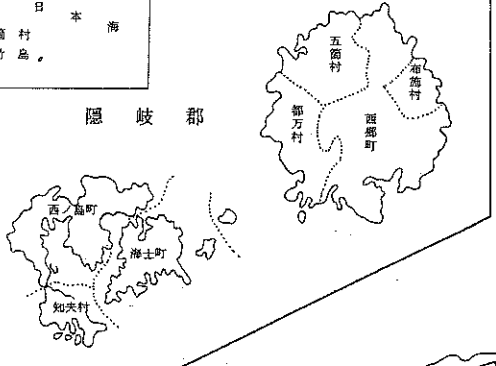
市町村数		凡例	
昭22.5.3	在	-----	県界
市	3	-----	郡市界
町	28	-----	町村界
村	218	====	鉄道
計	249	++++	電鉄

島根県市町村図

昭和 62. 2. 1 現在



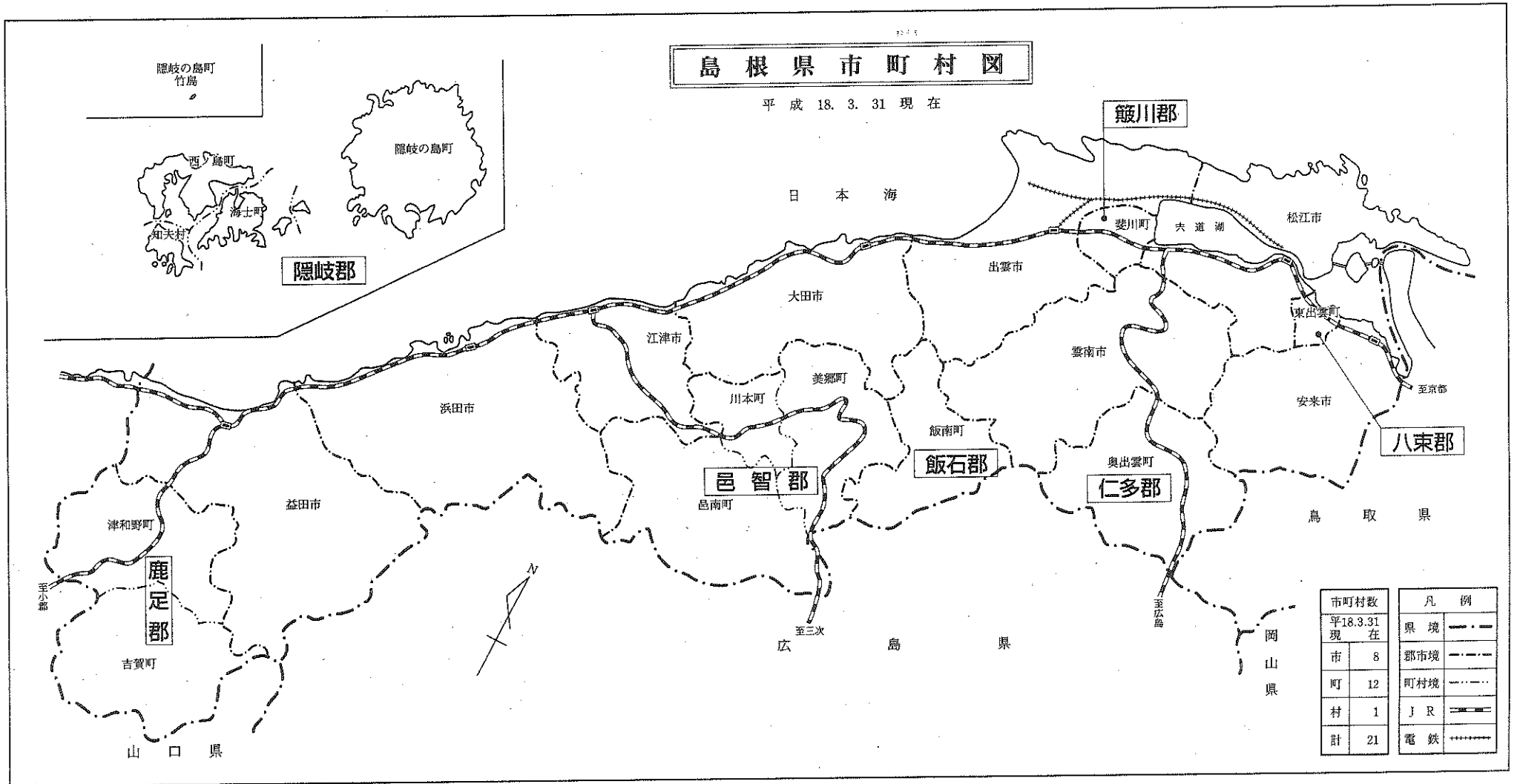
日本海
五箇村島



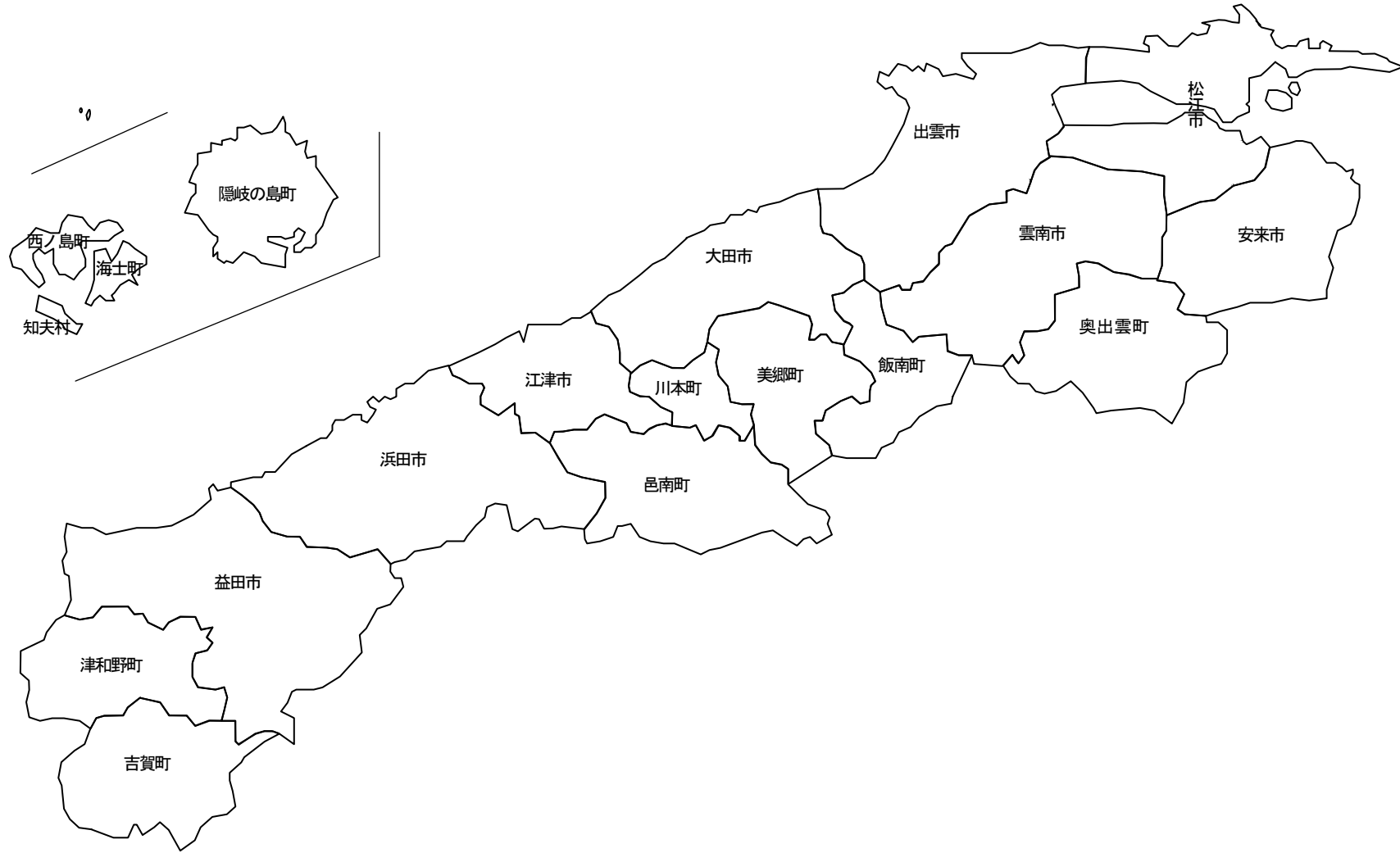
市町村数		凡 例	
昭 62. 2. 1	在	———	県 境
市	8	———	郡 市 境
町	41	———	町 村 境
村	10	———	鉄 道
計	59	———	電 鉄

島根県市町村図

平成 18. 3. 31 現在



市町村数		凡 例	
平18.3.31	現在	県 境	--- ---
市	8	郡市境	- - - - -
町	12	町村境	-·-·-·-·-
村	1	J R	====
計	21	電 鉄	+++++



西ノ島町
海士町
知夫村

隠岐の島町

濱田市

益田市

津和野町

吉賀町

江津市

川本町

美郷町

飯南町

大田市

出雲市

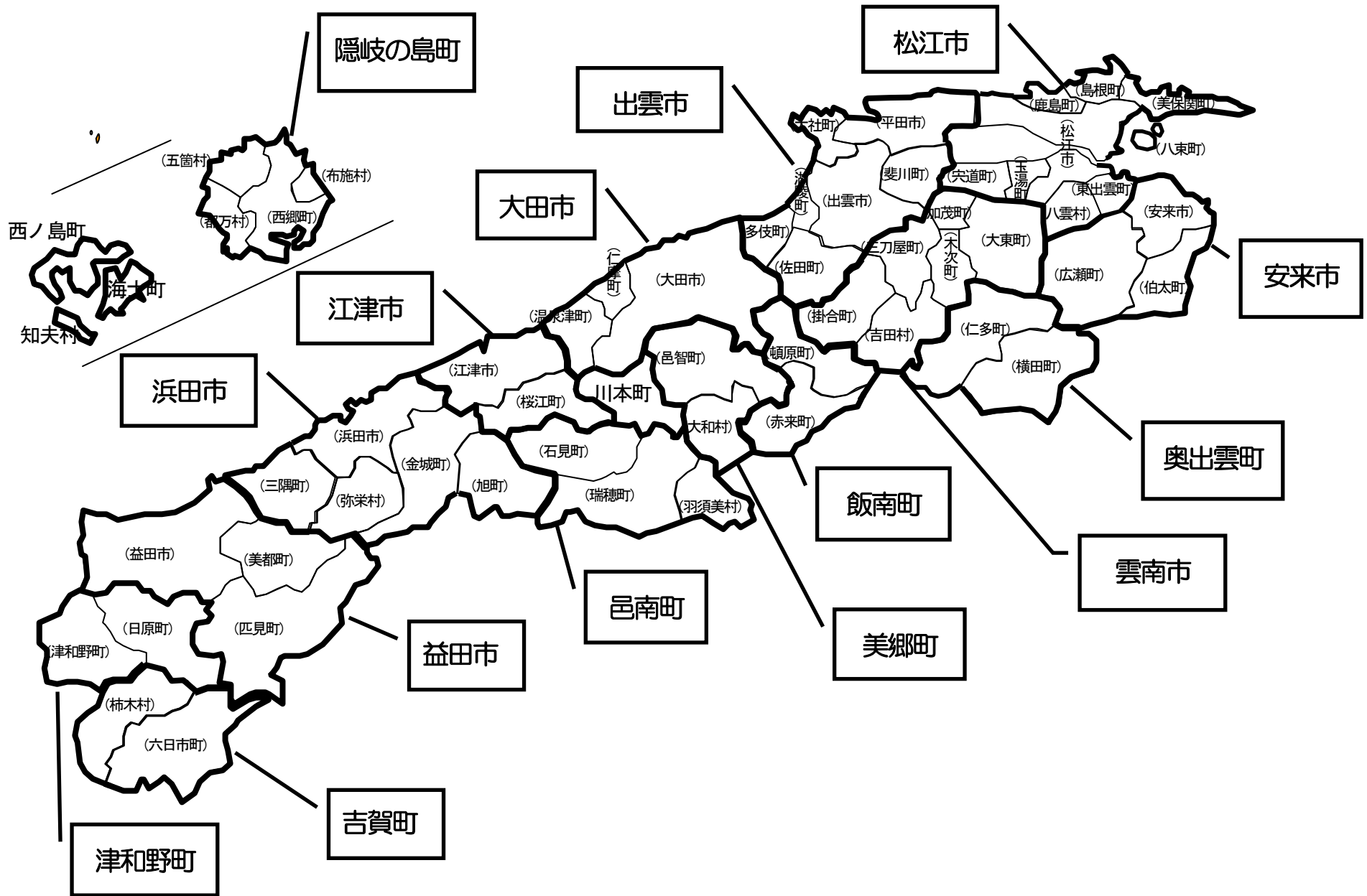
松江市

雲南市

安来市

奥出雲町

() 内は合併前の市町村名



V 市 町 村 の 概 要

郡 数 5 郡
市 町 村 数 8 市 10 町 1 村

人 口 等 の 状 況	年 月 日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人 口 (人)	742, 223	717, 397
	世 帯 数 (世帯)	260, 864	262, 219
	面 積 (km ²)	6, 707. 56	6, 707. 95

1 市 の 部

市 の 数 8 市

人 口 等 の 状 況	年 月 日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人 口 (人)	615, 043	597, 228
			東出雲町 14, 355 斐川町 27, 689
	世 帯 数 (世帯)	216, 623	218, 753
			東出雲町 4, 709 斐川町 8, 228
	面 積 (km ²)	4, 175. 28	4, 175. 64
東出雲町 42. 64 斐川町 80. 64			

※郡数・市町村数は、平成 23 年 10 月 1 日現在（平成 23 年度の市町合併後）による。

※人口及び世帯数は、それぞれH17年・H22年国勢調査の確定値による。

※面積は、それぞれ平成17年・平成22年全国都道府県市区町村別面積（国土地理院）による。

松江市



市章

「松」の字を公木とくずし、これを図案化するとともに、城址亀田山にちなみ、外郭は亀田、中は松葉を意味している。

市の花

椿、牡丹（H18.10.8 制定）

市の木

松、桜（H18.10.8 制定）

市の魚介

しじみ、鯛

（H18.10.8 制定）

年 月 日		平成17. 10. 1	平成22. 10. 1	
人口等の状況	人 口 (人)	旧松江市	196, 603	194, 258
		旧東出雲町	14, 193	14, 355
	世 帯 数 (世帯)	旧松江市	73, 717	76, 457
		旧東出雲町	4, 520	4, 709
	面 積 (km ²)	旧松江市	530. 21	530. 35
		旧東出雲町	42. 64	42. 64

〈市名の由来〉

「松江」という名称は、宝暦～明和頃(1760年前後)に出雲国内各地の事情に通じた松江藩士が著したといわれる「雲陽大数録」によると、「松江ト府名ヲ付ル事、円成寺開山春竜和尚ノ作ナリ、唐土ノ松江鱸魚ト、蔦菜ト有ルカ故名産トス、今城府モ其スンコンニ似タレバ、松江ト称」したものとされる。

〈沿革〉

当市域は、奈良時代の行政区画でいう「意宇郡^{おうのこおり}」の西半部、「島根郡」と「秋鹿郡^{あいか}」の全部に属し、北に日本海と島根半島、その内側に宍道湖と中海を抱き、古代から住みやすい地域であった。弥生時代の遺跡では、三重の環壕のある「田和山遺跡（乃白町）」、銅剣と銅鐸が出土した「志谷奥遺跡」、県内最大の古墳「山代二子塚古墳（山代町）」、「出雲玉作遺跡（玉湯町）」や奈良時代の役所「出雲国府跡（大草町）」をはじめとする古代の遺跡も多数残されており、中でも南郊、大庭・竹矢両地区には古代の山陰道に面して出雲国庁をはじめとする役所跡のほか格式高い神社や国分寺や新造院などの寺社も集中してあり、古代出雲の政治・文化の中心地として栄えたところであった。

一方、奈良時代に編纂された『古事記』や『日本書紀』そして『出雲国風土記』には出雲地方を舞台とした有名な「国ゆずり神話」、「八岐の大蛇神話」、「国引き神話」といわれる“出雲系の神話”が登場しているが、今でも出雲神話ゆかりの神社や神事が各地に残っており、古代の夢とロマンを大いに掻き立てられる。

中世・戦国時代には尼子氏と毛利氏との争奪戦が展開されたところで、「白鹿城^{しらがじょう}（尼子方）」、「荒隈城^{あらいじょう}（毛利方）」などの山城が多く築かれ、壮絶な合戦が各地で繰り広げられた。

江戸時代になると、慶長5（1600）年の関ヶ原の合戦で功績のあった堀尾吉晴^{よしはる ただうじ}、忠氏父子が出雲・隠岐両国24万石の太守に任ぜられ、広瀬^{とだじょう}の富田城に入るが新たな城地を探し、慶長11（1606）～慶長16（1611）年にかけて末次の亀田山に松江城（千鳥城）を建設すると共に周辺の湿地を埋め立てて広大な城下町を造成した。三代の忠晴^{しし}に嗣子なく堀尾家は断絶した。次に藩主となった京極忠高の時代に斐伊川が宍道湖に流入し、以来松江の城下は度々水害に悩まされることになる。

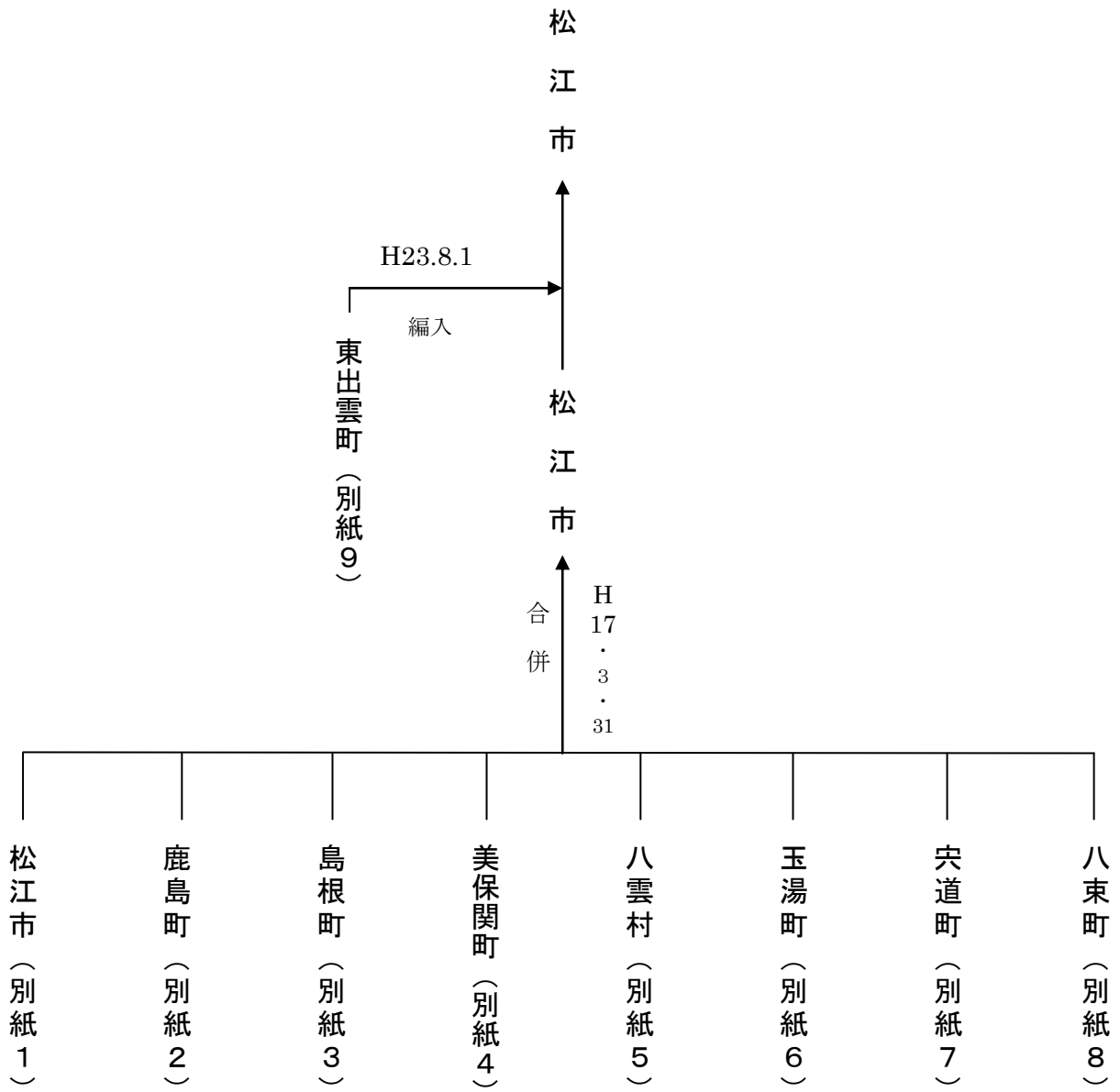
寛永15（1638）年、松本城から松平直政が転封され出雲国18万6千石の藩主として入国した。以来松平家藩主は十代続き明治維新を迎えることになる。藩政時代は、六代宗衍^{むねのぶ}と小田切備中による延享の改革、七代治郷^{はるさと ふまい}（不昧）と朝日丹波の御立派^{おたては}の2度の改革により、徹底した支出、人員の削減と殖産興業の振興が図られ、鑄鉄物、木綿、朝鮮人参、蠟燭が特産品となり大きな利益を上げ、藩の借金を完済するまでになった。

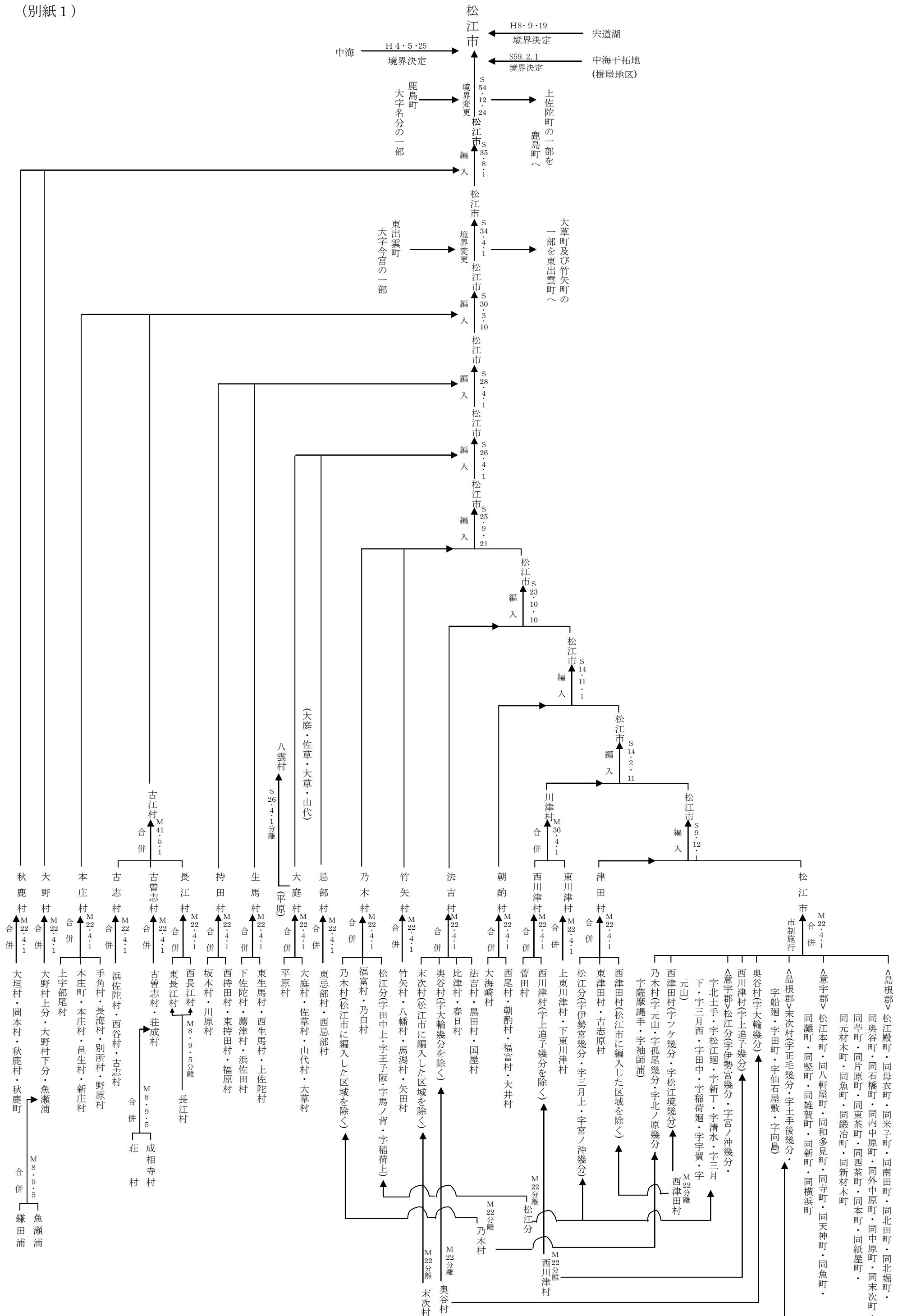
明治4年、廃藩置県により松江県となって以来、県庁所在地として重要な役割を担っ

てきた。明治22年、松江市制が施行され、その直後明治23年に松江尋常中学校の英語教師として赴任したラフカディオ・ハーン（帰化名：小泉八雲）は、日本の古き良き事物や習慣が残っている松江地方を“神国の首都”松江といい、人と町をこよなく愛し、その著作を通じて全世界に松江を紹介した。

昭和26年、ハーンの業績が高く評価され、松江市は京都、奈良に次いで3番目の「国際文化観光都市」に制定された。

昭和に入ってから周辺町村を次々と合併したが、平成17年には8市町村（松江市、鹿島町、島根町、美保関町、八束町、八雲村、玉湯町、宍道町）が合併し、平成23年に東出雲町を編入し、今日に至っている。





中海 H4・5・25 境界決定
H8・9・19 境界決定 宋道湖
S59.2.1 境界決定 中海干拓地 (楯屋地区)

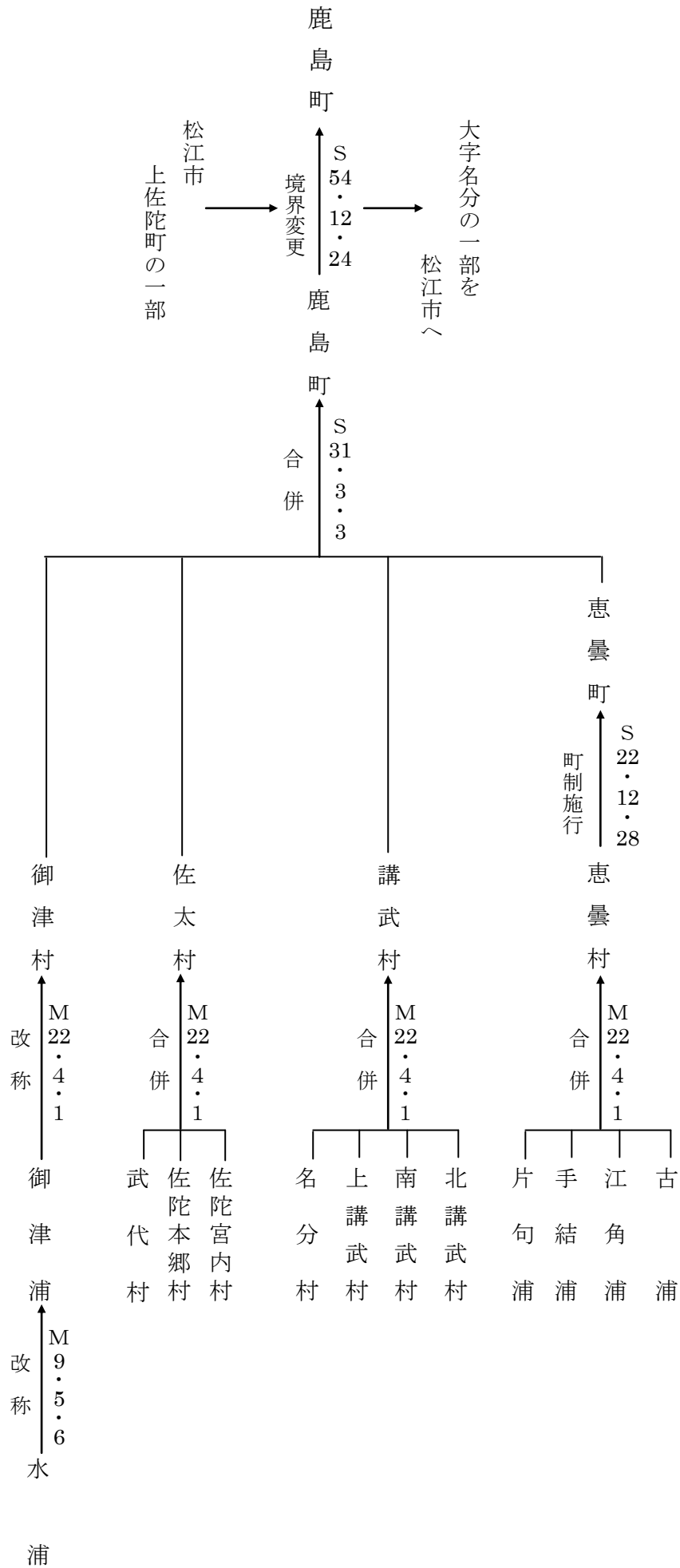
鹿島町 大字名分の一部
上佐陀町の一部を 鹿島町へ
東出雲町 大字今宮の一部
大草町及び竹矢町の一部を東出雲町へ

(大庭・佐草・大草・山代)

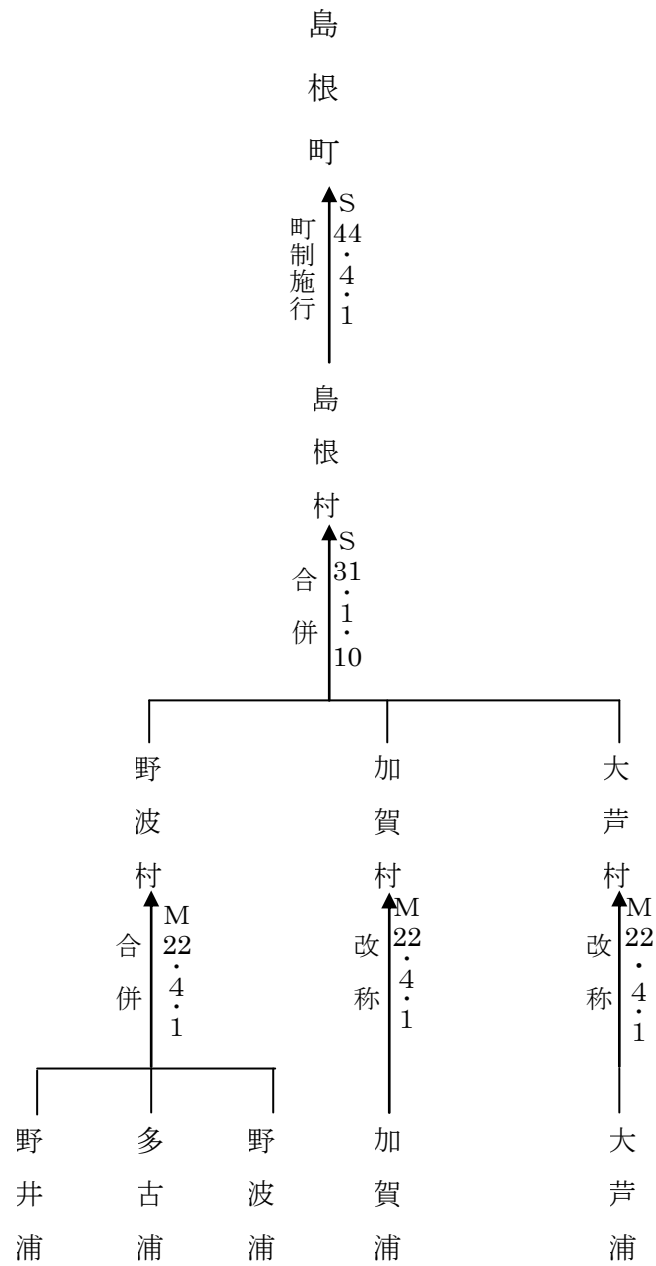
八雲村
S 26.4.1分離

- 秋鹿村 M 22.4.1 合併 大垣村・岡本村・秋鹿村・秋鹿町
 - 大野村 M 22.4.1 合併 大野村上分・大野村下分・魚瀬浦
 - 本庄村 M 22.4.1 合併 上字部尾村 本庄町・本庄村・邑生村・新庄村
 - 古志村 M 22.4.1 合併 浜佐陀村・西谷村・古志村 手角村・長海村・別所村・野原村
 - 古曾志村 M 22.4.1 合併 古曾志村・莊成村 古曾志村
 - 長江村 M 22.4.1 合併 東長江村 西長江村 坂本村・川原村 長江村
 - 持田村 M 22.4.1 合併 西持田村・東持田村・福原村
 - 生馬村 M 22.4.1 合併 東生馬村・西生馬村・上佐陀村 下佐陀村・薦津村・浜佐田村
 - 大庭村 M 22.4.1 合併 (平原) 大庭村・佐草村・山代村・大草村
 - 忌部村 M 22.4.1 合併 東忌部村・西忌部村
 - 乃木村 M 22.4.1 合併 福富村・乃白村 乃木村(松江市に編入した区域を除く)
 - 竹矢村 M 22.4.1 合併 竹矢村・八幡村・馬潟村・矢田村 松江分(字田中上・字王子阪・字馬ノ背・字稻荷上)
 - 法吉村 M 22.4.1 合併 奥谷村(字大輪幾分を除く) 比津村・春日村 法吉村・黒田村・国屋村
 - 朝酌村 M 22.4.1 合併 大海崎村 西尾村・朝酌村・福富村・大井村
 - 西川津村 M 22.4.1 合併 菅田村 西川津村(字上追子幾分を除く)
 - 東川津村 M 22.4.1 合併 上東川津村・下東川津村
 - 津田村 M 22.4.1 合併 東津田村・古志原村 松江分(字伊勢宮幾分・字三月上・字宮ノ沖幾分)
 - 松江市 M 22.4.1 合併 市制施行 西津田村(松江市に編入した区域を除く) 津田村
 - 松江市 M 9.12.1 編入 川津村 M 36.4.1 合併 西川津村(字上追子幾分を除く) 上川津村
 - 松江市 M 14.11.1 編入 西川津村(字上追子幾分) 西川津村
 - 松江市 M 14.2.11 編入 西川津村(字上追子幾分) 西川津村
 - 松江市 M 23.10.10 編入 朝酌村
 - 松江市 S 26.4.1 編入 大庭村
 - 松江市 S 28.4.1 編入 持田村
 - 松江市 S 30.3.10 編入 生馬村
 - 松江市 S 34.4.1 編入 大庭村
 - 松江市 S 35.8.1 編入 鹿島町
 - 松江市 S 54.12.24 編入 鹿島町
- △島根郡▽末次村(字正毛幾分・字土手後幾分・字船廻・字田町・字仙石屋敷・字向島)
△意宇郡▽松江分(字伊勢宮幾分・字宮ノ沖幾分・字北土手・字松江廻・字新丁・字清水・字三月下・字三月西・字田中・字稻荷廻・字字賀・字元山)
△島根郡▽西津田村(字フケ幾分・字松江境幾分) 西津田村
△島根郡▽乃木村(字元山・字孤尾幾分・字北ノ原幾分) 乃木村
△島根郡▽津田村(字松江境幾分) 津田村
△島根郡▽東津田村(松江市に編入した区域を除く) 東津田村
△島根郡▽松江分(字伊勢宮幾分・字三月上・字宮ノ沖幾分) 松江分
△島根郡▽西川津村(字上追子幾分を除く) 西川津村
△島根郡▽菅田村 菅田村
△島根郡▽西尾村・朝酌村・福富村・大井村 西尾村・朝酌村・福富村・大井村
△島根郡▽大海崎村 大海崎村
△島根郡▽法吉村・黒田村・国屋村 法吉村・黒田村・国屋村
△島根郡▽比津村・春日村 比津村・春日村
△島根郡▽奥谷村(字大輪幾分を除く) 奥谷村
△島根郡▽竹矢村・八幡村・馬潟村・矢田村 竹矢村・八幡村・馬潟村・矢田村
△島根郡▽松江分(字田中上・字王子阪・字馬ノ背・字稻荷上) 松江分
△島根郡▽乃木村(松江市に編入した区域を除く) 乃木村
△島根郡▽福富村・乃白村 福富村・乃白村
△島根郡▽東忌部村・西忌部村 東忌部村・西忌部村
△島根郡▽大庭村・佐草村・山代村・大草村 大庭村・佐草村・山代村・大草村
△島根郡▽平原村 平原村
△島根郡▽東生馬村・西生馬村・上佐陀村 東生馬村・西生馬村・上佐陀村
△島根郡▽下佐陀村・薦津村・浜佐田村 下佐陀村・薦津村・浜佐田村
△島根郡▽西持田村・東持田村・福原村 西持田村・東持田村・福原村
△島根郡▽坂本村・川原村 坂本村・川原村
△島根郡▽長江村 長江村
△島根郡▽東長江村 東長江村
△島根郡▽古曾志村・莊成村 古曾志村
△島根郡▽古志村・西谷村・古志村 古志村
△島根郡▽手角村・長海村・別所村・野原村 手角村・長海村・別所村・野原村
△島根郡▽本庄町・本庄村・邑生村・新庄村 本庄町・本庄村・邑生村・新庄村
△島根郡▽上字部尾村 上字部尾村
△島根郡▽大野村上分・大野村下分・魚瀬浦 大野村上分・大野村下分・魚瀬浦
△島根郡▽大垣村・岡本村・秋鹿村・秋鹿町 大垣村・岡本村・秋鹿村・秋鹿町

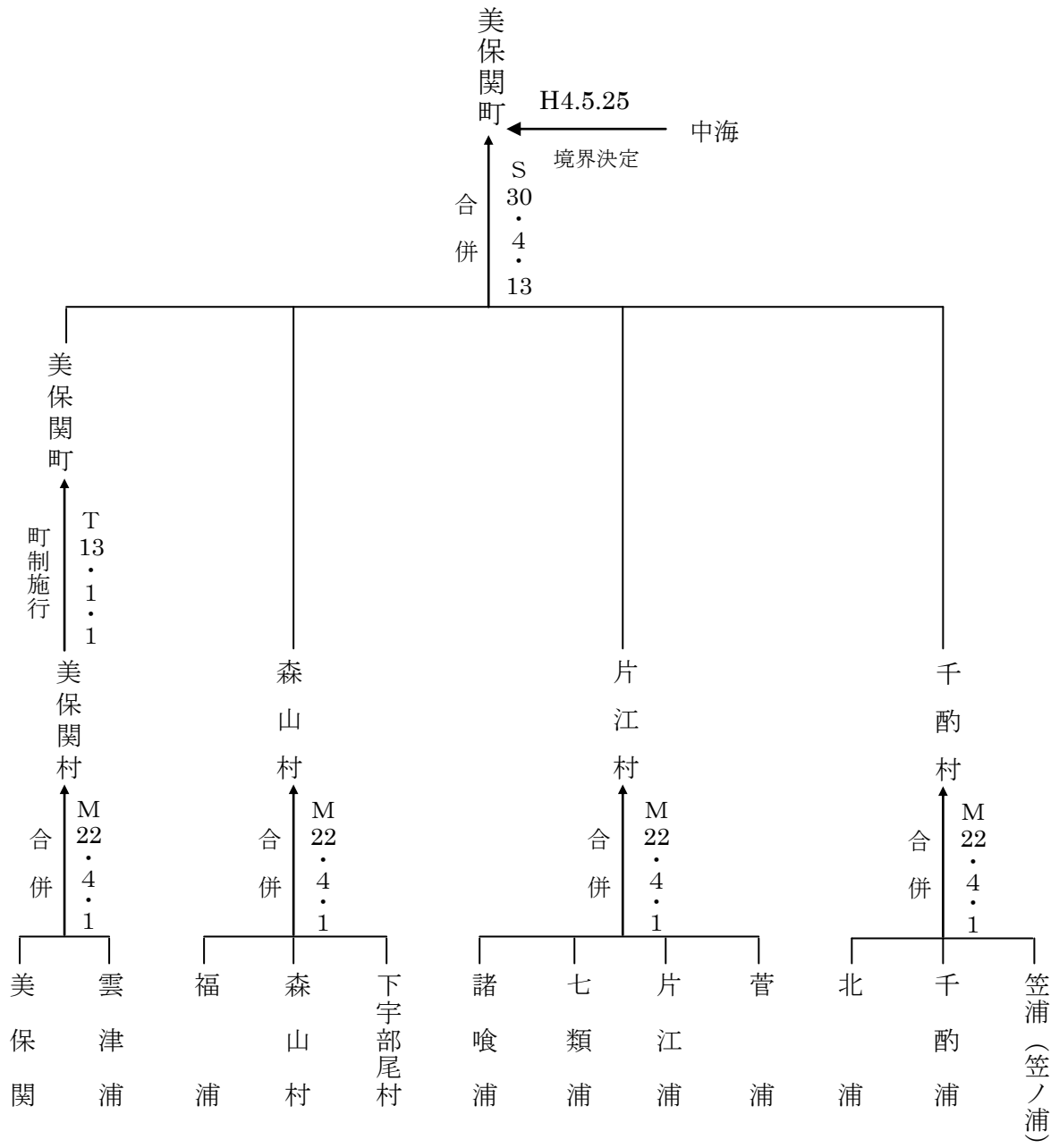
(別紙 2)



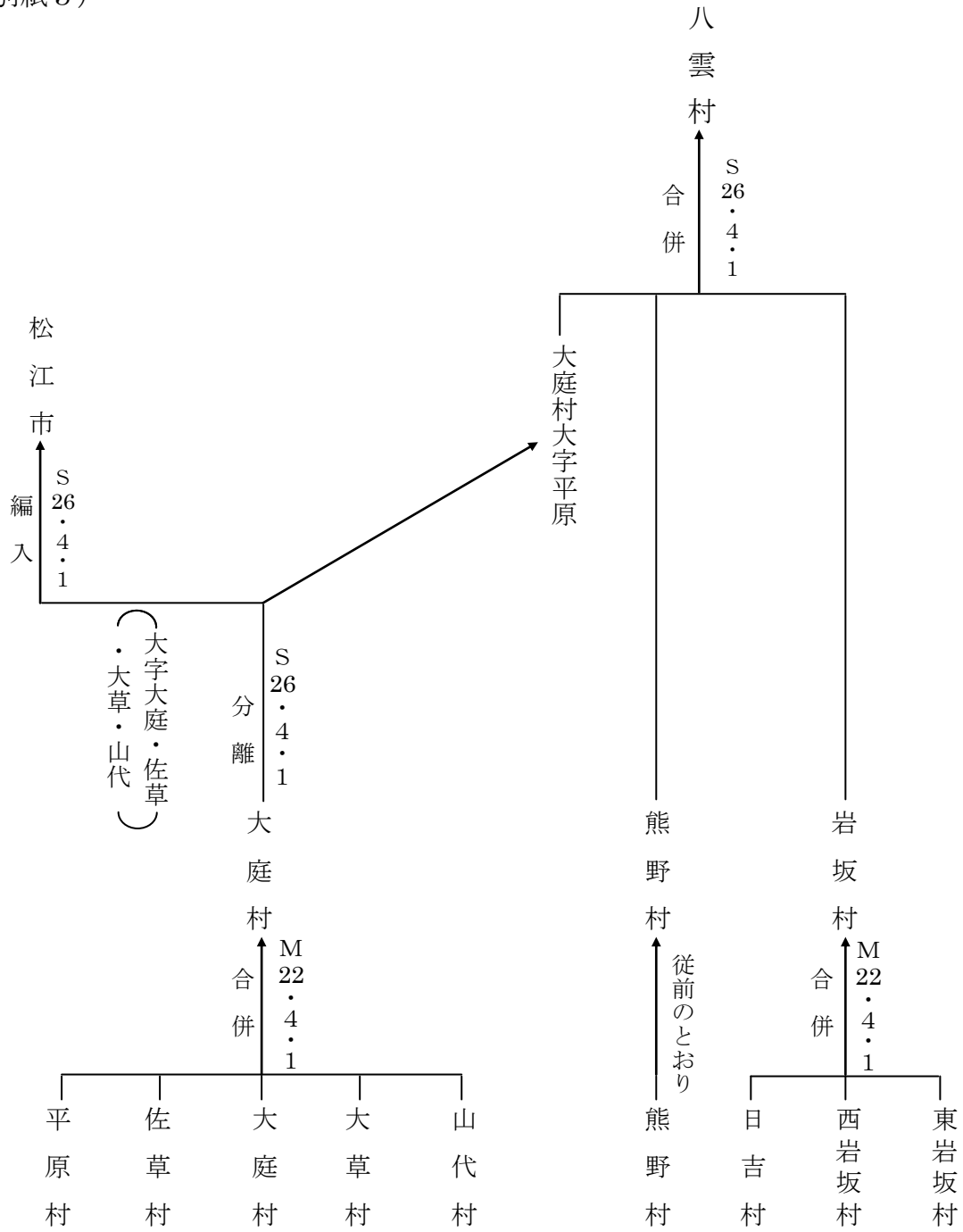
(別紙 3)



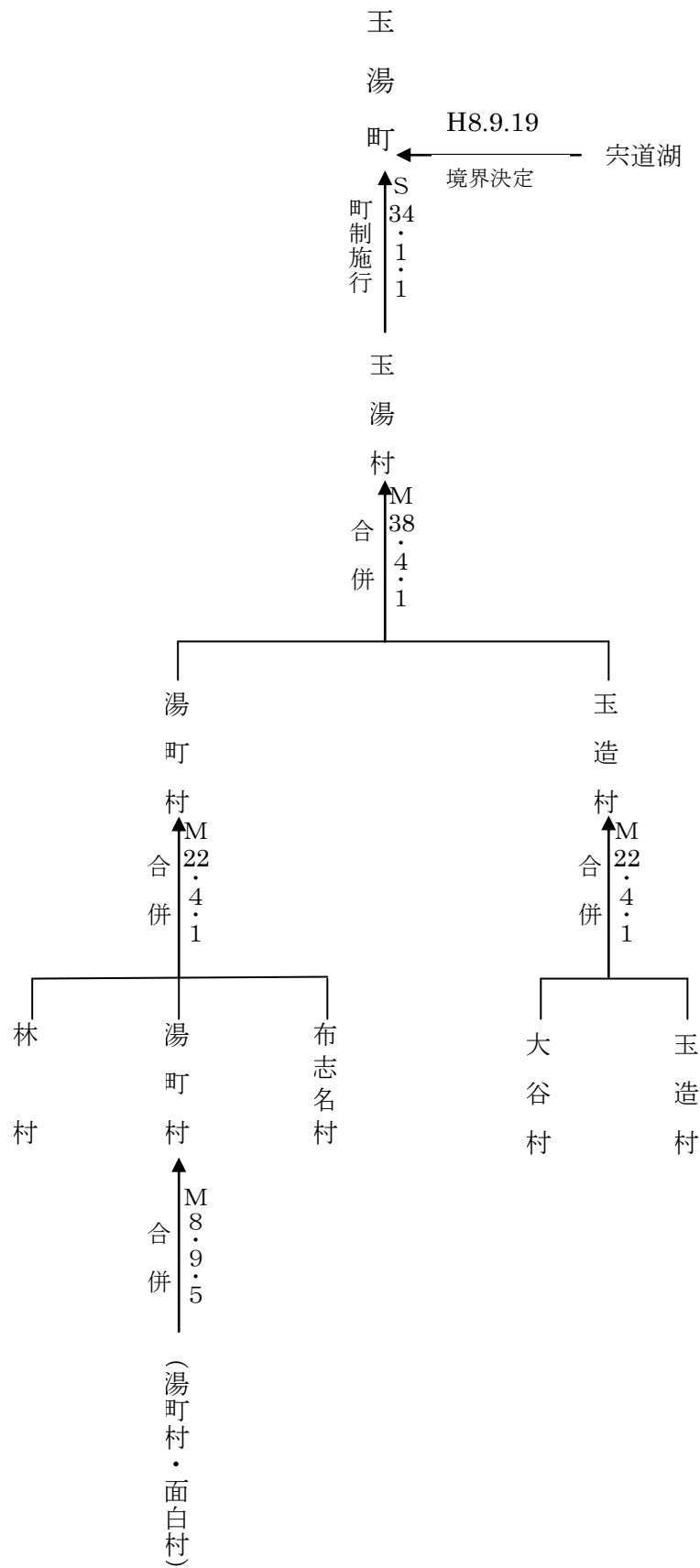
(別紙 4)



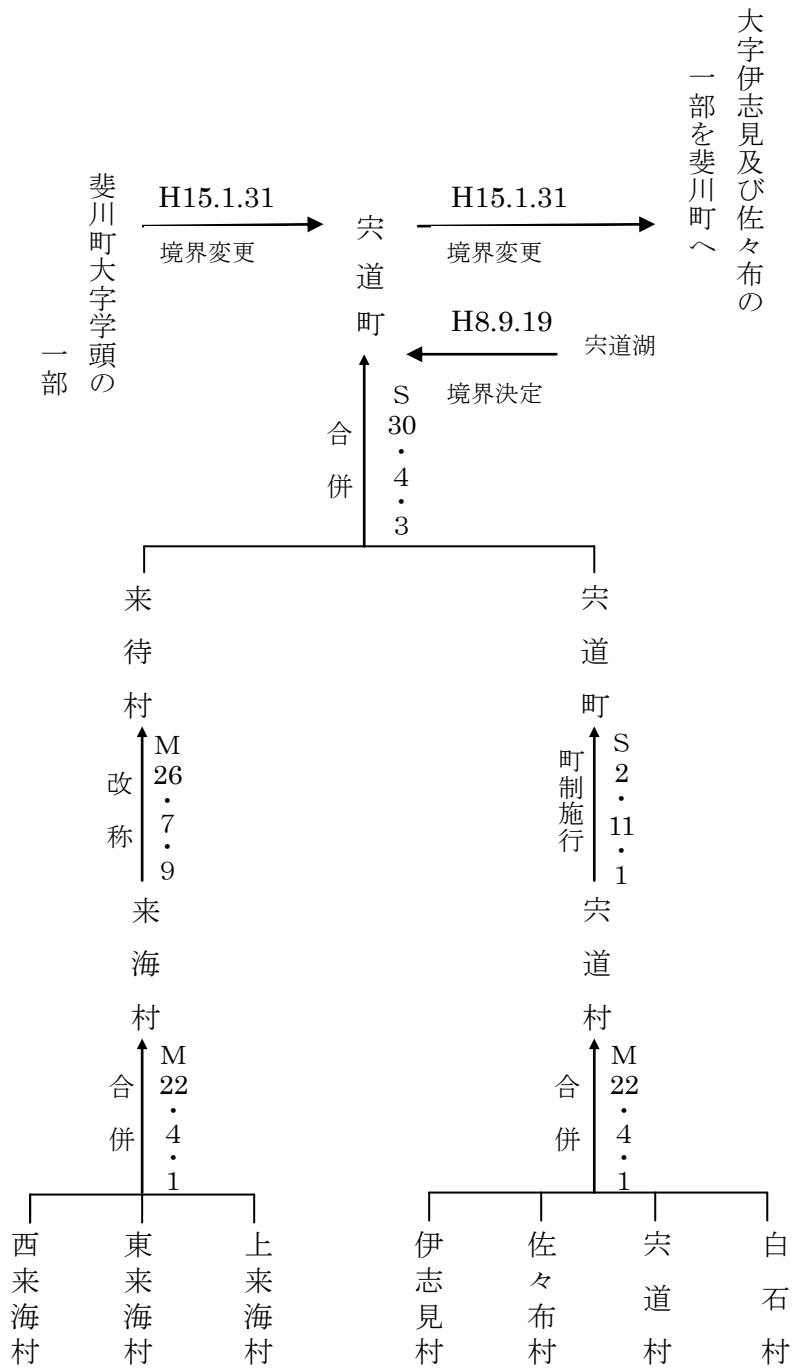
(別紙5)



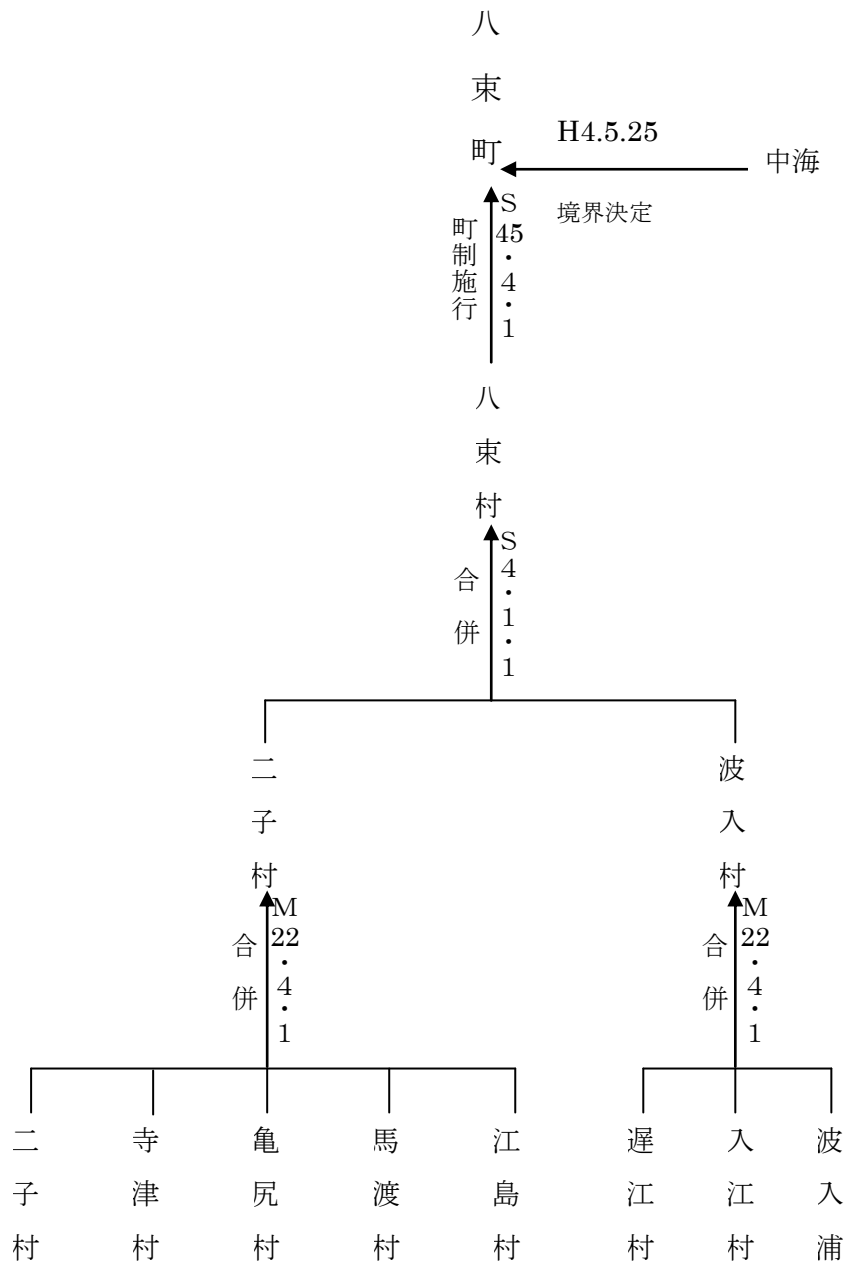
(別紙6)



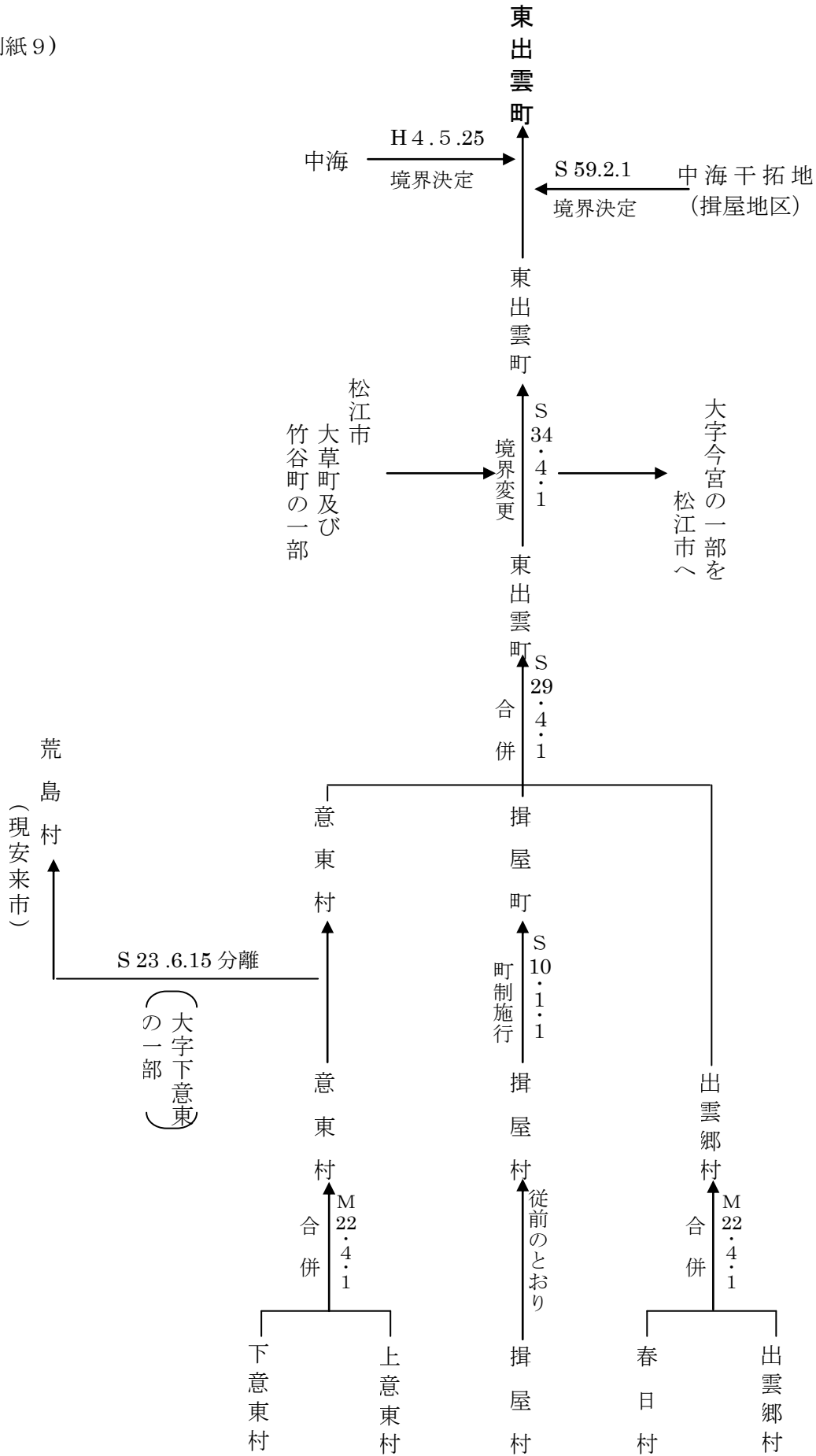
(別紙 7)



(別紙8)



(別紙 9)



市町村名		松 ^ま 江 ^つ 市 ^え 市 ^し		
市役所の位置		〒690-8540 松江市末次町 86 番地	電話番号	0852-55-5555
合併等の状況	年月日	合体編入等の別	関係市町村名	
	明 22. 4. 1	(市 制)	(松江市)	
	昭 22. 12. 28	(町 制)	恵曇村 (恵曇町)	
	23. 10. 10	編 入	法吉村	
	25. 9. 21	〃	竹矢村・乃木村	
	26. 4. 1	〃	忌部村・大庭村の一部(大字大庭・佐草・大草・山代)	
	〃	合 体	岩坂村・熊野村・大庭村の一部(大字平原) (八雲村設置)	
	28. 4. 1	編 入	生馬村・持田村	
	29. 4. 1	合 体	揖屋町・出雲郷村・意東村 (東出雲町設置)	
	30. 3. 10	編 入	古江村・本庄村	
	30. 4. 3	合 体	宍道町・来待村 (宍道町設置)	
	30. 4. 13	〃	千酌村・片江村・森山村・美保関町 (美保関町設置)	
	31. 1. 10	〃	大芦村・加賀村・野波村 (島根村設置)	
	31. 3. 3	〃	恵曇町・講武村・御津村・佐太村 (鹿島町設置)	
	34. 1. 1	(町 制)	玉湯村 (玉湯町)	
	34. 4. 1	境 界 変 更	東出雲町の一部(大字今宮の一部)、大草町及び竹矢町の一部を東出雲町へ	
	35. 8. 1	編 入	大野村・秋鹿村	
44. 4. 1	(町 制)	島根村 (島根町)		
45. 4. 1	〃	八束村 (八束町)		

松 江 市

54. 12. 24	境 界 変 更	大字名分の一部を松江市へ、上佐陀町の一部を鹿島町へ
59. 2. 1	境 界 決 定	中海干拓地(揖屋地区)
平 4. 5. 25	〃	中海(松江市・安来市・美保関町・東出雲町・八束町)
8. 9. 19	〃	宍道湖(松江市・平田市・玉湯町・宍道町・斐川町)
15. 1. 31	境 界 変 更	斐川町大字学頭の一部を宍道町へ、宍道町大字伊志見及び佐々布の一部を斐川町へ
17. 3. 31	合 体	松江市・鹿島町・島根町・美保関町・八雲村・玉湯町・宍道町・八束町
23. 8. 1	編 入	東出雲町

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称			小字の区域			
							有		廃止 済	
							全域	一部		
と の ま ち 町 殿 町		松江市 (松江市)	殿	みなみとのまち 南殿町	きたとのまち 北殿町	じょうざん 城山			○	
すえつぐほんまち 末次本町		(〃)	末次本	きょうみせ 京店	おげやちよう 桶屋町				○	
ほろまち町 母衣町		(〃)	母衣						○	
よなごまち町 米子町		(〃)	米子						○	
きたたまち町 北田町		(〃)	北田	だけみちよう 嵩見丁	きたたまちひがし 北田町東	きたたまちにし 北田町西		○		
みなみたまち町 南田町		(〃)	南田	すえひろく 末広区	みなみく 南区	なかく 中区	にしく 西区	ひがし 東区	○	
ひがしほんまちいちちようめ 東本町一丁目		(〃)	紙屋 元材 末次魚 鍛冶 新材木						○	
ひがしほんまちにちちようめ 東本町二丁目		(〃)								○
ひがしほんまちさんちちようめ 東本町三丁目		(〃)								○
ひがしほんまちよんちちようめ 東本町四丁目		(〃)								○
ひがしほんまちごちちようめ 東本町五丁目		(〃)								○
むこうじまちちよう 向島町		(〃)	向島					○		
すえつぐちちよう 末次町		(〃)	末次						○	
おまち町 苧町		(〃)	苧						○	
かたはらちちよう 片原町		(〃)	片原	にしかたはら 西片原	ひがしかたはら 東片原				○	
にしちやまち 西茶町		(〃)	西茶	なかちやまち 中茶町	にしちやまち 西茶町				○	
ひがしちやまち 東茶町		(〃)	東茶						○	
うちなばらちちよう 内中原町		(〃)	内中原	ごしゅつちちよう 御出頭町	やぶのちちよう 藪ノ丁	いっく 一区	にく 二区		○	
		(〃)		さんく 三区	よんく 四区	ごく 五区				
そとなばらちちよう 外中原町		(〃)	外中原	たかじちちよう 鷹匠町	げっしちちよう 月照寺丁	なかのちちよう 中ノ丁	みやのちちよう 宮ノ丁		○	
		(〃)		うしろちちよう 後丁	あたごした 愛宕下	せいこういんした 清光院下				
なかばらちちよう 中原町		(〃)	中原	こかたはら 小片原	ひやくしちちよう 百姓町	どてひがし 土手東	どてにし 土手西		○	
ちどりちちよう 千鳥町		(〃)		まつえ 松江しんじ湖温泉	こおんせん 小園山				—	
きたほりちちよう 北堀町		松江市 (〃)	北堀	まえちちよう 前丁	なかのちちよう 中ノ丁	うしろちちよう 後丁	あかやま 赤山	しんばし 新橋	○	
		(〃)		しおみなわて 塩見縄手	にく 二区	さんく 三区	よんく 四区	ごく 五区		

(注) 千鳥町は、宍道湖の埋立てによる町の区域

松 江 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称					小字の区域		
									有		廃止 済
									全域	一部	
いしほしちよう 石 橋 町		松 江 市 (松江市)	石 橋	いっちようめ 一丁目	にちようめ 二丁目	さんちようめ 三丁目	よんちようめ 四丁目	なわて 縄手			○
おくだにちよう 奥 谷 町		(")	奥 谷	えんめいんちよう 延命院丁	えさしちよう 餌指丁	さざえ尻	ひがしく	東 区			○
				なかく 中 区	にしく 西 区						
だいらんちよう 大 輪 町		法 吉 村 (")	奥 谷								○
すがたちよう 菅 田 町		川 津 村 (")	菅 田							○	
にしかわつちよう 西川津町		(")	西川津	いちなり 市 成	おおうちだに 大内谷	はしもと 橋 本	けんさき 剣 先			○	
				とりがい 鳥 飼	ふかまち 深 町	ゆめがおか 夢ヶ丘団地	だけみだんち 嵩見団地				
				ひがしだけみだんち ひがし嵩見団地	がくえんだいだんち 学園台団地						
				ニューがくえんだいだんち 学園台団地	がくえんだいみなみだんち 学園台南団地						
がくえんいっちようめ 学園一丁目		(")	西川津								○
がくえんにちようめ 学園二丁目		(")	菅 田								○
がくえんみなみいっちようめ 学園南一丁目		(")	北 田								○
		松 江 市 (")	向 島								○
がくえんみなみにちようめ 学園南二丁目		(")	東本町五丁目	むぎしま 麦 島	おいこ 追 子	ひがしたまち 東田町					○
		(")		むかでばし 百足橋	よしじま 葭 島						○
しもひがしかわつちよう 下東川津町		川 津 村 (")	下東川津	のき 納 佐	なかお 中 尾	そしぶ 祖子分	きたやまだんち 北山団地		○		
かみひがしかわつちよう 上東川津町		(")	上東川津	かみや 紙 谷	なんげ 南 家	しきがおか 四季ヶ丘	あじさいだんち あじさい団地			○	
ほくりようちよう 北 陵 町		持 田 村 川 津 村 (")	西川津								○
		(")	西持田								
		(")	菅 田								
にしおちよう 西 尾 町		朝 酌 村 (")	西 尾	きゃくど 客 土	ごうど 郷 土	みなお 南 尾	しんやま 新 山		○		
				にしだに 西 谷	たいようだんち 太陽団地	にしおだんち 西尾団地					
あさくみちよう 朝 酌 町		(")	朝 酌	やだ 矢 田	いちのはら 一ノ原					○	
ふくとみちよう 福 富 町		(")	福 富							○	
おおいちよう 大 井 町		(")	大 井							○	
おおみさきちよう 大 海 崎 町		(")	大 海 崎						○		
ほつきちよう 法 吉 町		法 吉 村 (")	法 吉	ほつき 法 吉	おおざかえ 大 界	くまい 久 米	だいにしゅうほくだい 第二湊北台			○	
				ひがししゅうほくだい 東湊北台							

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		
					有		廃止済
					全域	一部	
うぐいすだい		法吉村 (松江市)	法吉				○
にしほつきちよう		(")	法吉	ほつきだんち 法吉団地			○
しょうほくだい		(")	法奥 吉谷				○
かすがちよう		(")	春日	かすがきゅう かすがしん いっく にく さんく 春日旧 春日新 一区 二区 三区	○		
くろだちよう		(")	黒田	にしばら くろだ 西原 黒田		○	
すなごちよう		(")	末次	いっく にく ごく 一区 二区 五区	○		
どうがたちよう		(")	国屋	どうがたひがし どうがたにし 堂形東 堂形西		○	
くやちよう		(")	国末 屋次	くやかみ くやしも ひがしなんべいだい しんくやだんち 国屋上 国屋下 東南平台 新国屋団地		○	
				しんとねりだんち 新とねり団地			
なんべいだい		(")	国屋	なんべいだい なんべいだいにく なんべいだいさんく 南平台 南平台2区 南平台3区			○
ひつちよう		(")	比津			○	
ひつがおかいちちようめ		(")	比法 津吉				○
ひつがおかにちちようめ		(")					○
ひつがおかさちちようめ		(")					○
ひつがおかよんちちようめ		(")					○
ひつがおかごちちようめ		(")		みなみひつがおかだんち 南比津が丘団地			○
はまさだちよう		生馬村 (")	浜佐田	はまさだかみ はまさだなだ しいのきだんち 浜佐田上 浜佐田灘 椎ノ木団地		○	
こもつちよう		(")	薦津	こもつ きやくのおじゅうたく なお 薦津 客ノ尾住宅 名尾	○		
ひがしいくまちちよう		(")	東生馬	いばら いくま おかだんち 井原 生馬が丘団地		○	
にしいくまちちよう		(")	西生馬	な お にしのたに しょうえんだんち 名尾 西ノ谷 淞苑団地		○	
しもさだちよう		(")	下佐陀	しもさだかみ しもさだしも 下佐陀上 下佐陀下	○		
かみさだちよう		(")	上佐陀		○		
にしもちだちちよう		持田村 (")	西持田	わだ かめお ひよし おぐら 和田 亀尾 日吉 小倉		○	
				たけさき たけさきだんち そぼたけ 竹崎 竹崎団地 祖母畑			
ひがしもちだちちよう		(")	東持田	のうぞう いしの おおた いごぎゅう 納蔵 石野 太田 以後後久		○	

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称			小字の区域				
							有		廃止 済		
							全域	一部			
東持田町		持田村 (松江市)	東持田	平成ニュータウン				○			
坂本町		(〃)	坂本	坂本上	坂本中	坂本下	○				
福原町		(〃)	福原				○				
川原町		(〃)	川原				○				
西浜佐陀町		古江村 (〃)	浜佐陀	寺津	平松	中口	東口		○		
				浜佐陀団地	湖北団地	蔵京団地					
古志町		(〃)	古志	野間	峯垣	小畑	中古志	下古志	○		
西谷町		(〃)	西谷	牛切	上組	下西	下東	○			
荘成町		(〃)	荘成	成相寺	荘				○		
古曾志町		(〃)	古曾志	大塚	上組	下組	奥組	○			
				新古曾志団地	朝日ヶ丘団地						
打出町		(〃)							—		
東長江町		(〃)	東長江	灘西	灘東	中組	舞木	○			
西長江町		(〃)	西長江	灘組	坂本	中組	広垣	○			
				奥組	上組						
上宇部尾町		本庄村 (〃)	上宇部尾				○				
新庄町		(〃)	新庄	新庄	原				○		
上本庄町		(〃)	本庄村	川部	山崎	木並	山本	大南	○		
本庄町		(〃)	本庄	田中丁	北丁	南丁				○	
邑生町		(〃)	邑生	邑生灘				○			
野原町		(〃)	野原				○				
枕木町		(〃)	別所	別所				○			
長海町		(〃)	長海	灘				○			
手角町		(〃)	手角				○				

(注) 打出町は、宍道湖の埋立てによる町の区域

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域			
								有		廃止 済	
								全域	一部		
秋鹿町		秋鹿村 (松江市)	秋鹿	井神 六つ坊	ほんだに谷 あしお尾	なかくみ組 まち	やまなか 山中	○			
岡本町		(〃)	岡本	しもおか 下岡	かみおか 上岡			○			
大垣町		(〃)	大垣	なばら 名原	かみより 上寄	ふかわ 布川				○	
大野町		大野村 (〃)	大野下分	つのもり 津乃森	やまなか 山中	とのやま 殿山	かみねお 上根尾	ほそばら 細原			○
上大野町		(〃)	大野上分	なかのて 中ノ手	どい居 土居	ひがしむら 東村	にしのむら 西ノ村	なかがわ 中川			○
魚瀬町		(〃)	魚瀬	おのぜ 魚瀬	かまだ 鎌田				○		
八軒屋町		松江市 (〃)	八軒屋								○
白瀉本町		(〃)	白瀉本								○
魚町		(〃)	魚								○
灘町		(〃)	灘								○
天神町		(〃)	天神								○
寺町		(〃)	寺	みなみてらまち 南寺町	きたてらまち 北寺町	まんだいちょう 万代町	しょうわまち 昭和町	にんじんかた 人蓼方			○
和多見町		(〃)	和多見								○
伊勢宮町		(〃)	伊勢宮								○
御手船場町		(〃)	御手船場								○
朝日町		(〃)	朝日	きたく区 北区	みなみぐちどおり 南口通	ちゅうおうく 中央区	みなみひがしく 南東区				○
大正町		(〃)	大正								○
東朝日町		津田村 (〃)	松江分	みやのおき 宮ノ沖	こはま 小浜	いっく区 一区	にく区 二区				○
津田町		松江市 (〃)	津田	さんく区 三区	よんく区 四区						○
新雑賀町		(〃)	新雑賀	しんさいかまちひがし 新雑賀町東	しんさいかまちにし 新雑賀町西						○
雑賀町		(〃)	雑賀	さいかほんまち 雑賀本町	さいかよこばま 雑賀横浜	つだかいどう 津田街道	じぎょうば 地行場				○
				あいおいちょう 相生町	めつきちょう 売豆紀丁	たなか 田中	しょうぎざん 床几山				

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称			小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
ほんごうちょう 本郷町		松江市 (松江市)	本郷						○
たてまち 堅町		〃 (〃)	堅						○
よこばまちょう 横浜町		〃 (〃)	横浜						○
しんまち 新町		〃 (〃)	新					○	
まつおちょう 松尾町		〃 (〃)	松尾					○	
さかえまち 栄町		〃 (〃)	栄					○	
さいわいまち 幸町		〃 (〃)	幸	さいわいまち 幸町	さいわいまち 幸北			○	
そでしちょう 袖師町		〃							—
にしつだいちちようめ 西津田一丁目		津田村 (〃)	西津田						○
にしつだにちちようめ 西津田二丁目		〃 (〃)	西津田 東津田	はまのまえ 浜ノ前					○
にしつださんちちようめ 西津田三丁目		〃 (〃)	〃	しろのまえ 城ノ前	もりわき 森脇	おかじゆうたく 岡住宅			○
にしつだよんちちようめ 西津田四丁目		〃 (〃)	西津田	しろのまえ 城ノ前					○
にしつだごちちようめ 西津田五丁目		〃 (〃)	〃	しろのまえ 城ノ前	あみだ 阿弥陀	みどりがおか 翠ヶ丘			○
にしつだろくちちようめ 西津田六丁目		〃 (〃)	西津田	あみだ 阿弥陀	みどりがおか 翠ヶ丘				○
にしつだななちちようめ 西津田七丁目		〃 (〃)	〃	みつきだんち 美月団地	しんくみ 新組				○
にしつだはちちちようめ 西津田八丁目		〃 (〃)	〃	みつきだんち 美月団地					○
にしつだきゅうちちようめ 西津田九丁目		〃 (〃)	〃	しろのまえ 城ノ前	おおやしろ 大山代				○
にしつだじゅうちちようめ 西津田十丁目		〃 (〃)	西津田 東津田 古志原	しろのまえ 城ノ前	みょうじん 明神	つつじがおか つつじヶ丘			○
				ヒルズガーデン にしつだ 西津田					
ひがしつだちちよう 東津田町		〃 (〃)	東津田	あげたに 上谷	とうこうだい 東光台	もりわき 森脇	どうのまえ 堂ノ前	○	
				はぜおか ハゼ岡	むこうぐち 向口	ちゅうおうだんち 中央団地	にしやまだんち 西山団地		
				しょうとうだい 濠東台	すみやま 隅山	はみがだに 喰ヶ谷	たかひだんち 高日団地		
こしばらいちちちようめ 古志原一丁目		〃 (〃)	古志原 東津田 上乃木						
こしばらにちちちようめ 古志原二丁目		〃 (〃)	西津田	きぼうがおか 希望ヶ丘					
こしばらさんちちちようめ 古志原三丁目		〃 (〃)		こしばら 古志原	レイクタウン				

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域			
					有		廃止済	
					全域	一部		
古志原四丁目		津田村 (松江市)	古志原 東津田				○	
古志原五丁目		津田村 大庭村 (〃)	上乃木 西津田 山代				○	
古志原六丁目		津田村 (〃)	大庭	ひがしこうなんだんだんち 東香南台団地	こうなんだんち 香南団地		○	
古志原七丁目		(〃)		古志原団地	むこうやまだんち 向山団地	かほりヶ丘だんち かほりヶ丘団地	○	
八雲台一丁目		乃木村 大庭村 (〃)	乃木 大庭				○	
八雲台二丁目		(〃)		やくもだにあさひがおか 八雲台旭ヶ丘			○	
一の谷町		大庭村 (〃)	大庭				○	
矢田町		竹矢村 (〃)	矢田	まな井 真名井	やだ 矢田	なかやだ 中矢田	かみやだ 上矢田	○
青葉台		(〃)	矢田 矢				○	
竹矢町		(〃)	竹矢	かわむこう 川向	だいもん 大門	なかちくや 中竹矢	かみちくや 上竹矢	○
				いのおく 井ノ奥	てま 手間	いで 井出		
意字町		(一)	一				—	
馬潟町		竹矢村 (〃)	馬潟	やわただんち 八幡団地	ふじみがおか 富士見丘	こくぶんじだんち 国分寺団地	まかた 馬潟	○
八幡町		(〃)	八幡	はまぶん 浜分	やまみや 山宮	みやうち 宮内	なだぶん 灘分	○
富士見町		(〃)		てっこうだんち 鉄工団地			—	
上乃木一丁目		乃木村 松江市 (〃)	上乃木 雑賀				○	
上乃木二丁目		乃木村 (〃)	浜乃木 松尾				○	
上乃木三丁目		(〃)	西津田				○	
上乃木四丁目		(〃)					○	
上乃木五丁目		乃木村 松江市 津田村 (〃)					○	
上乃木六丁目		乃木村 (〃)					○	
上乃木七丁目		(〃)					○	

(注) 意字町、富士見町は、中海の埋立てによる町の区域

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域			
					有		廃止 済	
					全域	一部		
あげのぎはっちようめ 上乃木八丁目		乃木村 (松江市)					○	
あげのぎきゅうちようめ 上乃木九丁目		〃 (〃)					○	
あげのぎじゅうちようめ 上乃木十丁目		〃 (〃)	上乃木	みなみがくえんだいだんち 南学園台団地			○	
はまのぎちよう 浜乃木町		〃 (〃)	浜乃木			○		
はまのぎいちちようめ 浜乃木一丁目		〃 (〃)	浜乃木				○	
はまのぎにちちようめ 浜乃木二丁目		〃 (〃)	上乃木 乃木福富 乃 白	えきまえ たに あおき 駅前 谷 青木			○	
はまのぎさんちようめ 浜乃木三丁目		〃 (〃)					○	
はまのぎよんちちようめ 浜乃木四丁目		〃 (〃)		こなんだんち 湖南団地			○	
はまのぎごちちようめ 浜乃木五丁目		〃 (〃)					○	
はまのぎろくちちようめ 浜乃木六丁目		〃 (〃)		やそり 八曾利			○	
はまのぎなちちようめ 浜乃木七丁目		〃 (〃)					○	
はまのぎはっちちようめ 浜乃木八丁目		〃 (〃)					○	
よめしまちちよう 嫁島町		(〃)					—	
にしよめしまいちちようめ 西嫁島一丁目		(〃)					—	
にしよめしまにちちようめ 西嫁島二丁目		(〃)					—	
にしよめしまさんちちようめ 西嫁島三丁目		(〃)					—	
のぎふくとみちちよう 乃木福富町		乃木村 (〃)	福 富	しんじこ 宍道湖ニュータウン	みのりがおか みのりが丘	ふくとみだんち 福富団地	○	
たわやまちちよう 田和山町		〃 (〃)	乃木福富 浜乃木				○	
のしらちちよう 乃白町		〃 (〃)	乃 白	た わ た な か のしら 田 和 田 中 乃白	シンフォニータウン	さくらだい 桜台	○	
へいせいちちよう 平成町		大庭村 (〃)	大 庭				○	
おおばちちよう 大庭町		〃 (〃)	大 庭	ちようじやばら 長者原	だんぼら 団原	くろだうお 黒田畦	なかのしま 中ノ島	○
				やまさき 山崎	むこうやま 向山	こばら 小原	きたはら 北原	
				かみでん 神田	ふかだ 深田	おおさわ 大沢	やえがきだんち 八重垣団地	

(注) 嫁島町・西嫁島一丁目・西嫁島二丁目・西嫁島三丁目は、宍道湖の埋立てによる町の区域

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
								有		廃止 済
								全域	一部	
佐草町 さくさちよう		大庭村 (松江市)	佐草	南口	大瀬戸	空ノ原	西口	○		
				井戸路	時石	高岡	橋端			
				林原	山口	佐草西				
大草町 おおくさちよう		(")	大草	有	坪ノ内	中島		○		
山代町 やましろうちよう		(")	山代	本郷	後分	井出平	来美		○	
				鼻曲	中曾根	宝谷	茶臼山			
				山代台団地	湖東台団地	瑞穂団地				
東忌部町 ひがしいんべちよう		忌部村 (")	東忌部	千本	大谷	平口	宮内		○	
				熊山	大川端	榎山	希望ヶ丘			
				中戸	白岩	千本つつじヶ丘				
西忌部町 にしいんべちよう		(")	西忌部	大向	中組	柳原	堂廻		○	
				一崎	下忌部	開拓	空山			
				客ヶ丘	希望ヶ丘					
鹿島町 かしまちよう	えとも 恵曇	恵曇町 (鹿島町)	江角	柿添	福野	元番所脇	南組	○		
				北組	奥田					
" "	こうら 古浦	(")	古浦	砂山	本通	後通	宮山	○		
				馬のうみ道	宮み道	宮後道	古寺跡			
" "	たゆ 手結	(")	手結	上組	下組	中組		○		
" "	かたく 片匂	(")	片匂	登り	大向	渡ヶ夕八		○		
" "	たけだい 武代	(")	武代	武代本区	曲がり	昭栄区		○		
" "	さだほんこう 佐陀本郷	(")	佐陀本郷	志戸	客土	峯谷	畑垣	○		
				深田	根連木	廻谷				

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
								有		廃止済
								全域	一部	
鹿島町	佐陀宮内	恵曇町 (鹿島町)	佐陀宮内	大場	市場	すみひろおか 角広岡	どいがき 土井垣	○		
				かいじろさん 海地呂山	なかた 仲田					
〃	名分	講武村 (〃)	名分	湯戸	一矢	なぬかいち 七日市		○		
〃	南講武	(〃)	南講武	きたがわ 北側	みなみがわ 南側	こたに 小谷	てらだに 寺谷	○		
				しもくみ 下組						
〃	北講武	(〃)	北講武	かせわ 柏	にしだに 西谷	おさか 尾坂		○		
〃	上講武	(〃)	上講武	やまおく 山奥	しみず 清水	いしづ 石津	ふるとん 古殿	○		
				たちばな 立花						
〃	御津	(〃)	御津	にしちよう 西丁	いなりちよう 稲荷丁	かいどうちよう 海道丁	おおちよう 大丁	○		
				かどちよう 門田丁	かじやちよう 鍛冶屋丁	ひがしちよう 東丁	こえどう 越堂			
島根町	大芦	大芦村 (島根町)	大芦	みどり 海鳥	にれぎ 榆木	はま 浜	おうぐ 小具	○		
				きたがき 北垣	かきのうち 垣之内	おわしべつしよ 大芦別所				
〃	加賀	加賀村 (〃)	加賀	はま 浜	かかべつしよ 加賀別所	さなみ 佐波		○		
〃	野波	野波村 (〃)	野波	のなみ 野波	こなみ 小波	せざき 瀬崎		○		
〃	多古	(〃)	多古	たご 多古	おきどまり 沖泊					○
〃	野井	(〃)	野井							○
美保関町	笠浦	千酌村 (美保関町)	笠浦							○
〃	千酌	(〃)	千酌							○
〃	北浦	(〃)	北浦	いなずみ 稲積	きたうら 北浦					○
〃	菅浦	片江村 (〃)	菅浦							○
〃	片江	(〃)	片江	さきこ 笹子	かたえ 片江					○
〃	七類	(〃)	七類	そうず 惣津	しちるい 七類					○
〃	諸喰	(〃)	諸喰	ほうだ 法田	もろくい 諸喰					○

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
								有		廃止済
								全域	一部	
美保関町 <small>みほのせきちよう</small>	美保関 <small>みほのせき</small>	美保関町 (美保関町)	美保関	加鼻 <small>かばな</small>	美保小路 <small>みほこうじ</small>	月名小路 <small>つきなこうじ</small>	泊 <small>とまり</small>			○
				小路 <small>こうじ</small>	四谷 <small>よたに</small>	西小路 <small>にしこうじ</small>	才 <small>さい</small>			
				軽尾 <small>かるび</small>	杵井 <small>もくい</small>	長浜 <small>ながはま</small>	風ヶ浦 <small>かぜがうら</small>			
				小畑 <small>こばたけ</small>	海崎 <small>かいざき</small>	中浦小路 <small>なかうらこうじ</small>				
〃	雲津 <small>くもつ</small>	〃 (〃)	雲津							○
〃	福浦 <small>ふくうら</small>	森山村 (〃)	福浦	長浜 <small>ながはま</small>	男鹿 <small>おしし</small>	宮谷 <small>みやのたに</small>	玉井 <small>たまい</small>			○
				大福浦 <small>おおふくうら</small>	小福浦 <small>こふくうら</small>					
〃	森山 <small>もりやま</small>	〃 (〃)	森山	日向浦 <small>ひゅうがうら</small>	長島 <small>ながしま</small>	大江 <small>おおえ</small>	宇井 <small>うい</small>			○
				小中村 <small>こなかむら</small>	川崎 <small>かわさき</small>	市場 <small>いちば</small>				
〃	下宇部尾 <small>しもうべお</small>	〃 (〃)	下宇部尾	上谷 <small>かみたに</small>	田口 <small>たぐち</small>	下口 <small>しもぐち</small>	万原 <small>まんばら</small>			○
八雲町 <small>やくもちよう</small>	日吉 <small>ひよし</small>	岩坂村 (八雲村)	日吉	日吉 <small>ひよし</small>	日吉団地 <small>ひよしだんち</small>	東日吉 <small>ひがしひよし</small>	西日吉 <small>にしひよし</small>			○
				つるぎ団地 <small>つるぎだんち</small>	新日吉団地 <small>しんひよしだんち</small>	切通団地 <small>きりどおしだんち</small>				
				田園ひよし <small>でんえんひよし</small>	つるぎニュータウン <small>つるぎにゅーたうん</small>					
				日吉台サニーハイツ <small>によしだいさにーはいつ</small>	第2つるぎニュータウン <small>だいにつるぎにゅーたうん</small>					
〃	東岩坂 <small>ひがしいわさか</small>	〃 (〃)	東岩坂	川向 <small>かわむこう</small>	市東 <small>いちひがし</small>	市西 <small>いちにし</small>	安田 <small>やすた</small>			○
				旭団地 <small>あさひだんち</small>	川原 <small>かわはら</small>	星上団地 <small>ほしかみだんち</small>	大明団地 <small>だいみやうだんち</small>			
				岩坂ハイツ <small>いわさかはいつ</small>	中山ハイツ <small>なかやまはいつ</small>	宮谷グリーンタウン <small>みやだにぐりーんたうん</small>				
〃	西岩坂 <small>にしいわさか</small>	〃 (〃)	西岩坂	青木 <small>あおき</small>	早田 <small>そうで</small>	元田 <small>もとだ</small>	大目 <small>だいにち</small>			○
				桑下 <small>くわしも</small>	桑中 <small>くわなか</small>	桑上 <small>くわかみ</small>	秋奥 <small>あきおく</small>			
				青木団地 <small>あおきだんち</small>	秋家 <small>あきいえ</small>	青木にじが丘 <small>あおきにじがおか</small>				
〃	熊野 <small>くまの</small>	熊野村 (〃)	熊野	大石 <small>おおいし</small>	大田 <small>おおた</small>	森脇 <small>もりわき</small>	矢谷 <small>やだに</small>			○
				稲葉 <small>いなば</small>	上宮内 <small>かみみやうち</small>	下宮内 <small>しもみやうち</small>	岩室 <small>いわむろ</small>			
				萱野 <small>かやの</small>	市場 <small>いちば</small>	須谷 <small>すたに</small>	松廻団地 <small>まつぎごだんち</small>			
				熊野ハイツ <small>くまのはいつ</small>						
〃	平原 <small>ひらはら</small>	大庭村 (〃)	平原	畦石室 <small>あぜいしむろ</small>	草谷 <small>くさたに</small>	中組 <small>なかぐみ</small>	向畑 <small>むこうはた</small>			○
				奥殿畑 <small>おくとのはた</small>	平原ニュータウン <small>ひらはらにゅーたうん</small>	しいのみ <small>しいのみ</small>				

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域		廃止済				
				有						
				全域	一部					
たまゆちよう 玉湯町	ふしな 布志名	玉湯村 (玉湯町)	布志名	いち 一	に 二	さん 三			○	
〃	ゆまち 湯町	〃 (〃)	湯町	ひがし 東	にし 西	いち 一	みなみ 南	なだ 灘		○
〃	はやしむら 林村	〃 (〃)	林村	ねお 根 尾	ほんごういち 本郷一	ほんごうに 本郷二	ほんごうさん 本郷三			○
〃	たまつくり 玉造	〃 (〃)	玉造	しも 下	かみ 上	なかいち 中 一	なか 中 二			○
〃	おおだに 大谷	〃 (〃)	大谷	そらぐち 空 口	ひがし 東	ゆだ 湯 田	にし 西			○
〃	おおだに 大谷	〃 (〃)	大谷	いち 一	に 二	さん 三	よん 四			○
〃	おおだに 大谷	〃 (〃)	大谷	ご 五	ろく 六	しち 七				○
しんじちよう 宍道町	しんじ 宍道	宍道町 (宍道町)	宍道	いっく東 一区東	いっくにし 一区西	にく区 二 区	さんく区 三 区	よんく区 四 区		○
〃	ほくいし 白石	〃 (〃)	白石	ごく区 五 区	ろく区 六 区					○
〃	ほくいし 白石	〃 (〃)	白石	しもほくいし 下白石	かみほくいし 上白石	したぐら 下 倉	さい 才			○
〃	さそふ 佐々布	〃 (〃)	佐々布	さかぐち 坂 口	かなやまかみ 金山上	かなやましも 金山下	ほくいしだんち 白石団地			○
〃	さそふ 佐々布	〃 (〃)	佐々布	さそうしも 佐々布下	さそうなか 佐々布中	おおもり 大 森	おかのめ 岡の目	はた 畑		○
〃	いじみ 伊志見	〃 (〃)	伊志見	おぎた 荻 田	おぎただんち 荻田団地	こさそふ 小佐々布	さそうあさひ 佐々布旭	みどりがおか 緑が丘		○
〃	しょうわ 昭和	一 (〃)	昭和							—
〃	かみきまち 上来待	来待村 (〃)	上来待	おおもり 大 森	さくら 佐 倉	たね 田 根	おな 和 名 佐			○
〃	かみきまち 上来待	来待村 (〃)	上来待	こばやし 小 林	すがはら 菅 原					○
〃	ひがしきまち 東来待	〃 (〃)	東来待	かがみ 鏡	こうちようじ 弘長寺	はまひがし 浜 東	はまし 浜 西			○
〃	ひがしきまち 東来待	〃 (〃)	東来待	くと 久 戸	いけだ 池 田	ちようこうだい 眺江台	こなんだい 湖南台			○
〃	にしきまち 西来待	〃 (〃)	西来待	こまつ 小 松	なかがき 中 垣	うちがたわ 内ヶ峠	よこみ 横 見			○
〃	しょうわしんでん 昭和新田	〃 (〃)	昭和新田	おお 大 野	やくもがくいん 八雲学院	こまつだんち 小松団地				○

(注1) 昭和新田は、宍道湖の埋立てによる区域

(注2) 設定年月日：一区東 昭43. 4. 1, 一区西 昭43. 4. 1, 昭和 昭43. 4. 1,

緑が丘 平11. 4. 1, 湖南台 昭62. 4. 1

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
								有	一部	廃止済
								全域		
八束町	波入	波入村 (八束町)	波入	延若	西	中	東	○		
				亀崎	坂島	宮前				
〃	入江	(〃)	入江	中筋	茅島磯	冢坂	大灘	○		
				大山	深浦	畑尻	柳屋			
〃	遅江	(〃)	遅江	間津崎	中平	表	上	○		
				小遅江	東岡	清水尻				
〃	二子	二子村 (〃)	二子	川ノ空	亀ノ尻	岡本	保ノ崎	○		
				松ノ本						
〃	寺津	(〃)	寺津	岡	的場	水ノ上	家の北	○		
				井ノ元	中道					
〃	亀尻	(〃)	亀尻	牛込	屋敷	灘	荒神元	○		
				宮ノ前	岡	二本松				
〃	馬渡	(〃)	馬渡	堂脇	地々蔵	平島	高丸	○		
				高尾	本坊					
〃	江島	(〃)	江島	四間川南	中村岡	駒渡	長島	○		
				小島						

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域				
					有		廃止 済		
					全域	一部			
ひがしいづもちょう 東出雲町	い や 揖屋	揖屋町 (東出雲町)	揖屋	ひがしまちいっく 東町1区	ひがしまちにく 東町2区	ひがしなだ 東灘	くらほんちょう 倉本町	○	
				なかまち 中町	ちどりちょう 千鳥町	なかなだ 中灘	にしまち 西町		
				にしなだ 西灘	なかぐみ 中組	いづみちょう 泉町	えきまえ 駅前		
				ひがししんまち 東新町	にししんまち 西新町	きたしんまち 北新町	あげしんいっく 上新1区		
				あげしんにく 上新2区	あげしんさんく 上新3区	よつぎこ 四ッ廻	きこやま 廻山		
				ごたんだ 五反田	あげぶん 上分	ひらか 平賀	ひがしひらか 東平賀		
				さきだいっく 崎田1区	さきだにく 崎田2区	さきださんく 崎田3区	ちゅうがっこうまえ 中学校前		
				なかついっく 中津1区	なかつにく 中津2区	なかつさんく 中津3区	みなみなかつ 南中津		
				つげだにいっく 附谷1区	つげだにく 附谷2区	つげだにさんく 附谷3区	つげだにょんく 附谷4区		
				ふじたにちょう 藤谷町	はなみずき 花水木	ほしかぜ 星風			
ひがしいづもちょう 東出雲町	あだかえ 出雲郷	出雲郷村 (東出雲町)	出雲郷	こじょう 古城	たけのはな 竹ノ花	おおき 大木	○		
				まちひがし 町東	まちなか 町中	まにし 町西			まきた 町北
				まにしだんち 町西団地	いちのむこう 市の向	しらいで 白井手			
ひがしいづもちょう 東出雲町	いうみなみ 意宇南	(〃)	〃					○	
	いちちようめ 一丁目								
	いうみなみ 意宇南	(〃)	〃					○	
	にちちようめ 二丁目								
	いうみなみ 意宇南	(〃)	〃					○	
	さんちちようめ 三丁目								
いうみなみ 意宇南	(〃)	〃					○		
よんちちようめ 四丁目									
いうみなみ 意宇南	(〃)	〃					○		
ごちちようめ 五丁目									
いうみなみ 意宇南	(〃)	〃					○		
ろくちちようめ 六丁目									

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域					
					有		廃止 済			
					全域	一部				
ひがしいずもちょう 東出雲町	い う ひがし 意字東 いちちようめ 一丁目	出雲郷村 (東出雲町)	出雲郷				○			
	い う ひがし 意字東 にちちようめ 二丁目	〃 (〃)	〃				○			
	い う ひがし 意字東 さんちちようめ 三丁目	〃 (〃)	〃				○			
ひがしいずもちょう 東出雲町	かす が 春日	〃 (〃)	春日	かす が 春日	かすがだい 春日台	ひがしかすが 東春日	にしかが 西春日	○		
ひがしいずもちょう 東出雲町	いま みや 今宮	〃 (〃)	今宮					○		
ひがしいずもちょう 東出雲町	うち うま 内馬	〃 (〃)	内馬					○		
ひがしいずもちょう 東出雲町	す た 須田	〃 (〃)	須田						○	
ひがしいずもちょう 東出雲町	にしきしんまち 錦新町 いちちようめ 一丁目	〃 (〃)	出雲郷	にしきしんまちいっく 錦新町1区						○
	にしきしんまち 錦新町 にちちようめ 二丁目	〃 (〃)	〃	にしきしんまちにく 錦新町2区						○
	にしきしんまち 錦新町 さんちちようめ 三丁目	〃 (〃)	〃	にしきしんまちさんく 錦新町3区						○
	にしきしんまち 錦新町 よんちちようめ 四丁目	〃 (〃)	〃	にしきしんまちさんく 錦新町3区						○
	にしきしんまち 錦新町 ごちちようめ 五丁目	〃 (〃)	〃	にしきしんまちごく 錦新町5区						○
	にしきしんまち 錦新町 ろくちちようめ 六丁目	〃 (〃)	〃	にしきしんまちろくく 錦新町6区						○
	にしきしんまち 錦新町 ななちちようめ 七丁目	〃 (〃)	〃	にしきしんまちななく 錦新町7区						○

松江市

町名	字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
								有		廃止 済
								全域	一部	
ひがしいずもちょう 東出雲町	にしきしんまち 錦新町 はつちようめ 八丁目	出雲郷村 (東出雲町)	出雲郷						○	
ひがしいずもちょう 東出雲町	かみいとう 上意東	意東村 (〃)	上意東	ほんだにおくぐみ 本谷奥組	ほんだになかぐみ 本谷中組	ほんだにしもぐみ 本谷下組	はた 畑	○		
ひがしいずもちょう 東出雲町	しもいとう 下意東	〃 (〃)	下意東	なかいとう 中意東	いそちか 磯 近	ふじみがおか 富士見丘			○	
				やぶなか 藪 中	にしなか 西 中	なかいちぼかみ 中市場上	なかいちぼしも 中市場下			
				ひがしのにし 東の西	ひがしのなか 東の中	ひがしのひがし 東の東	おおひがし 大 東			
				はにゆう 羽 入	のたか 野 高	ゆだ 湯 田	まつばら 松 原			
				まちうしろだんち 町後団地	はにゆうだんち 羽入団地	ちくよう 筑 陽				
				あさなぎ 朝 風	あさひだい あさひ台					
ひがしいずもちょう 東出雲町	にしき はま 錦 浜	(〃)								○

(注) 錦浜は、中海の埋立てによる字の区域

注: 住居表示実施区域

(昭和 50 年 6 月 1 日実施)

西嫁島一丁目・西嫁島二丁目・西嫁島三丁目・嫁島町・袖師町・八雲台一丁目
・八雲台二丁目・一の谷町

(昭和 51 年 11 月 15 日実施)

新雑賀町・本郷町

(昭和 53 年 5 月 1 日実施)

比津が丘一丁目・比津が丘二丁目・比津が丘三丁目・比津が丘四丁目

(昭和 54 年 5 月 20 日実施)

南 平 台

(昭和 55 年 6 月 1 日実施)

青 葉 台

(昭和 56 年 6 月 1 日実施)

西津田二丁目

(昭和 57 年 7 月 1 日実施)

西津田三丁目・西津田四丁目

(昭和 58 年 7 月 1 日実施)

西津田一丁目・西津田五丁目

(昭和 59 年 7 月 1 日実施)

西津田六丁目

(昭和 60 年 7 月 1 日実施)

西津田七丁目・西津田八丁目

(昭和 61 年 7 月 1 日実施)

西津田十丁目

(昭和 62 年 2 月 1 日実施)

西津田九丁目・浜乃木六丁目・浜乃木七丁目・浜乃木八丁目

(昭和 63 年 2 月 1 日実施)

浜乃木一丁目・浜乃木二丁目

(平成元年 2 月 1 日実施)

浜乃木四丁目・浜乃木五丁目

(平成 2 年 2 月 1 日実施)

浜乃木三丁目

(平成 3 年 2 月 1 日実施)

上乃木一丁目・上乃木二丁目・上乃木三丁目

(平成 4 年 2 月 1 日実施)

上乃木四丁目・上乃木五丁目・上乃木六丁目・上乃木七丁目

(平成 5 年 2 月 1 日実施)

上乃木八丁目・上乃木九丁目・上乃木十丁目

(平成 6 年 2 月 1 日実施)

古志原一丁目・古志原二丁目

(平成 7 年 2 月 6 日実施)

古志原三丁目・古志原四丁目・古志原五丁目

松江市

(平成8年2月5日実施)

古志原六丁目・古志原七丁目

(平成9年2月3日実施)

湍北台

(平成10年11月3日実施)

学園南一丁目・学園南二丁目・学園一丁目・学園二丁目

(平成13年6月2日実施)

東出雲町錦新町一丁目・東出雲町錦新町二丁目・東出雲町錦新町三丁目・
東出雲町錦新町四丁目・東出雲町錦新町五丁目・東出雲町錦新町六丁目・
東出雲町錦新町七丁目・東出雲町錦新町八丁目

(平成14年2月18日実施)

うぐいす台・西法吉町

(平成14年8月5日実施)

比津が丘五丁目

浜田市



市章

波頭の図案が「浜」を、中央の十字星は輝く未来を表し、同時に全体として里山にある「田」の文字を表徴している。

市の花

つつじ (H21.10.1 制定)

市の木

さくら (H21.10.1 制定)

市の魚

のどぐろ (H21.10.1 制定)

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	63,046	61,713
	世帯数 (世帯)	25,023	24,972
	面積 (km ²)	689.52	689.60

〈市名の由来〉

「浜田」という名称は、平安時代中期に中納言藤原常方卿が潮汐の干満を調べて、浜に田を開いたのがその名の始めと伝えられているが、文安元年(1443)に書写が完成した宝福寺所蔵『紙本墨書大般若経』にみえる「濱田村」がその初見である。

〈沿革〉

当市は、浜田市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町が平成 17 年 10 月 1 日に合併して新たに浜田市として誕生した。

古代における市域は、石見国那賀郡に属し、石見郷、周布郷、伊甘郷、久佐郷、杵束郷、三隅郷と邑智郡桜井郷の一部から成っていたとみられる。石見国府は伊甘郷に設置され、石見国の政治・経済・文化の中心として重要な位置を占めた。平安時代後期から末期にかけて石見国へ下向した藤原国兼は、御神本氏と称し、国府役人として勢力の拡大を図り、後に益田へ本拠地を移して益田氏と称した。この益田氏の庶子家として三隅氏、福屋氏、周布氏、永安氏などが分出し、戦国時代に至るまで独自の地域支配を行った。江戸時代になると、幕府の直轄地となったが、元和 3 年(1617)に亀井政矩が津和野に転封し、山間部を中心とする市域は津和野藩領となった。更に元和 5 年(1619)には古田重治が浜田に入って浜田城とその城下を築き、海岸部を中心とする市域が浜田藩領となった。明治 22 年(1889)、町村制が施行され、その後幾たびかの町村合併が行われて、昭和 15 年には浜田市が成立し、同 44 年には国府町と合併した。また、同 30 年には三隅町が町制を施行し、同 31 年には弥栄村が成立。同 33 年に旭村、同 44 年に金城村がそれぞれ町制を施行した。

市域の陸上交通は、江戸時代に海岸部を東西に結ぶ山陰道とこれに平行して山間部を貫く津和野奥筋往還、そして浜田三次往還や山陽とをつなぐ浜田広島街道などの主要道が整備され、その結節点となる浜田、今市などが要衝の地として栄えた。その後も交通網の整備が進められ、国道 9 号線、国道 186 号線、浜田八重可部線などの整備を経て、平成 3 年には中国横断自動車道広島浜田線が開通し、山陰自動車道の建設も現在進められている。なお、鉄道は大正 10 年(1921)に山陰本線京都一浜田間が開通し、その 2 年後には浜田一益田間、山口線益田一小郡間が全通して山陽と鉄路で結ばれた。海上交通は、室町時代後期以降、浜田、長浜、三隅(湊浦)などが港として発展し、江戸時代中期には外ノ浦、瀬戸ヶ島、長浜が貿易港として石見地域の物流を支えた。明治時代に入り、明治 32 年(1899)に浜田港が開港場として指定され、昭和 32 年には重要港湾の指定を受け、平成 22 年には重点港湾として選定されている。

当市は、東西に長い県土を支える要衝の地であるとともに、中国横断自動車道広島浜田線と環日本海交流の拠点港としての整備により、東西軸と南北軸の交差する「山陽の北の玄関口」として、重要な位置を占めるに至っている。このような歴史地理的な環境を土台として、新・浜田市が合併にあたって採用した自治区制度により、地域の個性を活かしながら、一体的な「まちづくり」を進めるとともに、浜田医療センターの移転新築、島根あさひ社会復帰促進センターの設置、大規模農業団地「新開団地」の整備、石州半紙のユネスコ無形文化遺産への登録がなされ、山陰自動車道の早期開通、市立中央図書館の建設などの主要プロジェクトを推進して、県西部の中核都市としての発展を期することとしている。

浜
田
市

合併
↑
H
17
・
10
・
1

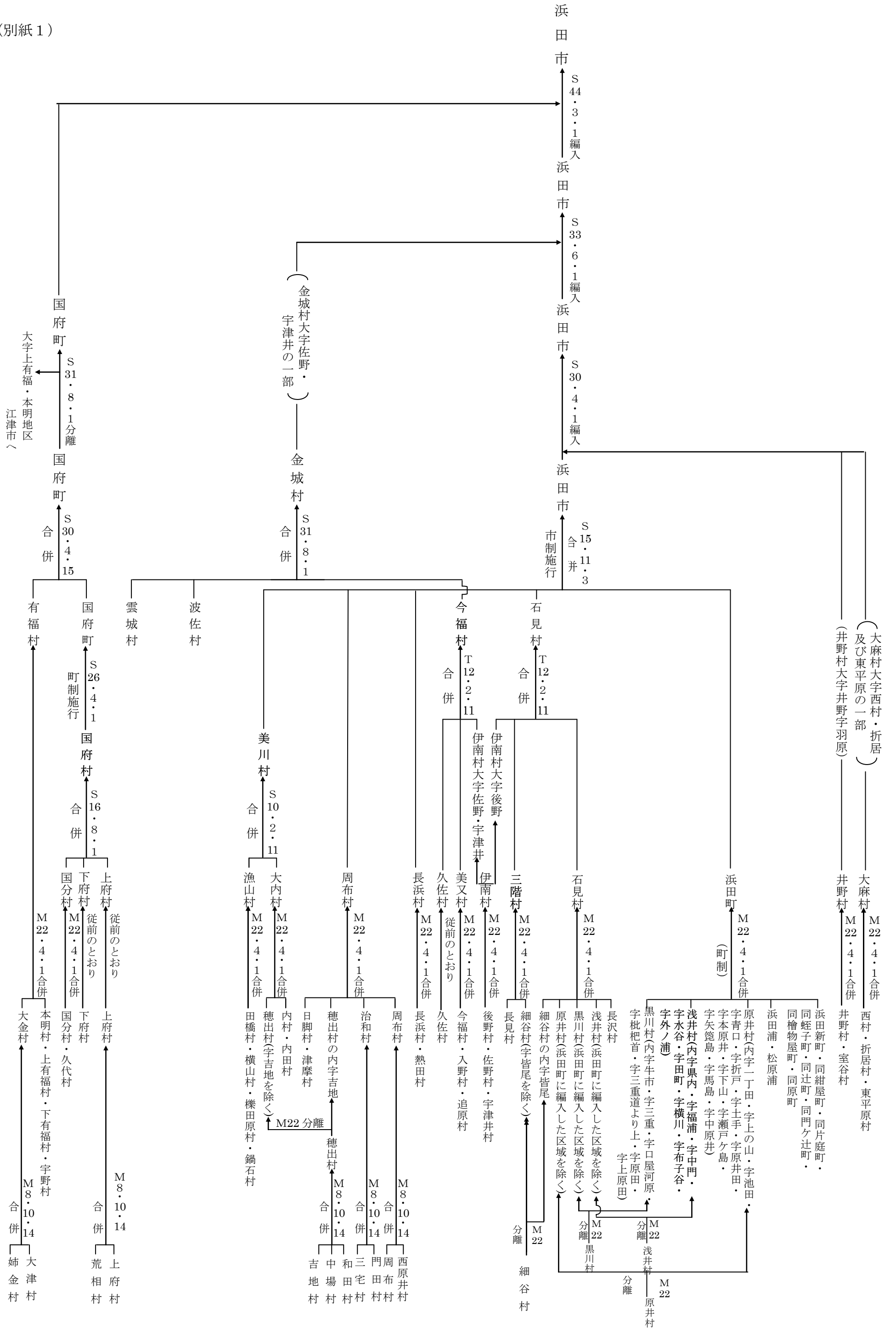
浜
田
市
(別紙
1)

金
城
町
(別紙
2)

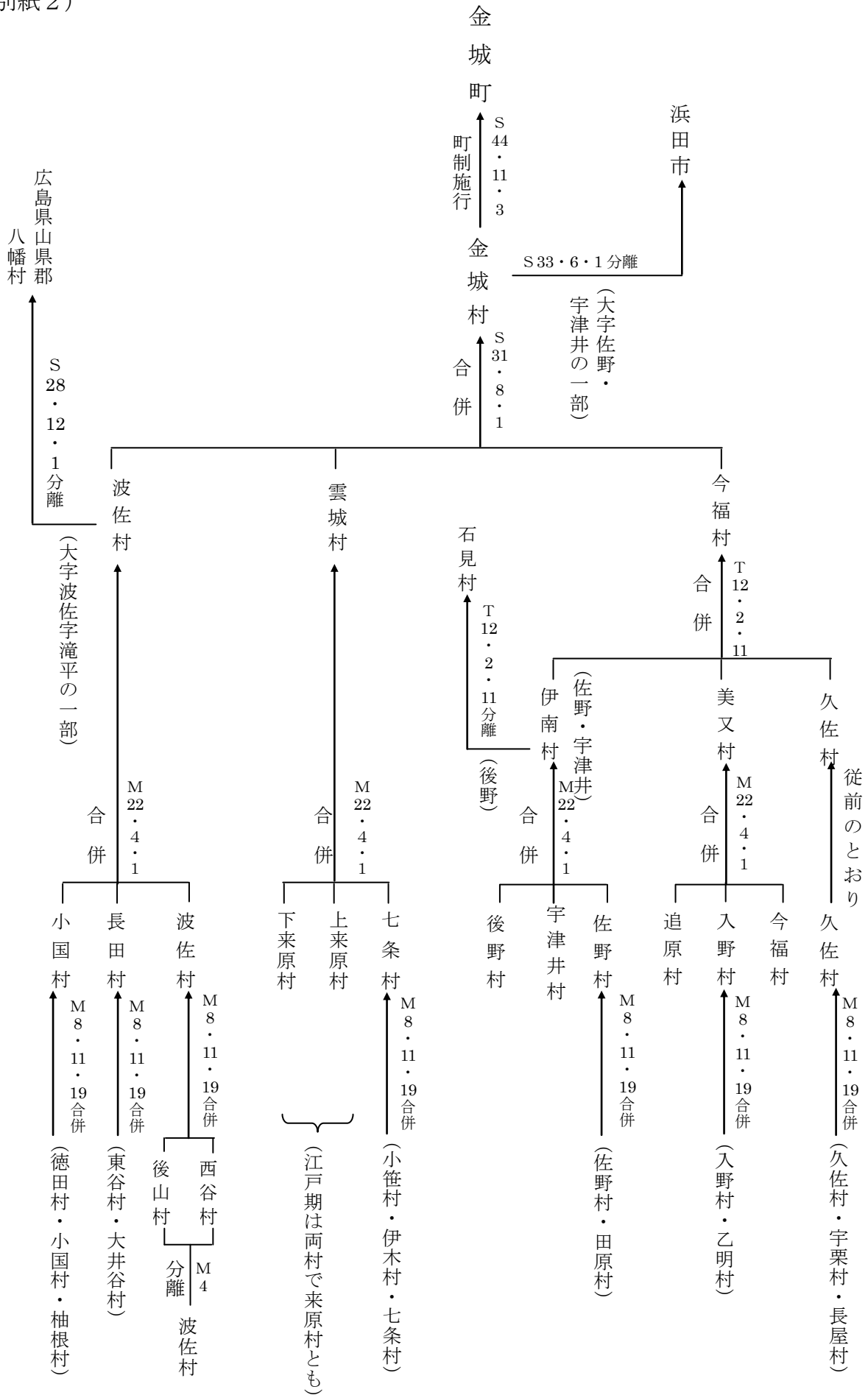
旭
町
(別紙
3)

弥
栄
村
(別紙
4)

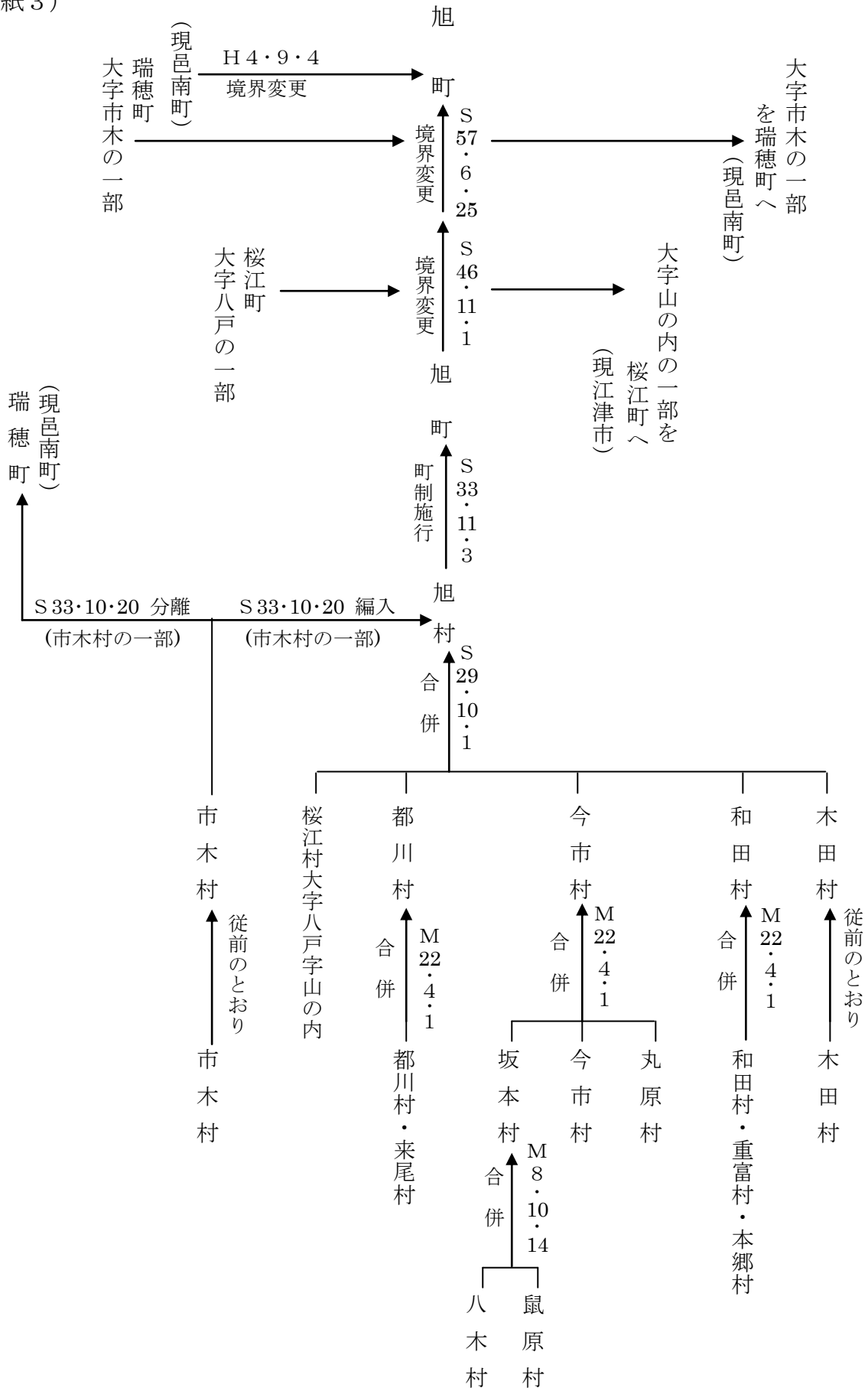
三
隅
町
(別紙
5)



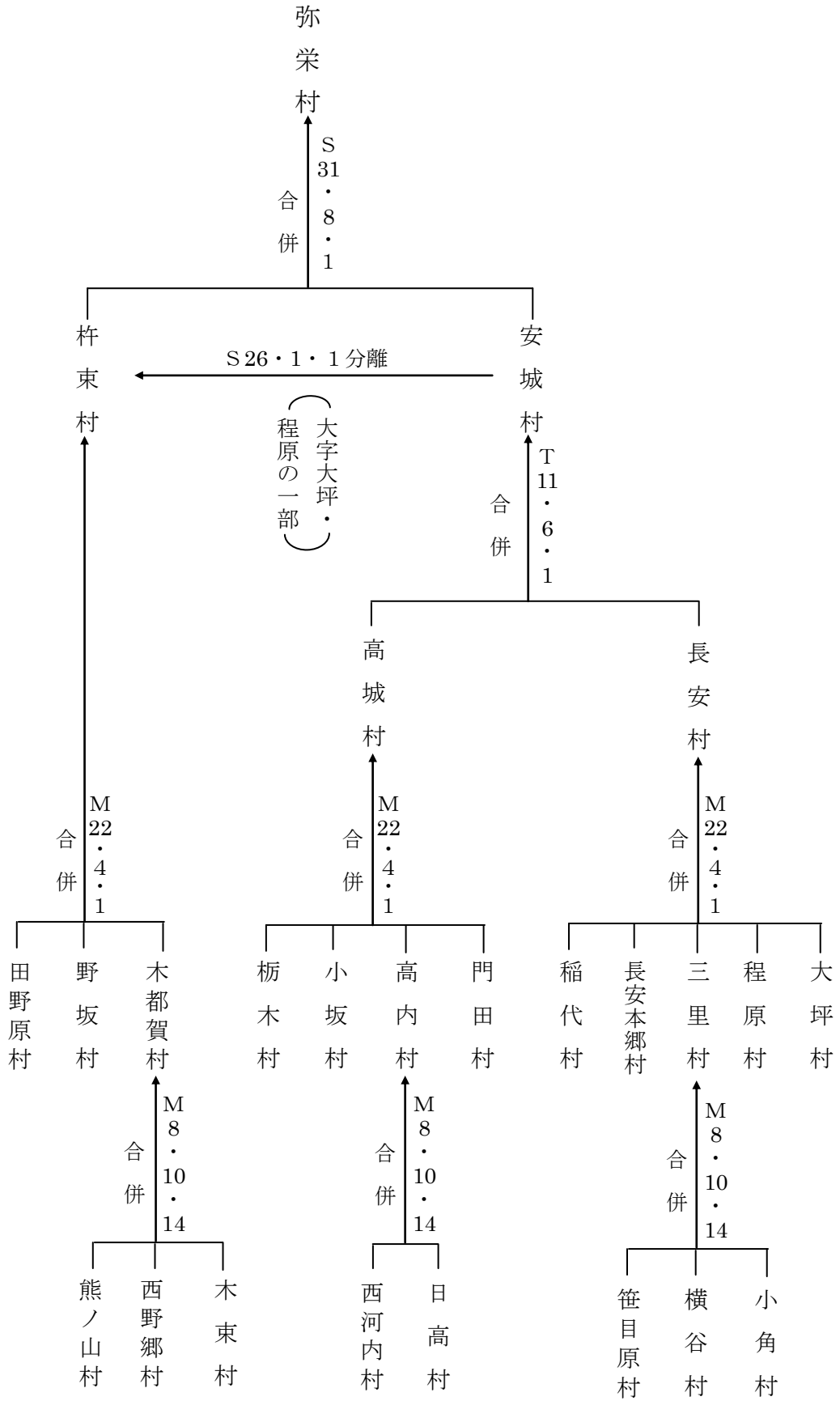
(別紙2)



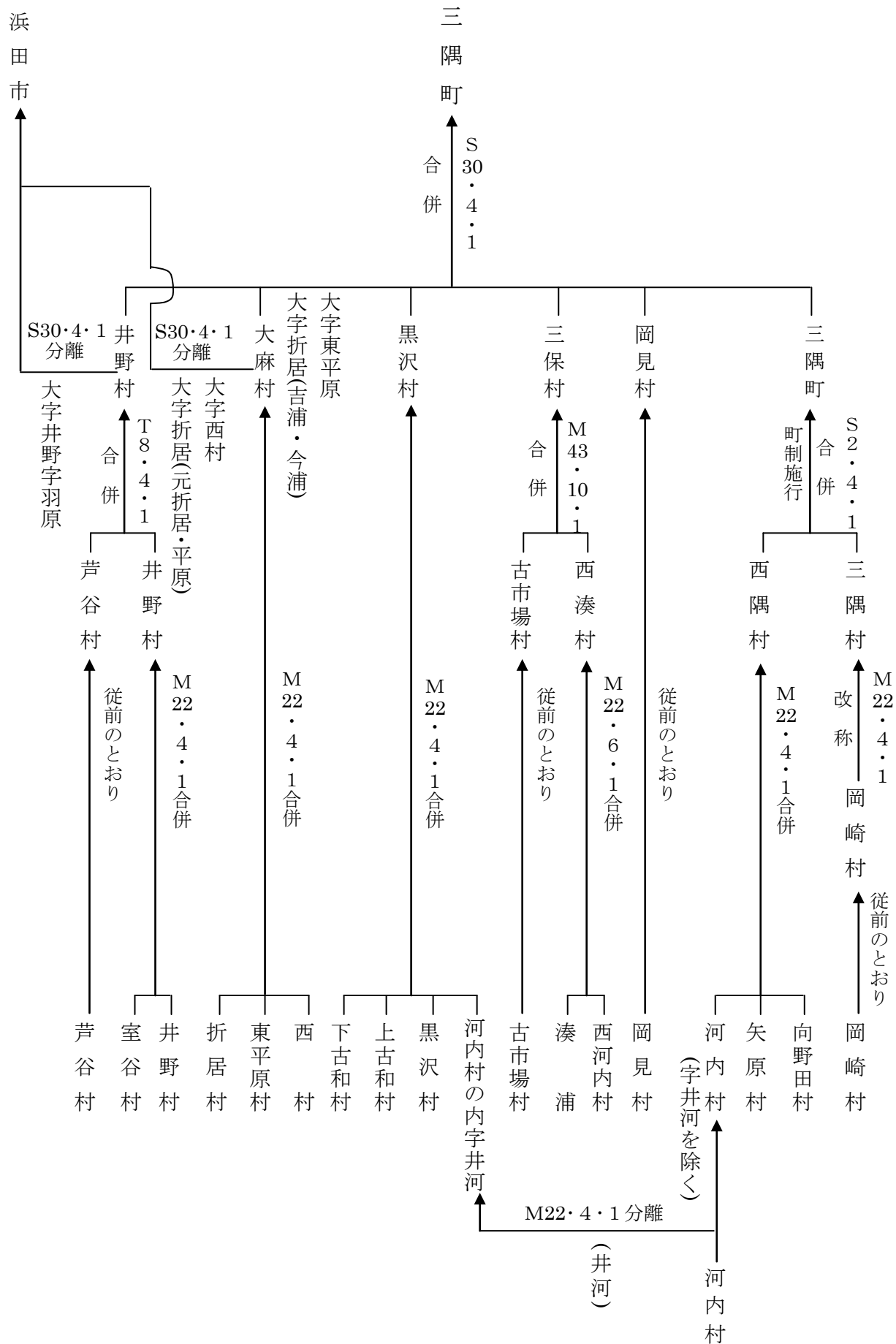
(別紙3)



(別紙4)



(別紙5)



市町村名	<p style="text-align: center;">は ま 田 だ し 市 浜 田 市</p>		
市役所の位置	〒697-8501 浜田市殿町1番地	電話番号	0855-22-2612
合併等の状況	年 月 日	合体編入等の別	関 係 市 町 村 名
	昭 15. 11. 3	(市制)	(浜田市)
	26. 1. 1	境界変更	安城村の一部(大字大坪及び程原の一部)を杵束村に
	28. 12. 1	〃	波佐村の一部(大字波佐字滝平の一部)を広島県山県郡八幡村へ
	29. 10. 1	合 体	今市村・木田村・和田村・都川村・桜江村の一部(大字八戸の一部) (旭村設置)
	30. 4. 1	分割編入	井野村の一部(大字井野字羽原) 大麻村の一部(大字西村・折居及び東平原の一部)
	〃	合 体	三隅町・三保村・岡見村・黒沢村・井野村の一部(大字井野(字羽原を除く)・室谷・芦谷)・大麻村の一部(大字東平原及び折居の一部) (三隅町設置)
	31. 8. 1	〃	雲城村・今福村・波佐村(金城村設置)
	〃	〃	安城村・杵束村(弥栄村設置)
	33. 6. 1	境界変更	金城村の一部(大字佐野・宇津井の一部)
	33. 10. 20	分割編入	市木村の一部(瑞穂町に編入した区域を除く区域)を旭町に
	33. 11. 3	(町制)	旭 村 (旭町)
	44. 3. 1	編 入	国府町(26. 4. 1 町制 30. 4. 15 国府町・有福村合体)
	44. 11. 3	(町制)	金城村(金城町)
	46. 11. 1	境界変更	桜江町の一部(大字八戸の一部)を旭町へ、旭町大字山の内の一部を桜江町へ
	57. 6. 25	〃	瑞穂町の一部(大字市木の一部)を旭町へ、旭町大字市木の一部を瑞穂町へ
	平 4. 9. 4	〃	瑞穂町の一部(大字市木の一部)を旭町へ
平 17. 10. 1	合 体	浜田市. 金城町. 旭町. 弥栄村. 三隅町	

浜 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称	小字の区域		廃止 済
				有		
				全 域	一 部	
と の う ら ち ょ う 外ノ浦町	浜 田 町 (浜田市)	浅 井				○
ま つ ば ら ち ょ う 松原町	(〃)	浅 井 松 原				○
と の ま ち 殿 町	(〃)	浅 井				○
た ま ち 田 町	(〃)	〃				○
び わ ま ち 琵琶町	(〃)	黒 川				○
あ さ ひ ま ち 朝日町	(〃)	〃				○
う し い し ち ょ う 牛市町	(〃)	〃	さんじょう 三 重	うしいち 牛 市		○
こ ん や ま ち 紺屋町	(〃)	紺 原 黒 屋 井 川	こうやまち 紺屋町	なかこんや 中紺屋	うらこんや 裏紺屋	○
て ん ま ち ょ う 天満町	(〃)	原 紺 井 屋				○
し ん ま ち 新 町	(〃)	紺 新 屋 町				○
に し き ま ち 錦 町	(〃)	原 新 片 町 庭				○
え び す ち ょ う 蛭子町	(〃)	原 蛭 井 子				○
さ か え ま ち 栄 町	(〃)	新 原 町 井				○
か た に わ ち ょ う 片庭町	(〃)	原 片 井 庭				○
み な と ま ち 港 町	(〃)	原 井				○
き ょ う ま ち 京 町	(〃)	門 ヶ 辻 檜 物 屋				○
た か た ち ょ う 高田町	(〃)	原 井				○
し ん こ う ち ょ う 真光町	(〃)	門 ヶ 辻 原 原 町 井				○
お お つ じ ち ょ う 大辻町	(〃)	辻 原 町 井				○
せ と が し ま ち ょ う 瀬戸ヶ島町	(〃)	原 浅 浜 田 浦 井				○
も と は ま ち ょ う 元浜町	(〃)	浜 原 田 浦 井				○
は ら ち ょ う 原 町	(〃)	原 町				○

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
しみずちよう町 清 水 町	浜 田 町 (浜田市)	原 井 原 町						○	
せとみちよう町 瀬 戸 見 町	(〃)	原 井						○	
うぶゆちよう町 生 湯 町	石 見 村 (〃)	長 沢	うしろぶゆ 後生湯	まえうぶゆ 前生湯	うぶゆ 生 湯			○	
ながさわちよう町 長 沢 町	(〃)	〃	ながさわ 長 沢	にたんだ 二反田				○	
あさいちよう町 浅 井 町	(〃)	浅 井	ごまんどう 五万堂	ぎおんだに 祇園谷	みどりがおか 緑ヶ丘	あさい 浅 井		○	
くろかわちよう町 黒 川 町	(〃)	黒 川	ほりわり 掘 割	かみくろかわ 上黒川	つえ 潰	とうこうだい 東光台		○	
			くろかわ 黒 川						
あいおいちよう町 相 生 町	(〃)	〃	さんくう 三 宮	しゃけち 社家地	いまいごこ 今井迫	あいおい 相 生		○	
たけごちよう町 竹 迫 町	(〃)	〃						○	
すぎどちよう町 杉 戸 町	(〃)	〃						○	
こうさちよう町 高 佐 町	(〃)	〃						○	
こううちちよう町 河 内 町	(〃)	〃						○	
のばらちよう町 野 原 町	(〃)	細 谷 原 井						○	
ほらいちよう町 原 井 町	(〃)	原 井	あおがわ 青 川	ほらい 原 井	やなぐつ 柳ヶ内	ひばりがおか 雲雀丘		○	
かさがらちよう町 笠 柄 町	(〃)	笠 柄						—	
さんがいちよう町 三 階 町	(〃)	細 谷 長 見						○	
ながみちよう町 長 見 町	(〃)	細 谷 長 見						○	
うしろのちよう町 後 野 町	(〃)	後 野						○	
さのちよう町 佐 野 町	今 福 村 (〃)	佐 野	さのかみ 佐野上	さのまち 佐野町	み た 田 美 田	さのしも 佐野下		○	
			たばら 田 原						
うついちよう町 宇 津 井 町	(〃)	宇 津 井	ちだに 千 谷	こやま 小 山	うつい 宇津井			○	

浜 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小 字 の 区 域			
							有		廃 止 済	
							全 域	一 部		
あつたちょう 熱 田 町	長 浜 村 (浜田市)	熱 田	ふく井 福 井	かみあつた 上熱田	しもあつた 下熱田	あつた 熱 田			○	
			いしはら 石 原	かりとうだ 仮遠田	こふくい 小福井	しおいり 汐 入	ひがしふくい 東福井			
ながはまちょう 長 浜 町	(〃)	長 浜								○
すふちょう 周 布 町	(〃)	周 布								○
ひなしちょう 日 脚 町	(〃)	日 脚								○
ちわちょう 治 和 町	(〃)	治 和								○
つまちょう 津 摩 町	(〃)	津 摩								○
よしじちょう 吉 地 町	(〃)	吉 地								○
ほのでちょう 穂 出 町	美 川 村 (〃)	穂 出	わ だ 和 田	な か ば 中 場						○
にしむらちょう 西 村 町	大 麻 村 (〃)	西 村	おお だに 大 谷	ちからいしひがし 力石東	ちからいしにし 力石西	にしむら 西 村				○
おりいちょう 折 居 町	(〃)	折 居								○
ひがしひらはらちょう 東 平 原 町	(〃)	折 居								○
なべいしちょう 鍋 石 町	美 川 村 (〃)	鍋 石	なべいしひがし 鍋石東	なべいしなか 鍋石中	なべいしにし 鍋石西					○
いちいたばらちょう 櫟 田 原 町	(〃)	櫟 田 原								○
たばせちょう 田 橋 町	(〃)	田 橋	たばせかみ 田橋上	たばせなか 田橋中	たばせしも 田橋下					○
よこやまちょう 横 山 町	(〃)	横 山	よこやまかみ 横山上	よこやましも 横山下	よこやまし 横山西					○
ないむらちょう 内 村 町	(〃)	内 村	いちのせ 一ノ瀬	ほんごう 本 郷	まつ ば 松 羽	うしたに 牛 谷	じゅうもんじばら 十文字原			○
うちだちょう 内 田 町	(〃)	内 田	ひやくまんき 百万騎	おくいぶし 奥猪伏	うしろめん 後 面	かみうちだ 上内田				○
			しもうちだ 下内田	なかうちだ 中内田	まえいぶし 前猪伏					
いのちょう 井 野 町	井 野 村 (〃)	井 野	は ば ら 羽 原							○
かみこうちょう 上 府 町	国 府 村 (〃)	上 府	み あ け 三 宅	さんじゅう 三 重	かみじょう 上 条	く ぼ た 久 畑				○
			てんじん 天 神	あ ら わ 荒 相	い か ん 伊 甘	やまねごう 山根郷				
こくぶちょう 国 分 町	(〃)	国 分	とうがね 唐 鐘	こ く ぶ 国 分						○

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃 止 済
							全 域	一 部	
くしろちょう 久代町	国府村 (浜田市)	久代						○	
しもこうちょう 下府町	(〃)	下府	しもこう 下府	さくらがおか 桜ヶ丘	おろしだんち 卸団地			○	
うのちょう 宇野町	有福村 (〃)	宇野	おおだに 大尾谷	うのひがし 宇野東	うのみなみ 宇野南	うのにし 宇野西		○	
しもありふくちょう 下有福町	(〃)	下有福	しもありふくひがし 下有福東	しもありふくにし 下有福西				○	
おおがねちょう 大金町	(〃)	大金	あねがね 姉金	おおつ 大津				○	
かなぎちょう 金城町 かみくるばら 上来原	雲城村 (金城町)	上来原	おおだに 大谷	ひがし 東	にし 西	しものほら 下ノ原		○	
かなぎちょう 金城町 しもくるばら 下来原	(〃)	下来原	いまだ 今田	よしどめ 吉留	かみぐみ 上組	かなだ 金田		○	
かなぎちょう 金城町 しちじょう 七条	(〃)	七条	わかばやし 若林	しんがい 新開	おぎさ 小笹	もとおぎさ 元小笹	みずかみだに 水上去	○	
かなぎちょう 金城町 うつ井 宇津井	今福村 (〃)	宇津井	こまつぎ 小松木					○	
かなぎちょう 金城町 くぎ佐 久佐	(〃)	久佐	うぐり 宇栗	じょうこうじだに 浄光寺谷	しんせい 新生	こばらだに 小原谷	やまねばら 山根原	○	
かなぎちょう 金城町 いまふく 今福	(〃)	今福	もとだに 元谷	ふたむら 二夕村	いまふく 今福	いわづか 岩塚		○	
かなぎちょう 金城町 おいはら 追原	(〃)	追原	みまた 美又	おいはらごう 追原郷	おおもと 大元	ふくはら 福原		○	
かなぎちょう 金城町 いりの野 入りの野	(〃)	入野	ねえばら 新原	おつそう 越沢	いりの野 入りの野			○	
かなぎちょう 金城町 はぎ佐 波佐	波佐村 (〃)	波佐	わかお 若生	にしだにかみ 西谷上	かめだにばら 亀谷原	にいやばら 新井屋原		○	
			ばば場 馬場	すがさわ 菅沢	わなてばら 弋手原	さんえい 三栄		○	
			ふかざきかみ 深笹上	ふかざきしも 深笹下	うしろやま 後山				

浜 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
かなぎちょう 金 城 町 ながた 長 が た 田	波佐村 (金城町)	長 田	ひがしだにかみ 東谷上	ひがしだにしも 東谷下	おおいだに 大井谷	のぼりだに 登り谷			○
かなぎちょう 金 城 町 おぐに 小 国	〃 (〃)	小 国	ゆね 柚 根	とくだかみ 徳田上	とくだなか 徳田中	とくだしも 徳田下			○
あさひちょう 旭 町 さかもと 坂 か も と 本	今市村 (旭町)	坂 本	しのと 四ノ戸	かみのたに 上ノ谷	ひな 日 南				○
あさひちょう 旭 町 いまいち 今 い 市	〃 (〃)	今 市	くさのだに 草ノ谷	よこや 神代屋	かこや 加古屋	もりだに 森 谷			○
			こたにじょう 小谷城	しんまち 新 町	ふくや 福 屋	しもじょう 下 城			
			さかえ 栄	あさひがおか 旭ヶ丘					
あさひちょう 旭 町 まるばら 丸 ば ら 原	〃 (〃)	丸 原	やなぎ 柳	おぼた 小場田	みかもと 御神本	てらまわり 寺廻り	まるばらまち 丸原町		○
			あげじょう 上 城	たかすぎだに 高杉谷	うしろだに 後 谷	いわじだに 岩地谷	じゅうもんだい 十門台		
			なんこうだい 南高台						
あさひちょう 旭 町 きたた 木 た 田	木田村 (〃)	木 田	きたいち 木田1	きたにかみ 木田2上	きたにしも 木田2下	きたさん 木田3			
			きたよん 木田4	きたご 木田5	きたろく 木田6	きたなな 木田7			
			きたはち 木田8						
あさひちょう 旭 町 やまのうち 山 ノ 内	長谷村 (〃)	八 戸	やまのうち 山ノ内						○
あさひちょう 旭 町 わだ 和 だ 田	和田村 (〃)	和 田	しもわだ 下和田	おおいしだに 大石谷	わだまち 和田町	あまつだに 天津谷			○
			かみわだ 上和田	かしおだに 柏尾谷					
あさひちょう 旭 町 しげとみ 重 げ と み 富	〃 (〃)	重 富	かみしげとみ 上重富	しもしげとみ 下重富					○
あさひちょう 旭 町 ほんご 本 ん ご う 郷	〃 (〃)	本 郷	しもほんご 下本郷	かみほんご 上本郷	とがわ 戸川				○

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廢 止 済
							全 域	一 部	
旭 町 都 川	都 川 村 (旭町)	都 川	つかわいち 都川1	つかわに 都川2	つかわさん 都川3	つかわよん 都川4			○
			つかわご 都川5	つかわなな 都川7					
旭 町 来 尾	〃 (〃)	来 尾	かみきたお 上来尾	なかきたお 中来尾	ととおり 十通り				○
旭 町 市 木	市 木 村 (〃)	市 木	なかごおり 中 郡	はやみ 早 水	うちがはら 内ヶ原	かいさき 貝 崎			○
			ひらまつ 平 松	こしき 越 木					
弥 栄 町 木 都 賀	杵 束 村 (弥栄村)	木 都 賀	つかのもと 塚の元	にしきがおか 錦ヶ岡	たいさい 大 斎	にしのごう 西の郷			○
			こぐま 小 熊	くまのやま 熊の山	しもたに 下 谷	な か み 仲 三			
弥 栄 町 野 坂	〃 (〃)	野 坂	かみのさか 上野坂	しものさか 下野坂					○
弥 栄 町 日 野 原	〃 (〃)	田 野 原	かみたのはら 上田野原	しもたのはら 下田野原					○
弥 栄 町 ながやすほんごう 長 安 本 郷	安 城 村 (〃)	長 安 本 郷	てらぐみ 寺 組	みやぐみ 宮 組	ほんごうしも 本郷下				○
弥 栄 町 三 里	〃 (〃)	三 里	こずみ 小 角	よこたに 横 谷					○
弥 栄 町 ほどはら原	〃 (〃)	程 原	ほどはらしも 程原下	ほどはらかみ 程原上					○
弥 栄 町 お お つ 坪	〃 (〃)	大 坪							○
弥 栄 町 い な し ろ 代	〃 (〃)	稲 代							○
弥 栄 町 た か う 内	〃 (〃)	高 内	ひだか 日 高	にしごうち 西河内					○

浜 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止済
							全域	一部	
弥 栄 町 門 田 か ど た 田	安 城 村 (弥 栄 村)	門 田	青 尾	か ど た 田				○	
弥 栄 町 小 坂	(")	小 坂	畑	小 坂				○	
弥 栄 町 栃 木	(")	栃 木	山 賀	栃 木				○	
三 隅 町 三 隅	三 隅 村 (三 隅 町)	三 隅	元 本 町	大 橋 通 り	栄 町	海 老 谷		○	
			柳 町	小 野	岡 崎	森 溝			
三 隅 町 向 野 田	西 隅 村 (")	向 野 田	ひ の ぼ ら 日 の 原	た ば ら 田 原	郷	海 老 谷		○	
			畑						
三 隅 町 河 内	(")	河 内	鹿 子 谷	下 河 内	用 田 橋	上 河 内		○	
			西 方 寺 原						
三 隅 町 矢 原	(")	矢 原	郷	松 柄	大 辻	梅 の 木 原		○	
三 隅 町 古 市 場	三 保 村 (")	古 市 場	上 古 市	中 組	門 殿	下 古 市		○	
			古 湊 東	古 湊 西					
三 隅 町 湊 浦	(")	湊 浦	下 町	瀬 戸 町	上 町			○	
三 隅 町 西 河 内	(")	西 河 内	八 會	駅 前	谷	福 浦 東		○	
			福 浦 西						
三 隅 町 岡 見	岡 見 村 (")	岡 見	松 原	須 津	青 浦	中 山 郷		○	
			板 ケ 峠	栃 ノ 木	宮 ケ 迫	西 ノ 谷			
三 隅 町 井 の 野	井 野 村 (")	井 野	周 布 地	大 谷	市 場	石 浦		○	
			久 根 郷	大 口	上 小 原	下 小 原			
			東 下 今 明	西 下 今 明	上 今 明	諸 谷		○	

浜 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃 止 済
							全 域	一 部	
三 隅 町 む ろ だ に 谷	井 野 村 (三 隅 町)	室 谷	かみむろだに 上室谷	しもむろだに 下室谷				○	
三 隅 町 あ し だ に 谷	〃 (〃)	芦 谷	くらかけ 倉 掛	ほんだに 本 谷	ひがしなかあしだに 東中芦谷	にしなかあしだに 西中芦谷			○
三 隅 町 く ろ さ わ 沢	黒 沢 村 (〃)	黒 沢	まとのごう 的野郷	やまが 山 賀	おちあい 落 合	ぬまのはら 沼の原			○
			ひろせ 広 瀬	うしろやま 後 山	ながお 長 尾	いちいはら 櫛い原			
			こみやまびら 込山平	くどしびら 久年平	くわぼら 桑 原	むこうこがよう 向古賀用			
三 隅 町 い が わ 川	〃 (〃)	河 内	おとほら 乙 原	おしはら 鷺 原	きこだ 迫 田	たやのはら 田屋の原			○
三 隅 町 し も こ わ 和	〃 (〃)	下 古 和	くらだに 倉 谷	かわひら 川 平	い が わ 川	しもつじ 下 辻			○
			ごう 郷	いちそね 市曾根	まんのきはら 万ノ木原	であい 出 合	ふじまきつじ 藤巻辻		
三 隅 町 か み こ わ 和	〃 (〃)	上 古 和	こがよう 古賀用	むしがたに 虫が谷	だいのたつじ 代の田辻	しもつじ 下 辻			○
三 隅 町 お り い 居	大 麻 村 (〃)	折 居	よしうら 吉 浦	いまうら 今 浦					○
三 隅 町 ひ が し ひ ら ぼ ら 東 平 原	〃 (〃)	東 平 原	ひがしひらばらかみ 東平原上	ひがしひらばらしも 東平原下					○

出雲市



市章

出雲市の「出」を表し、大空にはばたく鳥や、大きく手を広げる市民をイメージし、飛躍発展する出雲市を表している。

市の花

菊（きく）

市の木

黒松（くろまつ）

四季の花

春（サクラ、ツツジ）

夏（アジサイ）

秋（コスモス）

冬（ツバキ）

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成22. 10. 1
	人口 (人)	146, 307	171, 485
	世帯数 (世帯)	47, 111	55, 952
	面積 (km ²)	543. 43	624. 12
人口（旧出雲市）		146, 307	143, 796
人口（旧斐川町）		(27, 444)	27, 689
世帯数（旧出雲市）		47, 111	47, 724
世帯数（旧斐川町）		(7, 717)	8, 228
面積（旧出雲市）		543. 43	543. 48
面積（旧斐川町）		(80. 64)	80. 64

<市名の由来>

「出雲」という名称は、昭和 16 年 2 月、9 町村合併の際、神国出雲、古代文化発祥の地出雲として知名度の高い名称であること、名称に包括性のあること、国鉄駅名が出雲今市であったことも考慮して名づけられたものであるが、「出雲」そのものの由来については、多くの説があり、定説をみていない。

〈沿革〉

当市域は、古くから観光・商業・農業のまちとして発展してきた。

出雲地域では、室町期以降商業が発展し、明治 43 年の国道の開通、国鉄出雲今市駅の開設、大正期の大和紡績・郡是製糸・鐘紡紡績の 3 代繊維工場の操業開始等により、商工業の中心都市として体裁を整えてきた。

また、平田地域では、江戸期安永以降に雲州平田木綿を中心とする出雲木綿の集積地として栄えた。さらに、当地域に位置する^{ちしゅん}智春上人の開山といわれる鰐淵寺は、院政期には都にまで聞こえた霊地で、平安期から南北朝期に栄華の花を咲かせ、出雲国内でも多くの崇敬を集めていた。

佐田地域には、スサノオノミコトが自らの御魂を鎮めたといわれる須佐神社があり、また、当地域は尼子、毛利両氏の大森銀山争奪戦の重要な舞台の一つでもあった。

多伎地域の久村、小田村などでは製塩が行われ、天保元年に民窯から松江藩の藩窯となった久村の窯からは、久村焼、長沢焼の良質な磁器が生産されていた。さらに明治～大正にかけては木炭の生産が盛んであった。

湖陵地域においては、貞亨 3 年、水害を除去するため差海川の開削が行われた。この差海川の開削は、莫大な新田開発にもつながった。また、早くから米麦農業から畑作を中心とする多角経営への努力がなされ、畜産、野菜、果樹の栽培が行われてきた。さらに神西湖、蛇池の美しい自然や温泉などの資源を生かして観光、レジャー産業の振興も図られてきた。

大社地域は出雲大社の門前町として古くから栄えた地域である。杵築では寛政 8 年千家^{としざね}俊信により^{うめのやじゅく}梅酒舎塾が開塾され、山陽方面からも入門があり国学の振興を招いた。また、明治 45 年出雲今市～大社間に鉄道が開通し、昭和 5 年に一畑電鉄大社神門駅が開業したことにより出雲大社への参拝者が増え、大社詣と観光のまちとして発展してきた。

斐川地域の基幹産業は米作を中心とする農業である。当地域の水田は概して湿田であったが、戦後のほ場整備により乾田化または半乾田化が進み、最近では大規模なほ場整備事業やかんがい配水事業が進められて優良な農地が創設された。これにより、近代的で生産性の高い農業経営が行われるようになり、出雲地域の穀倉地帯となっている。

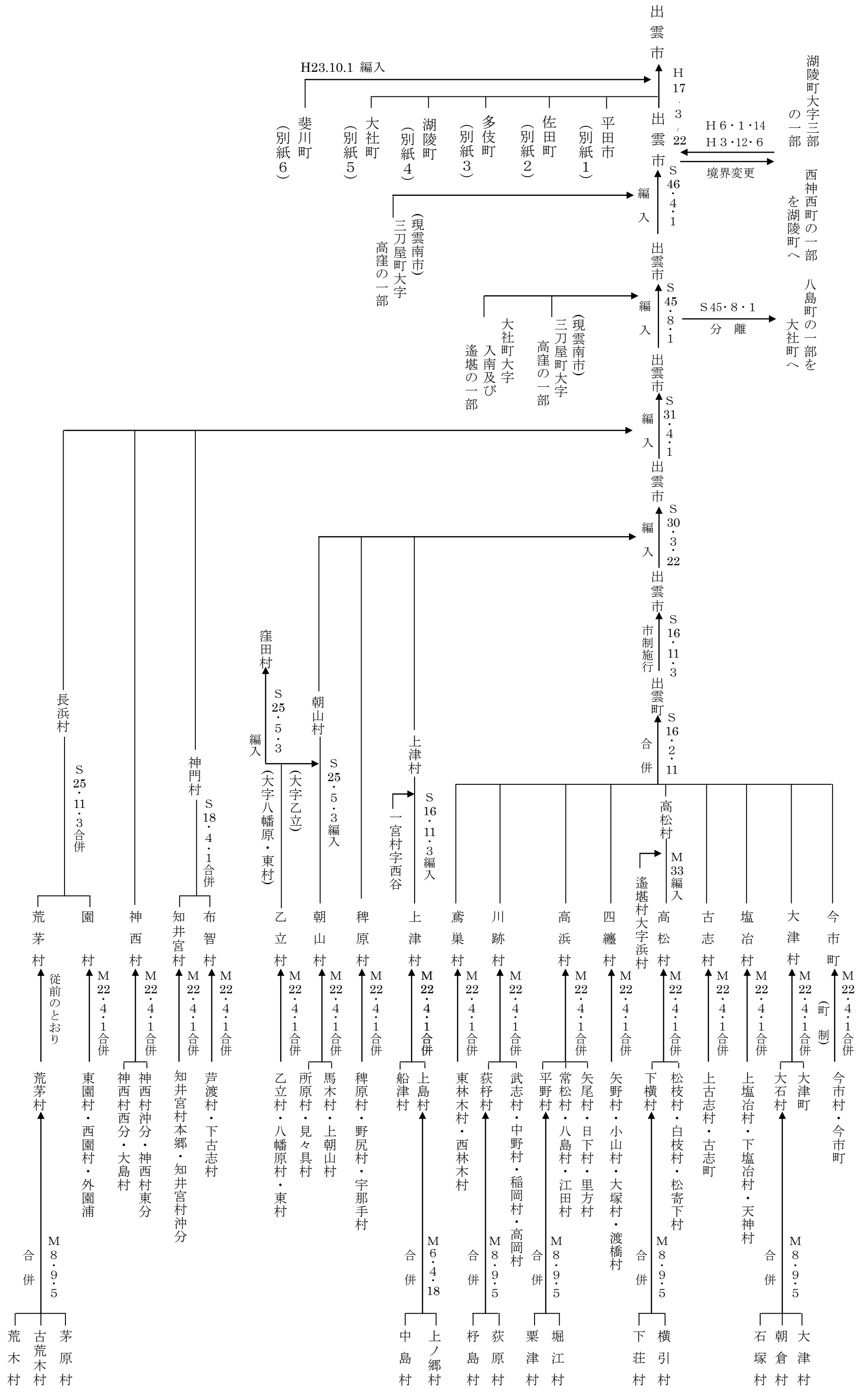
出雲市は、平成 17 年 3 月に 2 市 4 町が合併し、また平成 23 年 10 月 1 日に斐川町を

編入合併し今日に至っている。人口は17万人を超え、山陰両県で3番目の都市となった。

本市は、製造品出荷額が島根県の4割を占め、農業産出額は県全体の25%を占めるなど、農業・工業・商業各産業が調和した地域である。同時に、出雲縁結び空港、河下港、山陰自動車道と環日本海交流を担う交通拠点も備え、山陰有数の医療福祉拠点でもある。

また、「神話の國 出雲」として全国に知られ、出雲大社、荒神谷遺跡、西谷墳墓群などの歴史・文化遺産と、日本海、宍道湖、斐伊川などの豊かな自然に恵まれた地域である。

出雲市では、「大好き☆出雲！」を合言葉に、市民一人ひとりが出雲の魅力を再認識し、市内外に広く情報発信することにより、全国に誇れる都市、子どもたちや若者をはじめ、すべての市民が夢と希望を持てる「五つ星の出雲市」の実現を目指している。



湖陵町大字三部の一部
西神西町の一部を湖陵町へ
八島町の一部を大社町へ

H23.10.1 編入

H 17・3 / 22

H 6・1・14 / H 3・12・6

境界変更

編入

編入

S 45・8・1 分離

編入

編入

編入

合併

編入

編入

合併

合併

合併

合併

合併

合併

窪田村
編入
S 25・5・3
(大字八幡原・東村)

朝山村
編入
S 25・5・3
(大字乙立)

上津村
編入
S 16・11・3
一宮村字西谷

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

高松村
編入
M 33

(町制)

荒茅村
古荒木村
茅原村

東園村
西園村
外園浦

神西村
神西村沖分
神西村東分
神西村西分
大島村

知井宮村
知井宮村本郷
知井宮村沖分

布智村
芦渡村
下古志村

乙立村
乙立村
八幡原村
東村

朝山村
馬木村
上朝山村
所原村
見々具村

稗原村
稗原村
野尻村
宇那手村

上津村
船津村
上島村

上津村
東林木村
西林木村

川跡村
荻杼村
荻原村

武志村
中野村
稲岡村
高岡村

平野村
栗津村
堀江村

常松村
八島村
江田村

矢尾村
日下村
里方村

矢野村
小山村
大塚村
渡橋村

下横村
松枝村
白枝村
松寄下村

上古志村
古志町

上塩治村
下塩治村
天神村

大石村
大津町

今市村
今市町

石塚村
朝倉村
大津村

中島村
上ノ郷村

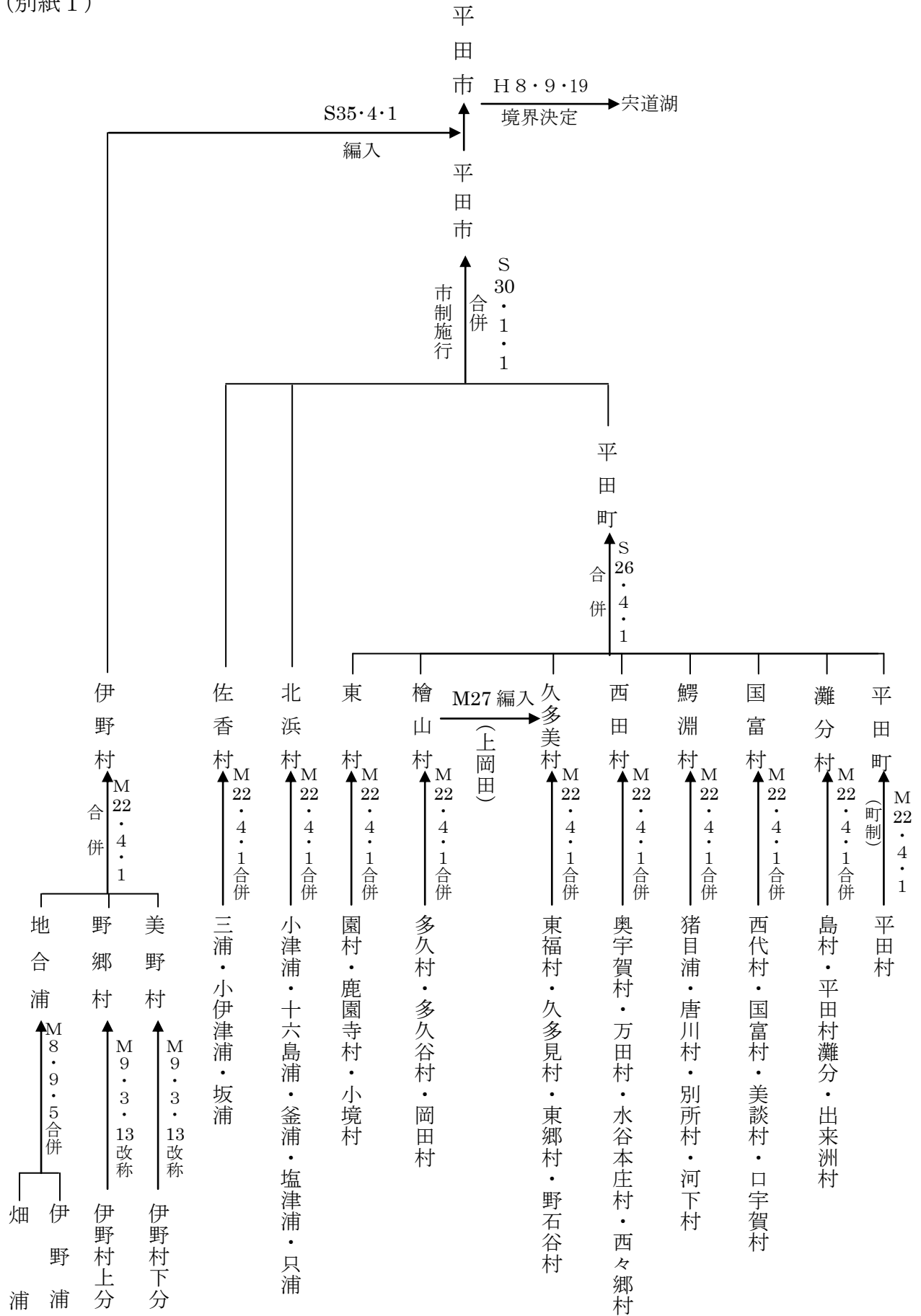
下庄村
横引村

下庄村
横引村

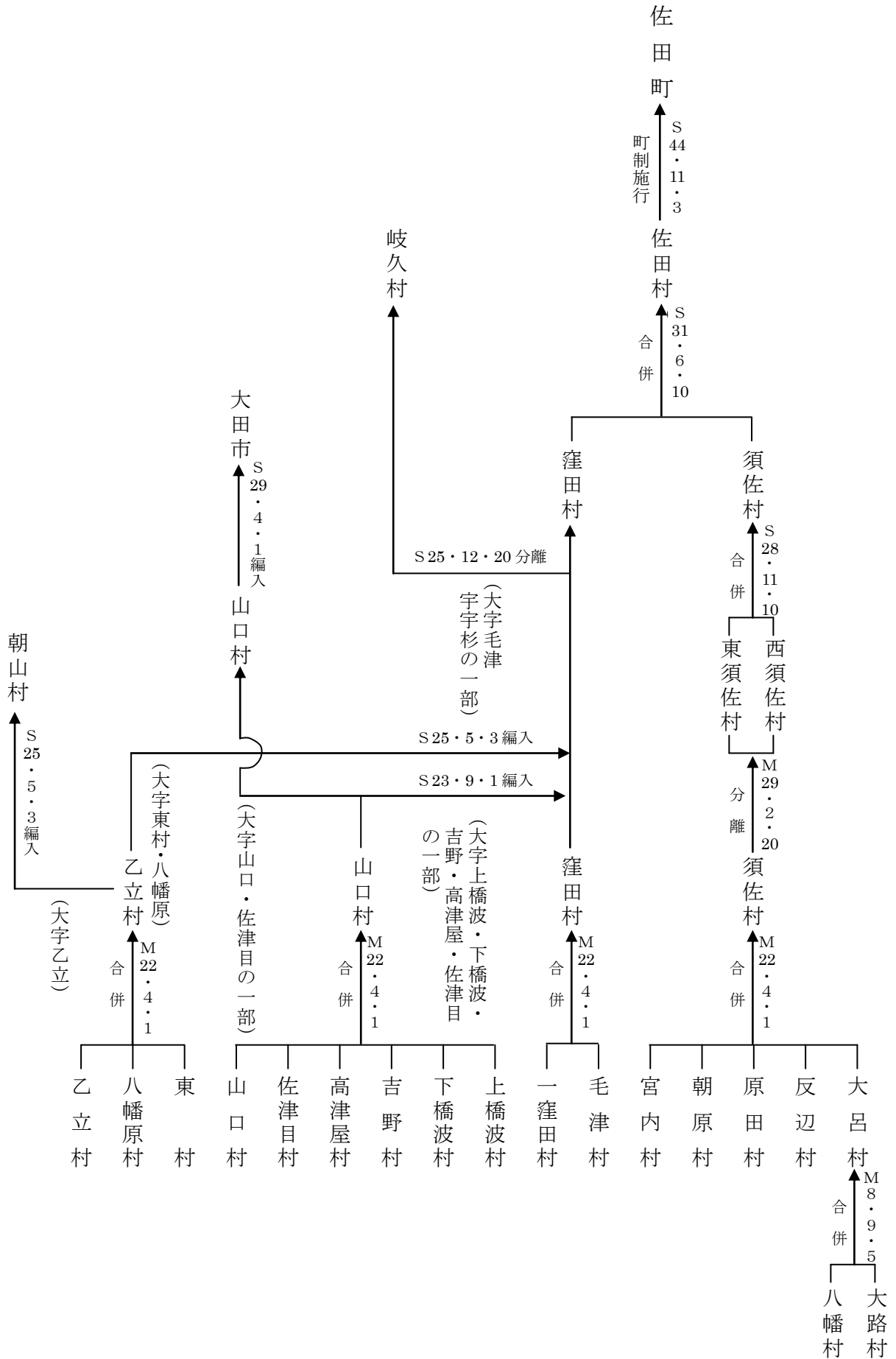
下庄村
横引村

下庄村
横引村

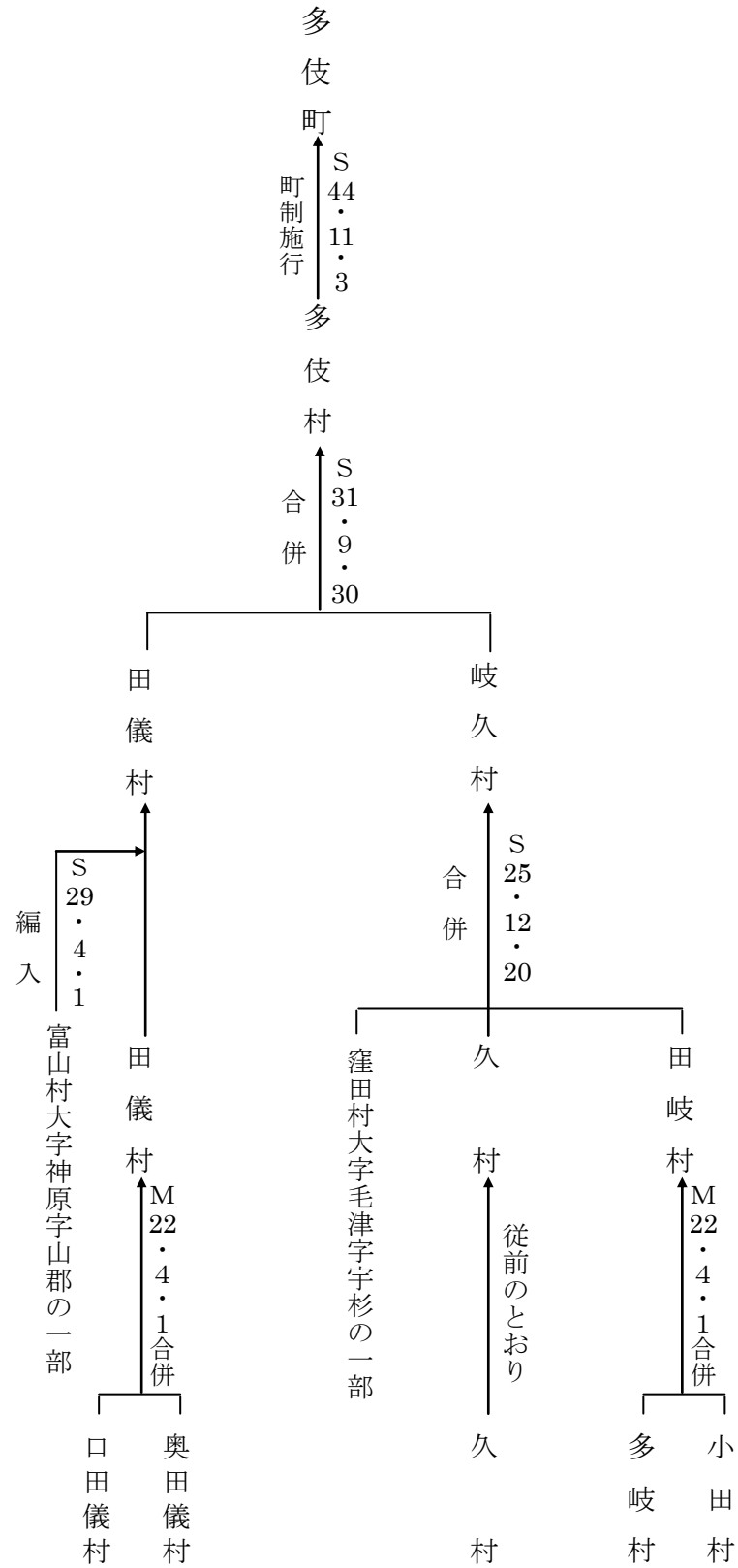
(別紙1)



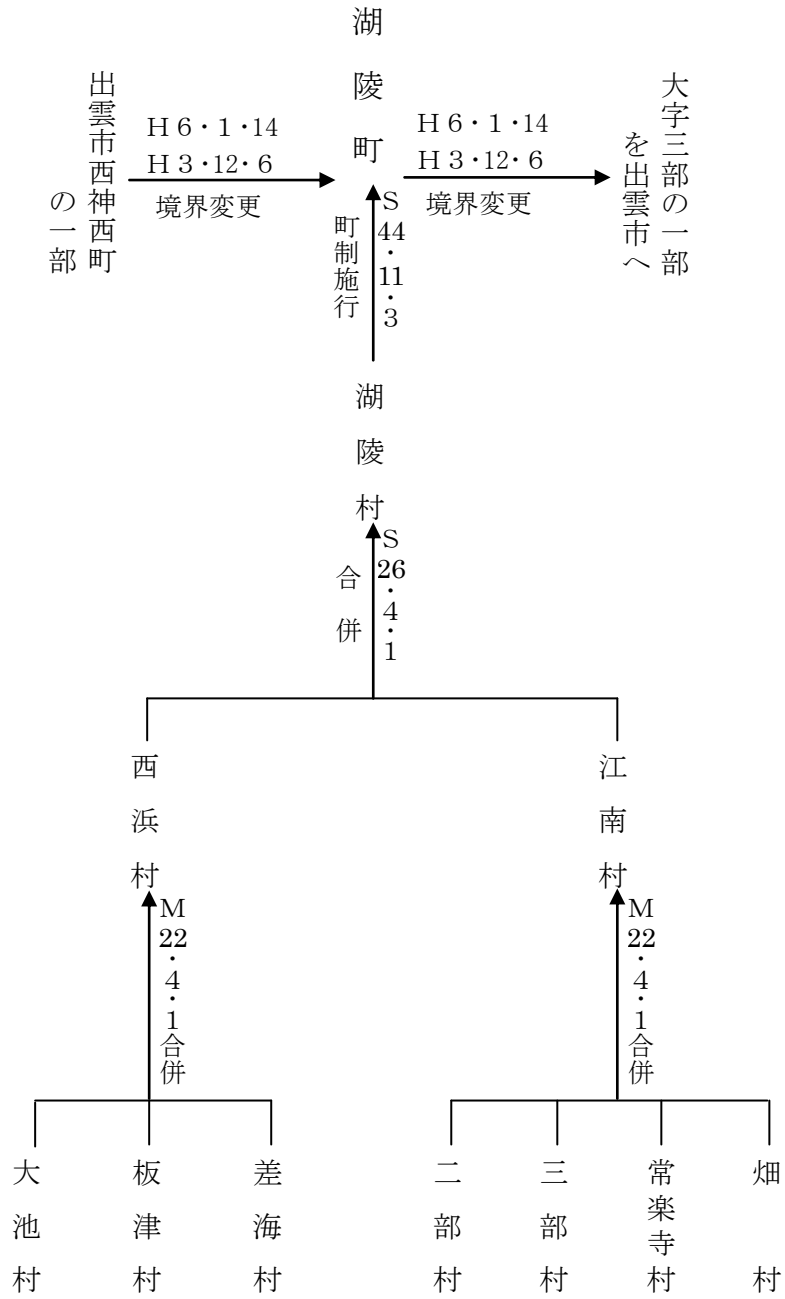
(別紙2)

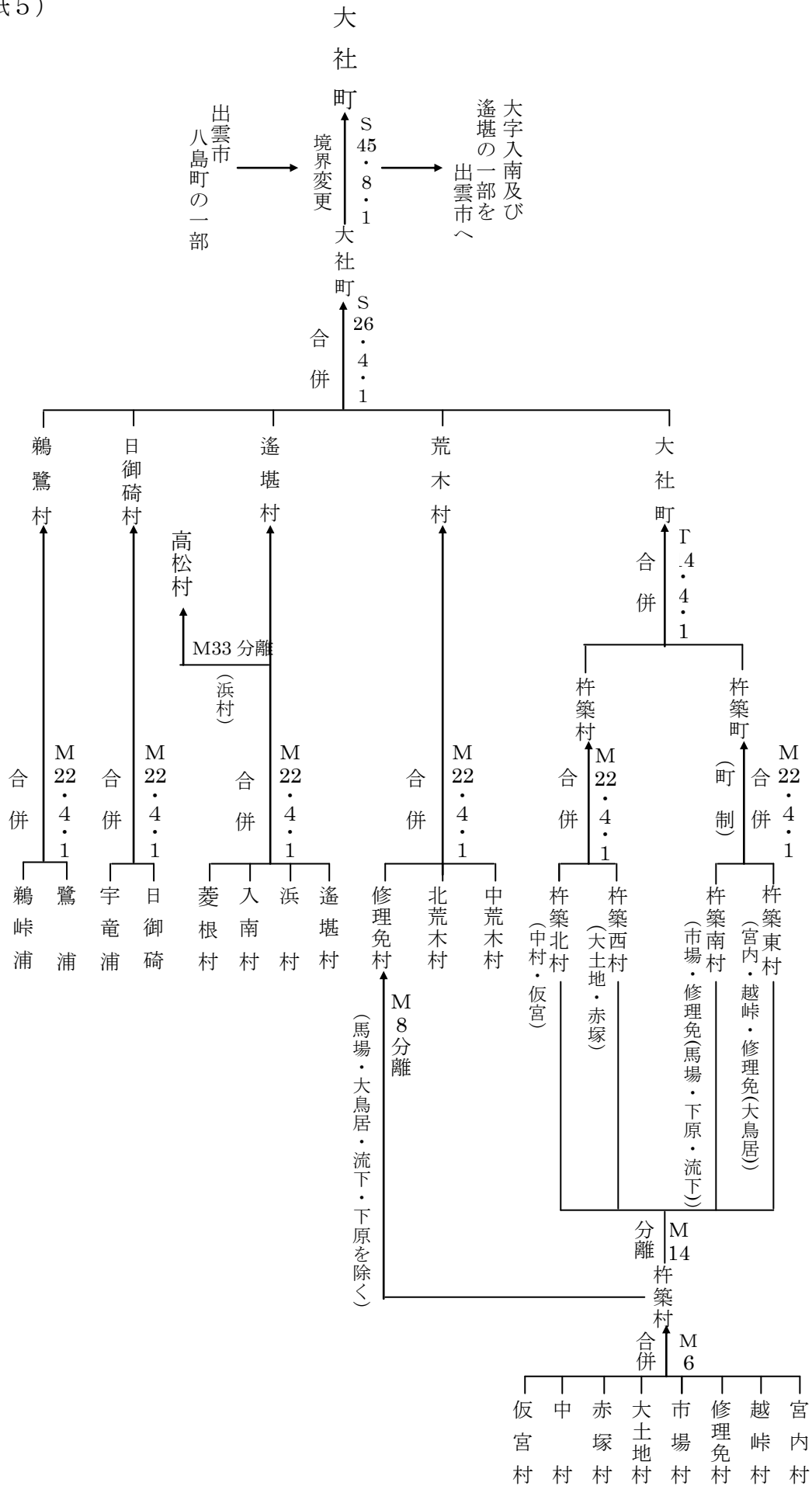


(別紙3)

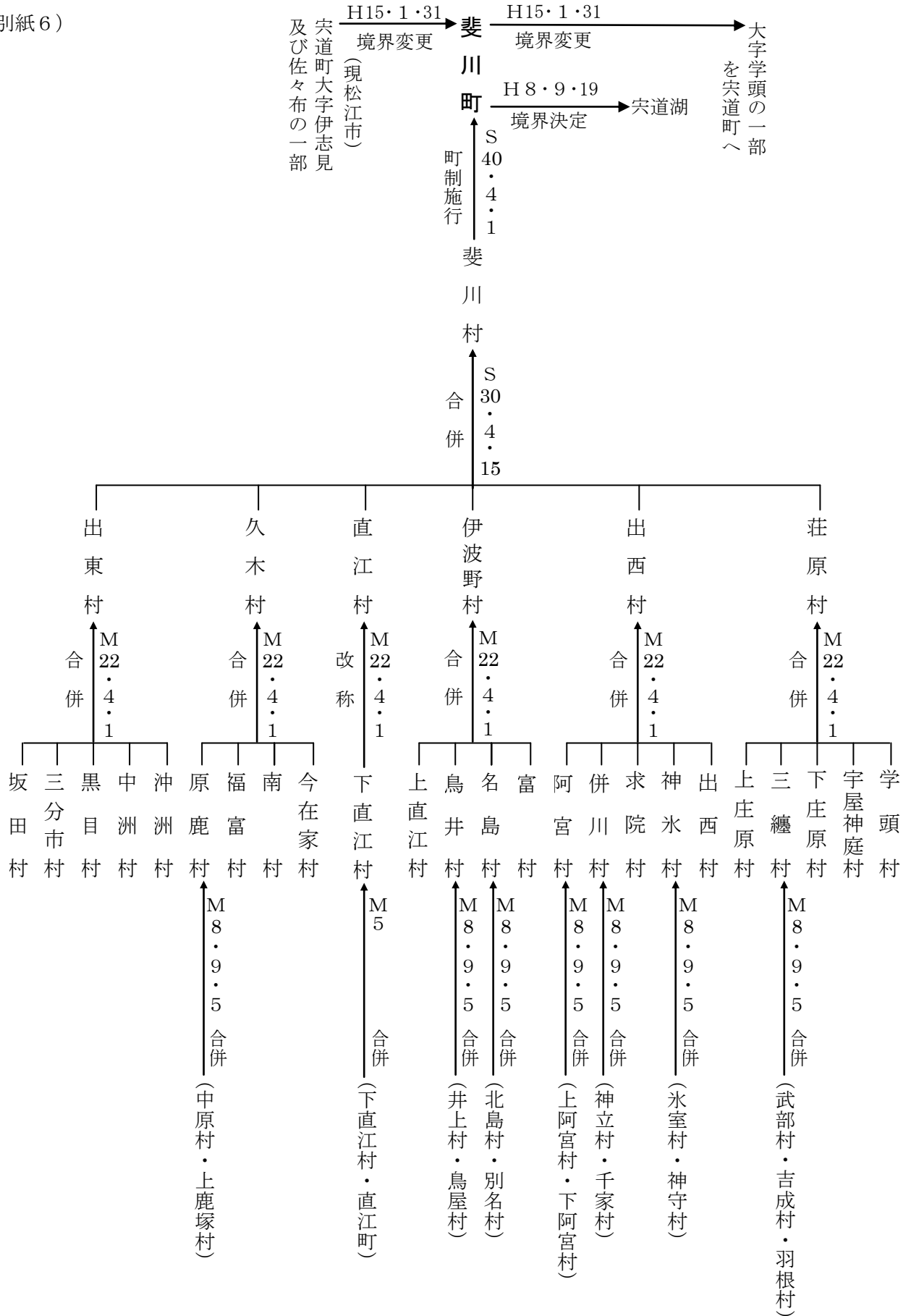


(別紙 4)





出雲市
(別紙6)



市町村名		出 雲 市		
市役所の位置		〒693-8530 出雲市今市町 70 番地		電話番号 0853-21-2211
合併等の状況	年 月 日	合体編入等の別	関 係 市 町 村 名	
	昭 16. 11. 3	(市 制)	(出雲市)	
	23. 9. 1	境界変更	山口村の一部(大字下橋波・上橋波・吉野・高津屋・佐津目の一部)を窪田村に	
	25. 5. 3	編 入	乙立村の一部(大字乙立)を朝山村に	
	〃	〃	乙立村の一部(大字東村・八幡原)を窪田村に	
	25. 11. 3	合 体	園村・荒茅村(長浜村設置)	
	25. 12. 20	〃	田岐村・久村・窪田村の一部(大字毛津の一部)(岐久村設置)	
	26. 4. 1	〃	平田町・灘分村・国富村・鰐淵村・西田村・久多美村・檜山村・東村(平田町設置)	
	〃	〃	西浜村・江南村(湖陵村設置)	
	〃	〃	大社町・荒木村・日御碕村・鶺鴒村・遙堪村(大社町設置)	
	28. 11. 10	〃	東須佐村・西須佐村(須佐村設置)	
	29. 4. 1	編 入	富山村の一部(大字神原の一部)を田儀村に	
	30. 1. 1	合体市制	平田町・北浜村・佐香村(平田市設置)	
	30. 3. 22	編 入	上津村・稗原村・朝山村	
	30. 4. 15	合 体	荘原村・出西村・伊波野村・直江村・久木村・出東村(斐川村設置)	
	31. 4. 1	編 入	神門村・神西村・長浜村	
	31. 6. 10	合 体	須佐村・窪田村(佐田村設置)	
	31. 9. 30	〃	田儀村・岐久村(多伎村設置)	
	35. 4. 1	編 入	伊野村を平田市に	
40. 4. 1	(町 制)	斐川村(斐川町)		
44. 11. 3	(町 制)	佐田村(佐田町)		

年 月 日	合体編入 等の別	関 係 市 町 村 名
44. 11. 3	(町 制)	多伎村 (多伎町)
〃	〃	湖陵村 (湖陵町)
45. 8. 1	境 界 変 更	大社町の一部(大字入南及び遙堪の一部)
〃	〃	三刀屋町の一部(大字高窪の一部)
〃	〃	八島町の一部を大社町へ
昭 46. 4. 1	境界変更	三刀屋町の一部(大字高窪の一部)
平 3. 12. 6	〃	湖陵町大字三部の一部を出雲市へ、出雲市西神西町の一部を湖陵町へ
6. 1. 14	〃	湖陵町大字三部の一部を出雲市へ、出雲市西神西町の一部を湖陵町へ
8. 9. 19	境 界 決 定	宍道湖(松江市・平田市・玉湯町・宍道町・斐川町)
15. 1. 31	境 界 変 更	斐川町大字学頭の一部を宍道町へ、宍道町大字伊志見及び佐々布の一部を斐川町へ
17. 3. 22	合 体	出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町
23. 10. 1	編 入	斐川町

町名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		廃止済
				有		
				全域	一部	
いまいちちょう 今市町	今市町 (出雲市)	今市町	なかまち しんまち ほんまち ちゅうおうどおり えきどおり かがみまち 中町 新町 本町 中央通り 駅通り 鑑町		○	
			あいおいちょう だいかんちょう みゆきちょう ひがしまち きょうまち にきょうまち 相生町 代官町 行幸町 東町 京町 二京町			
			さんきょうまち なかがわちょう つかね みやのまえ わかばちょう 三京町 中川町 塚根 宮の前 若葉町			
			おがわちょう おうぎまち かみまち やくもちょう えびすちょう はんがさわ 小川町 扇町 上町 八雲町 恵美須町 半ヶ沢			
			かだまち ひがしほんどおり きたまち さいまいち てらまち すえひろちょう 加田町 東本通り 喜多町 境町 寺町 末広町			
			ひよしちょう いちのたに かのんじちょう さいわいまち しょうわちょう しんこうちょう 日吉町 一ノ谷 観音寺町 幸町 昭和町 真光町			
			ただけちょう もとまち もとみやちょう おちやまち さくらまち たけうちょう 武田町 元町 元宮町 御茶屋町 桜町 武内町			
いまいちちょうきたほんまち 今市町北本町 いちちようめ 一丁目	(//)	今市町 大姫 津原				○
いまいちちょうきたほんまち 今市町北本町 にちようめ 二丁目	(//)	今市町 大姫 津原				○
いまいちちょうきたほんまち 今市町北本町 さんちようめ 三丁目	(//)	今市町 大姫 津原				○
いまいちちょうきたほんまち 今市町北本町 よんちようめ 四丁目	(//)	今市町 大姫 津原				○
いまいちちょうきたほんまち 今市町北本町 ごちようめ 五丁目	(//)	今市町 大姫 津原				○
いまいちちょうみなみほんまち 今市町南本町	(//)	今市町 上塩 冶治				○

町名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		廃止済
				有		
				全域	一部	
えききたまち 駅北町	今市町 (出雲市)	今市町 塩治				○
えきみなみまちいちちようめ 駅南町一丁目	〃 (〃)	〃				○
えきみなみまちにちちようめ 駅南町二丁目	〃 (〃)	今市町				○
えきみなみまちさんちちようめ 駅南町三丁目	〃 (〃)	今市町 塩治				○
おおつちよう 大津町	大津村 (〃)	大津	きたく 南区 きれと 薬師 ほんまち 北 区 南 区 切 跡 薬 師 本 町 たいしやう おおまがり じやうなり まちがみ しもおおつ 大 正 大 曲 上 成 町 上 下大津 しやうえい やまわり かみくりはら しもくりはら ちやうじやばら 昭 栄 山 廻 上来原 下来原 長者原 しせい もとまち めいきゆう むつみ あかつき 至 誠 元 町 明 休 睦 暁 あさひ えだおおつ えだしんまち おとわ きたしんまち 朝 日 枝大津 枝新町 音 羽 北新町 くもね ことぶき さかえ しみず なかまち 雲 根 寿 栄 清 水 中 町 なかやま ひかり みなみしんまち むかいやくし しちめんさん じん で 中 山 光 南新町 向薬師 七面山 神 田 にし だに おお いし 西 谷 大 石		○	
おおつしんざきやういちちようめ 大津新崎町一丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつしんざきやうにちちようめ 大津新崎町二丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつしんざきやうさんちちようめ 大津新崎町三丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつしんざきやうよんちちようめ 大津新崎町四丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつしんざきやうごちちようめ 大津新崎町五丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつしんざきやうろくちちようめ 大津新崎町六丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつしんざきやうななちちようめ 大津新崎町七丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつあさくらいちちようめ 大津朝倉一丁目	〃 (〃)	大津 姫原				○
おおつあさくらにちちようめ 大津朝倉二丁目	〃 (〃)	〃				○
おおつあさくらさんちちようめ 大津朝倉三丁目	〃 (〃)	大津				○
えだおおつちよう 枝大津町	〃 (〃)	大津 中野			○	
かみえんやちよう 上塩治町	塩治村 (〃)	上塩治	すげさわ はんぶん つきやま みやまつ しもざわ むこう やま 菅 沢 半 分 築 山 宮 松 下 沢 向 山		○	

町名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		
				有		廃止済
				全域	一部	
つきやましんまち 築山新町	塩治村 (出雲市)	上塩治		○		
えんやちよう 塩治町	(//)	塩治	あげ 揚 弓原 たかにし 高西 たまつ 津 かいじょう 海上 たいしょう 大正		○	
			ゆう 有 らく 楽 むこういちば 向市場 こう 高 さい 栄 にしほんまち 西本町 さんげん家 三軒家			
えんやありはらちよういちちようめ 塩治有原町一丁目	(//)	塩天 治神				○
えんやありはらちようにちちようめ 塩治有原町二丁目	(//)	//				○
えんやありはらちようさんちようめ 塩治有原町三丁目	(//)	//				○
えんやありはらちようよんちようめ 塩治有原町四丁目	(//)	//				○
えんやありはらちようごちちようめ 塩治有原町五丁目	(//)	//				○
えんやありはらちようろくちちようめ 塩治有原町六丁目	(//)	//				○
てんじんちよう 天神町	(//)	天神	みなみてんじん 南天神 きたてんじん 北天神		○	
えんやちようみなみまちいちちようめ 塩治町南町一丁目	(//)	塩上 塩治 塩古 治志				○
えんやちようみなみまちにちちようめ 塩治町南町二丁目	(//)	//				○
えんやちようみなみまちさんちちようめ 塩治町南町三丁目	(//)	//				○
えんやちようみなみまちよんちちようめ 塩治町南町四丁目	(//)	//				○
えんやちようみなみまちごちちようめ 塩治町南町五丁目	(//)	//				○
えんやかんまえいちちようめ 塩治神前一丁目	(//)	塩治				○
えんやかんまえにちちようめ 塩治神前二丁目	(//)	//				○
えんやかんまえさんちちようめ 塩治神前三丁目	(//)	//				○
えんやかんまえよんちちようめ 塩治神前四丁目	(//)	塩上 塩治				○
えんやかんまえごちちようめ 塩治神前五丁目	(//)	//				○
えんやかんまえろくちちようめ 塩治神前六丁目	(//)	//				○
いだいみなみまちいちちようめ 医大南町一丁目	(//)	上塩治				○
いだいみなみまちにちちようめ 医大南町二丁目	(//)	塩上 塩治				○
いだいみなみまちさんちちようめ 医大南町三丁目	(//)	塩上 塩治 塩古 治志				○

町名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域		
			有		廃止済
			全域	一部	
えんやはらまちいちちょうめ 塩冶原町一丁目	塩冶村 (出雲市)	塩冶			○
えんやはらまちにちょうめ 塩冶原町二丁目	(〃)	〃			○
えんやはらまちさんちょうめ 塩冶原町三丁目	(〃)	塩冶 古志			○
えんやぜんこうちょう 塩冶善行町	(〃)	今市町 塩冶			○
こしちょう 古志町	古志村 (出雲市)	上古志	かみしんぐう しみしんぐう ほんごう まち とくれん 上新宮 下新宮 本郷 町 徳連		○
			いのうえ ふなもと うが ゆうひがおか 井上 舟本 宇賀 夕日ヶ丘		
たかまつちょう 高松町	高松村 (〃)	松枝	きたはら いでわけ みつくり わかみや 北原 井手分 三作 若宮		○
			はまご まがりまつ えきぜん きんで いげわい おお びらき 浜子 曲松 駅前 三出池 向大披		
しろえだちょう 白枝町	(〃)	白枝	いはら はら ど て しろはら 井原 原 土手 白原		○
			きたぐみ なかぐみ かみぐみ しろいち 北組 中組 上組 白一		
まつよりしもちょう 松寄下町	(〃)	松寄下	よつき よしょうじ いなば あきやま 余付 余小路 稲葉 朝山		○
			とりいだ なかよこびき かわなり はちまん 鳥居田 中横引 川成 八幡		
はまちょう 浜町	(〃)	浜	すなごだ しまだ みなみはま 砂子田 島田 南浜		○
しもよこちょう 下横町	(〃)	下横	よこびき すないり はみいり 横引 砂入 波美入		○
おやまちょう 小山町	四纏村 (〃)	小山	なかのしま つきやま せきや こがみ かやはら しも ぐち 中ノ島 築山 関屋 小神 茅原 下口		○
ひめばらちょう 姫原町	(〃)	姫原	こはやし かみのしま なかのしま まばら 小林 上の島 中の島 間原		○
ひめばらいちちょうめ 姫原一丁目	(〃)	〃			○
ひめばらにちょうめ 姫原二丁目	(〃)	〃			○
ひめばらさんちょうめ 姫原三丁目	(〃)	〃			○
ひめばらよんちょうめ 姫原四丁目	(〃)	大姫 大塚			○
おおつかちょう 大塚町	(〃)	大塚			○
わたりはしちょう 渡橋町	(〃)	渡橋	おきわたしはし ありはら くらしょうじ わたりはし 沖渡橋 有原 蔵小路 渡橋		○
やのちょう 矢野町	(〃)	矢野	やの いはら ごまで 矢野 井原 胡麻田		○

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		廃止済
							有		
							全域	一部	
矢尾町 やびちよう	高浜村 (出雲市)	矢尾	客垣谷 きやくかきだに	神門谷 ごうどだに	安田谷 やすだだに	天王山 てんのうさん		○	
			熊見谷 くまみだに	廻田谷 まきだだに					
日下町 くさかちよう	(//)	日下						○	
里方町 さとがたちよう	(//)	里方	別所 べつしよ	本郷 ほんごう				○	
平野町 ひらのちよう	(//)	平野	上平 かみひら	下平 しもひら				○	
常松町 つねまつちよう	(//)	常松	境 さかい	大鳥 おおとり				○	
江田町 えたちよう	高浜村 (出雲市)	江田						○	
八島町 やしまちよう	(//)	八島						○	
武志町 たけしちよう	川跡村 (//)	武志	昭栄 しょうえい	沖 おき	下 しも	第一 だいいち		○	
			第二 だいに	第三 だいさん	北 きた	東 ひがし			
			西 にし	南 みなみ	中組 なかぐみ	寺小路 てらしょうじ			
			新西 しんにし	北山団地 きたやまだんち	若葉 わかば	川跡駅前 かわとえきまえ			
			鹿島 かしま	神北 かみきた	団地 だんち	新北 しんきた			
			学園通り がくえんどおり	平成 へいせい	学北 がくきた	短大南 たんだいみなみ			
中野町 なかのちよう	(//)	中野	中 なか	程原 ほどはら	上 かみ	竿井手 さおいで	寺 てら	○	
			寺西 てらにし	共和 きやうわ	陽南 ようなん	南 みなみ			
			新生 しんせい	程原団地 ほどはらだんち	桂原 かつらはら	団地 だんち	本町 ほんまち		
中野美保北一丁目 なかのみほきたいちちようめ	(//)	〃							○
中野美保北二丁目 なかのみほきたにちちようめ	(//)	〃							○
中野美保北三丁目 なかのみほきたさんちちようめ	(//)	〃							○
中野美保南一丁目 なかのみほみなみいちちようめ	(//)	大津 中野						○	
中野美保南二丁目 なかのみほみなみにちちようめ	(//)	中野							○

町名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域		
			有		廃止済
			全域	一部	
なかのみほみなみさんちようめ 中野美保南三丁目	川跡村 (出雲市)	大津 中野			○
いなおかちよう 稲岡町	(//)	稲岡	きようせい 協生 みやのしま 宮の島 おおとし 大年 ほくよう 北陽		○
たかおかちよう 高岡町	(//)	高岡	からすもり 烏森 あさひ 旭 せいじつ 誠実 きようわ 協和 だいにち 大日 きおいで 竿井手 かみ 上 なか 中 ひがし 東 にし 西 ちゅうおう 中央 まえはら 前原 たかにし 高西 だんち 団地 みなみ 南 そよかぜ さつき		○
おぎとちまち 荻杼町	(//)	荻杼	ほうとく 報徳 だいいち 第一 だいに 第二 だいさん 第三 だいが 第五 だいろく 第六 だいなな 第七 ひがし 東 にし 西 だんち 団地		○
かみしまちよう 上島町	上津村 (出雲市)	上島	わくわ 和久輪 もりさか 森坂 まるがだに 丸ヶ谷 おくいだに 奥井谷 みただに 三田谷 のぶはた 延畑 ちゅうおう 中央 あげ 上ヶ おおだに 大谷		○
ふなつちよう 船津町	(//)	船津	すがはら 菅原 あげ 上ヶ はら 原		○
にしだにちよう 西谷町	一宮村 (//)	西谷			○
ひえばらちよう 稗原町	稗原村 (//)	稗原	ほとけだに 仏谷 かみやまよせ 上山寄 つのだに 角谷 すぎお 杉尾 との 殿 ばたけ 畑 きよ 清 たに 谷 どう 堂 やま 山 み 三 さか 坂		○
うなてちよう 宇那手町	(//)	宇那手	にしだに 西谷 みぎ 右 たに 谷 ひらばやし 平林 きこ 廻		○
のじりちよう 野尻町	(//)	野尻	うしお 牛尾 いわね 岩根 やまうしろ 山後 きこ 廻 だ 田		○
あさやまちよう 朝山町	朝山村 (//)	上朝山	あさやま 朝山 にしだ 西田		○
ところばらちよう 所原町	(//)	所原	しつたに 知谷 さくら 桜 きむら 木村 やすだに 安谷 との 殿 もり 森 お 大 つき 月 すばら 須原 どうばら 堂原		○
みみくちよう 見々久町	(//)	見々具	みみく 見々久 お 御 かた 方 はた 畑 だん 段		○
まきちよう 馬木町	(//)	馬木			○

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
まききたまち 馬木北町	朝山村 (出雲市)							○	
おつたちちょう 乙立町	乙立村 (〃)	乙立	たちくえ 立久恵	もりはら 森原	たしろ 田代	けんだばら 見田原		○	
あしわたちょう 芦渡町	神門村 (〃)	芦渡	ほじしかみ 保知石上	ゆいぶん 油井分	ほんごう 本郷	もとつぼ 元坪	ほじしきん 保知石三	○	
			ほじしいち 保知石一	ほじしに 保知石二					
ちいみやちょう 知井宮町	(〃)	知井宮郷 本郷	かぎ 嘉儀	まち 町	あさがら 浅柄	まききがおか 真幸ヶ丘		○	
			ほじし 保知石	きたぐみ 北組	なかぐみ 中組	りょうしも 両下			
			さかえ 栄	あんや 間谷					
かんどちょう 神門町	(〃)	知井宮郷 本郷	あずまや 東谷	おきな 沖中	おきしも 沖下	おきがみ 沖上		○	
しもごしちょう 下古志町	(〃)	下古志	しもぐみ 下組	かみきた 上北	かみぐみ 上組	じぞうどう 地藏堂	てんじんばら 天神原	○	
にしんまちいちちようめ 西新町一丁目	(〃)	芦渡 知井宮						○	
にしんまちにちちようめ 西新町二丁目	神門村 (出雲市)	〃						○	
にしんまちさんちちようめ 西新町三丁目	(〃)	知井宮						○	
にしじんざいちょう 西神西町	神西村 (〃)	神西西分	くけ 九景	とりめ 鳥目	たなか 田中	えびす 恵比須		○	
			いちば 市場	さかもと 坂本					
ひがしじんざいちょう 東神西町	(〃)	神西東分	ふもと 麓	さきはら 崎原	ひがしぐみ 東組	なかぐみ 中組	にしぐみ 西組	○	
じんざいおきちょう 神西沖町	(〃)	神西沖分	こばま 小浜	やまじ 山地	ひきふね 引舟	はら 原		○	
			じやじま 蛇島	おきがわ 沖川					
じんざいしんまち 神西新町	(〃)	神西西分 神西東分						○	
おおじまちょう 大島町	(〃)	大島	よしば 吉場	すなやま 砂山	しもぐみ 下組	なかぐみ 中組		○	
あらかやちょう 荒茅町	荒茅村 (〃)	荒茅	しもむこう 下向	うえまつ 植松	かやはら 茅原	かみぐみ 上組		○	
			なかぐみ 中組	きたぐみ 北組	かみむこう 上向	しもぐみ 下組			
ひがしぞのちょう 東園町	園村 (〃)	東園	きたぞの 北園	なか 中	みなみ 南			○	

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
にしぞのちょう 西園町	園村 (出雲市)	西園	はらぶん さいかいしま きまや たかみ 原分 境島 崎屋 高見			○			
			むこうばら しもながはま かみながはま 向原 下長浜 上長浜						
そとぞのちょう 外園町	(//)	外園				○			
ながはまちょう 長浜町	荒茅村 (//)	荒茅 東園 西園					○		
へいせいちょう 平成町	(//)						○		
ひがしはやしぎちょう 東林木町	鳶巣村 (//)	東林木	おおてらだに もんぜんだに あづだに ゆやだに 大寺谷 門前谷 阿土谷 湯屋谷			○			
			はま まえぐち 浜 前口						
にしはやしぎちょう 西林木町	(//)	西林木	なかぐみ まえぐみ おくのたに ひがしぐみ おき 中組 前組 奥之谷 東組 沖			○			
ひらたちょう 平田町	平田町 (平田市)		いちば きたほんまち ちゃまち なかほんまち 市場 北本町 茶町 中本町			○			
			みなみほんまち にしまち なかまち かんだまち 南本町 西町 中町 上田町						
			いちばんちょう かんだまちかみ きょうまち わかまつちょう 一番町 上田町上 京町 若松町						
			ふるどて ほんでん かねつき てらまち 古土手 本田 金築 寺町						
			みなみでらまち みなみなかまち みなみまち 南寺町 南中町 南町						
			やぶのちょうひがし さかえまち わかばちょう ふるかちょう 藪ノ町東 栄町 若葉町 古川町						
			ひがしほんまち さいわいまち もとまち みやのちょう 東本町 幸町 元町 宮ノ町						
			すえひろちょう みやにしちょう みやにしちょうにし みやにしちょうみなみ 末広町 宮西町 宮西町西 宮西町南						
			あげのしま ももやまちょう あたごちょう ふくろまち 上ノ島 桃山町 愛宕町 袋町						
			かたはらちょう しんまち あさひまち やくしちょう 片原町 新町 旭町 薬師町						
			なかのしまかみ おちやまち なんだまち おおくらちょう 中ノ島上 御茶屋町 灘町 大倉町						
			しょうわちょう なかのしまなか ふなだ なかのしまひがし 昭和町 中ノ島中 船田 中ノ島東						
			なかすじかみ なかすじしも さんわ とうあ 中筋上 中筋下 三和 東阿						
			ちゅうおう しんでんしも へいせいひがし へいせいにし 中央 新田下 平成東 平成西						
ひがしひらた さつきちょう こうゆう 東平田 さつき町 興友									
にしひらたちょう 西平田町	(//)		あいおいちょう ことぶきちょう あげぼのちょう みどり はすだ 相生町 寿町 あげぼの町 美土里 蓮田			○			

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域			
							有		廃止 済	
							全域	一部		
なだぶんちょう 灘分町	灘分村 (平田市)	平田灘分 出来洲	かわした	あさひ	みずほ	ひので		○		
			品川	ふるかわ	かみふるかわ	たじま				
			なかのす	いづみ	かみまち	よこて				
			しもふるかわ	はまのぼにし	はまのぼひがし	しんわ				
			たくわ	かみできす	しんでんまえ	しんでんしろ				
			こじまにし	こじまひがし	しもできす	にしなだ				
			えきなん	ひがしえきなん	みどりだんち	みさきやよい				
			駅南	東駅南	緑団地	美咲弥生				
〃 (〃)	島村		かわきた	きょうわ						
しまむらちょう 島村町	〃 (〃)	〃	しまむらかみ	しんぐみ	ちゅうせい	しまむらしも		○		
でじまちょう 出島町	〃 (〃)	島村洲 出来洲							○	
みだみちょう 美談町	国富村 (〃)	美談	にしだにかみ	にしたにまえ	かみぐちにし	かみぐちひがし		○		
			西谷上	西谷前	上口西	上口東				
			なかだ	はまごにし	はまごひがし	ひがしたにまえ				
仲田	浜子西	浜子東	東谷前							
ひがしたになか	ひがしたにかみ	みだみじゅうたく								
東谷中	東谷上	美談住宅								
にしだいちょう 西代町	〃 (〃)	西代	かみぐみにし	かみぐみひがし	なかすじにし	なかすじひがし		○		
			上組西	上組東	中筋西	中筋東				
			ふるかわにし	ふるかわなか	ふるかわひがし	しんかわひがし				
古川西	古川中	古川東	新川東							
しんかわみなみ	なかすじきた									
新川南	中筋北									
くにどみちょう 国富町	〃 (〃)	国富	みどりだんち	あおばだんち	ぼふしにし	ぼふしひがし		○		
			緑団地	青葉団地	馬伏西	馬伏東				
			あげしまにし	くにどみよん	おおえのき	なかがわにし				
			上ヶ島西	国富四	大榎	仲川西				
			なかがわなか	くにどみひがし	なかむらいち	なかむらに				
仲川中	国富東	中村1	中村2							
なかむらさん	なかむらよん	なかむらご	かなやましも							
中村3	中村4	中村5	金山下							
かなやまなか	かなやまかみ									
金山中	金山上									
くちうがちょう 口宇賀町	(国富村) (平田市)	口宇賀	かみのしまかみ	かみのしましも	てらうちにし	てらうちひがし		○		
			上の島上	上の島下	寺内西	寺内東				
しものしまきた	しものしまなか	ほりこし								
下の島北	下の島中	堀越								
さいごうちょう 西郷町	西田村 (〃)	西々郷	こいけ	ならお	おもて	にしたにかみ	にしたにしも		○	
小池	奈良尾	表	西谷上	西谷下						

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止済
							全域	一部	
ほんじょうちょう 本庄町	西田村 (平田市)	水谷本庄	いおち 庵地	おおとし 大歳	まつばら 松原	さいだに 西谷		○	
			みずたにかみ 水谷上	みずたにしも 水谷下					
まんだちょう 万田町	〃 (〃)	万田	もりさき 森崎	なかにし 中西	おおだに 大谷	せんぼん 千本		○	
			おぞえ 尾添	かりやま 刈山	しょうだい 庄大	ゆやだに 湯屋谷			
			みやま 深山	とうげ 峠					
おくうがちょう 奥宇賀町	〃 (〃)	奥宇賀	のうき 納木	ひのだに 樋之谷	みつおしも 光尾下	みつおかみ 光尾上		○	
			わだかみ 和田上	わだなか 和田中	わだしも 和田下	ふせかみ 布勢上	ふせなだ 布勢灘		
かわしもちょう 河下町	鱒淵村 (〃)	河下	なだひら 灘平	なかまち 中町	ほうとく 報徳	しんぼく 親睦		○	
べっしょちょう 別所町	〃 (〃)	別所	べっしょ 別所					○	
からかわちょう 唐川町	〃 (〃)	唐川	からかわ 唐川					○	
いのめちょう 猪目町	〃 (〃)	猪目	いのめ 猪目					○	
とうごうちょう 東郷町	久多美村 (〃)	東郷	ひがししも 東下	ひので 日の出	にしかみ 西上	にししも 西下		○	
とうふくちょう 東福町	〃 (〃)	東福	はま 浜	まきど 牧戸	まきどみなみだんち 牧戸南団地	まきどにしだんち 牧戸西団地		○	
			まきどしんだんち 牧戸新団地	まきどひがしだんち 牧戸東団地	こようそくしんじゅうたく 雇用促進住宅	まきどなか 槇戸中			
			みょうかわ 明川	さとみ 里美	うすい 白井	なかぐみ 中組			
			きくぼ 作暮	かやはら 茅原	よしはら 吉原	みはら 美原			
			かわきた 川北	わのうちにし 輪の内西	わのうちにひがし 輪の内東	ひがしこまち 東小町			
くたみちょう 久多見町	〃 (〃)	久多見	くたみ 久多見					○	
のいしだにちょう 野石谷町	〃 (〃)	野石谷	さかぼう 坂坊	いぎ 伊儀	かみより 上寄	さとう 佐藤		○	
かみおかだちょう 上岡田町	〃 (〃)	上岡田	かみおかだしも 上岡田下	かみおかだなか 上岡田中	かみおかだかみ 上岡田上	みれにあむたうん ミニアムタウン		○	
おかだちょう 岡田町	檜山村 (〃)	岡田	いيام 飯山	おかだなか 岡田中	おかだかみ 岡田上	りっしょう 立正	おかだなだ 岡田灘		○
たくだにちょう 多久谷町	〃 (〃)	多久谷	たくだになだ 多久谷灘	なかのてにし 中ノ手西	さんじよ 遠所	べっしょしも 別所下		○	
			べっしょかみ 別所上	おくがみ 奥上	はた 畑	なかのてひがし 中ノ手東			
たくちちょう 多久町	〃 (〃)	多久	かりもだに 刈藻谷	たくかみ 多久上	たくなか 多久中	ひらだに 平谷	てらだに 寺谷		○
			おおなだ 大灘	あげなだ 上灘	ひので 日の出	あさひがおか 旭が丘	なるたけ 鳴竹		

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止済
							全域	一部	
そ の ち ょ う 町 園 町	東 村 (平田市)	園	ぬのぎにし 布崎西	ぬのぎみなみ 布崎南	ぬのぎかみ 布崎上	ぬのぎきかえ 布崎栄	○		
			ぬのぎちゆうおう 布崎中央	やまだに 山 谷	あいがだに 合ヶ谷	ほんごうなだ 本郷灘			
			ほんごうしも 本郷下	ほんごうなか 本郷中	お か ば 若 葉	おおぎまち 扇 町			
			ほんごうかみ 本郷上	さつきがおか さつきが丘					
ろくおんじちよう 鹿園寺町	" (")	鹿園寺	しもひがし 下 東	ちゆうおうしも 中央下	ちゆうおうかみ 中央上	は ん ど 繁 門	○		
			かみかわにし 上川西	かみおく 上 奥	ひがしがおか 東が丘				
こざかいちよう 小 境 町	" (")	小 境	こざかいなだ 小境灘	ひがししも 東 下	ひがしかみ 東 上	な か す じ 中 条	○		
			こざかいにし 小境西	なかのてしも 中ノ手下	なかのてなか 中ノ手中	なかのてかみ 中ノ手上			
			ごまだに 胡麻谷	きたがきうしろやま 北垣後山	きたがきとのみや 北垣殿宮	いちほたえきせん 一畑駅前			
			きたがきなか 北垣中	きたがきかみ 北垣上	きたがきかみひがし 北垣上東				
			ひがしがおかしえいじゆうたく 東が丘市営住宅	けんえいこざかいだんち 県営小境団地					
こづちよう 小 津 町	北浜村 (")	小 津	あいしろ 相 代	みやのちよう 宮ノ町	ほんまち 本 町	な か ま ち 中 町	○		
			さかえまち 栄 町	なだまち 灘 町					
うつふるいちよう 十六島町	" (")	十六島	もりいし 森 石	わかみや 若 宮	な か ま ち 中 町	た か し ま 高 島	○		
			はままち 浜 町	にしまち 西 町	かみぐみ 上 組	みやのちよう 宮之町			みなとまち 港 町
かまうらちよう 釜 浦 町	" (")	釜 浦	にしまち 西 町	ひがしまち 東 町			○		
しおつちよう 塩 津 町	" (")	塩 津	むこうら 向 浦	かみまち 上 町	おおうら 大 浦		○		
みほちよう 美 保 町	北浜村 (平田市)	唯 浦	かみまち 上 町	なだまち 灘 町			○		
みつちよう 三 津 町	佐香村 (")	三 浦	にしたにかみ 西谷上	にしたにしも 西谷下	なかむらにし 中村西	なかむらひがし 中村東	○		
			おおひら 大 平	てらのまえ 寺の前	にしかわ 西 川	うしろこうじ 後小路			
			なかこうじかみ 中小路上	なかこうじしも 中小路下	まえかわかみ 前川上	まえかわしも 前川下			
			かわむこう 川 向						
こいづちよう 小伊津町	" (")	小伊津	すげさわ 菅 沢	にしこうじだいいち 西小路第一	にしこうじだいに 西小路第二	かみこうじだいいち 上小路第一	○		
			かみこうじだいに 上小路第二	じげこうじだいいち 地下小路第一	じげこうじだいに 地下小路第二	はむこうじだいいち 橋向小路第一			

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
こいづちよう 小伊津町	佐香村 (平田市)	小伊津	はしむこうこうじだいに 橋向小路第二	じゅうたく 住宅	うしろやまこうじ 後山小路	こいづがおか 小伊津ヶ丘		○	
きかうらちよう 坂浦町	〃 (〃)	坂浦	たのと 田ノ戸	たていし 立石	しょうぶだいいち 庄部第一	しょうぶだいに 庄部第二		○	
			しげたくろめ 繁田黒目	たけのうえ 竹ノ上	かみぐみ 上組	なだまえぐみ 灘前組			
			みやこうじ 宮小路	しもこうじ 下小路	やなぎだに 柳谷				
よしのちよう 美野町	伊野村 (〃)	美野	にしかみ 西上	にしなだ 西灘	はたけなか 畑ヶ中	おおだに 大谷		○	
			ひきぎ 引木	こうざん 高山	よしのだんち よしの団地				
のざとちよう 野郷町	〃 (〃)	野郷	はた 畑	どうのもと 堂ノ本	かねもり 金森	みのだに 三ノ谷		○	
			まつえ 松枝	おおぼた 大畑	なかのて 中ノ手				
ちごうちよう 地合町	〃 (〃)	地合	にしちごう 西地合	ひがしちごう 東地合				○	
きだちよう 佐田町 すき 須佐	東須佐村 (佐田町)	宮内	やまなか 山中	いりよう 飼領	さだ 佐田	みだ 御田		○	
佐田町 ほらだ 原田	〃 (〃)	原田	いなた 稲田	しらたき 白滝	みしろ 三代				○
佐田町 あざばら 朝原	〃 (〃)	朝原	ごう 郷	てらお 寺尾	みつまき 三槇	じりよう 寺領		○	
			なばい 名梅						
佐田町 おおる 大呂	西須佐村 (〃)	大呂	ひがしやまなか 東山中	かみぐみ 上組	さんのみや 三の宮	やわた 八幡			○
			だいせん 大山	みはた 御幡					
きだちよう 佐田町 たんべ 反辺	〃 (〃)	反辺	ひらた 平田	べつしよ 別所	ほんごう 本郷	まち 町		○	
			けいしやう 慶正	のんみず 呑水	よどにし 淀西				
きだちよう 佐田町 やわたばら 八幡原	乙立村 (佐田町)	八幡原	かわみなみかみ 川南上	わえじま 和江島	かわきたかみ 川北上	かわきたしも 川北下		○	
きだちよう 佐田町 ひがしむら 東村	〃 (平田市)	東村	かやの 萱野	うけち 受地	ひがしほんごう 東本郷			○	

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域			
							有		廃止 済	
							全域	一部		
佐田町 ひとくぼた 一窪田	窪田村 (平田市)	一窪田	原がわ 原川	くりはら 栗原	いいのほら 飯の原	いつたに 五谷		○		
			あさひ 旭	さかえ 栄	かがだに 加賀谷	すがた 菅田				
			とよた 豊田	にえ 仁江	きょうわ 共和	いしば場 石場	にしき 錦			
佐田町 けづ 毛津	〃 (〃)	毛津	けづほんごう 毛津本郷	うしろだに 後谷				○		
佐田町 きつめ 佐津目	山口村 (〃)	佐津目	しもきつめ 下佐津目	なかきつめ 中佐津目					○	
佐田町 たかつや 高津屋	〃 (〃)	高津屋						○		
佐田町 しもほしなみ 下橋波	〃 (〃)	下橋波	みやのべ 宮の部	ひので 日の出				○		
佐田町 かみほしなみ 上橋波	〃 (〃)	上橋波	よこみ 横見	もんまがり 門曲				○		
佐田町 よしの 吉野	〃 (〃)	吉野						○		
多伎町 かんぼら 神原	富山村 (多伎町)	神原	やまごおり 山郡						○	
多伎町 おくたぎ 奥田儀	田儀村 (〃)	奥田儀	みやもと 宮本	おおす 大須	はりど 針戸	くらや 蔵谷			○	
			ちのみ 智呑	かわにし 川西	こばら 小原					
多伎町 くちたぎ 口田儀	〃 (〃)	口田儀	なかごおり 中郡	つかのをだに 塚之尾谷	こえどう 越堂	みなとまち 港町			○	
			ほんまち 本町	ひがしほんまち 東本町	たけうえ 竹の上	たぎよそう 田儀余草				
多伎町 おだ 小田	田岐村 (多伎町)	小田	おだにし 小田西	うしろばた 後畑	すげさわ 菅沢	にしあかし 西明			○	
			ずな 頭名	おだひがし 小田東	おだまち 小田町	やまそら 山の空				
			えどう 恵堂	おたまちかみ 小田町上	きゅうどう 旧道	たかぎ 高木				

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域			
							有		廃止 済	
							全域	一部		
多伎町 多岐	田岐村 (多伎町)	多岐	えきまへ 駅前	すなばら 砂原	たきちゅうおう 多岐中央	おおにし 大西			○	
			うすぎ 宇杉	おきだい 沖代						
多伎町 久村	久村 (〃)	久村	上ゲ	くむらまちかみ 久村町上	くむらまちしも 久村町下	なかなご 中砂子			○	
			はま 浜	むこうしも 向 下	むこうかみ 向 上	しんどう 新 道	ふくしげら 福志原			
湖陵町 大池	西浜村 (湖陵町)	大池	じゃいけ 蛇池	たきのうえ 滝ノ上	あかばね 赤羽根	にしきた 西 北	こうじん 荒 神			○
			なだまち 灘 町	みょうじん 明 神	ほんかわ 本 川	かわかみ 川 上	しみず 清 水			
			かわしも 川 下	ちゅうおう 中 央	だいば 台 場	みずかみ 水 上	おおいけなかぐみ 大池中組			
			ゆうひがおかじゅうたく 夕日ヶ丘住宅	ゆうひがおか 夕日ヶ丘	ゆうひがおかなみなみ 夕日ヶ丘南					
湖陵町 板津	〃 (〃)	板津	かみひがし 上 東	かみにし 上 西	しもぐみ 下 組	うしろぐみ 後 組			○	
			ひがしぐみ 東 組							
湖陵町 差海	〃 (〃)	差海	いしだにひがし 石谷東	いしだにみなみ 石谷南	いしだにし 石谷西	いしだになか 石谷中	そらぐち 空 口			○
			そらぐみ 空 組	せいぶ 西 部	なかぐみ 中 組	かみそら 上 空	きたぐみ 北 組			
			かわまえ 川 前	おくひがし 奥 東	おくにし 奥 西	じゃじまひがし 蛇島東	じゃじまにし 蛇島西			
			じゃじまみなみ 蛇島南	いしだにちゅうおう 石谷中央						
湖陵町 畑村	江南村 (〃)	畑村	かんばた 上 畑	なかばた 中 畑	しもばた 下 畑				○	
湖陵町 常楽寺	〃 (〃)	常楽寺	にしかみ 西 上	にししも 西 下	ひがし 東	じょうらくじだんち 常楽寺団地			○	
湖陵町 三部	江南村 (湖陵町)	三部	さんぶかみ 三部上	さんぶなか 三部中	さんぶしも 三部下	くらみち 倉 道	えきどおり 駅 通			○
			えきにし 駅 西	えきどおりひがし 駅通東	たけざき 竹 崎	メゾンマルゼン…… メゾンマルゼン……	ひがしさんぶ (東三部)			
			なかしまいち 中島1	なかしまに 中島2	やすはらいち 安原1	やすはらに 安原2	やすはらさん 安原3			
			こ 湖	なん 南……	にしさんぶ (西三部)					
湖陵町 二部	〃 (〃)	二部	あねだにみなみかみ 姉谷南上	あねだにみなみしも 姉谷南下	あねだにひがしかみ 姉谷東上	あねだにひがししも 姉谷東下			○	
			あねだにし 姉谷西	あねだにきた 姉谷北	あねだにしも 姉谷下	あねだになか 姉谷中	えびす 恵美須			
			……あねだに (姉 谷)	うしろだにかみ 後谷上	うしろだにしも 後谷下……	うしだに (後 谷)	すなごひがし 砂子東			
			すなごみなみ 砂子南	すなごにし 砂子西	すなごきた 砂子北	みのるそう 美能留荘……	すなご (砂 子)			

町名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域						
			有		廃止 済				
			全域	一部					
大社町 杵築東	大社町 (大社町)	杵築東	まな井 元町	みやうち 四ツ角	おおとりい 富屋町	なかもち 御宮通		○	
			みやにしちよう 宮西町	かじまち 鍛冶町	ひがしたてこうじ 東立小路				
大社町 杵築南	〃 (〃)	杵築南	しんもんまえ 神門前	しんもんなか 神門中	しんもんみなみ 神門南	しんもんにし 神門西		○	
			しょうがっこうまえ 小学校前	ちゅうがっこうまえ 中学校前	ばばにし 馬場西	ばばにしなか 馬場西中			
			ばばなか 馬場中	ばばきた 馬場北	ばばひがしなか 馬場東中	ばばひがし 馬場東			
			しょうわまち 昭和町	あさひまち 朝日町	せいもんにし 正門西	うえげんこういん 上玄光院			
			しもげんこういん 下玄光院	ほんまち 本町	つぼのうち 坪の内	よこまち 横町			
			いちばきた 市場北	いちばなか 市場中	いちばみなみ 市場南	いちばひがし 市場東			
			しほんまつきた 四本松北	しほんまつなか 四本松中	しほんまつみなみ 四本松南	しほんまつひがし 四本松東			
			みなみほんどうり 南本通						
大社町 杵築西	〃 (〃)	杵築西	みなとばら 湊原	あかつかいち 赤塚一	あかつかに 赤塚二	あかつかさん 赤塚三		○	
			あかつかよん 赤塚四	すまよしちよう 住吉町	こどちいちみなみ 小土地一南	こどちいちきた 小土地一北			
			こどちに 小土地二	こどちさん 小土地三	うえおおどち 上大土地	したおおどち 下大土地			
			えいとくじざか 永徳寺坂	にしたてこうじ 西立小路	やまのうちだんち 山内団地				
大社町 杵築北	〃 (〃)	杵築北	しんまち 新町	ひがししんまち 東新町	やまね 山根	なかむらちよう 中村町		○	
			うえなかわら 上中村	かりのみやいちみなみ 仮の宮一南	かりのみやいちきた 仮の宮一北	かりのみやに 仮の宮二			
			かりのみやさん 仮の宮三	かりのみやよん 仮の宮四	かりのみやご 仮の宮五	かりのみやろく 仮の宮六			
			いなさ 稲佐						
大社町 北荒木	荒木村 (〃)	北荒木	かわかたみなみ 川方南	かわかたきた 川方北	かわかたにし 川方西	えきどおりいち 駅通一	なかすじ 中筋		○
			かみきたみなみいち 上北南一	かみきたみなみに 上北南二	かみきたひがし 上北東	かみきたなかいち 上北中一			
			かみきたなかに 上北中二	かみきたかみ 上北上	かみきたにし 上北西	パークヒルズ 浜山			
			きょうしよくいんじゆうたく 教職員住宅	はまやまだい 浜山台	タウン 北荒木				

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
大社町 修理免	荒木村 (大社町)	修理免	みなみはらひがし 南原東	みなみはらにし 南原西	にしばら 西原	えきどおりに 駅通二		○	
			えきどおりさん 駅通三	なかのしま 中の島	はらまち 原町				
			かみばら 上原	ほんごうひがし 本郷東	ほんごうにし 本郷西				
大社町 中荒木	〃 (〃)	中荒木	はまね 浜根	こまるこ 小丸子	えびす 恵美須	からじま 唐島		○	
			いちもんぼし 一文橋	おおかじ 大梶	しけんやみなみ 四軒家南	しけんやきた 四軒家北			
			しんはま 新浜	なかすじみなみ 中筋南	なかあらかしゆくしゃ 中荒木宿舎				
大社町 遙堪	〃 (〃)	遙堪	しげのたに 繁の谷	あじきだに 阿式谷	ごくらくやま 極楽山	たるとだに 樽戸谷		○	
			かましる 鎌代	にしゆやだに 西湯屋谷	おきまち 沖町	ひがしゆやだに 東湯屋谷			
			はなつみ 花摘	たにやました 谷山下	たにやまうえ 谷山上	いしうす 石臼	けんざき 見崎		
大社町 入南	〃 (〃)	入南	にゅうなんかみ 入南上	にゅうなんなか 入南中	にゅうなんにし 入南西	はました 浜下	やりがさきひがし 鍵ヶ崎東		○
			やりがさきにし 鍵ヶ崎西	やりがさきみなみ 鍵ヶ崎南	やりがさきた 鍵ヶ崎北				
大社町 菱根	〃 (〃)	菱根	ひしねにし 菱根西	かわらだに 河原谷	ひしねなか 菱根中	さんじゅうぶやま 三十歩山		○	
			ひしねかみ 菱根上	ほらひがし 原東	こまつばら 小松原	ほらにし 原西			
大社町 日御碕	〃 (〃)	日御碕	とうだい 灯台	みやまえいち 宮前一	みやまえに 宮前二	えびす 恵比須		○	
			なかやまし 中山西	なかやまひがし 中山東					
大社町 宇龍	〃 (〃)	宇龍	ひがしかみまち 東上町	ひがしなかも 東中町	ひがしたまち 東下町	なかひらまち 中平町		○	
			たまち 田町	ひがしたまち 東田町	にしまち 西町	しんまち 新町			
大社町 鷺浦	〃 (〃)	鷺浦	さぎうらいち 鷺浦一	さぎうらに 鷺浦二	さぎうらさん 鷺浦三	さぎうらよん 鷺浦四		○	
大社町 鵜峠	〃 (〃)	鵜峠	うどご 鵜峠五	うどろく 鵜峠六				○	

町名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域	
			有	
			全域	一部
斐川町 学頭	荘原村 (斐川町)	上学頭 北組 綿田原 北筋 北灘	○	
		大倉 大倉東 灘南 灘北 駅通り		
		軍原 新原 大井 大井上 みはらし		
		新田畑 石川 湯のおか		
斐川町 荘原	()	御射山 新橋 横町 協和 南本町	○	
		南灘 汽船町 中本町 中灘 中之町		
		共栄 喜多 川東 栄町 北本町		
		北新町 新生町 幸町 新南町 新生本町		
		東町 和泉町 東本町1 東本町2		
		日ノ出町 新田上 空港西 新田下		
		下新川 湖西 島灘 八雲東		
		八雲西 八雲南 川北上 中央西		
		中央東 美幸町 信和町 東信和町		
		旭町北 南旭町 サンコーポラス1		
		サンコーポラス2 グリーンタウン		
		荘原団地1 荘原団地2 荘原団地3		
		フラワータウン		
斐川町 神庭	()	宇屋谷 神庭谷 中溝 前原	○	
		西谷		
斐川町 三つが絡	()	羽根東 羽根西 武部東 武部西	○	
		吉成		
斐川町 上庄原	()	南田波 神田 馬役 北田波	○	
		新川 新晃		

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
斐川町 阿宮	出西村 (斐川町)	阿宮	上阿宮1 下阿宮1	上阿宮2 下阿宮2	上阿宮3 下阿宮3	上阿宮4 			○
斐川町 出つ西	(")	出西	上出西1 中出西3 中出西7	上出西2 中出西4 下出西1	中出西1 中出西5 下出西2	中出西2 中出西6 下出西3			○
斐川町 神氷	(")	神氷	氷室1 氷室5 神守3	氷室2 氷室6 神守4	氷室3 神守1 神守5	氷室4 神守2			○
斐川町 求院	(")	求院	求院1 求院5	求院2	求院3	求院4			○
斐川町 併川	(")	併川	神立1 メゾン神立	神立2 千家1	神立3 千家2	神立4 千家3			○
斐川町 富むら村	伊波野村 (斐川町)	富村	富上 太才	富上北 富下1	富中 富下2	富中協和 富下西			○
斐川町 名島	(")	名島	北島	北島2	別名				○
斐川町 鳥井	(")	鳥井	井上	鳥屋上	鳥屋北	鳥屋東			○
斐川町 上直江	(")	上直江	原 岩野原前	大島 岩野原あずま団地	岩野原東	岩野原西			○

町名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		廃止済
				有		
				全域	一部	
斐川町 上直江	伊波野村 (斐川町)	上直江	やかしら 八頭 平野 新川 駅 前			○
			みどりがおか みどりヶ丘 原南 寺前 メイプル1			
			めいぶるに メイプル2 アクティー1 アクティー2			
			さにーぶれいす サンライズタウン			
			えきなんいち 駅南1 駅南3 駅南4 駅南5 駅南6			
			えきなんなな 駅南7 駅南8 駅南中央1 駅南中央2			
			えきなんちゅうおうさん 駅南中央3 夢咲タウン あぐりタウン			
斐川町 直江	直江村 (斐川町)	下直江	つつじすげさわ 漆治菅沢 中筋小原 共栄町 新町			○
			あいおいちよう 相生町 にしほんまち 西本町 ほんまち 本町 なかまち 中町			
			まんざいちよう 万才町 ひがしほんまち 東本町 にしあさひまち 西旭町 ひがしあさひまち 東旭町			
			せいなんちよう 西南町 とうなんちよう 東南町 しんいち 新市 しんかわ 新川			
			ほりぎり 堀切 むすびにし 結西 むすび 結 みい井 三井			
			つつじがおかいち つつじヶ丘1 つつじがおかに つつじヶ丘2 しんたて 新建 さかい 境			
			みゆきどおり 御幸通 あかし 明石 なおえすぎさわ 直江杉沢 なおえすぎさわに 直江杉沢2			
			かななび 神奈美			
斐川町 美南	久木村 (斐川町)	南村	あいば 相場 くらしま 蔵島 いざよい 十六夜 なかさ 中座			○
			きたしま 北島 いざよいにし 十六夜西 みなみきた 美南北			
斐川町 福富	()	福富	ふくどみ 福富 やしろ 社 あけぼの 曙 わかみやおうじん 若宮応神			○
			わえい 和栄			
斐川町 原鹿	()	原鹿	みなみ 南 しまだ 島田 なかぐみ 中組 いばら 井原			○
			とうほく 東北 やよい 弥生 みやにし 宮西			
斐川町 今在家	()	今在家	けうえき 有益 しようこう 正興 こうのう 興農 かすが 春日			○
			いまざいけだんち 今在家団地			

町名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
斐川町 沖洲	出東村 (斐川町)	沖洲	勝久寺 天神	おきのすまえしま 昭和	きたしま 瑞穂	かいしょ 東島		○	
斐川町 中洲	(〃)	中洲	かみぐみ 有信	なかぐみ 中洲新田	ちゅうおう 中洲新和	みやけしま 三宅島		○	
斐川町 黒目	(〃)	黒目	かみぐろめ 上黒目	あいば 相場	なかぐろめ 中黒目	しもぐろめ 下黒目		○	
			なだにし 灘西	なだひがし 灘東	まつばら 松原	なだむかい 灘向			
			くろめしんでん 黒目新田	まつえぶん 松江分	さにてうん サニータウン				
斐川町 三分市	(〃)	三分市	ほりのうち 堀の内	みやぐみ 宮組	きたはま 北浜	はま 浜		○	
			さんぶいちおおさわ 三分市大沢	すながわ 砂川	きょうなん 橋南	かけとちゅうおう 欠戸中央			
			かけと 欠戸	きょうほく 橋北	いっぽんまつ 一本松	かわひがしかみぐみ 川東上組			
			かわひがしなかぐみ 川東中組	とうぶ 東部	ろくちやうば 六丁場				
斐川町 坂田	(〃)	坂田	かみのしま 上ノ島	なかのしま 中ノ島	さかだおおさわ 坂田大沢	しんわ 新和		○	
			しせい 資生	だいわ 大和	きょうせいいち 協生1	きょうせいに 協生2			
			きょうせいさん 協生3	じゅんこう 醇厚	さかだまえしま 坂田前島	きょうしん 共進			
			のうゆう 農友	いかりしも 碓下					

注:住居表示実施区域

(昭和56年5月1日実施)

塩冶町南町一丁目・塩冶町南町二丁目(4街区を除く)・塩冶町南町三丁目・塩冶町南町四丁目
塩冶町南町五丁目

(昭和57年9月1日実施)

塩冶神前一丁目・塩冶神前二丁目・塩冶神前三丁目・塩冶神前四丁目・塩冶神前五丁目・塩冶神
前六丁目・医大南町一丁目・医大南町二丁目・医大南町三丁目

(昭和58年9月1日実施)

塩冶原町一丁目・塩冶原町二丁目・塩冶町南町二丁目(4街区のみ)

益田市



市章

本市を象徴する市章は、益田町が一般町民から募集し、「マスダ」を図案化して町章に定めていたものを、市制実施にあたり一部修正し、市章として制定したものである。

市の花

水仙

市の木

欒（けやき）

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人口 (人)	52, 368	50, 015
	世帯数 (世帯)	19, 333	19, 243
	面積 (km ²)	733, 16	733, 24

<市名の由来>

平安時代中期に成立した事典「和名類聚抄」に益田郷がみえ、万葉仮名で「末須太」と訓じている。江戸時代に石見国の農学者石田春律が刊行した地誌『石見八重葎』では「真田」、「舛田」という。益田の地名は、一帯が良田の真砂田であったことに由来するといわれる。平安時代末期、石見国府の在庁官人御神本氏が、益田平野とその周辺部を摂関家に寄進して荘園益田荘が成立すると、御神本氏は荘官に任じられ、以来、益田を本拠として益田氏を称した。

<沿革>

益田市には、恵まれた自然環境によって原始・古代からの豊かな歴史文化があり、数多くの遺跡が残る。匹見地区には旧石器時代と、特に縄文時代の遺跡が集中し、中国・九州地方との広範囲な交流があった。益田平野及びその周辺では、弥生時代に大規模な集落が営まれ、古墳時代には大型古墳が築造された。

律令時代には、都茂郷、益田郷、苓気郷、山田郷、山前郷、大農郷、美濃郷、小野郷の八郷に属し、万葉歌人柿本人麿の出生と終焉の地といわれる。平安時代の初めには、美濃郡に醴泉が出現して、その瑞祥によって年号が改元され、さらに都茂郷丸山で銅山が発見された。

中世に入ると、城館跡や港湾遺跡など益田氏関連遺跡群、萬福寺及び医光寺の庭園をはじめ、中世の歴史文化が色濃く残り、雪舟が来訪し、当地で没したといわれる。さらに、旧匹見町は壇ノ浦の合戦に敗れた平家の落人が定着した地としても知られている。また、都茂鉾山は交易とともに益田氏の財力を支え、戦国時代には、石見銀山のひとつとして銀を産出していた。益田氏は、南北朝期以降は大内氏、さらにその滅亡後は毛利氏に従い、関ヶ原の戦いの後に、長門国阿武郡須佐村に本拠を移し、萩藩毛利家の国家老を務めた。

江戸時代に入ると、浜田藩と津和野藩に分割され、都茂村は天領の石見銀山領（後に浜田藩領）となった。益田氏の移住によって七尾城下町は衰退したが、右田宗味が定期市を起こし、在郷町として再興された。美都地区では、江戸時代も都茂鉾山の操業が続き、昭和 61 年に閉山するまで地域を支える基幹産業として多くの恩恵をもたらした。製鉄や紙漉も盛んに行われ、明治時代には、梅毒の特効薬サルバルサン 606 号を発見した医学者秦佐八郎が生まれた。匹見地区では、江戸時代以降、豊富な山林資源を背景にして、たたら製鉄や紙漉、木材や木工品の生産が盛んに行われた。大正 15 年には、益田・匹見間を結ぶ索道が開通し、昭和 26 年まで林産品や生活物資の輸送を支えた。戦後は、わさび生産や鉄道の枕木の需要による製材業などで繁栄し、木炭は最盛期には県内一の生産高を誇った。

益田市は、平成 16 年 11 月 1 日の益田市・美濃郡美都町・美濃郡匹見町の合併により、県内最大の面積をもつこととなった。清流高津川や匹見峡などの豊かな自然環境や歴史文化などの風土に生まれ、市民一人ひとりがまちづくりの主役として活躍し、人と地域が輝くまちづくりを目指している。

益田市

H16.11.1

編入

美都町
別紙1
匹見町
別紙2

編入
S 30・3・25

益田市
市制施行
合併
S 27・8・1

益田町
町名変更
S 18・7・1
石見町
合併
S 16・2・11

高津町
町制施行
T 11・10・1

吉田町
町制施行
S 9・7・1

高津村
合併
M 22・4・1

吉田村
合併
M 22・4・1

益田町
(町制)
M 22・4・1

豊川村
合併
M 22・4・1

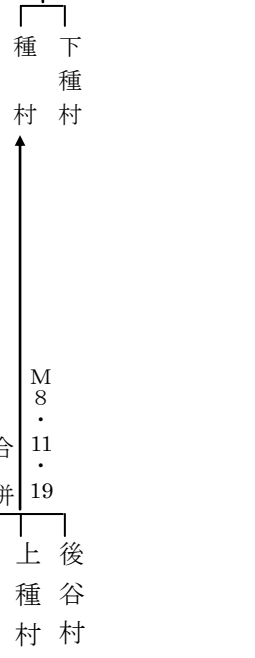
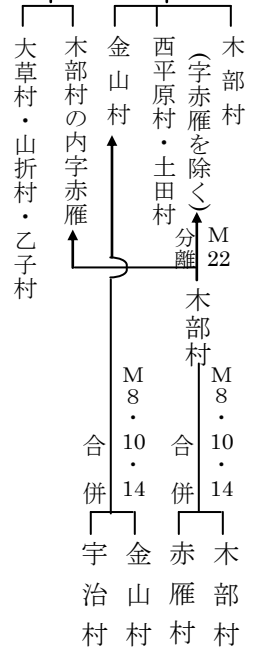
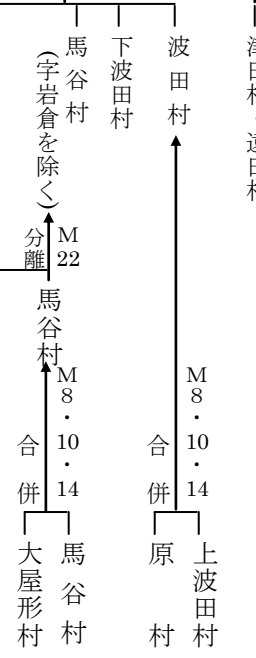
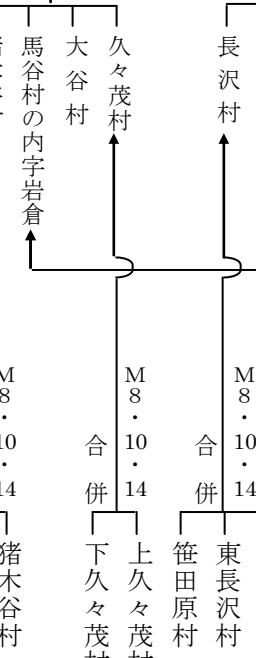
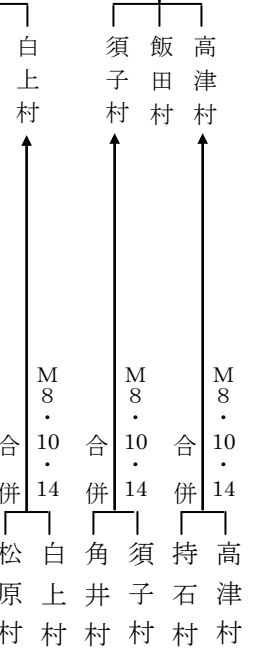
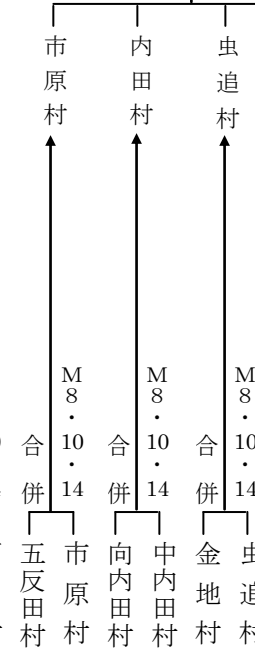
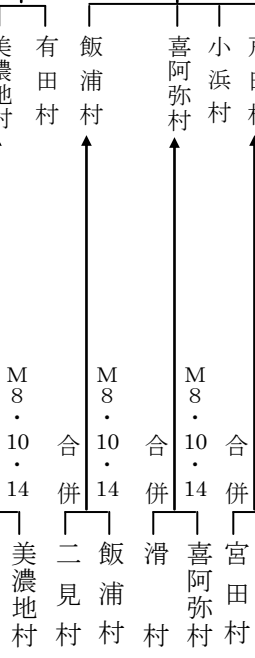
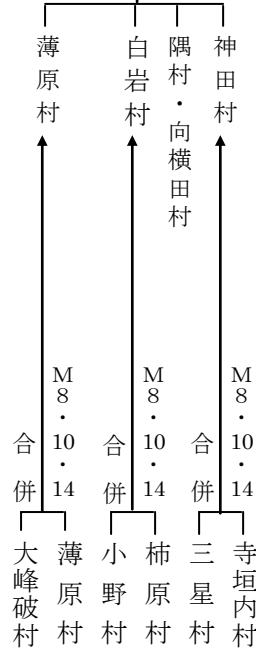
真砂村
合併
M 22・4・1

安田村
合併
M 22・4・1

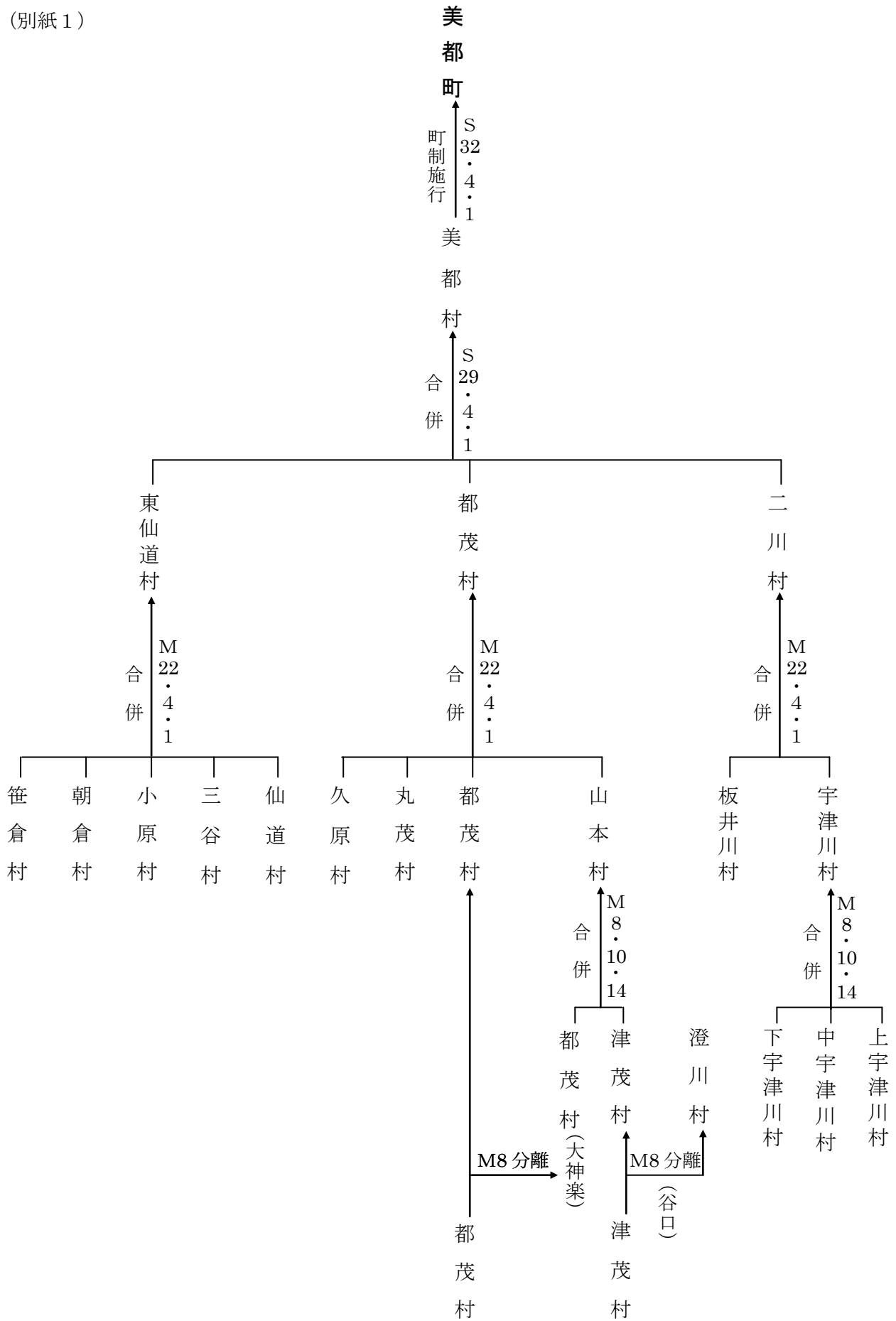
北仙道村
合併
M 22・4・1

鎌手村
合併
M 22・4・1

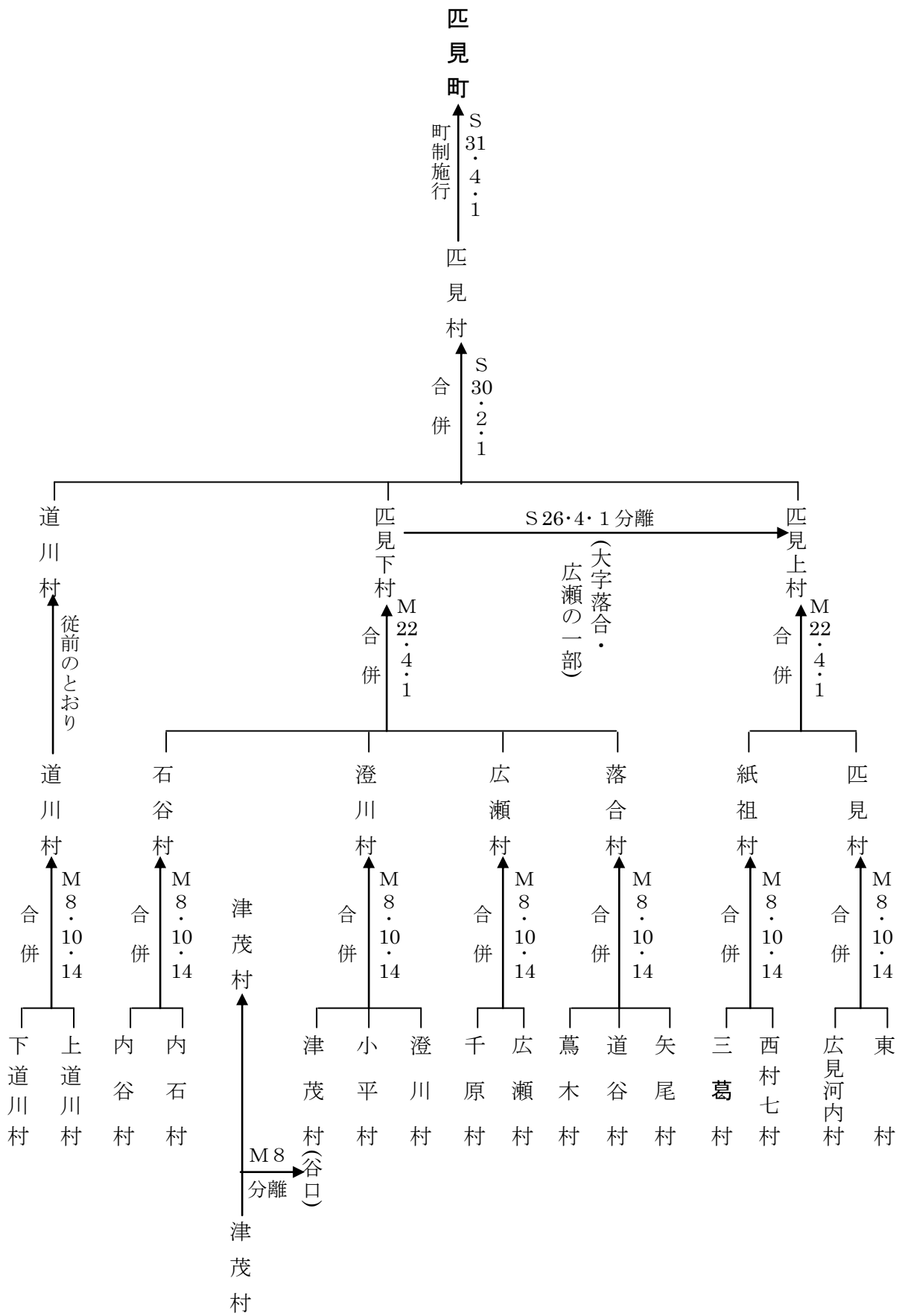
種村
合併
M 22・4・1



(別紙1)



(別紙2)



市町村名		ま す だ し 市 益 田 市							
市役所の位置		〒698-8650 益田市常盤町1番1号			電話番号	0856-31-0100			
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名						
	昭26.4.1	境界変更	匹見下村の一部(大字落合及び広瀬の一部)を匹見上村に						
	27.8.1	合 体 (市制)	益田町・安田村・北仙道村・豊川村・豊田村・高城村・小野村・中西村(益田市設置)						
	29.4.1	〃	東仙道村・都茂村・二川村(美都村設置)						
	30.2.1	〃	匹見上村・匹見下村・道川村(匹見村設置)						
	30.3.25	編 入	鎌手村・種村・真砂村・二條村・美濃村						
	31.4.1	(町制)	匹見村(匹見町)						
	32.4.1	〃	美都村(美都町)						
	平16.11.1	編 入	美都町・匹見町						
町 名	旧市町村 及び大字名	通 称	小字の区域			廃止 済			
			有	一部					
くくもちよう 久々茂町	豊川村 (益田市)	久々茂	おかぼら 岡原	どうがうち 堂河内	やまね 山根	おおう 大峠			〇
			かみのほら 上ノ原	たくら 田倉	たくらじゅうたく 田倉住宅				
おおたにちよう 大谷町	(〃)	大谷	のざか 野坂	よこの 横野	たかはた 高畑	あんとか 安床	ふしだに 伏谷	だけ 嶽	〇
いわくらちよう 岩倉町	(〃)	岩倉	いわくらかみ 岩倉上	いわくらしも 岩倉下					〇
とちやまちよう 栃山町	(〃)	猪木谷	とちやまかみ 栃山上	とちやましも 栃山下					〇
いのきだにちよう 猪木谷町	(〃)	〃	いのきだにかみ 猪木谷上	いのきだにしも 猪木谷下	つづぬけ 甘一	かわひら 川平			〇
おおくさちよう 大草町	北仙道村 (〃)	大草	ごう 郷	ひばら 日原	かみ 上	かき 嵩			〇
			ひがしかみ 東上	ひがししも 東下	みや 宮	おおしも 大下	ながたに 長谷		
おとこちよう 乙子町	(〃)	乙子	かみ 上	しんたや 新田屋	なか 中	みや 宮	しも 下	ちややがそね 茶屋ヶ曾根	〇
やまおりちよう 山折町	〃 (〃)	山折	かみひがし 上東	かみにし 上西	にしきこ 西迫	ごうひがし 郷東			〇
			ごうにし 郷西	すみがま 炭釜	はぎほら 萩原				
あかがりちよう 赤雁町	(〃)	赤雁	かみ 上	みや 宮	なかごう 中郷	しも 下			〇
しもだねちよう 下種町	種村 (〃)	下種	のじ 野地	あかばね 赤羽根	きたごうちかみ 北河内上	きたごうちしも 北河内下			〇

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		廃止済
							有		
							全域	一部	
しもだねちよう 下種町	種 村 (益田市)	下 種	いわさき 岩崎	てらまわり 寺廻り	かわしも 川下	わだごう 和田郷			○
たねむらちよう 種村町	〃 (〃)	種 村	もとごう 本郷	なかごう 中郷	ちぶりしも 千振下	ちぶりかみ 千振上			○
			うしろだにしも 後谷下	うしろだにかみ 後谷上					
とおだちよう 遠田町	安田村 (〃)	遠 田	じょうかい 城外	しんめい 神明	おおもと 大元	てらさか 寺坂			○
			くに さき 国東	くろいし 黒石	ひがしふたば 東双葉	にしふたば 西双葉			
			いわがもと 岩ヶ本	すみれが ^{おか} 丘	ちややとこ 茶や床	いのさこ 井迫			
			まえはま 前浜	ごう 郷	じん で 神出	ながれまつ 流松			
			こぶき 古布気	にじがおか 虹ヶ丘	しんとく 進徳	にしはま 西浜			
			にしはまかみ 西浜上	はらぐち 原口	はらはまだんち 原浜団地				
つだちよう 津田町	〃 (〃)	津 田	てらまち 寺町	さかえまち 栄町	あさひまち 旭町	しんまち 新町			○
			にしはらまち 西原町	ひがしはらまち 東原町	はまちよう 浜町	かみつだ 上津田			
			なかつだ 中津田	かみほんまち 上本町	しもほんまち 下本町	こうようちよう 向陽町			
			うのはな						
かねやまちよう 金山町	鎌手村 (〃)	金 山	う じ 宇治	かねやまひがし 金山東	かねやまし 金山西				○
つちだちよう 土田町	〃 (〃)	土 田	かきのたに 上ノ谷	つちだはま 土田浜	うしろ えき 後 湍	つちだごう 土田郷			○
			たかし島 高島	た か 見 高見					
にしひらばらちよう 西平原町	〃 (〃)	西 平 原	うしろがわ 後川	かみひらばら 上平原	しもひらばらかみ 下平原上	しもひらばらなか 下平原中			○
			しもひらばらしも 下平原下						
きべちよう 木部町	〃 (〃)	木 部	おおはまうえ 大浜上	おおはまひがし 大浜東	おおはまし 大浜西	かまぐち 釜口			○
			おおたに 大谷	きべごう 木部郷	むかいち 向市	しおみち 汐満			
			ひらぐち 平口						
うまだにちよう 馬谷町	真砂村 (〃)	馬 谷	うまだに 馬谷	さきだに 先谷	おおやがた 大屋形				○
はだちよう 波田町	〃 (〃)	波 田	はら 原	はだしも 波田下	はだなか 波田中	はだかみ 波田上			○

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		廃止済		
							有			全 域	一 部
波 田 町 はだちょう	真 砂 村 (益田市)	波 田	くぼえき 久保隘						○		
下 波 田 町 しもはだちょう	〃 (〃)	下 波 田	しもはだかみ 下波田上	しもはだしも 下波田下	いちのせ 一ノ瀬	さんぢやま 三地山				○	
長 沢 町 ながさわちょう	〃 (〃)	長 沢	ひがしながさわ 東長沢	きさたばら 笹田原	かきばら 柿原	かわひら 川平				○	
			しもながさわ 下長沢	かみながさわ 上長沢	しゅうれい 秋 令						
横 田 町 よこたちょう	豊 田 村 (〃)	横 田	わ え 和 江	いちばら 市 原	しもいち 下 市	しんちょう 新 町				○	
			なかいち 中 市	かみいち 上 市	うえのかみ 上野上	うえのしも 上野下					
			なかばら 中 原	いえした 家 下	やまもと 山 本	おおざかい 大 境					
梅 月 町 うめつきちょう	〃 (〃)	梅 月	こうみょうじ 光明寺	おくうめつき 奥梅月	ごう 郷					○	
安 富 町 やすどみちょう	〃 (〃)	安 富	かじや 鍛冶屋	なかしょうじ 中小路	は ば 場 羽 場	おくだ 奥 田				○	
			はながせ 花ヶ瀬	こうなり 河 成	しもおか 下 岡	かみおか 上 岡					
			いしだ 石 田								
本 俣 賀 町 ほんまたがちょう	〃 (〃)	本 俣 賀	ひがしかみ 東 上	ひがししも 東 下	にし 西					○	
左 ヶ 山 町 ひだりがやまちょう	〃 (〃)	左 ヶ 山	ひだりがやまなか 左ヶ山中	こまたが 小俣賀						○	
神 田 町 かんだちょう	高 城 村 (〃)	神 田	か ン だ 神 田	えきまえ 駅 前	ごしょばら 御所原	だん 段				○	
			かんだだいいち 神田第一	みぼし 三 星	あらたに 荒 谷	きはら 木 原					
			ほんまち 本 町								
向 横 田 町 むかいよこたちょう	〃 (〃)	向 横 田	むかいよこたかみ 向横田上	なかすじ 中 筋	おおもと 大 元	みやした 宮 下				○	
			さんがい 三 界	おおたきかみ 大滝上	おおたきしも 大滝下	なかのたに 中ノ谷					
			まるたけ 丸 竹	うしろえき 後 溢	こずみ 小 隅	かたははら 片田原					
薄 原 町 すずきはらちょう	〃 (〃)	薄 原	おおすえ 大峯破	やつがせ 八ヶ瀬	すずきはらかみ 薄原上	すずきはらしも 薄原下				○	
白 岩 町 しらいわちょう	〃 (〃)	白 岩	かきばらかみ 柿原上	かきばらなか 柿原中	かきばらしも 柿原下	おのかみ 小野上				○	
			おのなか 小野中	おのしも 小野下							
隅 村 町 すみむらちょう	〃 (〃)	隅 村	すみかみ 隅 上	すみなか 隅 中	すみしも 隅 下	あかまつ 赤 松				○	

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		○	
							有			廃止 済
							全域	一部		
とだちよう町 戸 田 町	小 野 村 (益田市)	戸 田	おのかみ 小野上	おのなか 小野中	おのにし 小野西	ひがしかみ 東 上			○	
			ひがしなか 東 中	ひがししも 東 下	うなまつひがし 植松東	うなまつにし 植松西				
			とだえきまえ 戸田駅前	みやたひがし 宮田東	みやたはま 宮田浜	みやたかみ 宮田上				
こはましよう町 小 浜 町	〃 (〃)	小 浜	こはまひがし 小浜東	こはまなか 小浜中	こはまにし 小浜西			○		
きあみちよう町 喜阿弥町	〃 (〃)	喜阿弥	やがきこ 弥ヶ迫	きあみなか 喜阿弥中	しみず 清 水	ふだば 札 場			○	
			まいこ 舞 子	きあみしも 喜阿弥下	きあみごう 喜阿弥郷	じょうひら 城 平				
			なめらひがし 滑 東	なめらにし 滑 西						
いのうらちよう町 飯 浦 町	〃 (〃)	飯 浦	ふたみ 二 見	えきまえ 駅 前	ほんまち 本 町	しんかわちよう 新川町			○	
			しんまち 新 町	ふるまち 古 町	やまねちよう 山根町					
かわのぼりちよう町 川 登 町	中 西 村 (〃)	川 登	かわのぼりかみ 川登上	いちのせ 一ノ瀬	いちのの 市ノ野	いずはら 何 原			○	
			かわのぼりしも 川登下							
しらかみちよう町 白 上 町	〃 (〃)	白 上	しらかみしも 白上下	もり 森	しもがはら 下ヶ原	たから 宝			○	
			むかいやま 向 山	みやのまわり 宮ノ廻	さくらまち 桜 町	いちいぎ 一イ木				
			てらおかみ 寺尾上	こうようだい 光陽台	たなか 田 中	なかの 中 野				
			ちゅうち 中 地	まつばらだいち 松原第一	まつばらだいに 松原第二	かわにし 川 西				
なかがうちちよう町 中垣内町	〃 (〃)	中垣内	みにたに 三 谷	なしがひら 梨ヶ平	しもひら 下 平	ひのひら 日ノ平			○	
			なかま 中 間	ひらばらしも 平原下	ひらばらかみ 平原上	おおどう 大 道				
いちほらちよう町 市 原 町	〃 (〃)	市 原	ごたんだ 五反田	なんだ 南 田	にしがわ 西 側	のぼりごう 登 郷			○	
うちだちよう町 内 田 町	〃 (〃)	内 田	うちだなか 内田中	うちだしも 内田下	うちだかみ 内田上			○		
むそうちよう町 虫 追 町	〃 (〃)	虫 追	むそうかみ 虫追上	むそうなか 虫追中	おき 沖	やまね 山 根			○	
			むそうしも 虫追下	はばら 羽 原	みそ園 美 園	かねじ 金 地				
かみくろだちちよう町 上黒谷町	二 條 村 (〃)	上黒谷	ひがしいち 東 市	にししいち 西 市	いちかみ 市 上	つばやま 津葉山			○	
			いちしも 市 下	なか 中	よこお 横 尾					
かつらひらちよう町 桂 平 町	〃 (〃)	桂 平	しもだお 下 峠	かみだお 上 峠	みずあわ 水 合	のなか 野 中			○	

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃 止 済
							全 域	一 部	
かつらひらちよう 桂 平 町	二 條 村 (益田市)	桂 平	みやがさこ 宮ヶ迫	かねがたお 金ヶ峠					
くろすちよう 黒 周 町	(〃)	黒 周	しもくろだに 下黒谷	なかくら 中 倉	ひうちわ 火打岩			○	
かしばらちよう 柏 原 町	(〃)	柏 原	あげやま 上ヶ山	かたたばら 片田原	かしばらたお 柏原峠	おおくぼ 大久保		○	
あさかちよう 愛 栄 町	(〃)	愛 栄	いたもち 板 持	わながたばら 七ヶ田原				○	
みのじちよう 美 濃 地 町	美 濃 村 (〃)	美 濃 地	じょうくろうかみ 城九郎上	じょうくろうしも 城九郎下	もとごうしも 本郷下	なかのくち 中ノ口		○	
			もとごうなか 本郷中	もとごうごうしも 本郷郷下	もとごうごうかみ 本郷郷上	もとごうしろ 本郷後			
			もとごうかみ 本郷上	こうちかみ 河内上	こうちしも 河内下				
ありたちよう 有 田 町	(〃)	有 田	ありたしも 有田下	はら 原	きよみず 清 水	なかま 中 間		○	
			いちちようだ 一丁田	さきみだに 笹見谷	にしだに 西 谷				
そめぼちよう 染 羽 町	益 田 町 (〃)	益 田	そめぼ 染 羽					○	
ほんまち 本 町	(〃)	〃	ほんまち 本 町	ほんまちいちちようめ 本町一丁目	しみず 清 水	おりと 折 戸		○	
ななおちよう 七 尾 町	(〃)	〃	ほりかわ 堀 川	すみよし 住 吉	しみず 清 水	すいげんち 水源地		○	
			しろやま 城 山	やまね 山 根	かみいち 上 市	ふるかわ 古 川			
さいわいちよう 幸 町	(〃)	〃	とくはら 徳 原	さいわいちよう 幸 町	おおしもいち 大下市	いなづみ 稲 積		○	
どいちよう 土 井 町	(〃)	〃	どい 土 井					○	
しょうわちよう 昭 和 町	(〃)	〃	しょうわ 昭 和					○	
みやけちよう 三 宅 町	(〃)	〃	みやけ 三 宅					○	
ひがしまち 東 町	(〃)	〃	かたやま 片 山	あおぼだい 青葉台	ひがしまち 東 町	おきだ 沖 田		○	
			もんぜん 門 前	やまひら 山 平	かすが 春 日	あさひまち 旭 町			
			みやけ 三 宅	あさひがおか 旭ヶ丘					
ただちよう 多 田 町	(〃)	多 田	ごうにし 郷 西	ただ 多 田	おおたに 大 谷	どろたに 泥 谷		○	
			さかうえ 坂 上	すごうた 須郷田					
ありあけちよう 有 明 町	(〃)	益 上 吉 田	ありあけ 有 明	いなづみ 稲 積				○	

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		廃 止 済		
							有			全 域	一 部
ときわ ちよう 常 盤 町	益 田 町 (益田市)	上 吉 田	ありあけ 有 明	と き わ 常 盤	いまにし 今 西	みずわけ 水 分			○		
みずわけ ちよう 水 分 町	(")	"	いまにし 今 西	みずわけ 水 分	いなづみ 稲 積				○		
もとま ち 元 町	(")	"	みなみまち 南 町	も と ま ち 元 町					○		
えきまえ ちよう 駅 前 町	(")	上 吉 田 中 吉 田	きょうまち 京 町	にしきまち 錦 町	みやこまち 都 町	えきまえちよう 駅前町			○		
あかぎ ちよう 赤 城 町	(")	上 吉 田 中 島	あかぎちよう 赤城町	あおいまちだいに 葵町第二					○		
さかえ ち 栄 町	(")	中 島	あおいまちだいに 葵町第二	さかえ ち 栄 町	たいへいちよう 太平町				○		
なかよし ちよう 中 吉 田 町	(")	中 吉 田	そ り 曾 利	えがしら 江 頭	ひらた 平 田	はら 原			○		
おとよし ちよう 乙 吉 町	(")	乙 吉	おとよし 乙 吉	せつしゅう 雪 舟	こうえんどおり 公園通り	ひばりヶ丘 ひばりヶ丘			○		
しもほんごう ちよう 下 本 郷 町	(")	下 本 郷	えき 溢	よこお 横 尾	ひらばら 平 原	いっしょうの 一升野			○		
くしろ ちよう 久 城 町	(")	久 城	くしろひがし 久城東	くしろにし 久城西	くしろきた 久城北	なかお 中 尾			○		
なかず ちよう 中 須 町	(")	中 須	なかずきた 中須北	なか 中	にし 西	ひがし 東			○		
なかのしま ちよう 中 島 町	(")	中 島	なかのしま 中 島	おおつか 大 塚	たいへいちよう 太平町				○		
たかつ ちよう 高 津 町	(")	高 津	もちいしかいたく 持石開拓	はま 浜	もちいし 持 石	さんりがはま 三里ヶ浜			○		
たかついち ちようめ 高津一丁目	(")	"	かみいち 上 市	しもいち 下 市	なかいち 中 市	かわちよう 川 丁			○		
たかつに ちようめ 高津二丁目	(")	高 飯 津 田	かみいち 上 市	じかた 地 方	えんつうわ 円通和				○		
たかつさん ちようめ 高津三丁目	(")	高 津	はま 浜	はまより 浜 寄					○		
たかつよん ちようめ 高津四丁目	(")	"	はま 浜	もちいしかいたく 持石開拓					○		
たかつご ちようめ 高津五丁目	(")	"	はま 浜	たかまち 高 町					○		
たかつろく ちようめ 高津六丁目	(")	高 津	はま 浜						○		

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称	小字の区域		
				有		廃 止 済
				全 域	一 部	
たかつななちょうめ 高津七丁目	益 田 町 (益田市)	〃	たかまち 高 町			○
たかつはつちょうめ 高津八丁目	〃 (〃)	〃	はま 浜			○
すこちょう 須 子 町	(〃)	須 子	つ の い 角 井 すこかみなか 須子上中 すこまち 須子町 いまみや 今 宮 だいわどおり 大和通り すこほんどおり 須子本通り あけみ 明 見			○
いいだちょう 飯 田 町	(〃)	飯 田	そり 曾 利 えびす 恵比寿 まちや 町 屋 しばた 芝 田 やばら 矢 原 つづし 甘 子			○
あけぼのひがしまち あけぼの東町	(〃)	益 田 上 吉 田 中 吉 田 乙 吉 田				○
あけぼのほんまち あけぼの本町	(〃)	上 吉 田 中 吉 田				○
あけぼのにしまち あけぼの西町	(〃)	中 吉 田 中 島				○
みとちょう 美 都 町 うづがわ 宇津川	二 川 村 (美都町)	宇 津 川	おおどり 大 鳥 ながはし 長 橋 よこみ 横 見 ふたつぐら 二ツ倉 ほりこう 堀 河 ほんごう 本 郷 みやのほら 宮ノ原 つつみごう 堤 郷 うまのだに 馬ノ谷 ようろうだに 養老谷 みぎたばら 右田原 しもやま 下 山 だながたお 棚ヶ峠			○
みとちょう 美 都 町 いたいがわ 板井川	〃 (〃)	板 井 川	ごうぐみ 郷 組 おおいで 大井出 なかのたに 中ノ谷 ちやのき 茶ノ木 かきのきばら 柿ノ木原 わかすぎ 若 杉			○
みとちょう 美 都 町 つも 都 茂	都 茂 村 (〃)	都 茂	つもごう 都茂郷 やしきびら 屋敷平 ひともとぎ 人元木 なか 中 倉 こだまた 小田又 おおだまた 大田又 つもかみ 都茂上 みやがたに 宮ヶ谷 いち 市 がね 金 おおくぼやすみ 大久保休 おお 大 鳥 かんねやが 葛根藪 きがたに 嵯峨谷 なが 長 藪 いも 芋 じり 尻			○
みとちょう 美 都 町 まるも 丸 茂	〃 (〃)	丸 茂	まるもごう 丸茂郷 どうがほら 堂ヶ原 こううんぼう 光雲坊 ほりこし 堀 越 ろくろぎつじ 六良木辻 みょうしょうじだに 明正寺谷 にたんだ 二反田 たばら 田 原			○
みとちょう 美 都 町 やまもと 山本	〃 (〃)	山 本	さん 山 料 おおかぐら 大神楽 つづら 葛 籠 かねだに 金 谷			○
みとちょう 美 都 町 くばら 久 原	〃 (〃)	久 原	くばらごう 久原郷 かさ 笠 くばらなかごう 久原中郷			○

益 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃 止 済
							全 域	一 部	
美 都 町 仙道	東 仙 道 村 (美 都 町)	仙 道	仙 道 下 都 茂 蛇 久 保					○	
美 都 町 小原	〃 (〃)	小 原	小 原 郷 久 木 観 月 熊 子					○	
美 都 町 三谷	〃 (〃)	三 谷	三 谷 中 倉 八 坂					○	
美 都 町 朝倉	〃 (〃)	朝 倉	朝 倉 郷 朝 倉 上					○	
美 都 町 笹倉	〃 (〃)	笹 倉	笹 倉 郷 山 郡 芝 隘					○	
匹 見 町 道川	道 川 村 (匹 見 町)	道 川	下 道 川 下 下 道 川 上 出 合 原 元 組					○	
			臼 木 谷 日 の 里						
匹 見 町 匹見	匹 見 上 村 (〃)	匹 見	江 田 半 田 萩 原 山 根 下					○	
			山 根 上 植 地 正 下 地 野 入 東						
			野 入 西						
匹 見 町 紙祖	〃 (〃)	紙 祖	荒 木 元 組 岡 本 野 田 石 組					○	
			小 原 七 村 笹 山 三 葛						
匹 見 町 落合	匹 見 下 村 (〃)	落 合	戸 村 千 原 道 谷 下 道 谷 上					○	
			矢 尾						
匹 見 町 澄川	〃 (〃)	澄 川	持 三 郎 三 出 原 長 尾 原 能 登					○	
			土 井 ノ 原 谷 口						
匹 見 町 石谷	〃 (〃)	石 谷	和 共 梶 原 後 谷 中 村					○	
			か み う つ だ に 上 内 谷 う つ い し し も 内 石 下 う つ い し か み 内 石 上						
匹 見 町 広瀬	〃 (〃)	広 瀬	こ び る せ 小 広 瀬 竹 ノ 原 茶 や 屋 和 又					○	

注：住居表示実施区域

(昭和 48 年 1 月 1 日実施)

染羽町・本町・七尾町・幸町・土井町・昭和町・三宅町・東町・有明町

(昭和 48 年 10 月 1 日実施)

常磐町・水分町・元町・駅前町・赤城町・栄町

(昭和 50 年 10 月 1 日実施)

須子町

(平成 11 年 10 月 12 日実施)

高津一丁目・高津二丁目

(平成 12 年 10 月 10 日実施)

高津三丁目・高津四丁目

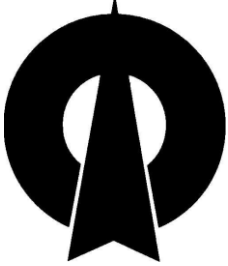
(平成 13 年 10 月 9 日実施)

高津五丁目・高津六丁目

(平成 14 年 10 月 15 日実施)

高津七丁目・高津八丁目

大 田 市



市 章

大田市の「大」の字を円と矢印で図案化して、円は団結、矢印は進歩、向上を示している。

市の花

れんげつつじ

市の木

うめ

市の魚

ひらめ

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人口 (人)	40,703	37,996
	世帯数 (世帯)	14,804	14,312
	面積 (km ²)	436. 11	436. 12

〈市名の由来〉

「大田」という名称は、大田部の移住開拓によるとの説(八重葎)と、当地域が浜田・益田とともに石見三田の一つで広い水田地帯があることから大田となったとの説がある。「和名抄」には古代の郷名として「邑陔(おおだ)」と記され、「邑陔」については「山田で会う」という伝承がある。

〈沿革〉

当市域は、古くは安濃郡波禰郷、刺鹿郷、安濃郷、静間郷、高田郷、川合郷、邑陔郷、佐波郷、邇摩郡温泉郷、群治郷、杵道郷、大家郷、託農郷、大国郷に属した。

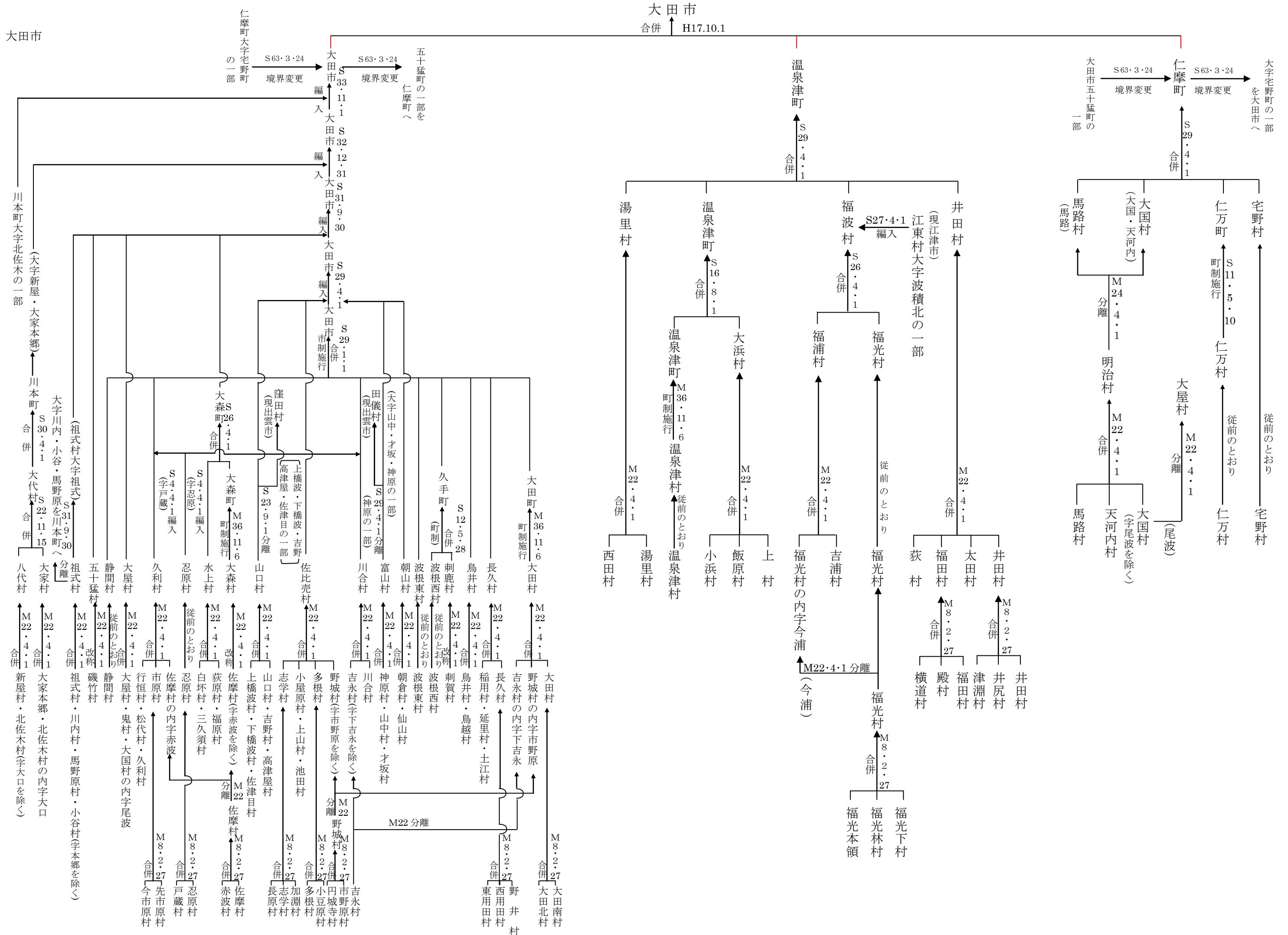
大永6年(1526年)博多の商人神谷寿貞が大内義興の援助により石見銀山の本格的な開発が始まったとされ、以来、大正12年(1923年)の閉山まで、約400年にわたって採掘されてきた。中世には、大内氏、小笠原氏、尼子氏、毛利氏による銀山争奪戦が展開された。大内義興は享禄元年(1528年)矢滝城を築き銀山を守備したが、義興の死後の同4年川本温泉湯城の小笠原長隆は矢滝城を急襲し銀山を入手した。3年後の天文2年(1533年)大内義隆は再度奪回したが、同6年尼子経久が大挙して銀山を奪った。2年後再び大内氏が奪回したが、同10年小笠原氏が尼子氏の支援により銀山を入手した。同20年大内義隆の死後は毛利元就と尼子氏との争奪戦が繰り返され、永禄5年(1563年)毛利氏の支配下に入ったが、天正12年(1584年)以降は毛利氏と豊臣氏との共同管理となった。

特に、天文6年(1533年)国内に始めて伝えられたとされる精錬技術「灰吹法」により高品位の銀が大量に生産され、戦国時代の軍資金や江戸時代の財源として使われた。海外にも多く輸出され、アジアとヨーロッパ諸国を交易で結ぶ役割も果たしてきた。

江戸期には幕府直轄の鉱山となり、初代奉行大久保長安は銀山の開発や港町の隆盛を急速に進め、石見一国の検地を行った。享保16年(1731年)大森代官に着任した井戸平左衛門は、打ち続く凶作に対し、官米放出、年貢の減免、薩摩国から甘藷を移植するなど領民救済を行った。慶長頃、家数2万6千軒あったといわれる石見銀山も、元禄期には衰退の兆をみせ、江戸中期以降は多くが休山した。

当市の主要産業は農林漁業で、米・酪農・和牛が知られ、水産業では五十猛、和江、温泉津、仁万などの漁港を持ち、アジ・カレイ・シイラ・イワシなどの沿岸漁業が主体となっている。

当市は、出雲風土記「国引き」伝説で有名な国立公園「三瓶山」をはじめ、平成19年(2007年)に世界遺産登録された「石見銀山遺跡とその文化的景観」、全国から湯治客が訪れる温泉場、鳴り砂で知られる「琴ヶ浜」、風光明媚な海岸など、歴史文化、海や山の自然環境に恵まれ、豊富な農林漁業資源の開発と関連する商工業・観光の振興により、県央の中核都市としてその発展が期待されている。



大 田 市

市町村名		大 お お 田 だ し 市			
市役所の位置		〒694-0064 大田市大田町大田口 1111 番地		電話番号	0854-82-1600
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名		
	昭26.4.1	合 体	大森町・水上村(大森町設置)		
	〃	〃	福光村・福浦村(福浦村設置)		
	27.4.1	境界変更	江東村の一部(大字波積北の一部)を福波村に		
	29.1.1	合 体 (市制)	大田町・久手町・波根東村・鳥井村・長久村・川合村・久利村・静間村(大田市設置)		
	29.4.1	編 入	佐比売村・朝山村・山口村・富山村の一部(大字山中・才坂・神原の一部)		
	〃	合 体	温泉津町・福波村・湯里村・井田村(温泉津町設置)		
	〃	〃	仁万町・宅野村・大国村・馬路村(仁摩町設置)		
	31.9.30	編 入	大森町・五十猛村・大屋村・祖式村の一部(大字祖式)		
	32.12.31	境界変更	川本町の一部(大字新屋・大家本郷)		
	33.11.1	〃	川本町の一部(大字北佐木の一部)		
	63.3.24	〃	仁摩町大字宅野町の一部を大田市へ、大田市五十猛町の一部を仁摩町へ		
	平17.10.1	合 体	大田市・温泉津町・仁摩町		
町 名	旧 市 町 村 及び大字名	通 称	小字の区域		
			有	廃止	済
大田町	野 城	野 城	〇		
	大 田	いでくち ながたに こいけ かつち 出口 長谷 小池 加土 しろやまいち しろやまに やないいち やないに 城山一 城山二 柳井一 柳井二 たいしょうにしいち たいしょうにしに たいしょうにしきん しょうわまち 大正西一 大正西二 大正西三 昭和町 たいしょうひがしいち たいしょうひがしに たいしょうひがしきん ゆきみいち 大正東一 大正東二 大正東三 雪見一 ゆきみに さくらだ あいおい ひので 雪見二 桜田 相生 日の出 てんじんいち てんじんに すわいち すわに 天神一 天神二 諏訪一 諏訪二 すわさん やまさきいち やまさきに やまさきさん 諏訪三 山崎一 山崎二 山崎三 やまさきよん みやじま ほんまち すえひろ 山崎四 宮島 本町 末広			

町名	旧市町村 及び大字名		通称					小字の区域		
								有		廃止 済
								全域	一部	
おおだちょう 大田町	大田町 (大田市)	大田	えびす 蛭子 えきみなみまち 駅南町	とのまち 殿町 たちばな 立花	さかえまちいち 栄町一	さかえまちに 栄町二	さかえまちさん 栄町三	○		
〃	(〃)	吉永	やながつぼいち 柳ヶ坪一	おおつぼ 大坪	やながつぼに 柳ヶ坪二	やながつぼさん 柳ヶ坪三	○			
ながひさちょう 長久町	長久村 (〃)	長久	かわきたかみ 川北上	かわきたしも 川北下	かわみなみいち 川南一	かわみなみに 川南二	○			
			こうげんじ 高禪寺	こうげんじに 高禪寺二	のい井 野井	みず 水	ゆき 行	ひがしもちだ 東用田		
		土江	つちえかみ 土江上	つちえしも 土江下						
		稲用	いなもちかみ 稲用上	いなもちなか 稲用中	いなもちしも 稲用下					
		延里	のぶさとかみ 延里上	のぶさとしも 延里下						
とりいちょう 鳥井町	鳥井村 (〃)	鳥井	かみやまね 上山根	しもやまね 下山根	とりいかみ 鳥井上	とりいしも 鳥井下	○			
			やわた 八幡	おおびら 大平	さこ 迫	さぎみ さぎみ				
		鳥越	とりごえ 鳥越	にいだ 新田	こえど 越峠					
くてちょう 久手町	久手町 (〃)	波根西	えきまえ 駅前	さかえ 栄	かべのうち 壁の内	みやした 宮下	まち 町	○		
			てらまえ 寺前	みなと 港	はらぐち 原口	おおはら 大原				
			あさひ 旭	ひがし 東	にし 西	みなみ 南	きた 北			
			おおつ 大津	おおにし 大西	すずみ 鈴見					
		刺鹿	あけぼの 曙	なだ 灘	しあけ 仕明	なか 中	かみ 上			
			はら 原	すずみ 涼見	えたに 江谷	なか 中	お 尾	いち 市	い 井	
			もろとも 諸友	たけはら 竹原	ひので 日の出	そくしん 促進	かみさわだ 上沢田			
			けんえいじゆうたく 県営住宅	しんもろとも 新諸友	さつか さつか	だんち 団地				
はねちょう 波根町	波根東村 (〃)		かみごうち 上川内	たのき 田長	なだやま 灘山	ごうのく 江の奥	すなやま 砂山	○		
			さいのかみ 才ノ神	かみまち 上町	てんば 天場	ひがし 東	なか 中	にし 西	なか 中	
			しんいち 新市	ひがしなだ 東灘	にしなだ 西灘	なかはま 中浜	ふるかわみなみ 古川南	ふるかわきた 古川北		
かわいちょう 川合町	川合村 (〃)	川合	じんりょういち 神領一	じんりょうに 神領二	いち 市	ほどはら 程原	○			
			うりざか 瓜坂	いもはら 芋原	つるぶ 鶴府	あさはら 浅原				

大 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名	通 称		小 字 の 区 域									
				有	廃 止 済								
				全 域			一 部						
川 合 町 かわいちょう	川 合 村 (大田市)	河 合	みなみ 南	いでおか 出岡	たかまつじ 高松地	の だ 野 田	○						
		吉 永	よしながかみ 吉永上	よしながしも 吉永下	むこうよしなが 向吉永								
		忍 原	おし はら 忍 原										
静 間 町 しずまちょう	静 間 村 (〃)		だいいちようかいち 第一八日市	ようかいち 八日市	きさき ゆんべ 笹 弓 辺	あづち かりや 棚 仮 屋	○						
			ひら たるみ 平 垂 水	うおつ 魚 津	しんでん 新 田	わえいつく 和江一区				わえにく 和江二区			
			わえさんく 和江三区	わえよんく 和江四区	わえごく 和江五区								
久 利 町 くりちょう	久 利 村 (〃)	市 原	かめたに 亀 谷	いまいち 今 市	せんいち 先 市		○						
		久 利	いちのかみ 市ノ上	いちのしも 市ノ下	こやまいち 小山一	こやまに 小山二				はたけなかいち 畑ヶ中一	はたけなかに 畑ヶ中二		
		佐 摩	あかなみいち 赤波一	あかなみに 赤波二									
		松 代	まつしろいち 松代一	まつしろに 松代二	まつろさん 松代三								
		行 恒	ゆきつねいち 行恒一	ゆきつねに 行恒二									
		戸 蔵											
朝 山 町 あさやまちょう	朝 山 村 (大田市)	仙 山	なかどおり 中 通	ひのお 日ノ尾	まるお 丸 尾	つ づ 津 戸	しまつや 島津屋	○					
		朝 倉	みやにし 宮 西	たけはら 竹 原	かみ はた 上 畑	やまたに 山 谷	にしじょうれん 西城蓮						
富 山 町 とみやまちょう	富 山 村 (〃)	山 中	じゅうぞう 重 蔵	はんみょう 半 明	ひついでんどう 筆院堂	どうぼら 道 原	いりくち 入 口	ほりごし 堀 越	たかはら 高 原	ど い 土 居	○		
		才 坂	ほんごう 本 郷	か っ て 勝 手	そねがわ 曾 根 川	しもさいざか 下才坂	あしだに 芦 谷						
		神 原	ほんたに 本 谷	いち 市	いりこく 入 石								
三 瓶 町 さんべちょう	佐 比 売 村 (〃)	池 田	こうり 高 利	いけのほら 池ノ原	お だ 小 田	おおえ 大 江	にしだ 西 田	まち 町	○				
			まき はら 槇 原	の は た 野 畑	おくはた 奥 畑	さだめ 定							
		小 屋 原	こやはらかみ 小屋原上	こやはらしも 小屋原下									
		上 山	うやま 上 山										
		志 学	ひがし 東	なか 中	にし 西	ながはら 長 原	おんせん 温 泉						
		多 根	うかみたね 上多根	なかたね 中多根	ながた 長 田	なかつもり 中津森	しもたね 下多根	あずきはら 小豆原					

大 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名	通 称	小 字 の 区 域		
			有		廃 止 済
			全 域	一 部	
さんべちやう 三 瓶 町	佐比売村 (大田市)	野 城 かみのじろ 上野城 しものじろ 下野城	○		
やまぐちやう 山 口 町	山 口 村 (")	山 口 かみたていし 上立石 たていし 立 石 まち 町 にいがら 新 柄 なかぐみ 中 組 ふじき 藤 木 おそごえ 瀬 越 佐津目 さつめ 佐津目	○		
おおもりちやう 大 森 町	大 森 町 (")	ぎんざん 銀 山 かみざまかみ 上佐摩上 かみざましも 上佐摩下 らんちやう 羅漢町 こまのあし 駒ノ足 しんまち 新 町 しょうわ 昭 和 みやのまえ 宮ノ前 しもざま 下佐摩	○		
いそたけちやう 五十猛町	五十猛村 (")	みなといち 湊 一 みなとに 湊 二 みなとさん 湊 三 じとうしよかにわ 地頭所嘉庭 のぼい 野 梅 はたい 畑 井 たんなみ 丹 波 あかい 赤 井 みょうじん 明 神 かみいちだいichi 上市第一 かみいちだいに 上市第二 かみいちだいさん 上市第三 たてまち 堅 町 ほんまち 本 町 やなぎまち 柳 町 かみやなぎまち 上柳町 あさひまち 朝日町 ひので 日の出 おおうらだんち 大浦団地	○		
おおやちやう 大 屋 町	大 屋 村 (")	大 屋 おおやかみ 大屋上 おおやしも 大屋下 鬼 村 おにむらかみ 鬼村上 おにむらしも 鬼村下 大 国 かみおなみ 上尾波 なかおなみ 中尾波 つのおれ 角 折	○		
そしきちやう 祖 式 町	祖 式 村 (")	祖 式 やたき 矢 滝 かみまち 上 町 しもまち 下 町 むこうかわ 向 川 かみせと 上瀬戸 しもせと 下瀬戸 いせがい 伊勢階 やまなか 山 中 よこたに 横 谷 おおはら 大 原	○		
みなかみちやう 水 上 町	水 上 村 (")	白 坏 こめやま 米 山 ほんごうかみ 本郷上 ほんごうしも 本郷下 たかつかみ 高津上 たかつしも 高津下 三久須 みくすかみ 三久須上 みくすなか 三久須中 みくすしも 三久須下 福 原 ふくはらかみ 福原上 ふくはらなか 福原中 ふくはらしも 福原下 またもち 又 持 荻 原 おぎはら 荻 原	○		
おおしろちやう 大 代 町	大 代 村 (")	大家本郷 かみいち 上 市 しもいち 下 市 うえまつ 植 松 よつかいち 四日市 はったんだ 八反田 しもだに 下 谷 つばき 椿 かきだ 柿 田 かわかみ 川 上 新 屋 ほんごう 本 郷 やまだ 山 田 ひら 平 かみいいたに 上飯谷 しもいいたに 下飯谷 ゆみく 弓 久 みぎはら 右 原	○		
ゆのつちやう 温 泉 津 町	温 泉 津 町 (温泉津町)	温 泉 津 まつやま 松 山 かみまち 上 町 ゆまち 湯 町 ほうせんちやう 法泉町 なかまち 中 町 いなりまち 稻荷町 てらまち 寺 町 ほんまち 本 町 おき 沖 うら 浦 おきどまり 沖 泊 ひ 日 そ 祖 まつやまにし 松山西	○		

大 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称					小 字 の 区 域		
								有		廃 止 済
								全 域	一 部	
ゆのつちよう 温 泉 津 町 こ は ま 浜 (温泉津町)	大 浜 村 (温泉津町)	小 浜	ほんまちかみ 本町上	ほんまちなか 本町中	ほんまちしも 本町下	えびすちようしも 戎町下	にしまちひがし 西町東	○		
			にしまちにし 西町西	はじうら 波路浦	たこうせ 高瀬	あ げ 上毛	えびすちようかみ 戎町上			
ゆのつちよう 温 泉 津 町 か み む ら 村 (")	"	上 村	かみむらひがし 上村東	かみむらにし 上村西						○
ゆのつちよう 温 泉 津 町 は ん ば ら 原 (")	"	飯 原	はんばらかみ 飯原上	はんばらしも 飯原下						○
ゆのつちよう 温 泉 津 町 に し た 田 (")	湯 里 村 (")	西 田	つくえばら 机原	や た き 矢滝	ごう まち 郷町	おいばら 老原				○
ゆのつちよう 温 泉 津 町 ゆ ぎ と 里 (")	"	湯 里	こうぐみ 甲組	おつぐみ 乙組	へいぐみ 丙組	ほんごう 本郷				○
			なかぐみ 中組	なかむら 中村	ゆさとまつやま 湯里松山	しみず 清水				
			ふつえ 淵江	がんじょうじ 願城寺	にしかいち 西垣内	の だ 野田				
ゆのつちよう 温 泉 津 町 ふ く み つ 光 (")	福 光 村 (")		はこざか 箱坂	いち 市	はいし 林	しらたに 白谷				○
			もりぶん 森分	みなとひがし 湊東	みなとなか 湊中	みなとみなみ 湊南				
			みなとしちく 湊七区	みなとはちく 湊八区	かまのつごう 釜野都合	つごう 都合	みなとにし 湊西			
ゆのつちよう 温 泉 津 町 い ま う 浦 (")	福 浦 村 (")	今 浦	いもうらふるかわ 今浦古川	いもうらこいげ 今浦小池	いもうらなか 今浦中	いもうらにし 今浦西		○		
ゆのつちよう 温 泉 津 町 よ し う 浦 (")	"	吉 浦	よしうらひがし 吉浦東	よしうらぢぞうまち 吉浦地蔵町	よしうらかしらぐち 吉浦上口	よしうらそらぐち 吉浦空口		○		
ゆのつちよう 温 泉 津 町 井 だ 田 (")	井 田 村 (")	井 田	かみいだ 上井田	すみだ 隅田	しろごう 城郷	なかしようじ 中正路				○
			つぶち 津淵	いじり 井尻						
ゆのつちよう 温 泉 津 町 お お た 田 (")	"	太 田	おおたいち 太田一	おおたに 太田二						○
ゆのつちよう 温 泉 津 町 お ぎ む ら 村 (")	"	荻 村	かみなかおぎ 上中荻	こもぐち 菰口	きかいばし 境橋					○

大 田 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
ゆのつちよう 温泉津町 ふくだ 福田	井田村 (温泉津町)	福 田	とのむら 殿 村	ふくだ 福 田	よこみち 横 道			○	
にまちよう 仁 摩 町 にままち 仁 万 町	仁 万 町 (仁摩町)	仁 万	たちめ 立 目	ひがしやま 東 山	おおいで 大井手	さかえ 栄		○	
			あさひ 朝 日	かみほんまち 上本町	てんじん 天 神	なだ 灘			
			みなと 港	ほんまち 本 町	すえひろ 末 広	えびす 戎			
			みょうじん 明 神	やはた 八 幡	たかはま 高 浜				
にまちよう 仁 摩 町 たくのまち 宅 野 町	宅 野 村 (")	宅 野	ほんまち 本 町	しんまち 新 町	たたら 鋸	にしまち 西 町		○	
			はままち 浜 町	ひがしまち 東 町	みやぐち 宮 口	ゆうなが 夕 永			
			むかはやま 向 山	つべ 津 辺	さるがみ 申 神	やままち 山 町			
			おおばら 大 原	くどせ 久 年					
にまちよう 仁 摩 町 おおぐにまち 大 国 町	大 国 村 (")	大 国	みやむらかみ 宮村上	みやむらしも 宮村下	わ だ 和 田	かわにし 川 西	なかいち 中 市	○	
			もんだに 門 谷	かみいち 上 市	せばひら 狭 平	くさきはら 草木原			
			こうじだに 柑子谷	うえの 上 野	かむり 冠 羽				
にまちよう 仁 摩 町 あまごうちまち 天 河 内 町	" (")	天 河 内	てらがうち 寺ヶ内	しろいし 白 石	はらいど 原井戸	ひのもと 日ノ本		○	
にまちよう 仁 摩 町 まじまち 馬 路 町	馬 路 村 (")	馬 路	ほんごう 本 郷	とも 友	かんばた 神 畑	なかまち 中 町		○	
			むこう 向	にしまじ 西馬路	まえまじ 前馬路	にししんまち 西新町			
			きた 北	ひがししんまち 東新町	あさひ 朝 日	みなみ 南			
			ひがし 東	にし 西					

安来市



市章

安来市の「安」の文字をモチーフとして、人と自然がいきいきと共存共栄し舞い踊るイメージをデザイン化した。

緑色で、自然・発展調和。

橙色で、陽光・人・活気。

青色で、清らかな水・青空を表現した。

市の花

さくら

市の木

竹

市の鳥

白鳥

市の魚

どじょう

(H19年11月3日制定)

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	43,839	41,836
	世帯数 (世帯)	12,876	12,820
	面積 (km ²)	420.97	420.97

〈市名の由来〉

「安来」という名称は、風土記に記されている「神須佐鳴命天之壁立極り座しき時ここに座して詔く、吾御心は安来成と詔り玉えきかれ安来という」によるといわれている。

〈沿革〉

当市域は、古くは出雲国の東部「意宇郡」に属していたが、平安時代には「意宇郡」から分離し、仁多郡に属していた比田地域を合わせ「能義郡」として一つの行政区画となった。

戦国時代には月山富田城を本拠とする尼子氏が、陰陽11州（現中国地方）に勢力を及ぼすまでに台頭した。

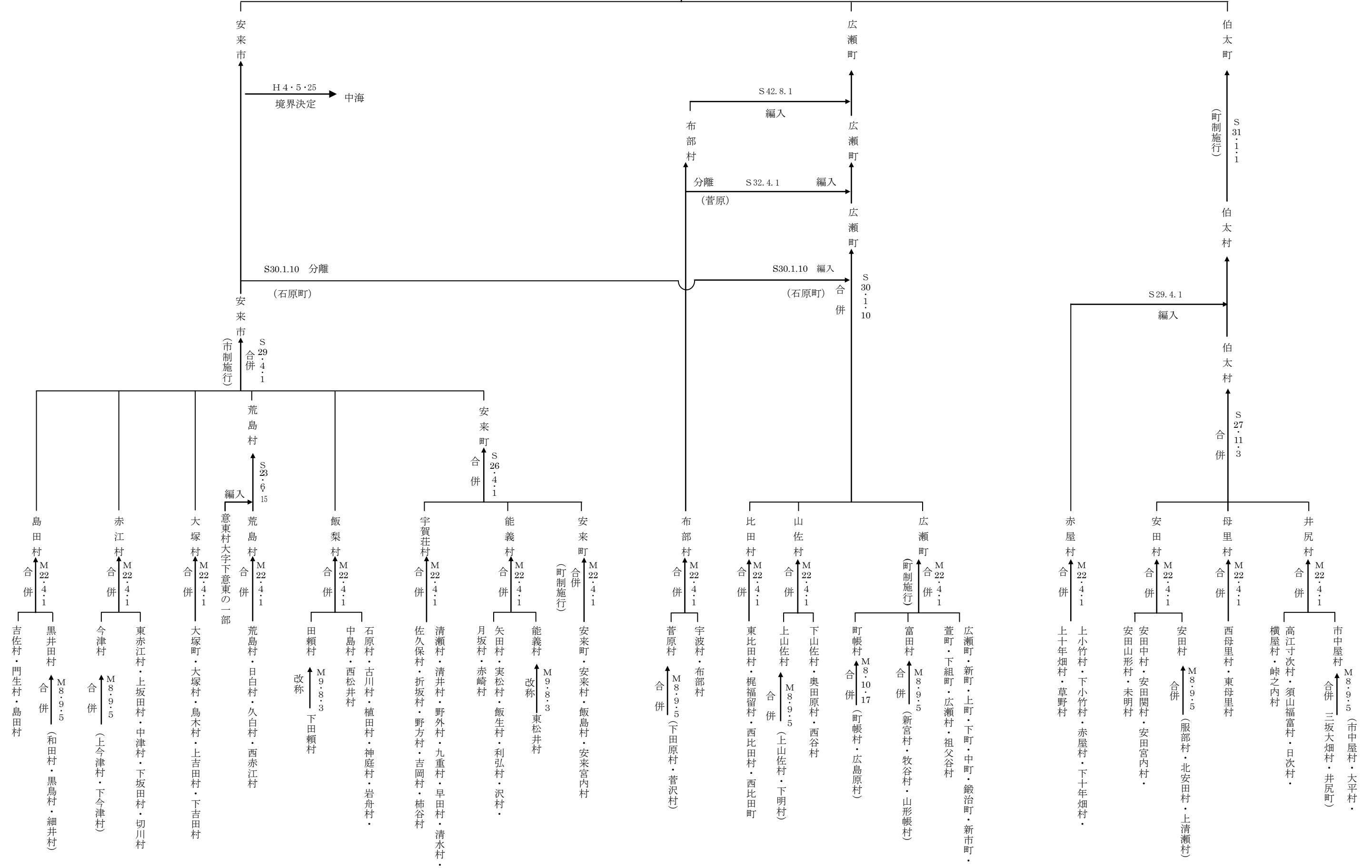
江戸期には、松江藩、広瀬藩、母里藩の3つに分かれ統治され、現在の安来市が分割される状況であった。三つの藩に分かれているといっても、松江藩の兄弟藩として広瀬、母里藩の財政は松江藩からの支援に頼るところが大きく、また、山間地からの物資を伯太川、飯梨川を利用して運搬し、安来港が物資集積の積出港として使用され、地域の住民の行き来も比較的自由なものであったことが推測される。

明治、大正、昭和の合併前までの地域内の産業としては、米の集積地としての精米業、砂鉄を中心とする鉄鋼業、養蚕を基盤とする製糸業などが盛んになり、積出港としての安来港を中心にした経済活動が盛んとなった。

当市は、中国山地沿いに発達した「タタラ製鉄」の伝統を受け継ぐ特殊鋼ヤスキハガネを中心に鉄鋼及び金属製品の生産が盛んである。昭和41年中海新産業都市に指定されて以来、工業開発の基盤整備を進めており、将来的には高級特殊鋼の生産を中心とした産業都市として飛躍的な発展が期待されている。

安来市

H16.10.1
合併



安来市

市町村名		安 来 市				
市役所の位置		〒692-8686 安来市安来町 878 番地 2		電話番号	0854-23-3000	
合併等の状況	年月日	合体編入等の別	関係市町村名			
	昭 23. 6. 15	境界変更	意東村の一部(大字下意東の一部)を荒島村に			
	26. 4. 1	合 体	安来町・能義村・宇賀荘村(安来町設置)			
	27. 11. 3	〃	井尻村・母里村・安田村 (伯太村設置)			
	29. 4. 1	〃 (市制)	安来町・飯梨村・赤江村・荒島村・島田村・大塚村 (安来市設置)			
	〃	編 入	赤屋村を伯太村に			
	30. 1. 10	合 体	広瀬町・比田村・山佐村・安来市の一部 (石原町) (広瀬町設置)			
	31. 1. 1	(町制)	伯太村 (伯太町)			
	32. 4. 1	境界変更	布部村の一部 (大字菅原) を広瀬町へ			
	42. 8. 1	編 入	布部村を広瀬町に			
	平 4. 5. 25	境界決定	中海(松江市・安来市・美保関町・東出雲町・八束町)			
	16. 10. 1	合 体	安来市・広瀬町・伯太町			
町名 又は字名	旧市町村 及び大字名		通 称	小字の区域		廃止 済
	有 全域	一部				
宮内町 <small>みやうちちょう</small>	安来町 (安来市)	宮内				○
安来町 <small>やすぎちょう</small>	(〃)	安来				○
南十神町 <small>みなみとくみちょう</small>	(〃)					—
新十神町 <small>しんとくみちょう</small>	(〃)					—
飯島町 <small>はしまちょう</small>	(〃)	飯島				○
亀島町 <small>かめしまちょう</small>	(〃)					—
矢田町 <small>やだちょう</small>	能義村 (〃)	矢田				○
実松町 <small>さねまつちょう</small>	(〃)	実松				○
能義町 <small>のきちょう</small>	(〃)	能義				○
飯生町 <small>いなりちょう</small>	(〃)	飯生				○

町名 又は字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		
				有		廃止 済
				全域	一部	
としひろちょう 利弘町	能義村 (安来市)	利弘			○	
さわちょう 沢町	(〃)	沢			○	
あかさきちょう 赤崎町	(〃)	赤崎			○	
つきざかちょう 月坂町	(〃)	月坂			○	
とりぎちょう 鳥木町	大塚村 (〃)	鳥木			○	
しもよしだちょう 下吉田町	(〃)	下吉田			○	
かみよしだちょう 上吉田町	(〃)	上吉田			○	
おおつかちょう 大塚町	(〃)	大塚			○	
ふるかわちょう 古川町	飯梨村 (〃)	古川			○	
うえだちょう 植田町	(〃)	植田			○	
かんぼちょう 神庭町	(〃)	神庭			○	
いわふねちょう 岩舟町	(〃)	岩舟			○	
いいなしちょう 飯梨町	(〃)	中島			○	
にしまついちょう 西松井町	(〃)	西松井			○	
たよりちょう 田頼町	(〃)	田頼			○	
よしおかちょう 吉岡町	宇賀荘村 (〃)	吉岡			○	
のかたちちょう 野方町	(〃)	野方			○	
おりさかちょう 折坂町	(〃)	折坂			○	
かきだにちょう 柿谷町	(〃)	柿谷			○	
きよせちょう 清瀬町	(〃)	清瀬			○	
きよいちょう 清井町	(〃)	清井			○	
うかしょう 宇賀荘町	(〃)	野外			○	
くのうちょう 九重町	(〃)	九重			○	

安来市

町名 又は字名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域		
			有		廃止済
			全域	一部	
早田町 （早田）	宇賀荘村 （安来市）	早田			○
佐久保町 （佐久保）	（佐久保）	佐久保			○
清水町 （清水）	（清水）	清水			○
荒島町 （荒島）	荒島村 （荒島）	荒島			○
西赤江町 （西赤江）	（西赤江）	西赤江			○
久白町 （久白）	（久白）	久白			○
日白町 （日白）	（日白）	日白			○
西荒島町 （西荒島）	意東村 （西荒島）	西荒島			○
吉佐町 （吉佐）	島田村 （吉佐）	吉佐			○
門生町 （門生）	（門生）	門生			○
島田町 （島田）	（島田）	島田			○
中海町 （中海）	（中海）				—
恵乃島町 （恵乃島）	（恵乃島）				—
汐手が丘 （汐手が丘）	（汐手が丘）				—
西恵乃島町 （西恵乃島）	（西恵乃島）				—
穂日島町 （穂日島）	（穂日島）				—
黒井田町 （黒井田）	島田村 （黒井田）	黒井田			○
赤江町 （赤江）	赤江村 （赤江）	東赤江			○
東赤江町 （東赤江）	（東赤江）	〃			○
中津町 （中津）	（中津）	中津			○
上坂田町 （上坂田）	（上坂田）	上坂田			○
下坂田町 （下坂田）	（下坂田）	下坂田			○
今津町 （今津）	（今津）	今津			○
切川町 （切川）	（切川）	切川			○

町名 又は字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		
				有		廃止 済
				全域	一部	
ひろせちょう 広瀬町 いしはら 石原	飯梨村 (広瀬町)	石原			○	
ひろせちょう 広瀬町 ひろせ 広瀬	広瀬町 (〃)	広瀬			○	
ひろせちょう 広瀬町 まちちょう 町帳	(〃)	町帳			○	
ひろせちょう 広瀬町 とだ 富田	(〃)	富田			○	
ひろせちょう 広瀬町 おじだに 祖父谷	(〃)	祖父谷			○	
ひろせちょう 広瀬町 にしひだ 西比田	比田村 (〃)	西比田			○	
ひろせちょう 広瀬町 かじふくどめ 梶福留	(〃)	梶福留			○	
ひろせちょう 広瀬町 ひがしひだ 東比田	(〃)	東比田			○	
ひろせちょう 広瀬町 しもやま 下山佐	山佐村 (〃)	下山佐			○	
ひろせちょう 広瀬町 かみやま 上山佐	(〃)	上山佐			○	
ひろせちょう 広瀬町 おくたわら 奥田原	(〃)	奥田原			○	
ひろせちょう 広瀬町 にしだに 西だ谷	(〃)	西谷			○	
ひろせちょう 広瀬町 すがはら 菅原	布部村 (〃)	菅原			○	

安来市

町名 又は字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		廃止 済
				有		
				全域	一部	
ひろせちょう 広瀬町 ふべ部	布部村 (広瀬町)	布部				○
ひろせちょう 広瀬町 うなみ波	(//)	宇波				○
はくたちょう 伯太町 やすだ田	安田村 (伯太町)	安田				○
はくたちょう 伯太町 やすだなか中	(//)	安田中				○
はくたちょう 伯太町 やすだみやうち	(//)	安田宮内				○
はくたちょう 伯太町 ほのか明	(//)	未明				○
はくたちょう 伯太町 やすだやまがた	(//)	安田山形				○
はくたちょう 伯太町 やすだせき関	(//)	安田関				○
はくたちょう 伯太町 にしもり	母里村 (//)	西母里				○
はくたちょう 伯太町 もり	(//)	母里				○
はくたちょう 伯太町 ひがしもり	(//)	東母里				○
はくたちょう 伯太町 いじり尻	井尻村 (//)	井尻				○
はくたちょう 伯太町 すやまふくどめ	(//)	須山福富				○

町 又は字名	旧市町村 及び大字名		通 称	小字の区域		
				有		廃 止 済
				全 域	一 部	
はくたちょう 伯太町 なかえすんじ 高江寸次	井尻村 (伯太町)	高江寸次			○	
はくたちょう 伯太町 ひなみ次 日なみ次	(//)	日次			○	
はくたちょう 伯太町 よこや屋 横こや屋	(//)	横屋			○	
はくたちょう 伯太町 たわのうち 峠之内	(//)	峠之内			○	
はくたちょう 伯太町 あかや屋 赤かや屋	赤屋村 (//)	赤屋			○	
はくたちょう 伯太町 しもおだけ 下小だけ	(//)	下小竹			○	
はくたちょう 伯太町 かみおだけ 上小だけ	(//)	上小竹			○	
はくたちょう 伯太町 しもじゅうねんぼた 下十年畑	(//)	下十年畑			○	
はくたちょう 伯太町 かみじゅうねんぼた 上十年畑	(//)	上十年畑			○	
はくたちょう 伯太町 くさの野 草さの野	(//)	草野			○	

(注) 旧市町村名及び大字名に「一」の記述がある町名は、中海の埋立てによる町の区域

注：住居表示実施区域

(平成12年7月1日実施)

汐手が丘

江 津 市



市 章

江津市の頭文字の「G」を基本にして、中央から外に向かって伸びる2枚の翼は石央の中核都市として飛躍する姿を表現するとともに、これを取り囲む円は「和」と「団結」をもって、より大きく、よりすばらしい希望に燃えて発展していく市の姿を象徴している。

市の花

つつじ

市の木

黒松（くろまつ）

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人口 (人)	27, 774	25, 697
	世帯数 (世帯)	10, 769	10, 320
	面積 (km ²)	268. 51	268. 51

〈市名の由来〉

「江津」という名称は、江の川河口に立地し、古来河海舟運の拠点となり、江の川の舟津から江津又は郷津と呼称されたことによる。

〈沿革〉

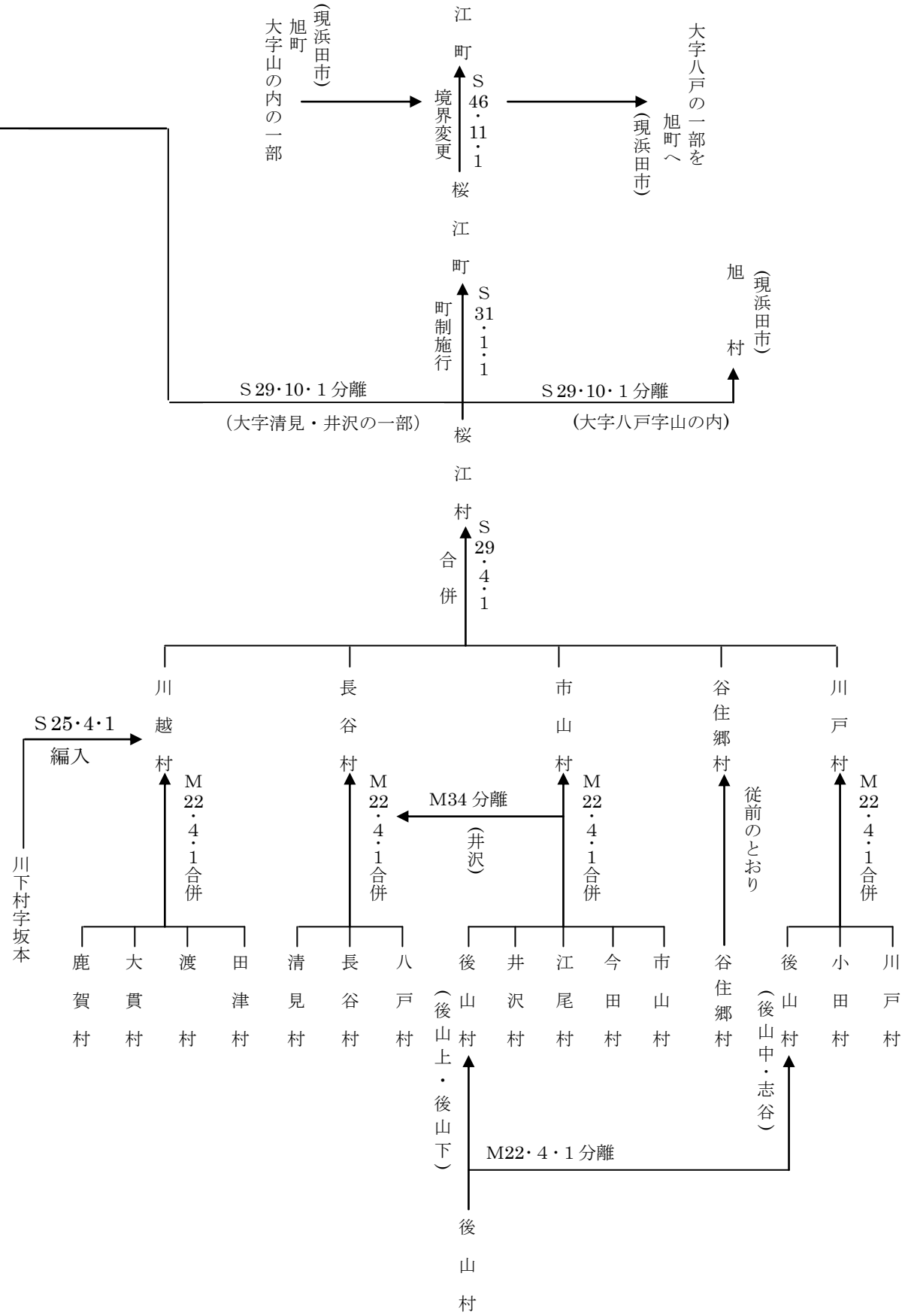
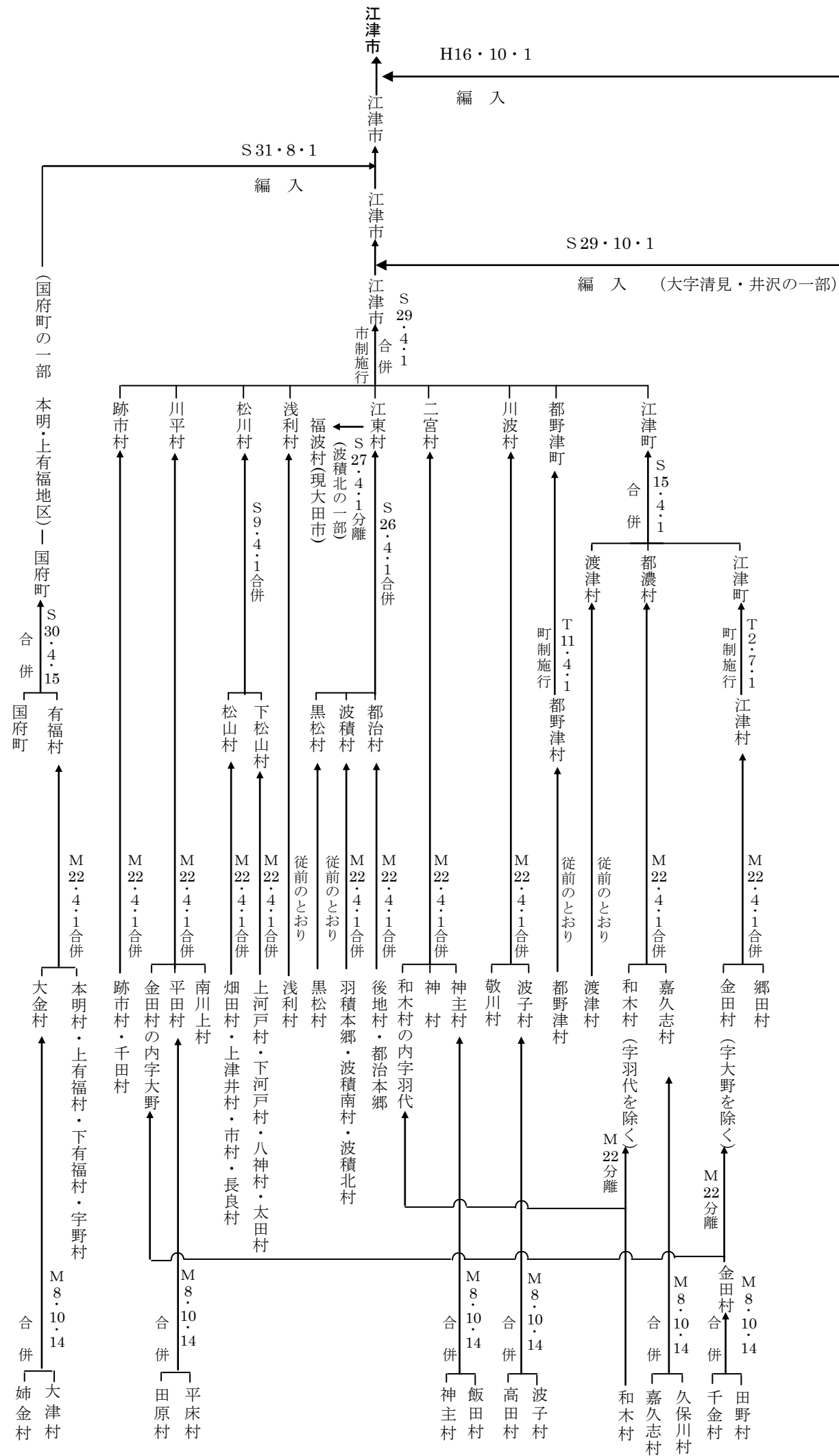
当市域は、古くは那賀郡都農郷・都於郷、邇摩郡杵道郷・大家郷・邑智郡桜井郷に属した。石見の国府が最初那賀郡都農郷神主に置かれ、その後伊甘に移されたという説もあるが、現在のところ確証はない。中世期、大森の銀山が開発されると、周辺地域であるこの地は近隣の群雄による激しい争奪戦に巻き込まれている。

江戸期には、当市域のうち江の川以北及び以西のうち交通の要衝であった江津(郷田)は幕府銀山領に、長谷地区は津和野藩領に、他は浜田藩領となった。

江津は古来より陰陽連絡の動脈とされた江の川の下流域から日本海の結節点に位置し、特にこの時代には下り船の鉄・木材・薪炭・楮、上り船の米・塩・海産物の集散地として繁栄し、邑智郡の鉄はここを中心に大坂・北陸方面へ送られ、北陸の米・瀬戸内の塩などが入ってきた。また、江の川流域はたびたび水禍に悩まされたが、豊富な水資源と肥沃な土壌を利用して農業が盛んに行われた。

海岸砂丘地には早くからイワシ網を主体とした漁業集落が成立しており、この時代には山間部農村の人口流出を受け入れるなどして、漁業が盛んになった。海岸砂丘地の開拓も行われ、高角山地を中心とする鉄穴流しを利用した耕作化が行われた。現在の国道9号以北の海岸地帯は、承応年間(1652～1655年)から始まる砂丘地開拓によるものである。

江の川舟運の基地として発展した江津港は、大正9年山陰本線、昭和5年三江線の敷設により、急速に衰えたため、江の川の水資源を利用する工場誘致が行われ、周辺地域の森林資源を利用したパルプ工場の進出をみた。当市の地場産業としては、良質の粘土層を利用した石州瓦と石見陶器が古くから有名である。また、新たな取り組みとして桑茶など健康食品も開発されてきている。



江 津 市

市町村名		江 津 市								
市役所の位置		〒695-8501 江津市江津町 1525 番地			電話番号	0855-52-2501				
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名							
	昭 25. 4. 1	境界変更	川下村の一部(字坂本)を川越村に							
	26. 4. 1	合 体	都治村・黒松村・波積村(江東村設置)							
	27. 4. 1	境界変更	江東村の一部(大字波積北の一部)を福波村へ							
	29. 4. 1	合 体 (市制)	江津町・都野津町・川波村・跡市村・松川村・川平村・江東村・二宮村・浅利村(江津市設置)							
	〃	〃	川戸村・谷住郷村・市山村・長谷村・川越村(桜江村設置)							
	29. 10. 1	境界変更	桜江村の一部(大字清見・井沢の一部)、桜江町大字八戸の一部を旭村へ							
	31. 1. 1	(町制)	桜江村(桜江町)							
	31. 8. 1	境界変更	国府町の一部(大字本明・上有福)							
	46. 11. 1	〃	旭町の一部(大字山の内の一部)を桜江町へ、桜江町大字八戸の一部を旭町へ							
	平 16. 10. 1	編 入	桜江町							
町 名	旧市町村 及び大字名		通 称				小字の区域			
							有	廃止		
江 津 町 (江津市)	郷 田	かみしんまち 上新町	しもしんまち 下新町	かみいづみちょう 上泉町	しもいづみちょう 下泉町			○		
		しまのほし 島の星	ほんまち 本町	きたちょう 北町	あけぼのちょう 曙町					
		たかはま 高浜	かいがんどおり 海岸通り	たまえちょう 玉江町	ひがしたかさご 東高砂					
		にしたかさご 西高砂	みなとまち 港町	ほしじまじゅうたく 星島住宅						
かねたちょう 金田町	(〃)	金 田	ちがね 千 金	おくだに 奥 谷	たのむら 田ノ村	おおの 大 野			○	
かくしちょう 嘉久志町	(〃)	嘉 久 志	にしやぐち 西屋口	てらがわ 寺 側	えびすみなみ 蛭子南	えびすきた 蛭子北			○	
			ねぎひがし 根木東	ねぎにし 根木西	つとこ 土 床	くぼかわ 久保川				
			いだに 新 谷	わけだに 分田谷	しまやだに 島屋谷					
おきちょう 和木町	(〃)	和 木	じげ 地 下	はまぐち 浜 口	しんがい 新 開	むかいのはま 向ノ浜	やまのうち 山ノ内			○
			きたしんち 北新地	みなみしんち 南新地						

江 津 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称					小字の区域		廃止 済
								有		
								全域	一部	
わたづちよう 渡 津 町	江 津 町 (江津市)	渡 津	しおだ 塩 田	かど 嘉 戸	わたづ 渡 津	ながた 長 田			○	
はしちよう 波 子 町	川 波 村 (")	波 子	こうだ 高 田	しんやしき 新 屋 敷	うづ 宇 津	ゆみはら 弓 原			○	
はしちよう 波 子 町	" (")	"	しいのきひら 椎ノ木平	こうだはま 高 田 浜	さいがとうげ 才ヶ峠				○	
うやがわちよう 敬 川 町	" (")	敬 川	むりんじま 無 林 島	ひがしぐち 東 口	しばぐち 芝 口	さわだぐち 沢 田 口	しきなぐち 敷 名 口			○
			かみぐち 上 口	おおかわぐち 大 河 口	ながはら 長 原	よころ 横 路	みなと 港			
			はまぐち 浜 口	おきのはま 沖ノ浜	さなめ 佐 名 目	おの 小 野	おおたお 大 峠			
つのづちよう 都 野 津 町	都 野 津 町 (")	都 野 津	つのづ 都 野 津	やまのうち 山ノ内	とおみがおか 遠見ヶ丘				○	
にのみやちよう 二 宮 町	二 宮 村	神 主	かんぬしごう 神 主 郷	いいた 飯 田	えら 恵 良	みやのたに 宮ノ谷	あおやま 青 山			○
か 神 主	(")									
にのみやちよう 二 宮 町	"	神 村							○	
か 神 村	(")									
にのみやちよう 二 宮 町	"	羽 代							○	
は 羽 代	(")									
ちだちよう 千 田 町	跡 市 村 (")	千 田	うしろだに 後 谷	なかちだ 中 千 田	おおのだに 大 野 谷	おおさばり 大 佐 張	おとさこ 大 年 迫			○
あといちちよう 跡 市 町	"	跡 市	まいだち 舞 立	いずりはら 出 り 原	かなくち 金 口	おおくぼ 大 久 保	たにがね 谷 金			○
	(")		めだ 目 出	しんまち 新 町	まちひがし 町 東	まちにし 町 西	おおりばたけ 生 り 畑			
			こばら 小 原	ながせ 長 瀬	おだ 小 田					
ありふくおんせんちよう 有 福 温 泉 町	有 福 村 (")	本 明	ほんみよう 本 明	ふくだ 福 田					○	
ありふくおんせんちよう 有 福 温 泉 町	" (")	上 有 福	ごうにし 郷 西	ごうひがし 郷 東	ゆまちにし 湯 町 西	ゆまちひがし 湯 町 東			○	
かわひらちよう 川 平 町	川 平 村	南 川 上	たたら 鈷	おくたに 奥 谷	たのはらかみ 田ノ原上	たのはらしも 田ノ原下			○	
みなみかわのぼり 南 川 上	(")		なかやま 中 山	かじやたに 鍛 冶 屋 谷	やがだに 矢 ヶ 谷	あかぐり 赤 栗	かたやま 片 山			
かわひらちよう 川 平 町	"	平 田	まじり 瀬 尻	そらじょうかみ 空 城 上	そらじょうしも 空 城 下	しもじょう 下 城			○	
ひ 平 田	(")		ひらとこ 平 床	あしやまたに 芦 山 谷	おきぐち 沖 口	うしろだに 後 谷				

江 津 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称					小字の区域			
								有		廃止 済	
								全域	一部		
まつかわちよう 松川町 いちむら村	松川村 (江津市)	市 村	いちむらかみ 市村上	いちむらしも 市村下						○	
まつかわちよう 松川町 ながら良	(〃)	長 良	かみながら 上長良	なかながら 中長良	しもながら 下長良	ろぎ	くつぼ	坪			○
まつかわちよう 松川町 かんとづい 上津井	(〃)	上 津 井	おおや 大 矢	かみかんづい 上上津井	なかかんづい 中上津井	しもかんづい 下上津井					○
まつかわちよう 松川町 はただ田	(〃)	畑 田	かみはただ 上畑田	しもはただ 下畑田	ごうはただ 郷畑田						○
まつかわちよう 松川町 かみかわど 上河戸	(〃)	上 河 戸	かみかわどひがし 上河戸東	かみかわどにし 上河戸西							○
まつかわちよう 松川町 しもかわど 下河戸	(〃)	下 河 戸	しもかわどひがし 下河戸東	しもかわどにし 下河戸西							○
まつかわちよう 松川町 やかみ神	(〃)	八 神	やかみ神	ほそかわ 細 川							○
まつかわちよう 松川町 おおた田	(〃)	太 田	おおたひがし 太田東	おおたにし 太田西							○
あさりちよう 浅利町	浅利村 (〃)	浅 利	あけぼのちよう 曙 町	かみまち 上 町	みやまち 宮 町	あさひまち 旭 町	かねかわぐち 金川口				○
くろまつちよう 黒松町	黒松村 (〃)	黒 松	くらたに 倉 谷	むかいほま 向 浜	なかまち 中 町	ひがしまち 東 町	うちのうら 内の浦				○
はづみちよう 波積町 ほんご郷	波積村 (〃)	波積本郷	たんごか 反 坂	がんにゅうじだに 岩竜寺谷	ゆみば 弓 場	しろした 城 下					○
はづみちよう 波積町 みなみ南	(〃)	波積南	たけもり 竹 森	たかはし 高 橋	ちゅうおう 中 央	あたご 愛 宕	ふたかわ 二 川				○
はづみちよう 波積町 きた北	(〃)	波積北	ほんだにかみ 本谷上	ほんだにしも 本谷下	なかむかいかみ 中向井上	なかむかいしも 中向井下					○
はづみちよう 波積町 きた北	(〃)	波積北	かじや 嘉地屋	わりいし 割 石	せいだに 瀬井谷	そらくち 空 口	まきのまえ 槇ノ前				○
つちちよう 都治町	都治村 (〃)	都治本郷	しもつち 下都治	なかつち 中都治	しんでん 新 田	かみつちきた 上都治北	かみつちみなみ 上都治南				○

江 津 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称					小字の区域		廃止済
								有		
								全域	一部	
後地町 <small>うしろじちよう</small>	都治村 (江津市)	後地	青波 <small>あおなみ</small>	波来浜 <small>ならはま</small>	尾浜 <small>おぼま</small>	藪 <small>やぶ</small>			○	
			本谷 <small>ほんたに</small>	松井区 <small>まついく</small>						
井沢町 <small>いそうちよう</small>	長谷村 (〃)	井沢	井沢上 <small>いそうかみ</small>	井沢下 <small>いそうしも</small>					○	
清見町 <small>せいみちよう</small>	(〃)	清見	清見東 <small>せいみひがし</small>	清見西 <small>せいみにし</small>					○	
島の星町 <small>しまのほしちよう</small>	江津町 跡市村 (〃)								○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 長谷 <small>ながたに</small>	長谷村 (桜江町)	長谷	長谷西 <small>ながたににし</small>	長谷東 <small>ながたにひがし</small>	山中東 <small>やまなかひがし</small>	山中西 <small>やまなかにし</small>	山中郷 <small>やまなかごう</small>			○
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 八戸 <small>やと</small>	(〃)	八戸	八戸西 <small>やとにし</small>	八戸東 <small>やとひがし</small>	勝地 <small>かちじ</small>				○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 市山 <small>いちやま</small>	市山村 (〃)	市山	小一山 <small>こいちやま</small>	本谷 <small>ほんたに</small>	市東 <small>いちとう</small>	本町 <small>ほんまち</small>			○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 今田 <small>いまだ</small>	(〃)	今田							○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 江尾 <small>えのお</small>	(〃)	江尾							○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 後山 <small>うしろやま</small>	市山村 川戸村 (〃)	後山	後山上 <small>うしろやまかみ</small>	後山中 <small>うしろやまなか</small>	後山下 <small>うしろやましも</small>	志谷 <small>したに</small>			○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 小田 <small>おだ</small>	川戸村 (〃)	小田	小田上 <small>おだかみ</small>	小田下 <small>おだしも</small>					○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 川戸 <small>かわど</small>	(〃)	川戸	町 <small>まち</small>	高尾 <small>たかお</small>	三田地 <small>みたじ</small>	川戸 <small>かわど</small>			○	
桜江町 <small>さくらえちよう</small> 谷住郷 <small>たにじゅうごう</small>	谷住郷村 (〃)	谷住郷	大口 <small>おおくち</small>	下ノ原 <small>しものほら</small>	市 <small>いち</small>	船津 <small>ふなつ</small>	妙見谷 <small>みょうけんだに</small>		○	
			天神郷 <small>てんじんごう</small>	谷 <small>たに</small>	押し手 <small>おしで</small>	入野 <small>いりの</small>	長戸路 <small>ながとろ</small>			

江 津 市

町 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称	小字の区域		
				有		廃 止 済
				全 域	一 部	
桜江町 川越	川越村 (桜江町)	渡 村	かわごえ わただ			○
桜江町 坂本	川下村 (〃)					○
桜江町 鹿賀	川越村 (〃)	鹿 賀				○
桜江町 田津	〃 (〃)	田 津				○
桜江町 大貫	〃 (〃)	大 貫	かみおおぬき 上大貫 しもおおぬき 下大貫			○

雲南市



市章

雲南市の「U」をモチーフに、「いきいきとした自然・人・街（ふるさと）」「生命（いのち）と神話が息づく新しい日本のふるさと」をイメージし、全体として、未来に向かって躍動・発展する雲南市を力強く表現している。

市の花

桜（H18.12.21）

市の木

イチヨウ
（H18.12.21）

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	44,403	41,917
	世帯数 (世帯)	12,990	12,905
	面積 (km ²)	553.37	553.37

〈市名の由来〉

「雲南」という名称は、旧国名「出雲」の南に位置する地方の意味として、近代（明治）以降使用され、平成の大合併前の旧大原郡、旧飯石郡、旧仁多郡をあわせて「雲南3郡」と呼ぶなど、古くからこの地方を表す呼び名として定着していた。

そのため、市内には「雲南」の名称を用いた企業、団体などが多数あることや、地域別天気予報にも雲南地方として表示されるなど、住民生活の中で多く使用されていた。このことから、誰もがなじみやすく愛着の持てる「雲南」という地名を継承し、新しい市の名称を「雲南市」とした。

〈沿革〉

当市域は、ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川の清流や、各地に神話や伝説にまつわる名勝や伝統芸能が継承され、また加茂岩倉遺跡など多くの遺跡や古墳が発掘されている古来より優れた文化を育む歴史的遺産に恵まれた地域である。こうした遺跡や地名の由来や歴史は、「出雲国風土記」にたどることができる。

市北部の斐伊川とその支流周辺の低地では、肥沃な土地が広がり古くから農耕が盛んに営まれ、中世には農産物を中心とする市が開かれるようになった。また、舟運の要衝であったことから、中世には尼子、毛利両勢の接触点としてたびたび戦場となったが、江戸期には舟運の助けによって物資の集散地として活況を呈した。

市南部の中国山地に至る広範な山間地では、古くから砂鉄を利用した製鉄や良質な材木の伐採、製炭が中心に行われてきた。製鉄は、中世に耐火粘土による鋼炉が築造されたことにより大きく躍進し、日露戦争時代に旺盛を極めたが、明治後期以降洋鉄に押されて衰退した。また、製炭も長く地域の経済を支えてきたが、昭和30年代以降のエネルギー政策の転換によって、その生産量は急激に低落した。

当市の行政区域は、江戸期には松江藩に属し、廃藩置県後の明治初期当時は約120の村に分かれていた。その後、明治22年の町村制施行、昭和27年から33年にかけての昭和の大合併により、大原郡大東町、同加茂町、同木次町、飯石郡三刀屋町、同吉田村、同掛合町に再編された。平成期に入り、地方分権時代の到来や生活圏域と行政圏域の不整合に対応するための新たな町村合併が必要となり、平成16年11月1日にこの6町村が合併し雲南市として市制を施行することとなった。

当市は、「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」の基本理念の下に、陰陽を結ぶ新たな中核交流拠点都市を目指しているが、少子高齢化の進行、逼迫する財政状況などが今後の課題となっている。そうした中、農山村の豊かな自然、美しい景観、伝統文化や歴史、食の安全性などへの人々の関心が大きく高まり、それらの地域資源を豊富に持つ本市の取り組みに大きな期待が寄せられている。

雲
南
市

市制施行
合併
H
16
・
11
・
1

大東町
(別紙 1)

加茂町
(別紙 2)

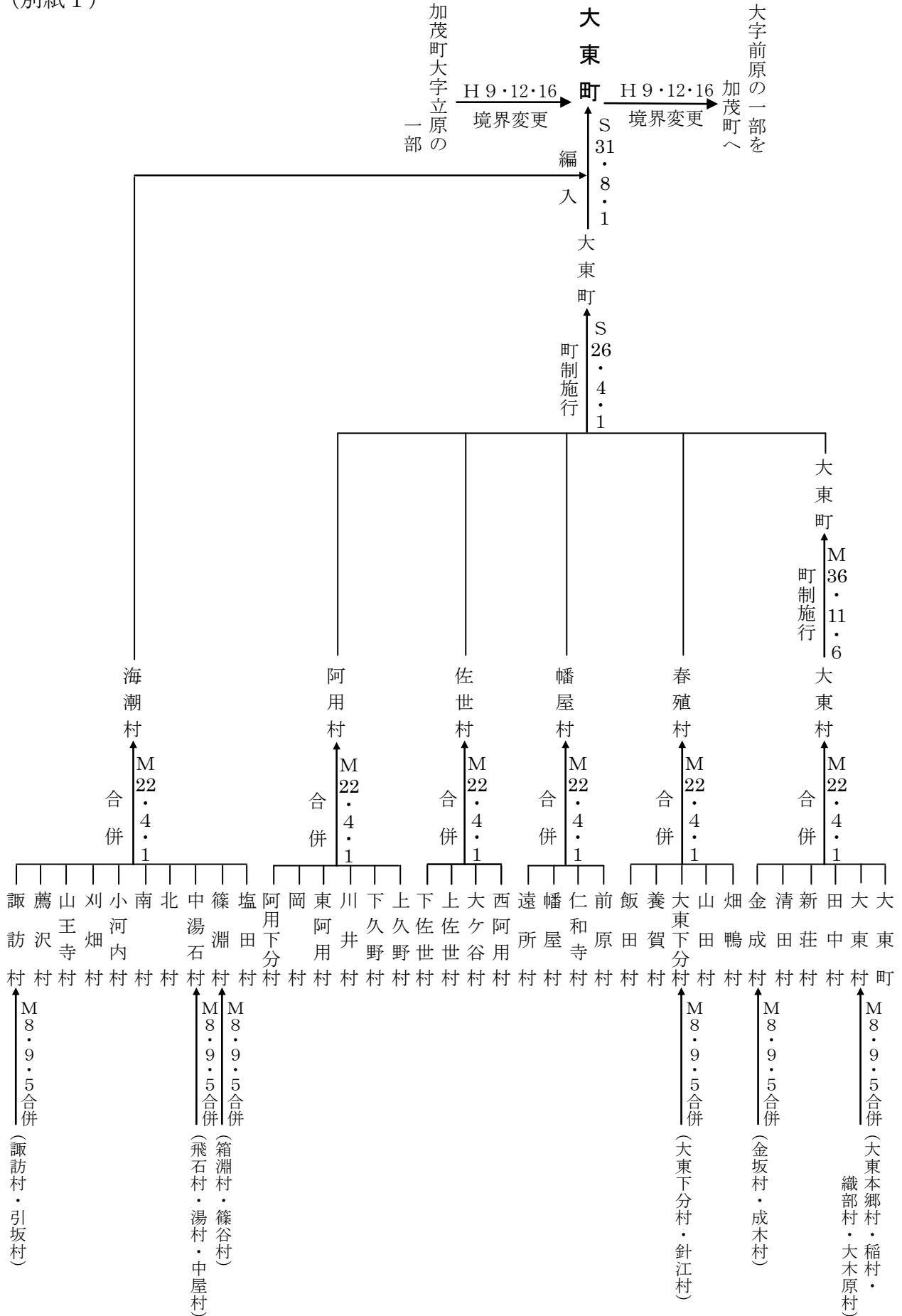
木次町
(別紙 3)

三刀屋町
(別紙 4)

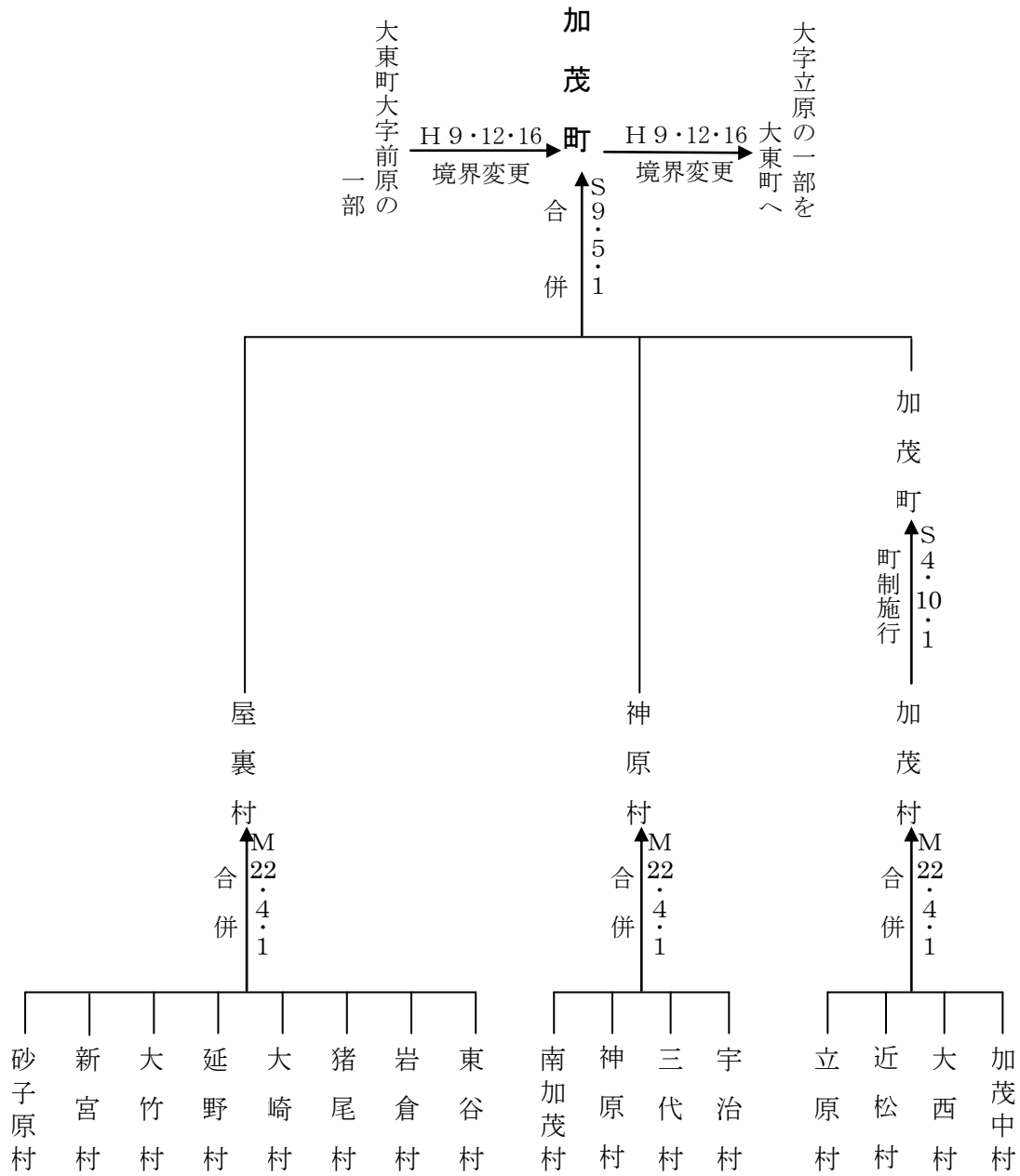
吉田村
(別紙 5)

掛合町
(別紙 6)

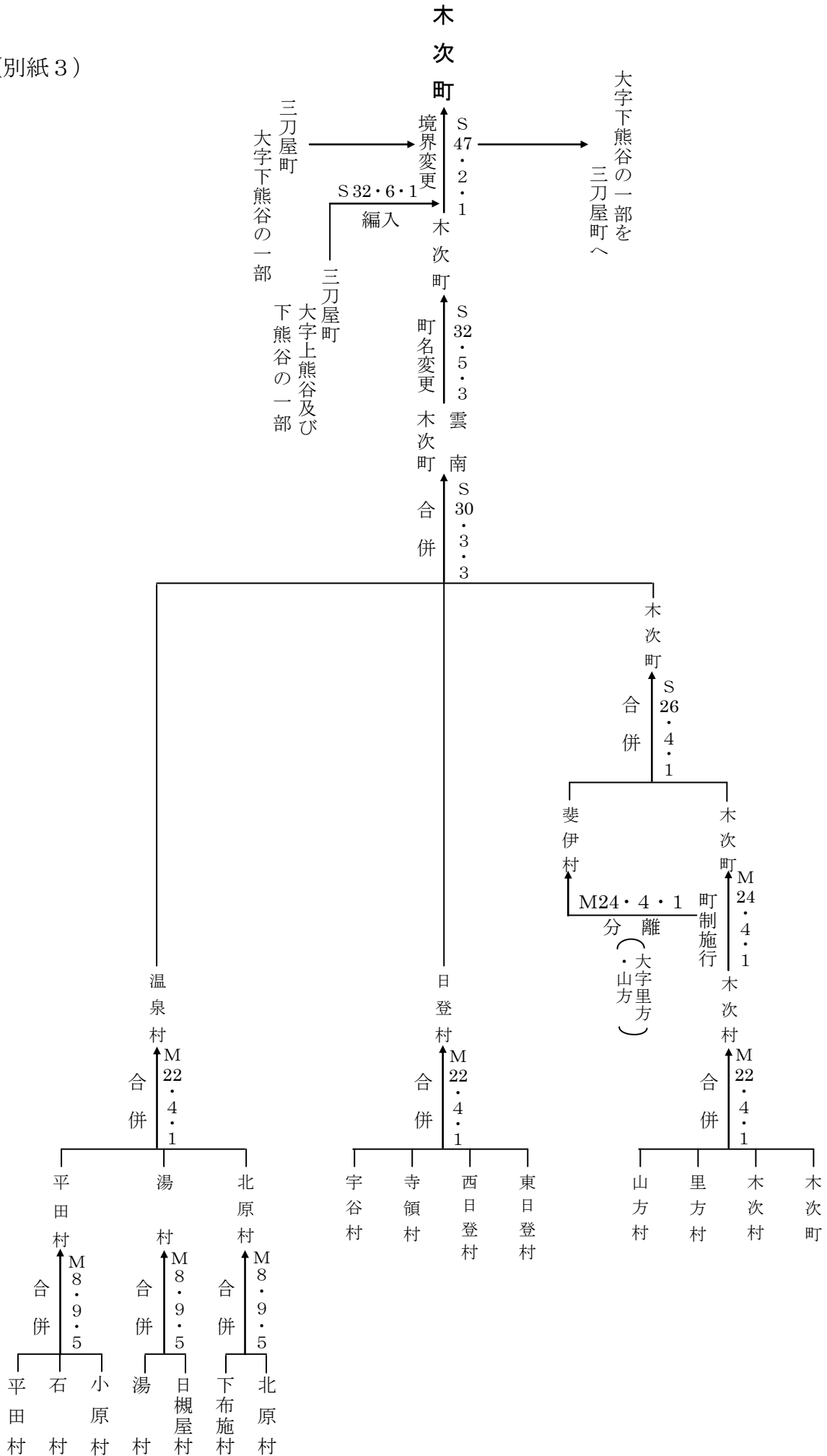
(別紙1)



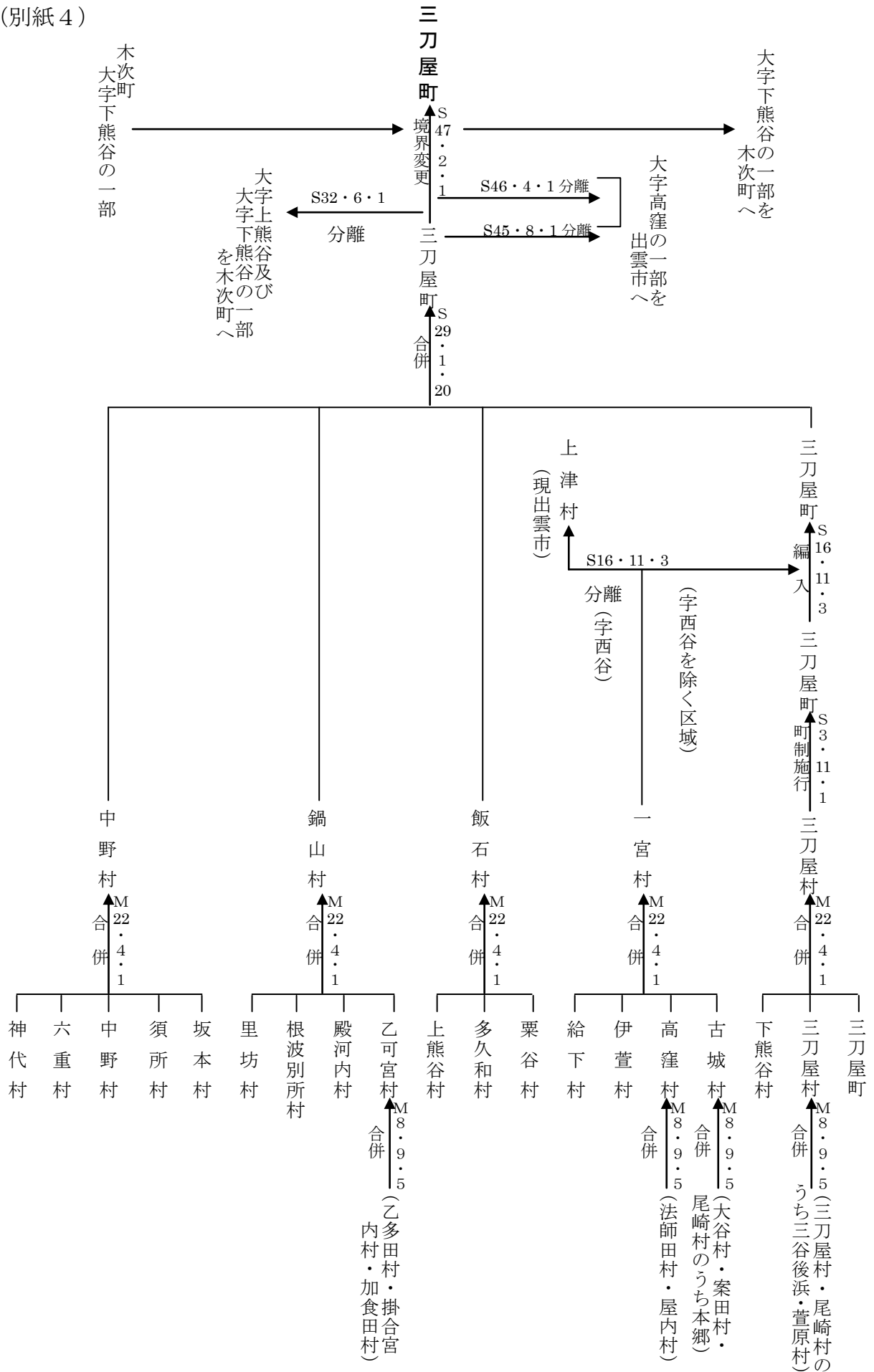
(別紙2)



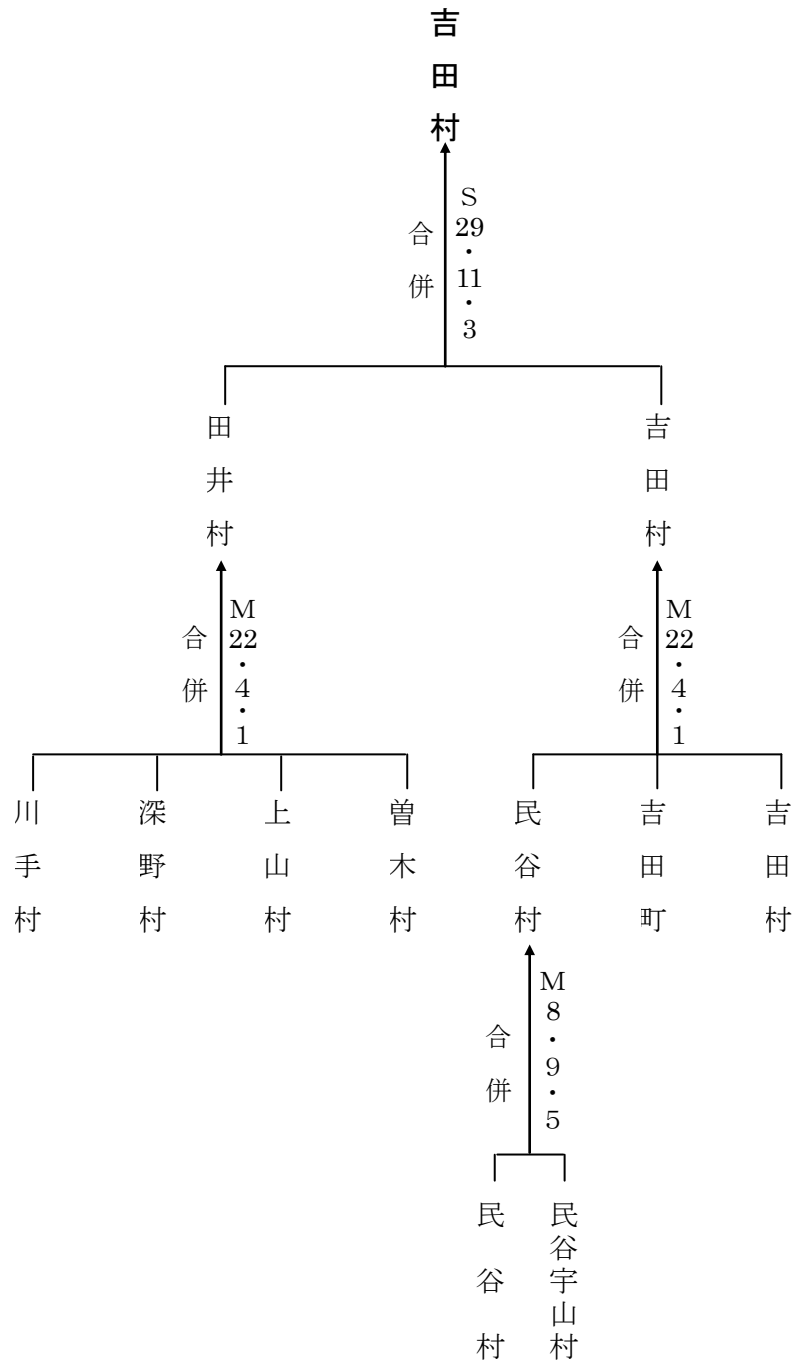
(別紙 3)



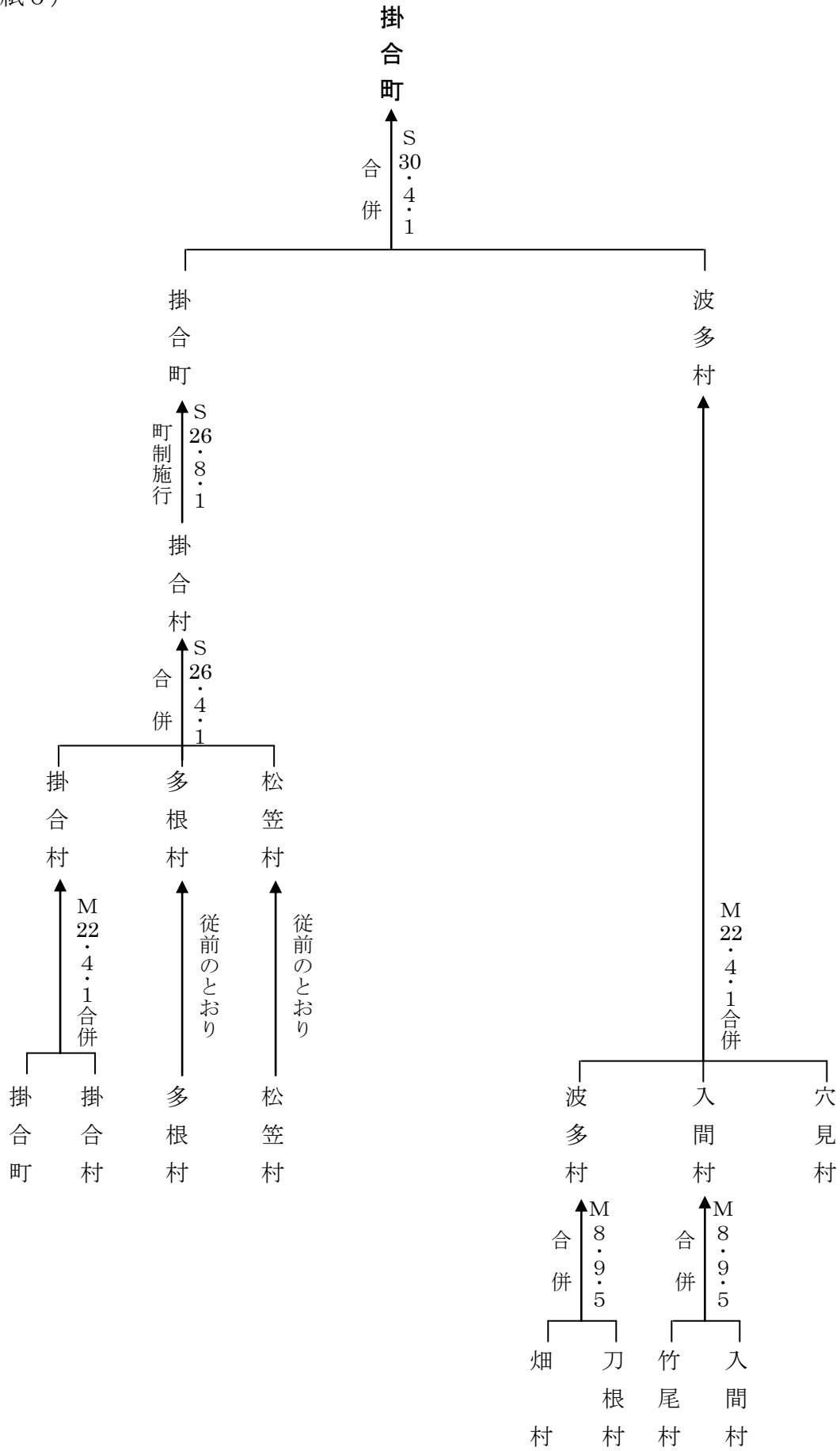
(別紙 4)



(別紙5)



(別紙6)



雲 南 市

市 町 村 名		雲 南 市		
役場の位置		〒699-1392 雲南市木次町木次 1013 番地 1	電話番号	0854-40-1000
合 併 等 の 状 況	年 月 日	合体編入 等の別	関 係 市 町 村 名	
	昭 9. 5. 1	合 体	加茂町・神原村・屋裏村（加茂町設置）	
	26. 4. 1	〃	大東町・春殖村・幡屋村・佐世村・阿用村（大東町設置）	
	〃	〃	木次町・斐伊村（木次町設置）	
	〃	〃	掛合村・多根村・松笠村（掛合村設置）	
	26. 8. 1	（町制）	掛合村（掛合町）	
	29. 1. 20	合 体	三刀屋町・鍋山村・飯石村・中野村（三刀屋町設置）	
	29. 11. 3	〃	吉田村・田井村（吉田村設置）	
	30. 3. 3	〃	日登村・温泉村・木次町（雲南木次町設置）	
	30. 4. 1	〃	掛合町・波多村（掛合町設置）	
	31. 4. 1	編 入	海潮村を大東町に	
	32. 5. 3	（町名変更）	雲南木次町（木次町）	
	32. 6. 1	境界変更	三刀屋町大字上熊谷及び下熊谷の一部を木次町へ	
	45. 8. 1	〃	三刀屋町大字高窪の一部を出雲市へ	
	46. 4. 1	〃	三刀屋町大字高窪の一部を出雲市へ	
	47. 2. 1	〃	三刀屋町大字下熊谷の一部を木次町へ、木次町大字下熊谷の一部を三刀屋町へ	
	平 9. 12. 16	〃	加茂町大字立原の一部を大東町へ、大東町大字前原の一部を加茂町へ	
16. 11. 1	合 体 （市制）	大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町		

雲 南 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称					小字の区域		廃止済
									有		
				全域	一部						
だいとうちょう 大 東 町	だいとう 大 東	大 東 町 (大東町)	だいとう 大 東	ひがしまちかみ	ひがしまちなか	ひがしまちしも	ひがしまちみなみ	かみまち			○
				東町上	東町中	東町下	東町南	上 町			
				なかまち	ほんまち	みなみほんまち	にしほんまち	にしまち			
				かみだまち	きたまち	おおぎはら	こしど				
				こじょう	おんべ	ひかり	ひがしまちきた				
				古城	織 部	光	東町北				
だいとうちょう 大 東 町	た な か 田 中	(//)	た な か 田 中	たなかかみ	たなかしも						○
				田中上	田中下						
"	しんじょう 新 庄	(//)	しんじょう 新 庄	しんじょうにし	しんじょうひがし	しんじょうみなみ					○
				新庄西	新庄東	新庄南					
"	せいだ 清 田	(//)	せいだ 清 田								○
"	かねなり 金 成	(//)	かねなり 金 成	かねなりしも	かねなりかみ						○
				金成下	金成上						
"	い い だ 飯 田	(//)	い い だ 飯 田	いづみだに	かきさか	えきまえ					○
				泉 谷	柿 坂	駅 前					
"	ようか 養 賀	(//)	ようか 養 賀	かみぐみ	みやのした	なかぐみ	しもぐみ				○
				上 組	宮ノ下	中 組	下 組				
"	だいとうしもぶん 大東下分	(//)	だいとうしもぶん 大東下分	ほんまち	よこまち	あげ	さん王				○
				本 町	横 町	上 げ	山 王				
				こしまえ	はりえ	むこうじま	ばでんじ				
				越 前	針 江	向 島	馬田寺				
"	や ま だ 山 田	(//)	や ま だ 山 田	あらいまち	じょうのこし	ば ば	こうのみね	まつお			○
				荒井町	城之越	馬 場	高 峯	松 尾			
"	はたひよどり 畑 鴉	(//)	はたひよどり 畑 鴉	しもひよどり	あしだに	ひよどり	はた				○
				下 鴉	芦 谷	鴉	畑				
"	まえばら 前 原	(//)	まえばら 前 原	まえばらいち	まえばらに						○
				前原一	前原二						
"	にんなじ 仁 和 寺	(//)	にんなじ 仁 和 寺	しもはらぐち	なかはらぐち	こうりや	かみはらぐち				○
				下原口	中原口	郡 屋	上原口				
				おおたわ	やまねぐち	おざき	にしきこ				
				大多和	山根口	尾 崎	西 廻				
				ほんいわね	なかいわね	くりょう	かみにんなじ	かみぐみ			
				本岩根	中岩根	九 量	上仁和寺	上 組			
"	は た や 幡 屋	(//)	は た や 幡 屋	しもぐみ	いしだに	なかぐみ	にしだに				○
				下 組	石井谷	中 組	西 谷				
				みやうちだに	みやのたに						
				宮内谷	宮之谷						
"	えんじよ 遠 所	(//)	えんじよ 遠 所	しもえんじよ	なかえんじよ	おくえんじよ					○
				下遠所	中遠所	奥遠所					
"	しもさせ 下 佐 世	(//)	しもさせ 下 佐 世	かみよ	すぎだに	うるうだに	かりやま				○
				神 代	杉 谷	潤 谷	狩 山				
				じょうざん	なかすじ	はらぐち	せりだに				
				城 山	中 筋	原 口	芹 谷				
"	かみさせ 上 佐 世	(//)	かみさせ 上 佐 世	めんべつ	はんど	みやしも	みやかみ	おもてさせ			○
				免 別	半 戸	宮 下	宮 上	表佐世			
"	おおかだに 大 ヶ 谷	(//)	おおかだに 大 ヶ 谷	かわすじ	うしろだに						○
				川 筋	後 谷						

雲 南 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域		
								有		廃止 済
								全域	一部	
だいとうちよう 大 東 町	にしあよう 西 阿 用	佐 世 村 (大東町)	にしあよう 西 阿 用	し て 若 木 本 郷 峯 ひ な 陰 地						○
〃	かみくの 上 久 野	阿 用 村 (〃)	かみくの 上 久 野	たいせい ひ な おおい ながたに しもく 大 聖 日 向 大 井 長 谷 下 区						○
〃	しもくの 下 久 野	(〃)	しもくの 下 久 野	かみぐみ だんばら なかぐみ とのいしき しもぐみ 上 組 段 原 中 組 殿 井 敷 下 組						○
〃	かわい 川 井	(〃)	かわい 川 井	せいきゅうかみ せいきゅうしも 清 久 上 清 久 下						○
〃	ひがしあよう 東 阿 用	阿 用 村 (〃)	ひがしあよう 東 阿 用	ひがしかみ みやうち かみいちげ ふくとみ 東 上 宮 内 上 市 場 福 富						○
〃	おかむら 岡 村	(〃)	おかむら 岡 村	みょうがだに なかもり しもおか 明 賀 谷 中 盛 下 岡						○
〃	しもあよう 下 阿 用	(〃)	しもあよう 下 阿 用	よこてだに かけや みそね かわにし 横 手 谷 掛 屋 三 峠 川 西 にしのみや かきのもと 西 の 宮 柿 の 本						○
〃	さんのうじ 山 王 寺	海 潮 村 (〃)	さんのうじ 山 王 寺	さんのうじほんごう わ の 野 山 王 寺 本 郷 和 野						○
〃	こもざわ 薦 沢	(〃)	こもざわ 薦 沢							○
〃	すがが 須 賀	(〃)	すがが 須 賀	すがが はつそ ひきさか 須 賀 八 所 引 坂						○
〃	きたむら 北 村	(〃)	きたむら 北 村							○
〃	なかゆいし 中 湯 石	(〃)	なかゆいし 中 湯 石	なかや おんせん とびいし むろだに 中 屋 温 泉 飛 石 室 谷						○
〃	みなみむら 南 村	(〃)	みなみむら 南 村							○
〃	おがわうち 小 河 内	(〃)	おがわうち 小 河 内							○
〃	かりはた 刈 畑	(〃)	かりはた 刈 畑	かりはた もりき おくやま 刈 畑 森 木 奥 山						○
〃	しおた 塩 田	(〃)	しおた 塩 田							○
〃	しのぶち 篠 湫	(〃)	しのぶち 篠 湫	さきだに はこぶち 笹 谷 箱 湫						○
かもちよう 加 茂 町	かもなか 加 茂 中	加 茂 町 (加茂町)	かもなか 加 茂 中	かみまち なかまち ほんまち しんまち 上 町 中 町 本 町 新 町 あさひまち さかえまち ひがしまち 旭 町 栄 町 東 町 まえさこだ おくさこだ なかむらかみ なかむらなか 前 廻 田 奥 廻 田 中 村 上 中 村 中 なかむらしも ほし の なかむらだんち 中 村 下 星 野 中 村 団 地 わかつきじゆうたく そとばらまち かもなかだんち くもなみ 若 月 住 宅 外 原 町 加 茂 中 団 地 雲 並						○

雲 南 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域		
								有		廃止 済
								全域	一部	
加 茂 町	立 原	加 茂 町 (加 茂 町)	立 原							○
〃	近 松	(〃)	近 松							○
〃	大 西	(〃)	大 西	南大西	北大西					○
〃	南加茂	神 原 村 (〃)	南加茂	南加茂東	南加茂西	飯の木				○
〃	宇 治	(〃)	宇 治	宇治上	宇治東	宇治北	才明寺			○
				宇治団地	宇治亀山団地					
〃	神 原	(〃)	神 原	神原東	神原西	下神原	松ノ前			○
〃	三 代	(〃)	三 代	高 見	愛 宕	段 部	岡			○
〃	大 竹	屋 裏 村 (〃)	大 竹	大竹上	大竹下					○
〃	延 野	(〃)	延 野							○
〃	大 崎	(〃)	大 崎							○
〃	猪 の 尾	(〃)	猪 の 尾	猪 の 尾	中山団地					○
〃	岩 倉	(〃)	岩 倉	畑	岩 倉					○
〃	東 谷	(〃)	東 谷	東谷北	東谷谷	東谷南	東谷団地			○
〃	砂 子 原	(〃)	砂 子 原	砂子原上	砂子原中	砂子原下	昭 和			○
〃	新 宮	(〃)	新 宮	昭 和						○
木 次 町	木 次	木 次 町 (木 次 町)	木 次	八日市	三日市	新 町	村 方	澄 水		○
〃	里 方	斐 伊 村 (〃)	里 方	朝 日	共 和	中 組	菟 原			○
				塔之村	里 熊					
〃	山 方	(〃)	山 方	北 側	上 口	浜 谷				○
〃	西 日 登	日 登 村 (〃)	西 日 登	吉 井	能 間	案 内	久 の 元			○
				水 谷	大 島	引 野	芦 原	瀬 の 谷		
〃	東 日 登	(〃)	東 日 登	万 場	坂本口	小川上	天 殿	東大谷		○
〃	寺 領	(〃)	寺 領	川 上	大 川	小 川	宇 山			○

雲 南 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域		
								有		廃止 済
								全域	一部	
木次町	宇谷	日登村 (木次町)	宇谷	本谷	中谷					○
〃	新市	(〃)	新市							○
〃	湯村	温泉村 (〃)	湯村	槻屋	湯村					○
〃	平田	(〃)	平田	平田	尾原					○
〃	北原	(〃)	北原	北原	尾白					○
〃	上熊谷	飯石村 (〃)	上熊谷	中之段	正理					○
〃	下熊谷	三刀屋町 (〃)	下熊谷							○
三刀屋町	三刀屋	(三刀屋町)	三刀屋	五反田	滝谷	上萱原	上町			○
				中町	下町	三谷	下萱原			
				地王	旭町	基町	東町			
				西の原	横町	畑ヶ中	駅前	梅が丘		
〃	下熊谷	(〃)	下熊谷							○
〃	給下	(〃)	給下	上給下	中給下	宮谷	八幡			○
				馬場	若宮	小原				
〃	伊萱	(〃)	伊萱	伊萱上	寺谷	下谷				○
〃	高窪	(〃)	高窪	後谷上	後谷下	屋内上	屋内下			○
〃	古城	(〃)	古城	大谷	前谷	後谷	下口			○
				尾崎上	尾崎下	成畑	大門町			
〃	多久和	飯石村 (〃)	多久和	かみぐち 上口	なかぐち 中口	いちば 市場	しもぐち 下口			○
				おおくら 大蔵	たわだに 埴谷					
〃	上熊谷	(〃)	上熊谷	かみのだん 上之段						○
〃	粟谷	(〃)	粟谷	郷	た谷					○
〃	乙加宮	鍋山村 (〃)	乙加宮	かみおつただ 上乙多田	しもおつただ 下乙多田	とりめまきはら 鳥目楨原	ふかたに 深谷			○
				郷	あわばら 粟原	ぜんじょう 禅定	みやうち 宮内			
〃	根波別所	(〃)	根波別所	まえねばしも 前根波下	つくりいし 作石	うしろねば 後根波	あかめだに 赤目谷	まえねばなか 前根波中		○

雲 南 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域			
								有		廢 止 済	
								全 域	一 部		
三刀屋町	里坊	鍋山村 (三刀屋町)	里坊	畑郷上郷下後						○	
〃	殿河内	(〃)	殿河内	大田明石殿河内上殿河内下 御城山成木下津原						○	
〃	神代	(〃)	神代							○	
〃	六重	(〃)	六重	六重下六重中六重上						○	
〃	中野	(〃)	中野	紙屋堂々々宮畑下谷						○	
〃	須所	(〃)	須所	須所下須所上						○	
〃	坂本	(〃)	坂本	森谷郷南側檜杉谷						○	
吉田町	吉田	吉田村 (吉田村)	吉田町	上町下町川原町					○		
〃	吉田	(〃)	吉田村	芦谷杉戸梅木菅谷 高殿川尻おおよしだ	○						
〃	民谷	(〃)	民谷	民谷宇山	○						
〃	曾木	(〃)	曾木		○						
〃	上山	(〃)	上山					○			
〃	深野	(〃)	深野					○			
〃	川手	(〃)	川手					○			
掛合町	掛合	掛合村 (掛合町)	掛合	川上井原谷大向平岩上町 中町下町西側郡十日市 まつお尾穴見谷かみさなかなかさなかしたさなか かなばらおおしどおくみょうにしだにみどりがおか							○
〃	多根	(〃)	多根	上多根中多根萱野 舟津下多根志食長廻							○
〃	松笠	(〃)	松笠	菅原保関谷おおだにやだに なかぐみしもぐみきたざこたきだに							○

雲 南 市

町 名	字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小 字 の 区 域		
								有		廃 止 済
								全 域	一 部	
掛 合 町 <small>かけやちょう</small>	入 間 <small>いりま</small>	波 多 村 (掛 合 町) <small>はたむら</small>	入 間 <small>いりま</small>	本 谷 <small>ほんたに</small>	宮 崎 <small>みやざき</small>	竹 之 尾 <small>たけのお</small>	出 来 山 <small>できやま</small>			○
				八 重 滝 <small>やえだき</small>	寺 谷 上 <small>てらだにかみ</small>	寺 谷 下 <small>てらだにしも</small>				
〃	穴 見 <small>あなみ</small>	(〃)	穴 見 <small>あなみ</small>							○
〃	波 多 <small>はた</small>	(〃)	波 多 <small>はた</small>	上 刀 根 <small>かみどね</small>	下 刀 根 <small>しもどね</small>	宮 内 <small>みやうち</small>	朝 原 <small>あさひら</small>			○
				福 田 <small>ふくだ</small>	柄 栗 <small>からくり</small>	郷 小 原 成 <small>ごうおぼらなり</small>				
				田 上 <small>たがみ</small>	栄 町 <small>さかえまち</small>	中 町 新 町 <small>なかまちしんまち</small>				
				上 町 <small>かみまち</small>	元 上 町 <small>もとかみまち</small>					

2 郡 の 部

町 村 数

10 町 1 村

仁多郡（1町：奥出雲町）
 飯石郡（1町：飯南町）
 邑智郡（3町：川本町・美郷町・邑南町）
 鹿足郡（2町：津和野町・吉賀町）
 隠岐郡（3町1村：海士町・西ノ島町・知夫村・隠岐の島町）

※八束郡（1町）、簸川郡（1町）はH23年度市町合併により消滅

平成 17 年 10 月 1 日

人口等の状況	郡名	八束郡	仁多郡	飯石郡	簸川郡	邑智郡	鹿足郡	隠岐郡
	人口 (人)	14,193	15,812	5,979	27,444	23,179	16,877	23,696
	世帯数 (世帯)	4,520	4,874	2,066	7,717	8,715	6,471	9,878
	面積 (km ²)	42.64	368.06	242.84	80.64	808.53	643.38	346.19

※人口及び世帯数は、H17年国勢調査確報値による。

※面積は、平成17年全国都道府県市区町村別面積（国土地理院）による。

平成 23 年 10 月 1 日

人口等の状況	郡名	(八束郡) (東出雲町) 松江市に編入	仁多郡	飯石郡	(簸川郡) (簸川町) 出雲市に編入	邑智郡	鹿足郡	隠岐郡
	人口 (人)	(14,355)	14,456	5,534	(27,689)	21,210	15,237	21,688
	世帯数 (世帯)	(4,709)	4,713	1,944	(8,228)	8,333	6,216	9,323
	面積 (km ²)	(42.64)	368.06	242.84	(80.64)	808.53	643.38	346.22

※人口及び世帯数は、H22年国勢調査による。

※面積は、平成22年全国都道府県市区町村別面積（国土地理院）による。

※八束郡東出雲町は平成23年8月1日付けで松江市に編入、簸川郡斐川町は同年10月1日付けで出雲市に編入。

仁多郡（1町）

<郡名の由来>

古くは出雲国の郡名。郡名の由来は「風土記」によると大穴持命が「是は爾^{にたしき}多志枳小国なり」といったことによると記されているが、「にたし」とは豊潤という意味である。北は大原郡、能義郡、西は飯石郡、南は備後国、東は伯耆国に接していた。古代の郡域は、現在の仁多郡に雲南市木次町温泉地区と安来市広瀬町比田地区を加えた地域にあたる。「和名抄」によると、「爾以多」とも書かれている。この当時の郡域の郷としては、「風土記」によると、三処、布勢、三沢、横田の4郷があったが、「和名抄」では、漆仁、阿位の2郷が加わり6郷となっている。

飯石郡（1町）

<郡名の由来>

古くは出雲国の郡名。郡名の由来は「風土記」によると、「飯石郡の中に伊毘志都幣命坐せり。故飯石と云う」ことによるとされている。この神は飯主の女神であるといわれているが、もとは「伊鼻志^{いひし}」と書き、神亀3年（726年）飯石に改められている。東は大原郡と仁多郡、南は備後国、西は石見国、北は神門郡と出雲郡に接していた。古代の郡域は、現在の雲南市の三刀屋町・吉田町・掛合町、飯石郡飯南町（谷地区を除く。）、出雲市佐田町須佐地区にあたる。この当時の郡内の郷としては、「風土記」によると熊谷、三屋、飯石、多禰、須佐、波多、来島の7郷があったが、「和名抄」では、田井、草原の2郷が加わり、9郷となっている。

邑智郡（3町）

<郡名の由来>

古くは石見国の郡名。郡名の由来は定かではない。東は備後国双三郡と出雲国飯石郡、北は石見国安濃郡と邇摩郡、西は同那賀郡、南は安芸国山県郡に接していた。古代の郡域

は、現在の川本町、美郷町、邑南町、江津市桜江町の地域にあたる。この当時の郡内の郷としては、「和名抄」によると神稲・邑美・桜井・都賀・佐波の5郷があった。

鹿足郡（2町）

<郡名の由来>

古くは石見国の郡名。承和10年（843年）美濃郡より別れて独立の郡となった（続日本後紀）。郡名の由来は「吉賀記」によると、かつて八岐大蛇の化身である八足八畔の凶暴な大鹿がいたことによるという八鹿伝説によるとされている。東と北は美濃郡、西は長門国と周防国、南は安芸国に接していた。古代の郡域は、現在の津和野町、吉賀町の地域にあたる。此の当時の郡内の郷としては、「和名抄」によると、鹿足郷、能濃郷があった。

隠岐郡（3町1村）

<郡名の由来>

郡名の由来は、昭和44年に、島後の周吉郡・隠岐郡、島前の海士郡・知夫郡の4郡が合同した際、当地域が古来より隠岐国と称されていたことにより名付けられたもので、国名の由来は沖の島から転じたものといわれている。知夫里島・西ノ島・中ノ島・島後の4島のほか、約180の島嶼から成る。意伎、隠伎とも書く。

古代の郡は、智夫・海部・周吉・役道の4郡であったが、「和名抄」によると知夫・海部・周吉・穩地の4郡と郡名が変わっている。この当時の郡内の郷としては、「和名抄」によると知夫郡には宇良・由良・三田、海部郡には布施・海部・佐作、周吉郡には賀茂・奄可・新野、穩地郡には都麻・河内・武良の12郷があった。

奥出雲町



町章

4つの輪は、「人・自然・伝統・未来」の融合をイメージし、町民が和になって協力し、自然とともに、歴史ある奥出雲町が伸びゆく町であるようにとの願いがこめられている。

町の花

しゃくなげ

町の木

もみじ

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人口 (人)	15,812	14,456
	世帯数 (世帯)	4,874	4,713
	面積 (km ²)	368.06	368.06

<町名の由来>

奥出雲町の“奥”には、奥まったイメージがあるものの、緑豊かな自然あふれる癒しのイメージがあり、基幹産業である農林業の産品にもふさわしい安心・安全な響きがある。

<沿革>

当町域は、古くは出雲国風土記にまで遡ることができ、我が国の神話（スサノヲ、ヤマタノオロチ等）の世界に登場するなど長い歴史を持っており、三処郷、布勢郷、三沢郷、横田郷に属していました。

また出雲国風土記には、鉄の産出も記されるなど明治初期まで日本有数の「たたら製鉄」の産地として栄え、出雲地域における一大文化圏を構築してきました。

本地域は山陰と山陽を結ぶルート上に位置していることから、中世・戦国期には尼子氏、毛利氏の戦いの狭間に置かれ、幾多の攻防の舞台となり、尼子氏滅亡後は毛利氏の支配下に置かれました。

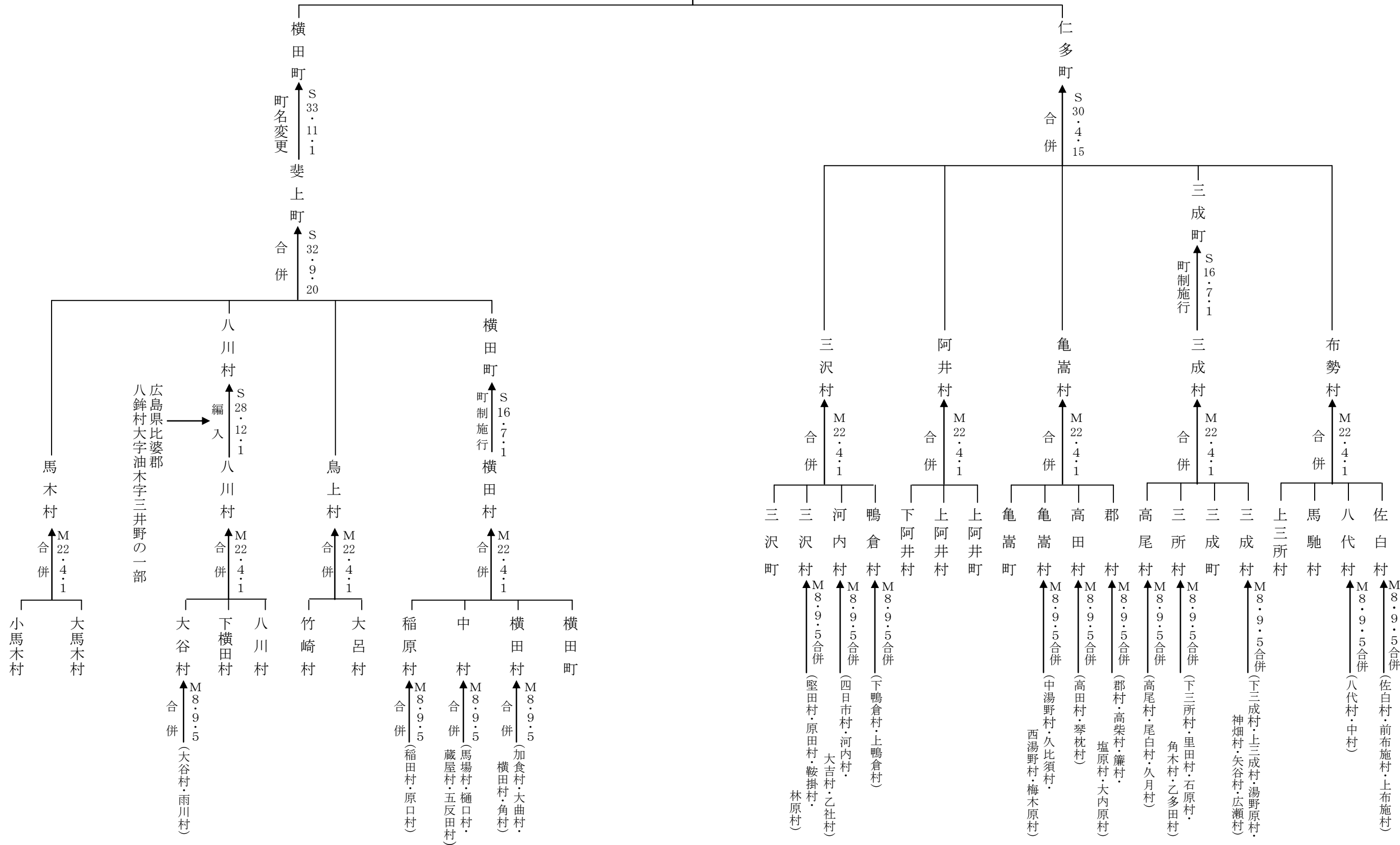
江戸期には松江藩に属し、宝暦年間(1751～1764年)の「雲陽大数録」によると当町域には57か村があり、三成には仁多郡家が置かれていました。

江戸期以降から存在した数多くの集落は、明治22年(1889年)4月の市制・町村制の施行により、9つの村に再編され、その後、昭和28年の町村合併促進法の施行によって市町村合併が全国的に進み、昭和30年に仁多町が、昭和32年に斐上町同33年町名変更により横田町が誕生しました。

わが国の経済、産業構造が大きく変革を遂げる中、それまで盛んであった「たたら製鉄」は明治以降、洋鉄に押され衰退しましたが、一方では「仁多牛」に代表される畜産や「仁多米」をはじめとする農林業が盛んになり、また木炭・木材等の資源開発も進み、幕末頃から独特の製作技術と加工技術により地場産業として発展してきた「雲州そろばん」が定着しました。

そして現在当町では、全国ブランドとなった「仁多米」を中心とした産業振興、県下有数の観光資源を活用しての地域振興、また新町の一体感を醸成するため光ファイバーを各家庭まで引き込み、地上デジタル放送にも対応したケーブルテレビ、有線電話、テレビ・電話を利用した高齢者の見守り等に活用するための高速インターネット網の全町的な整備、住民要望の多い道路、上下水道、コミュニティー施設等の生活基盤整備を積極的に行い、官民一体となって「心豊かで潤いと活力のあるまち」を目指しています。

奥出雲町
合併
H17.3.31



広島県比婆郡
八針村大字油木字三井野の一部

町名変更

町制施行

市町村名		お く い ず も ち ょ う 町 奥 出 雲 町							
役場の位置		〒699-1592 奥出雲町三成 358 番地 1			電話番号	0854-54-1221			
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名						
	昭 28. 12. 1	境界変更	広島県比婆郡八銚村の一部(大字油木字三井野の一部)を八川村に						
	30. 4. 15	合 体	布勢村・三成町・亀嵩村・阿井村・三沢村 (仁多町設置)						
	32. 9. 20	〃	横田町・鳥上村・八川村・馬木村(斐上町設置)						
	33. 11. 1	(町名変更)	斐上町 (横田町)						
	平 17. 3. 31	合 体	仁多町・横田町						
字 名	旧市町村 及び大字名		通 称				小字の区域		
							有 全域	廃止 一部	済
さ じ ろ 白	布勢村 (仁多町)	佐 白	さじろまち 佐白町	さ じ ろ 佐 白	うえふせ 上布施			○	
や し ろ 代	(〃)	八 代	やしろうさいぶ 八代西部	やしろまち 八代町	やしろほんまち 八代本町	やしろうぶ 八代東部			○
			なかむら 中 村						
ま ば せ 馳	(〃)	馬 馳	まばせかみ 馬馳上	まばせしも 馬馳下				○	
か み み と こ ろ 所	(〃)	上 三 所	かみみところさいぶ 上三所西部	かみみところちゅうおう 上三所中央	かみみところとうぶ 上三所東部	つちや 土 屋			○
三 な り 成	三 成 町 (〃)	三 成	うね 宇 根	びじよばら 美女原	かみみなりかみ 上三成上	かみみなりなか 上三成中			○
			かみみなりしも 上三成下	かみほんまち 上本町	みなりほんまち 三成本町	ゆのはら 湯の原			
			みやのちやう 宮の町	あさひまち 朝日町	やだに 矢 谷	たきのうえ 滝の上			
			まえふせ 前布施	こようそくしんじゆうたく 雇用促進住宅					
た か お 尾	(〃)	高 尾	かみだかお 上高尾	お じ ろ 尾 白	しもだかお 下高尾			○	
み と こ ろ 所	(〃)	三 所	しもみところ 下三所	いしはら さとだ 石原・里田	つのぎ おっただ 角木・乙多田			○	
か め だ け 嵩	亀 嵩 村 (〃)	亀 嵩	かみぶん 上 分	にしゆの 西湯野	なかゆの 中湯野	くびす 久比須			○
			たにおく 谷 奥	かめだけまち 亀嵩町	うめきはら 梅木原				
こおり 郡	(〃)	郡 村	おおうちはら 大内原	すだれ 簾	こおり 郡			○	
た か た 田	(〃)	高 田	ことまくら 琴 枕	た か た 高 田				○	

奥出雲町

字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		廃止済
							有		
							全域	一部	
上阿井 かみあい	阿井村 (仁多町)	上阿井	真地	米原	上町	本町			○
			上阿井町	福原	平	大上			
			下口	川東	雲崎				
下阿井 しもあい	(〃)	下阿井	堀	山根	鋳物屋	川子原			○
			八幡	奥湯谷上	奥湯谷下	小寄			
三沢 みざわ	三沢村 (〃)	三沢	堅田	上鞍掛	下鞍掛	みざわまち			○
			原田						
鴨倉 かもくら	(〃)	鴨倉	上鴨倉	下鴨倉					○
河内 かわち	(〃)	河内	四日市	河内	大吉				○
横田 よこた	横田町 (横田町)	横田町 横田村	加食	大曲	六日市	大市			○
			すみ角						
中村 なかむら	(〃)	中村	馬場	鋤免	五反田	樋口			○
			蔵屋						
稲原 いなはら	(〃)	稲原	稲田	原口					○
大呂 おおろ	鳥上村 (〃)	大呂	代山	山県	中丁	福頼			○
竹崎 たけざき	(〃)	竹崎	山郡	中初	日向側	山根側			○
			追谷						
下横田 しもよこた	八川村 (〃)	下横田	土橋	古市	川西				○
八川 やかわ	(〃)	八川	三井野	坂根	奥八川	小八川			○
			中八川	八川本郷					
大谷 おおたに	(〃)	大谷	大谷本郷	雨川					○
大馬木 おおまき	馬木村 (〃)	大馬木	旭	女良木	大馬木第1本郷				○
			大馬木第2本郷	堅田・野伏	反保				
小馬木 こまき	(〃)	小馬木	本谷	矢入・中原	小森	小馬木本郷			○

飯 南 町



町 章

飯南町の頭文字である「i」(人間)をモチーフに、赤来と頓原のふたつのまちがしっかりと腕を組み、和と団結を図ると共に、自然と人間味の溢れるみずみずしい「いのち彩る里」を作っていこうとする姿勢を表している。

町の花

牡丹 (ぼたん)

町の木

ブナ

人口等の状況	年 月 日	平成17. 10. 1	平成22. 10. 1
	人 口 (人)	5, 979	5, 534
	世 帯 数 (世帯)	2, 066	1, 944
	面 積 (km ²)	242. 84	242. 84

〈町名の由来〉

「飯南」は町民が聞き慣れ、親しみの感じられる地名として、町民誰しもの思いが込められた名称である。本町は飯石郡の南に位置し、標高 400m～500m の高原の町で県の南の玄関である。飯南の「飯」は「米」を、「南」は「明るさ」や「力強さ」をイメージすることができ、農業に通じ、里山の文化と自然の恩恵を受け、明るく力強く発展していく町の願いが込められている。

〈沿革〉

本町域は、「出雲国風土記」によると、飯石郡には「あわせて郷七」とあり、本町の区域は来島郷、波多郷の二郷に属していたと思われ、天文年間から永禄年間にかけては、出雲の守護職尼子氏と隣国毛利氏との戦いの激戦地となった。江戸時代には広瀬藩陣屋が設置され、奥飯石 21 か村の政治・経済・文化の中心地として、また陰陽の宿場町として栄えた。産業面では、たたら製鉄や良質米の産地として知られている。

また、出雲、石見、備後の三国にまたがる陰陽交通の関門として、中国山地の要衝として古くから開発され、大森銀山からの幕府の銀銅の輸送や石州の海辺から備後へ魚類等の輸送が盛んに行われた。

本町の農業は、県下一の「良質米」の産地としての水稻と全国に名が知れた「島根和牛の本場」に代表される和牛生産により現在の農業が築かれてきた。近年ではメロン・ほうれん草・やまといもなどの特産園芸作物も栽培を行っている。

昔からの国道沿いに形成されてきた商業地は、営業している商店が少なくなり、商店街としての形態維持が困難となっている。また、工業については、これまでにいくつかの誘致企業があったが、昨今の日本経済の構造不況のなかにあって、事業所数や従業員数も減少傾向にあり、取り巻く環境は厳しい状況下にある。

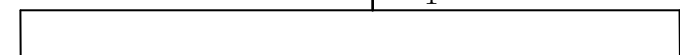
大万木山、琴引山、三瓶山など山々の豊かな自然や琴引フォレストパーク、東三瓶フラワーバレー、赤名観光ぼたん園、飯南町ふるさとの森などの交流施設など多くの観光資源がある。

このような中、“小さな^{まち}田舎からの「生命地域」宣言”を基本理念に、「人・産業・地域」の自立を目指し、里山の地域資源を活かしながら、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、実行のある町づくりに努めている。

飯南町

H
17
·
1
·
1

合併



赤来町

S
32
·
1
·
1

合併

頓原町

S
32
·
2
·
1

合併



来島村

赤名町

S
28
·
4
·
1

合併

頓原町

S
24
·
4
·
29

町制施行

頓原村

M
22
·
4
·
1

合併



谷村

赤名村

S
9
·
8
·
1

町制施行

赤名村

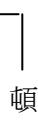
M
22
·
4
·
1

合併

志々村

M
22
·
4
·
1

合併



頓原村

M
22
·
4
·
1

合併

- 下来島村
- 野萱村
- 上来島村
- 真木村
- 小田村

- 畑田村
- 井戸谷村
- 塩谷村

- 下赤名村
- 上赤名村
- 赤名町

- 角井村
- 志津見村
- 八神村
- 獅子村

- 長谷村
- 都加賀村
- 花栗村
- 佐見村
- 頓原村
- 頓原町

飯 南 町

市町村名	いい 飯 なん 南 ちょう 町		
------	--------------------------------	--	--

役場の位置	〒690-3513 飯南町下赤名 890 番地	電話番号	0854-76-2211
-------	-------------------------	------	--------------

合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名
	昭 24. 4. 29	(町制)	頓原村 (頓原町)
	28. 4. 1	合 体	赤名町・谷村 (赤名町設置)
	32. 1. 1	〃	赤名町・来島村 (赤来町設置)
	32. 2. 1	〃	頓原町・志々村 (頓原町設置)
	平 17. 1. 1	〃	頓原町・赤来町

字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域		廃止済
							有	一部	
							全域		
とんばらまち 頓原町	頓原村 (頓原町)	頓原町	いちばんちょう 一番町	しゃにちちょう 社日町	だいせんちょう 大仙町	かみまち 上町			○
			なかもち 中町	ほんまち 本町	よこまち 横町	しんどうちょう 新道町			
			まんたいちょう 万対町	えびすちよう 恵比須町	てらまち 寺町				
(〃)	(〃)	頓原村	うやま 宇山	こわだ 小和田	きこ 迫	おさいだ 小才田			○
			いずみがわ 泉川	こじょうだんち 古城団地	たけち 武智	おくばた 奥畑			
			はりど 張戸	こじょう 古城	いなり 稲荷	たぐわ 田畷	ことびき 琴引		
つがが 都加賀	(〃)	都加賀	おきはら 隠岐原	とのい 殿居	こくら 国倉			○	
はなぐり 花栗	(〃)	花栗	かど 門	せんと 瀬戸	きょうわ 協和			○	
ながたに 長谷	(〃)	長谷	じょうとう 城東	じょうなん 城南	じょうざん 城山			○	
てらさわ 寺沢	(〃)	長谷	てらがいち 寺垣内	さわや 沢屋				○	
さしみ 佐見	(〃)	佐見	ほどはら 程原	かみぐみ 上組	おおとし 大年	しんわ 伸和			○
はかみ 八神	志々村 (〃)	八神	なかむら 中村	さいたに 才谷	ひがし 東	にし 西			○
			みなみ 南	きた 北	たにがわ 谷川				
しし 獅子	(〃)	獅子						○	
しつみ 志津見	(〃)	志津見						○	
つのい 角井	(〃)	角井	ちちぎ 秩木	なかもうり 中廻	まんば 万場	いび 伊比			○

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全	部	
かみあかな 上 赤 名	赤 名 町 (赤来町)	上 赤 名	きたのかみ 北野上	きたのしも 北野下	なかにかみ 中区上	なかくしも 中区下		○	
			せと 瀬 戸	むこうだに 向 谷					
あかな 赤 名	(〃)	赤 名	かみいちかみ 上市上	かみいちしも 上市下	なかいちかみ 中市上	なかいちしも 中市下		○	
			しもいちかみ 下市上	しもいちしも 下市下	きぬかけだんち 衣掛団地				
しもあかな 下 赤 名	(〃)	下 赤 名	ひがしかみ 東 上	はりど 張 戸	ひがししも 東 下	せんぞく 千 束		○	
			なかどおり 中 通	いしつぐ 石 次	ふくだ 福 田				
しおだに谷 塩 谷	谷 村 (〃)	塩 谷	しおだにかみ 塩谷上	しおだにしも 塩谷下				○	
いどだに谷 井 戸 谷	(〃)	井 戸 谷	いどだにかみ 井戸谷上	いどだにしも 井戸谷下	ほどはら 程 原			○	
はたた田 畑 田	(〃)	畑 田						○	
かみきしま 上 来 島	来 島 村 (〃)	上 来 島	かみきしま 上来島	やすえ 安 江	すぎど 杉 戸	よころ路 横 路		○	
まき木 真 木	(〃)	真 木	おくまき 奥真木	くちまき 口真木				○	
おだ田 小 田	(〃)	小 田	おくおだ 奥小田	なかおだ 中小田	くちおだ 口小田			○	
のがや萱 野 萱	(〃)	野 萱	きんろく 琴 麓	つかばら 塚 原	みつかいち 三日市	のがや萱 野 萱		○	
			しもみつかいち 下三日市	のがやだんち 野萱団地					
しもきしま 下 来 島	(〃)	下 来 島	ほが賀 保 賀	まつもとちゅうぶ 松本中部	まつもとせいぶ 松本西部	かわしり 川 尻		○	

川 本 町



町 章

川本町は江の川を中心として発展したものであり、この「川」と「水」をかたどって中央におき、周囲は、「円満」「団結」「平和」を意味している。

町の花

さつき

町の木

もみじ

人口等の状況	年 月 日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人 口 (人)	4,324	3,900
	世 帯 数 (世帯)	1,769	1,666
	面 積 (km ²)	106.39	106.39

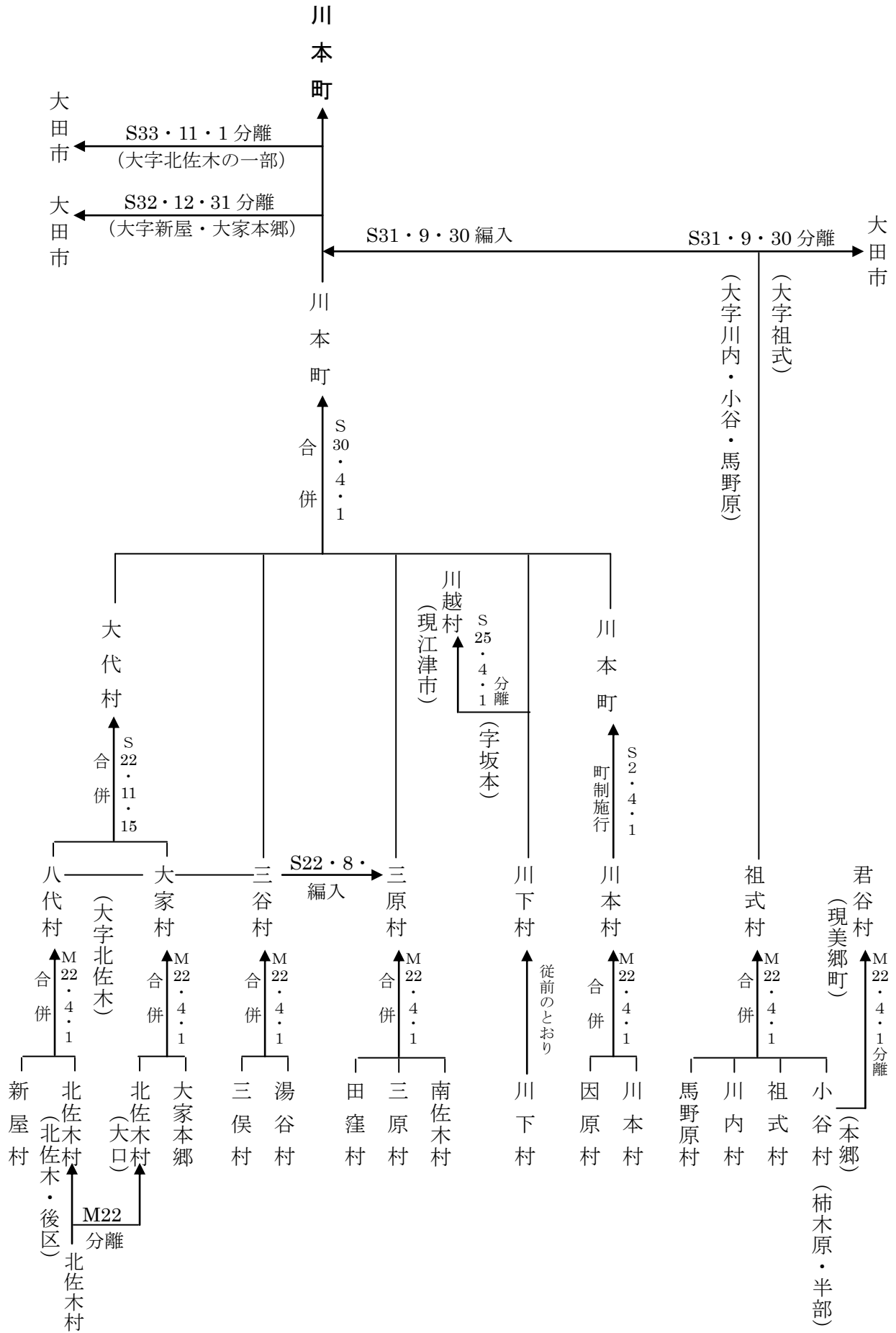
〈町名の由来〉

「川本」という名称の「川」は江の川の「川」であり、「本」は「ほとり」という意味で、江の川のほとりに人々が住みつくようになったため、「川本」という地名が出来たものと思われる。

〈沿革〉

本町の近世歴史的背景は、江戸中期から明治にかけて繁栄した「たたら製鉄」の生産地として早くから町が形成されたことによって、石東地方一帯の中心地であった。これは、中国山地の花崗岩に包まれた豊富な磁鉄鉱資源と、燃料としての木炭生産が盛んであったことや、これらの集積に便利な江の川が水運路として利用され、その結果、本町が中継地として発展したものである。また、天領行政の開始とともに、川本が銀山領に編入され、口番が設けられたことを契機に、明治5年には邑智郡役所が置かれ、その後、国・県の地方機関が集積されたことによって、古来より地方の中心地として、邑智郡の行政・経済の中心的な役割を担う町として発展してきた。

川本町は、昭和30年4月、旧川本町・川下村・三原村・三谷村が合併し、翌昭和31年9月、祖式村の一部を編入した。



川 本 町

市町村名		川 本 町							
役場の位置		〒696-8501 川本町大字川本 545 番地 1			電話番号	0855-72-0631			
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名						
	昭22. 8. 1	境界変更	八代村の一部(大字北佐木)を三原村に						
	22. 11. 15	合 体	大家村・八代村(大代村設置)						
	30. 4. 1	〃	川本町・川下村・三原村・三谷村・大代村 (川本町設置)						
	31. 9. 30	分割編入	祖式村の一部(大字川内・小谷・馬野原)						
	32. 12. 31	境界変更	大字新屋・大家本郷を大田市へ						
	33. 11. 1	〃	大字北佐木の一部を大田市へ						
字 名	旧市町村及び大字名	通 称	小字の区域				廃止済		
			有	全域	一部				
川 本	川 本 町 (川本町)	川 本	かみしんまち 上新町	なかしんまち 中新町	ひのでまち 日の出町	もとまち 元 町			○
			ほんまち 本 町	しもしんまち 下新町	てんじんまち 天神町	きろぼら 木路原			
			はたの 畑 野	でんすい 田 水	しもたに 下 谷	かみたに 上 谷			
			なかぐら 中 倉	いちいぼら 市井原	ながほら 長 原	やたに 矢 谷			
			いもぼた 芋 畑	ひな 日 向					
つがゆき 都 賀 行	(〃)	都 賀 行							○
いんぼら 因 原	(〃)	因 原	かみいんぼら 上因原	しもいんぼら 下因原					○
た た 多 田	(〃)	多 田							○
くぎに 久 座 仁	(〃)	久 座 仁							○
た ん 戸 谷 戸	(〃)	谷 戸							○
川 下	(〃)	川 下	きさばた 笹 畑	かみしま 上三島	なかしま 中三島	しもしま 下三島			○
			きだに 木 谷	こやぼら 木屋原	たぼら 田 原	えどう 絵 堂			
			おぼら 尾 原	つくしぼら 築紫原					

川 本 町

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		廃止済	
							有			〇
							全域	一部		
湯 ^ゆ だ ^だ に ^に 谷 ^谷	三 谷 村 (川本町)	湯 谷	かみぐみ	ほんごう	きさばた	みやだい			〇	
			上 組	本 郷	笹 畑	宮 台				
			ながたに	まえじょう	きょうえい	おおもと				
			昭 栄							
三 ^み ま ^ま た ^た 俣 ^俣	(〃 〃)	三 俣	かみみまた	おくみまた	しもじょう				〇	
			上三俣	奥三俣	下 条					
た ^た く ^く ぼ ^ぼ 窪 ^窪	三 原 村 (〃 〃)	田 窪	かみごく	なかごく	ふるいち				〇	
			上 石	中 石	古 市					
みな ^み な ^な み ^み さ ^さ き ^き 木 ^木	(〃 〃)	南 佐 木	しらじ	しょうれんじ	かんなだに	こやぐち			〇	
			白 地	正連寺	鉄穴谷	古屋口				
きた ^き た ^た さ ^さ き ^き 木 ^木	八 代 村 (〃 〃)	北 佐 木	きたさき	うしろく					〇	
			北佐木	後 区						
み ^み は ^は ら ^ら 原 ^原	三 原 村 (〃 〃)	三 原	なんぶだお	したさき	いち	そうごんじ			〇	
			南部峠	下佐木	市	荘厳寺				
か ^か わ ^わ う ^う ち ^ち 内 ^内	祖 武 村 (〃 〃)	川 内	そらじょう	いのめ	しもごう	なかごう			〇	
			空 城	猪ノ目	下 郷	中 郷				
			かみごう							
			上 郷							
こ ^こ だ ^だ に ^に 谷 ^谷	(〃 〃)	小 谷	かきのきばら	はんべ					〇	
			柿木原	半 部						
ま ^ま の ^の は ^は ら ^ら 原 ^原	(〃 〃)	馬 野 原							〇	

美 郷 町



町 章

みさとの「み」の文字をモチーフに、いきいき輝く人とまちの姿を、両翼を広げ力強く飛ぶ鳥の姿で表現した。

上方の青と下方の緑で水と緑の「豊かな自然」を、赤い円は夢あふれる「希望」を象徴している。

町の花

シャクナゲ

町の木

梅

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人口 (人)	5,911	5,351
	世帯数 (世帯)	2,310	2,157
	面積 (km ²)	282.92	282.92

〈町名の由来〉

旧邑智町・旧大和村の2町村を江の川が貫流し、その兩岸に中国山地が織りなす四季折々の豊かな自然と美しい街並みが広がる様子は、日本の古き良きふるさとの原風景を思い起こさせる。

「美郷」には、このような自然豊かな美しい故郷（ふるさと）をいつまでも残しておきたいという住民の願いが込められており、「みさと」という響きを持つ温もりは、人情豊で、住民がいきいきと暮らしているこの地域を非常によく表していることから、町名として名付けたものである。

〈沿革〉

美郷町の古代の歴史は、大和地域の縄文時代早期の遺物から約 8,000 年前にさかのぼることができる。また、滝原・乙原・築瀬地区からは縄文時代後期の遺跡が出土しているほか、都賀行地区をはじめ江の川流域周辺からは、弥生時代後期を中心とした遺構や遺物が多数出土している。

戦国時代には、江の川沿岸部が陰陽連絡の要衝や出雲国と石見国の接点として重要視され、さらに石見銀山が開発されると、その支配をめぐる戦いの最前線となった。江戸時代には、邑智地域の江の川から北の地域と大和地域の大半が幕府直轄の石見銀山領となり、銀の精錬に必要な炭の供給地として、また銀や物資を運ぶ陸路の宿場町や江の川舟運の中継地として発達した。

その後、明治 24 年頃には、竹地区の銅が丸鉱山が最盛期をむかえ、発電所、銀行など経済開発が早くから行われてきた。さらに昭和 28 年には、中国電力の浜原ダム、明塚発電所が完成し、電力供給が始まった。

昭和 30 年代に入ると、燃料革命により主要産業であった木炭産業が打撃を受け、高度経済成長とともに多くの若者が都市部に流出するなど、社会経済情勢が大きく変化した。また、昭和 38 年には豪雪災害、昭和 40 年、47 年、58 年には豪雨災害などの自然災害もあり、人口流出と過疎化が急激に進んだ。

近年は、社会基盤整備の着実な進展により、生活環境の充実が図られると同時に、豊かな自然環境や豊富な地域資源を活かした地域間交流や定住環境の充実が進みつつある。

美郷町

H 16
・ 10
・ 1

合併

邑智町

S 30
・ 2
・ 1

合併

大和村

S 32
・ 3
・ 10

合併

出羽村
(現邑南町)

(八色石・布施)

S 32・3・10
分離

(村之郷・宮内・比敷)

布施村

M 22
・ 4
・ 1
合併

都賀行村

M 22
・ 4
・ 1
合併

都賀村

M 22
・ 4
・ 1
合併

君谷村

M 22
・ 4
・ 1
合併

沢谷村

M 22
・ 4
・ 1
合併

粕淵町

S 22
・ 12
・ 28

町制施行

M 22
・ 4
・ 1
合併

浜原村

M 22
・ 4
・ 1
合併

吾郷村

M 22
・ 4
・ 1
合併

祖式村
(現川本町)

M 22
・ 4
・ 1
分離

(柿木原・半部)

小谷村(本郷)

吾郷村(湊)

小松地村・志君村・別府村・栢谷村

久喜原村・惣森村・小林村

京覧原村・内田村・地頭所村

片山村・九日市村・酒谷村

石原村・熊見村・千原村

高畑村・野井村

粕淵村・久保村・湯抱村

高山村・上川戸村・浜原村

龜村・滝原村・信喜村

吾郷村(吾郷・栗原・向谷)

乙原村・奥山村

築瀬村・明塚村

宮内村

村之郷村

八色石村

比敷村

布施村

長藤村

潮村

都賀行村

都賀西村

上野村

都賀本郷村

M 22
・ 4
・ 1
分離

吾郷村

美 郷 町

市 町 村 名		美 郷 町						
役場の位置		〒699-4692 美郷町粕淵 168 番地			電話番号	0855-75-1211		
合併等の状況	年 月 日	合併編入等の別	関 係 市 町 村 名					
	昭22.12.28	(町制)	粕淵村 (粕淵町)					
	30. 2. 1	合 体	吾郷村・粕淵町・浜原村・沢谷村・君谷村 (邑智町設置)					
	32. 3.10	〃	都賀行村・都賀村・布施村の一部(大字村之郷・宮内・比敷) (大和村設置)					
	平16.10. 1	〃	邑智町・大和村					
字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域	
							有	廃止
	全域	一部	済					
おんぼら原 乙 原	吾郷村 (邑智町)	乙 原	おんぼら 乙 原	たけ 竹	でんずい 田 水			○
やなせ瀬 築 瀬	〃 (〃)	築 瀬						○
あごう郷 吾 郷	〃 (〃)	吾 郷	あごう 吾 郷	くりはら 栗 原	むかたに 向 谷			○
あかつか塚 明 塚	〃 (〃)	明 塚						○
おくやま山 奥 山	〃 (〃)	奥 山						○
かすぶち淵 粕 淵	粕淵町 (〃)	粕 淵	かみかすぶち 上粕淵	の ま 野 間	あさひまち 旭 町	さかえまち 栄 町		○
			しんまち 新 町	いなりまち 稲荷町	あいおいちょう 相生町	ともえ 共 栄		
			ことぶきちょう 寿 町	すえひろちょう 末広町	もとまち 元 町	ほんまち 本 町		
くぼ保 久 保	〃 (〃)	久 保	くぼ 久 保	ほうでん 法 田	もつれ 纏	ごうぐち 郷 口		○
ゆがかい抱 湯 抱	〃 (〃)	湯 抱	ゆがかい 湯 抱	ともえ 共 栄				○
たかはた畑 高 畑	〃 (〃)	高 畑	たかはた 高 畑	さいがはら 才ヶ原				○
のい井 野 井	〃 (〃)	野 井						○
まはら原 浜 原	浜原村 (〃)	浜 原	こかどぼら 小門原	しんまち 新 町	かみいち 上 市	なかまち 中 町		○
			しもいち 下 市					
かみかわど戸 上 川 戸	〃 (〃)	上 川 戸	かみかわどかみ 上川戸上	かみかわどなか 上川戸中	かみかわどしも 上川戸下			○

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称	小字の区域		廃止済	
				有			
				全域	一部		
信 ^し 喜 ^き	海原村 (邑智町)	信喜	信喜	石見			○
高 ^た 山 ^{かやま}	// (//)	高山					○
滝 ^た 原 ^{きばら}	// (//)	滝原					○
亀 ^か 村 ^{めむら}	// (//)	亀村					○
酒 ^さ 谷 ^{けだに}	沢谷村 (//)	酒谷	いち市	ひかだお光峠	ひかり光	ひな南	○
			つれみず 連水				
九 ^こ 日 ^の 市 ^{かいち}	// (//)	九日市	わくりばら 湧利原	いのこだ 猪子田	はなのだに 花の谷	まち町	○
			いもと 井元	みたんだに 三反谷	にしのはら 西の原	たたらだに 鉦谷	
片 ^か 山 ^{たやま}	// (//)	片山					○
千 ^ち 原 ^{はら}	// (//)	千原	はら原	さかね坂根	ゆんだに 湯谷	おおの野	○
			きるまる 猿丸				
石 ^い 原 ^{しはら}	// (//)	石原					○
熊 ^く 見 ^{まみ}	// (//)	熊見					○
港 ^{みなと}	君谷村 (//)	吾郷					○
小 ^こ 谷 ^{たに}	// (//)	小谷					○
地 ^じ 頭 ^{とう} 所 ^{しよ}	// (//)	地頭所					○
久 ^く 喜 ^き 原 ^{ばら}	// (//)	久喜原					○
京 ^き 覧 ^{ょうらん} 原 ^{ばら}	// (//)	京覧原					○
小 ^こ 林 ^{ばやし}	// (//)	小林					○
内 ^う 田 ^{ちだ}	// (//)	内田					○
栢 ^か 谷 ^{たらがい}	// (//)	栢谷					○
小 ^こ 松 ^{まつ} 地 ^じ	// (//)	小松地	こまつじひがし 小松地東	こまつじにし 小松地西	てらだに 寺谷		○
別 ^べ 府 ^{っぶ}	// (//)	別府	かみじょう 上城	なかじょう 中城	しもじょう 下城		○

美 郷 町

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小 字 の 区 域		廃 止 済
							有		
							全 域	一 部	
惣 森	君 谷 村 (邑 智 町)	惣 森	惣 森	寺 谷				○	
志 君	(〃)	志 君	志 君	寺 谷				○	
都 賀 本 郷	都 賀 村 (大 和 村)	都 賀 本 郷	お お ぼ ら ざ こ	き り ば ぐ み	う え ぐ み	ま ち ぐ み			○
			大 原 迫	桐 場 組	上 組	町 組			
都 賀 西	(〃)	都 賀 西	な か ぐ み	し も ぐ み	ご り よ う だ ん ち			○	
			中 組	下 組	御 領 団 地				
都 賀 西	(〃)	都 賀 西	か み ぐ み	わ て ぐ み	な か ぐ み	な が や ぐ み		○	
			神 組	和 手 組	中 組	長 屋 組			
上 野	(〃)	上 野	て ら ぐ み	し も ぐ み	こ う た く し ぐ み		○		
			寺 組	下 組	光 宅 寺 組				
上 野	(〃)	上 野	た の は ら	は ん だ に	か み ぐ み	な か ぐ み		○	
			田 の 原	飯 谷	上 組	中 組			
都 賀 行	都 賀 行 村 (〃)	都 賀 行	し も ぐ み	お お し も ぐ み			○		
			下 組	大 下 組					
			ご う か み	ご う し も	ひ び 平	い の だ に			
都 賀 行	(〃)	都 賀 行	郷 上	郷 下	日 平	猪 の 谷	○		
			や ま ね	て ん じ ん	き さ め	お お う ら			
			山 根	天 神	笹 目	大 浦			
長 藤	(〃)	長 藤	じ ん で ん				○		
			神 田						
長 藤	(〃)	長 藤	う お き り だ に	は ら	ひ び き だ に	げ ん だ や ま	○		
			魚 切 谷	原	響 谷	源 田 山			
潮 村	(〃)	潮 村	ま が り				○		
			曲 利						
潮 村	(〃)	潮 村	う し お か み	う し お し も			○		
			潮 上	潮 下					
村 之 郷	(〃)	村 之 郷	む ら の ご う か み	む ら の ご う し も			○		
			村 之 郷 上	村 之 郷 下					
宮 内	(〃)	宮 内	み や う ち か み	み や う ち し も			○		
			宮 内 上	宮 内 下					
比 敷	(〃)	比 敷					○		

邑 南 町



町 章

邑南町の漢字の『邑』をモチーフに、町づくりのテーマ「和」から輪がふれあい、大きな輪を創っていくことをイメージしたデザインである。

町の花

桜

(H19.11.22 制定)

町の木

赤松

(H19.11.22 制定)

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	12,944	11,959
	世帯数 (世帯)	4,636	4,510
	面積 (km ²)	419.22	419.22

〈町名の由来〉

邑南町は平成16年10月1日に羽須美村（旧）、瑞穂町（旧）、石見町（旧）の三町村合併により新しく誕生、「夢響きあう元気の郷づくり」をテーマに新しい町づくりがスタートした。町名の「邑南」は古くから三町村の地域全体を表す名称として親しまれているとともに、「邑」には、小さな都、人の多く集まるところの意味があり、「南」には人情温かく産物が豊かに実り、和やかで将来に夢と希望を与える明るいイメージがあることから決定した。

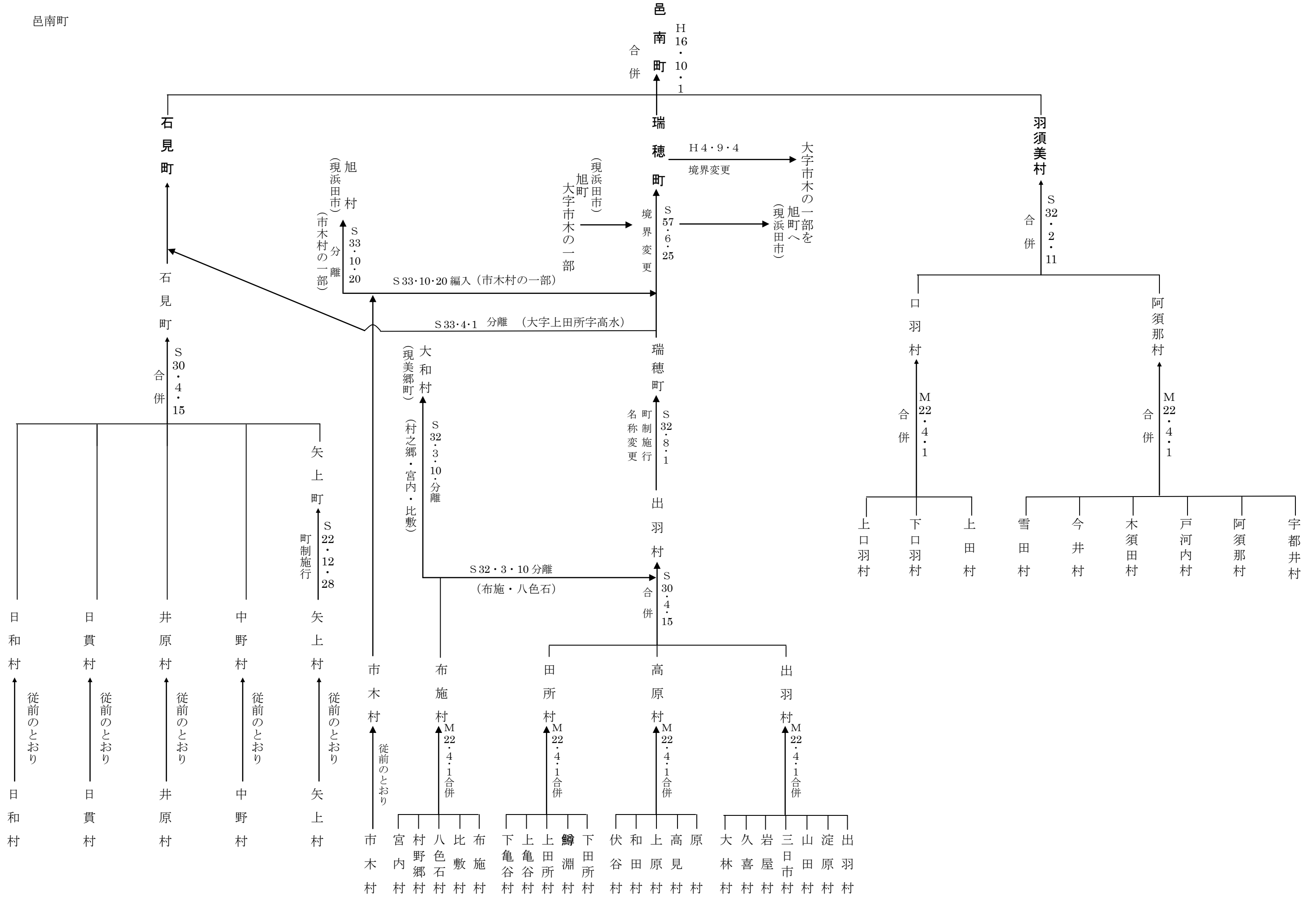
〈沿革〉

邑南町の歴史は、旧石器時代と縄文時代の境目、約1万年以上前まで遡ることができる。それは、旧石器時代の石器を作る際にできる石片や、縄文時代の土器が出土していることから推測され、かなり古い時代から人々が生活していたと思われる。その後、弥生時代に入ると狩猟生活から定住生活へと緩やかに移行するとともに、水田耕作を生業とする小規模な集落が集積されるようになり、次第により規模の大きい集落を形成するようになった。また、弥生時代後期からは墳墓が造られ、瑞穂地域では順庵原墳丘墓が発見されている。古墳時代になると、中国山地一帯で内部に石室を持つ大規模な古墳が多く構築された。その中には羽須美地域の野伏原古墳や石見地域の割田古墳等があり、装飾大刀、鉄製副葬品、銅鐸などが出土していることから、高度な文化を持つ集団が存在したことが伺える。

中世には、豊富な食料資源や砂鉄、木材等の産業資源に恵まれると共に、江の川などを陰陽攻防の要衝の地として、幾多の激しい争奪と支配の歴史を繰り返した。そして、戦国時代の尼子・毛利氏の争いの決着により毛利氏の支配するところとなった。

江戸時代には、津和野藩や浜田藩、一部は天領の所属となり、たたら製鉄が最大の産業として地域の生活基盤を支えた。また、江の川流域の船運を始め、陰陽交通の要衝としてにぎわった。今でも地域には、鉄穴流し等につくられた棚田やたたら製鉄の遺構、農具等の民俗資料、神楽を始めとする伝統芸能等、有形・無形文化財が数多く残されている。

明治4年の島根県設置時、邑智郡内の37の地区に分かれていたが、明治22年(1889年)、島根県内の市制・町村制の施行(明治の大合併)と、昭和28年から昭和36年にかけての昭和の大合併により、3つの行政区域が成立した。それが羽須美村、瑞穂町、石見町である。その後、3町村はそれぞれの特色あるまちづくりを進めてきたが、平成16年10月1日に町村合併し邑南町が誕生した。



市町村名		お お な ん ち よ う 邑 南 町							
役場の位置		〒696-0192 邑南町矢上 6000 番地			電話番号	0855-95-1111			
合併等の状況	年月日	合体編入等の別	関係市町村名						
	昭22.12.28	(町制)	矢上村(矢上町)						
	30.4.15	合体	田所村・出羽村・高原村(出羽村設置)						
	〃	〃	矢上町・中野村・井原村・日貫村・日和村(石見町設置)						
	32.2.11	〃	口羽村・阿須那村(羽須美村設置)						
	32.3.10	分割編入	布施村の一部(大字布施・八色石)を出羽村に						
	32.8.1	(町制) (名称変更)	出羽村(瑞穂町)						
	33.4.1	境界変更	瑞穂町大字上田所の一部(字高水)を石見町へ						
	33.10.20	分割編入	市木村の一部(1~964 1226~2270 4486~4521 4523~6241 の 90 6241 の 93~6735 8079)を瑞穂町に						
	57.6.25	境界変更	旭町の一部(大字市木の一部)を瑞穂町へ、瑞穂町大字市木の一部を旭町へ						
	平4.9.4	〃	瑞穂町の一部(大字市木の一部)を旭町へ						
16.10.1	合体	羽須美村・瑞穂町・石見町							
字名	旧市町村 及び大字名		通称				小字の区域		
							有	廃止	
とごうち 戸河内	阿須那村 (羽須美村)	戸河内	かみとごうち 上戸河内	ゆのき 柚ノ木	おおどころ 大所	がいざこ 嶁迫			○
			はんば 判場	しもとごうち 下戸河内	ほそたに 細谷				
あすな 阿須那	(〃)	阿須那	おおにお 大庭	たびざこ 旅迫	まち 町	ほそがい 細貝			○
			うしろやま 後山	いまにし 今西	たもと 田本	もんぜん 門前			
きずた 木須田	(〃)	木須田							○
うずい 宇都井	(〃)	宇都井	かみごう 上郷	こばやし 小林	なかごう 中郷	しもごう 下郷			○
			うしろだに 後谷	かないだに 金井谷	じんぼら 神原				
いまい 今井	(〃)	今井							○

邑 南 町

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小 字 の 区 域		
							有		廃 止 済
							全 域	一 部	
雪 ^{ゆき} 田 ^た	阿須那村 (羽須美村)	雪 田	川 ^{かわ} 渕 ^{ぶち}	岡 ^{りょう} 半 ^{はん}	中 ^{なか} 雪 ^{ゆき} 田 ^た	たけ 竹			○
			上 ^{かみ} 雪 ^{ゆき} 田 ^た	本 ^{ほん} 田 ^だ					
上 ^{かみ} 口 ^{くち} 羽 ^ぼ	口 羽 村 (")	上 口 羽	川 ^{かわ} 角 ^{かく}	神 ^{かんだ} 谷 ^に	原 ^{はら} 田 ^だ				○
下 ^{しも} 口 ^{くち} 羽 ^ぼ	" (")	下 口 羽	細 ^{ほそ} 里 ^り	土 ^ど 居 ^い	根 ^ね 布 ^ぶ	菖 ^{あや} 蒲 ^め			○
			坪 ^{つぼ} 木 ^き	釜 ^{かま} だに 谷 ^に	町 ^{まち}	西 ^{にし} 之 ^の 原 ^{はら}			
			坂 ^{さか} だに 谷 ^に	青 ^あ 石 ^{いし}	引 ^ひ 城 ^{しろ}				
上 ^う 田 ^た	" (")	上 田	江 ^{ごう} 平 ^{びら}	上 ^う 田 ^た	平 ^{ひら} 佐 ^さ	日 ^{ひな} 南 ^{がわ} 川 ^わ			○
			松 ^{まつ} 木 ^ぎ	上 ^う ヶ 畑 ^{はた}	長 ^{なが} 田 ^{たい} 市 ^ち	長 ^{なが} 田 ^た 向 ^{こう}			
			谷 ^{たに} 河 ^{ごう} 内 ^ち	大 ^{おお} 草 ^{ぐさ}	山 ^{やま} 根 ^ね				
鱒 ^{ます} 渕 ^{ぶち}	田 所 村 (瑞穂町)	鱒 渕	鱒 ^{ます} 渕 ^{ぶち}	下 ^{しも} 对 ^{たい}	新 ^{しん} 山 ^{やま}	馬 ^ま 野 ^の 原 ^{はら}			○
			白 ^{うす} だに 谷 ^に						
下 ^{しも} 田 ^た 所 ^{ところ}	" (")	下 田 所	田 ^た 所 ^{ところ}	中 ^{なか} 組 ^{ぐみ}	小 ^お 河 ^{ごう} 内 ^ち	瑞 ^み 芽 ^{ずめ}			○
上 ^{かみ} 田 ^た 所 ^{ところ}	" (")	上 田 所	大 ^{おお} 原 ^{はら}	中 ^{なか} 野 ^の 原 ^{はら}	三 ^み 坂 ^{さか}	小 ^こ 林 ^{はやし} 道 ^{どう} 明 ^{みょう}			○
上 ^{かみ} 亀 ^{かめ} だに 谷 ^に	" (")	上 亀 谷	大 ^{おお} 草 ^{ぐさ}	朝 ^{あさ} 原 ^{はら}	奥 ^{おく} 亀 ^{かめ} だに 谷 ^に			○	
下 ^{しも} 亀 ^{かめ} だに 谷 ^に	" (")	下 亀 谷						○	
三 ^{みつ} 日 ^{かい} 市 ^{いち}	出 羽 村 (")	三 日 市						○	
出 ^い 羽 ^ず	" (")	出 羽	八 ^{よう} 日 ^{かい} 市 ^{いち}	三 ^{さん} 本 ^{ぼん} 松 ^{まつ}				○	
山 ^{やま} 田 ^た	" (")	山 田						○	
淀 ^{よど} 原 ^{はら}	" (")	淀 原						○	
岩 ^{いわ} 屋 ^や	" (")	岩 屋	岩 ^{いわ} 屋 ^や	後 ^{うしろ} だに 谷 ^に				○	
久 ^く 喜 ^き	" (")	久 喜	百 ^{ひゃく} 石 ^{こく}	後 ^ご 木 ^き 屋 ^や				○	
大 ^{おお} 林 ^{はやし}	" (")	大 林						○	
上 ^{かみ} 原 ^{はら}	高 原 村 (")	上 原	宇 ^う 山 ^{やま}					○	
原 ^{はら} 村 ^{むら}	" (")	原 村	矢 ^や 広 ^{ひろ} 原 ^{はら}	川 ^{かわ} 淵 ^{ぶち} 原 ^{はら}	原 ^{はら}	出 ^で 店 ^{みせ} 口 ^{ぐち}	上 ^う 側 ^{がわ}	○	

字 名	旧 市 町 村 及び大字名	通 称	小字の区域							
			有		廃 止 済					
			全域	一部						
和 だ 田	高 原 村 (瑞穂町)	和 田	かみわだ 上和田	たにがわ 谷 川	ながれだ 流 田	しもわだ 下和田	よしとき 吉 時			○
た か み 見	〃 (〃)	高 見	やすだ 安 田	ば ば 場 馬 場	まち 町	だんのほら 段の原			○	
			いりの 入 野	えんのいた 円の板	くわのき 桑の木	おぎほら 荻 原				
ふ し た に 谷	〃 (〃)	伏 谷	しもふしたに 下伏谷	かみふしたに 上伏谷	たのほら 田の原	かなぶち 金 淵			○	
			おりわたり 折 渡	こ や 小 屋						
布 せ 施	布 施 村 (〃)	布 施	おくだに 奥 谷	はた 畑					○	
や い ろ い し 石	(〃) (〃)	八 色 石	かみいち 上 市	えな 恵 梨					○	
い ち ぎ 木	市 木 村 (〃)	市 木	おが 生 家	こぶけじょう 小武家城	おおまちぼら 大町原	かんのんじぼら 観音寺原			○	
			いのこやま 猪子山	いちぎまち 市木町	おおの 大 野	むぎお 麦 尾				
			みやなか 宮 中							
や か み 上	矢 上 村 (石見町)		まちにし 町 西	まちひがし 町 東	おおつぼら 大坪原	こおりやま 郡 山			○	
			うしろぼら 後 原	ゆのきだに 柚の木谷	ひなわら 日南原	かみひなわら 上日南原				
			すまだに 須摩谷	しんまち 新 町	もりわきだに 森脇谷	おぎわら 荻 原				
			こかけだに 小掛谷	かねこぼら 鹿子原	なのかいち 七日市	かみきょう 上 京				
			しもきょう 下 京	りききわだに 力沢谷	かみおおはただに 上大畑谷	しもおおはただに 下大畑谷				
な か の 野	中 野 村 (〃)		おぼらごこ 小原迫	かわらじょう 河原城	こうごめ 幸 米	あ お ぼ 青 葉			○	
			かみかやば 上茅場	しもかやば 下茅場	ぜんきょうじぼら 善教寺原	やまねぼら 山根原				
			よこひき 横 引	もりざね 森 実	そらべつしよ 上別所	なかべつしよ 中別所				
			まち 町	だんぼら 段 原	かりや 仮 屋	よこみ 横 見				
			はちまん 八 幡							
い ば ら 原	井 原 村 (〃)		ひゅうがにし 日向西	ひゅうがひがし 日向東	ほとけいちぼら 仏一原	てんぞうじぼら 天蔵寺原			○	
			さわひさだに 沢久谷	のんぼらだに 野原谷	みないだ 皆井田	だんぎよ 断 魚				
			おそこえ 瀬 越	ふみようじ 普明寺	ひぐちだに 樋口谷	かたたびがし 片田東				
			かたたにし 片田西	うえまち 上 町	したまち 下 町	たに 谷				
			みやのほら 宮ノ原	にしのほら 西ノ原						

邑 南 町

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
日 ^ひ 貫 ^{ぬい}	日 貫 村 (石見町)		ありやす 有 安	なかやま 中 山	たしろ 田 代	はまいげ 浜井場			○
			はなのき 花ノ木	ふくはら 福 原	あおざき 青 笹	よしはら 吉 原			
			すだれ 簾	かんながはら 鉄穴ヶ原	なるたき 鳴 滝	あずまや 東 屋			
			とまり 泊 里	まちだいさん 町第三	まちちゅうおう 町中央	こんびら 金比羅			
			さくらい 桜 井						
日 ^ひ 和 ^わ	日 和 村 (〃)		おくだに 奥 谷	しもごう 下 郷	ゆぶねだに 湯船谷	やまのうち 山ノ内			○
			よこたに 横 谷	なかひわ 中日和	かみごう 上 郷	やまねだに 山根谷			
			みょうせんだに 明泉谷	おおがまだに 大釜谷					
高 ^こ 水 ^{うずい}	田 所 村 (〃)	上 田 所							○

津和野町



町章

新しい町が、石見地方の中核的な役割を果たしてきた歴史的な背景と、お互いが協力し合い、誇りと希望をいつまでも持ち続ける町として、さらに発展することを願っています。

図柄は、日本の伝統的な意匠である家紋風に、石見地方の「石」と、融合を意味する二つの「巴」で表しています。曲尺(かね)は正しさ「規範的な」という意味を持っています。

町の花 つわぶき

(H18.9.30 制定)

町の木 樟(くすのき)

(H18.9.30 制定)

町の鳥 白鷺(しらさぎ)

(H18.9.30 制定)

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口(人)	9,515	8,427
	世帯数(世帯)	3,626	3,411
	面積(km ²)	307.09	307.09

〈町名の由来〉

「津和野」という名称は、山紫水明のこの地に、遠い先史の昔初めて住みついた祖先が、この山峡に群がり咲いていた「つわぶき」の花に目をとどめ、その姿の清楚で高雅な風情に魅せられて“つわぶきの野”「つわの」と呼ぶに至ったことによるといわれている。

〈沿革〉

当町域は、古くは美濃郡に属したが、承和 10 年(843 年)鹿足郡の独立により同郡能濃郷に属した。

中世期以降は、弘安 5 年(1282 年)の吉見頼行の治城に始まり、吉見氏 14 代、坂崎氏 1 代、亀井氏 11 代と長期の治世により城下町が形成され、江戸期には津和野藩 4 万 3 千石の城下町として、日原地域の一部は、朱色山銅山があった関係から石見銀山領大森代官所の幕府領として栄えた。津和野藩は小藩が故に藩財政強化のため領内の新田開発、備荒貯穀、産業開発に努力し、特に石州半紙は大坂市場に進出し、藩財政の重要な財源となったが、この時期の農民の生活は、諸種の貢租、現物買上げ、課役に加えて、災害、凶作、飢饉に見舞われ大変に苦しかった。

天和・貞享期(1681～1687 年)には、天和儉約令とも相まって藩庫の蓄財は著しく「仮名手本忠臣蔵」のモデルとなるなど、その施策は歴史的に評価すべきものが多い。

また、津和野藩は文武教育にも力を入れ、幕末維新时期には我が国を代表する西周、森鷗外など多数の偉才が輩出した。明治 2 年の藩独自の版籍奉還、同 4 年の自主廃藩などは、高い文教政策の歴史的伝統に支えられた先進性によるものとされている。

当町の主産業は農林業であるが、米作の過剰生産対策の中で収益性の高い工芸作物や果樹栽培など生産性の高い農業へ、またシイタケやワサビなどの特産化など農政の転換を図り、新しい町づくりを協力を推進している。また、山陰の小京都といわれる街並や清流高津川など美しい自然と豊かな歴史は全国各地から観光客を引きつけ、健康的な観光商業都市として進展している。

津和野町

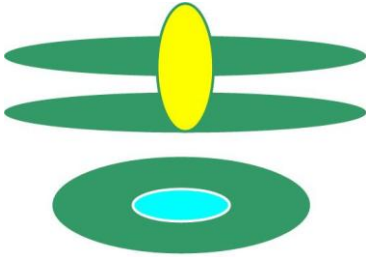
市町村名		津 和 野 町								
役場の位置		〒699-5292 津和野町日原 54 番地 25			電話番号	0856-74-0021				
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名							
	昭 29. 4. 1	合 体	日原町・青原村（日原町設置）							
	30. 1. 10	〃	津和野町・畑迫村・木部村・小川村の一部（大字寺田・耕田・笹山・直地及び商人の一部）（津和野町設置）							
	〃	分割編入	小川村の一部（大字商人及び直地の一部）を日原町に							
	平 17. 9. 25	合 体	津和野町・日原町							
字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称			小字の区域				
						有	廃止			
			全域	一部	済					
中 山	木部村 (津和野町)	中 山	奥ヶ野	さんがいち 三歩市		○				
長 福	(〃)	長 福	もとごう 本郷	ながの 長野	ふくたに 福谷	○				
豊 稼	(〃)	豊 稼	いしがたに 石ヶ谷	なかごや 中木屋		○				
	畑迫村 (〃)	豊 稼	ささがたに 笹ヶ谷							
中 川	木部村 (〃)	中 川	じゅうおうどう 十王堂	ひらの 平野	しもやま 下山	○				
山 下	(〃)	山 下	しもくみ 下組	かわじり 川尻		○				
中 曾 野	(〃)	中 曾 野	なかぐみ 中組	はた 畑	おの 小野	○				
吹 野	(〃)	吹 野	ふきのかみ 吹野上	ふきのしも 吹野下		○				
邑 輝	畑迫村 (〃)	邑 輝	はたがさこ 畑迫	しらいし 白石	にしだに 西谷	であい 出合	こも 木毛	○		
部 栄	(〃)	部 栄	いちのう 市尾	かみよこせ 上横瀬	しもよこせ 下横瀬	とたに 戸谷		○		
内 美	(〃)	内 美	のなか 野中	よしがはら 吉ヶ原	かみたかの 上高野	しもたかの 下高野		○		
田 二 穂	(〃)	田 二 穂	やまいり 山入	にじがたに 虹ヶ谷	きじゆう 喜時雨	なかばら 中原		○		
高 峯	(〃)	高 峯	とりい 鳥井	たひら 田平	たかた 高田	まきがの 牧ヶ野	なかはら 中原		○	
名 賀	(〃)	名 賀	しろい 白井	こびたに 木尾谷	とくつき 徳次	たしろ 田代		○		
鷺 原	津和野町 (〃)	鷺 原	おおかげ 大陰	おしほら 鷺原	ばば 馬場	せと 瀬戸		○		

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
鷺 原	津和野町 (津和野町)	鷺 原	くちやちよう 口屋丁	かわちよう 川 丁	しみず 清 水	○			
中 座	〃 (〃)	中 座	かどばやし 門 林	しんぼし 新 橋	なかぎ 中 座	ほんもんまへ 本門前	○		
町 田	〃 (〃)	町 田	まちだ 町 田	たきのまへ 滝ノ前			○		
森 村	〃 (〃)	森 村	ちやのきばら 茶の木原	ほりうち 堀 内	てんやちよう 店屋丁	あぜだ 畦 田	○		
			なかしま 中 島	だいかんちよう 代官丁					
後 田	〃 (〃)	後 田	とのまち 殿 町	てっぽうちよう 鉄砲丁	うしろだ 後 田	やまね 山 根	○		
			はね 羽 根	くぼちよう 久保町	よろずちよう 萬 町	かんばちよう 官場町			
			しんちよう 新 丁	いまいち 今 市	ふるやちよう 風呂屋町	さんげんや 三軒家			
			かたこう 片 河	はんちようあと 藩庁跡	ほんまち 本 町				
寺 田	小川村 (〃)	寺 田	てらだかみ 寺田上	てらだしも 寺田下	しもちはら 下千原	かみちはら 上千原	○		
			いわせど 岩瀬戸						
耕 田	〃 (〃)	耕 田	わ だ 和 田	ろくごう 麓 耕			○		
直 地	〃 (〃)	直 地	ただちかみ 直地上	のびろ 野 広	まつおだに 松尾谷		○		
商 人	〃 (〃) (日原町)	商 人	あきんどかみ 商人上	ひうら 日 浦	あきんどしも 商人下		○		
		直 地							
笹 山	〃 (津和野町)	笹 山	ささやま 笹 山	この野 木 野	のんぼら 沼 原		○		
日 原	日原村 (日原町)	日 原	さかえまち 栄 町	あさひまちかみ 旭町上	あさひまちしも 旭町下	おおぎまち 扇 町	○		
			かすがまち 春日町	さいわいまち 幸 町	かなみちよう 金見町	しみずちよう 清水町			
			やまねちよう 山根町						
枕 瀬	〃 (〃)	枕 瀬	しんち 新 地	まくらせにし 枕瀬西	まくらせがし 枕瀬東	このくちかみ 木ノ口上	○		
			このくちしも 木ノ口下						
瀧 元	〃 (〃)	瀧 元	おただ 小 直	おつばら 越 原	ほらくらち 原倉地	このころ 木ノ頃	○		
			おおはたけ 大 畑						
河 村	〃 (〃)	河 村	のぐち 野 口	わいもと 脇 本			○		

津和野町

字名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域						
			有		廃止 済				
			全域	一部					
池 ^{いけむら} 村	日原村 (日原町)	池村	つつみだ 堤田	みわたり 三渡	そにわ 會庭	のじ 野地	○		
左 ^{さぶみ} 鑑	(")	左鑑	おくだに 奥谷	だけ 獄	ふくだに 福谷	ふるやしき 古屋敷	○		
			いちのたに 一の谷	さぶみ 左鑑	しま 島	よこみち 横道			
須 ^{すがわ} 川	須川村 (")	須川	さかのたに 坂ノ谷	おおくらだに 大倉谷	こくらだに 小倉谷	ひうら 日浦	○		
			しもさぶみ 下左鑑	すがわ 須川					
相撲 ^{すもうがはら} ヶ原	(")	相撲ヶ原	いわくら 岩倉	すもうがはら 相撲ヶ原	さきがとうげ 笹ヶ峠		○		
瀧 ^{たきだに} 谷	(")	瀧谷	たきだに 瀧谷	こだき 小瀧	かわひら 川平	おおやまだに 大山谷	○		
			すがわだに 須川谷						
青 ^{あおぼら} 原	青原村 (")	青原					○		
添 ^{そえだに} 谷	(")	添谷	そえだに 添谷	おくとん 奥殿			○		
富 ^{とみた} 田	(")	富田	こせ 小瀬	かたまた 二俣	おおぎ 大木	しのたに 鹿谷	○		
柳 ^{やなぎむら} 村	(")	柳村	やなぎ 柳				○		
溪 ^{たに} 村	(")	溪村	ほどが 程彼	しゅくたに 宿谷			○		

吉賀町



町章

吉賀町の「吉」の字を町民の融和を願い円を基調としてデザインした。また、「緑色は森林、青色は水、黄色は太陽を示し、豊かな自然環境に恵まれたまち」を表したものである。

町の花

ドウダンツツジ
(H18. 12. 18 制定)

町の木

コウヤマキ
(H18. 12. 18 制定)

人口等の状況	年月日	平成 17. 10. 1	平成 22. 10. 1
	人口 (人)	7,362	6,810
	世帯数 (世帯)	2,845	2,805
	面積 (km ²)	336. 29	336. 29

〈町名の由来〉

平成17年10月1日、六日市町と柿木村が合併し吉賀町となる。「吉賀」という名称は、伝説の悪鹿(八^{あしか}畔^{やつぐろのしか}鹿)の居たところということから、逆に善鹿^{よしか}として、吉賀の文字をあてたといわれる。また「鹿足(かのあし)」を「足鹿(あしか)」とし「悪鹿(あしか)」を連想させることから「善鹿(よしか)」とし吉賀となったともいわれる。一般には前者によるといわれているが、いずれにしても鹿伝説にまつわるもので、古来、六日市・柿木地区を「吉賀郷」とよび、町名はこれに由来する。

〈沿革〉

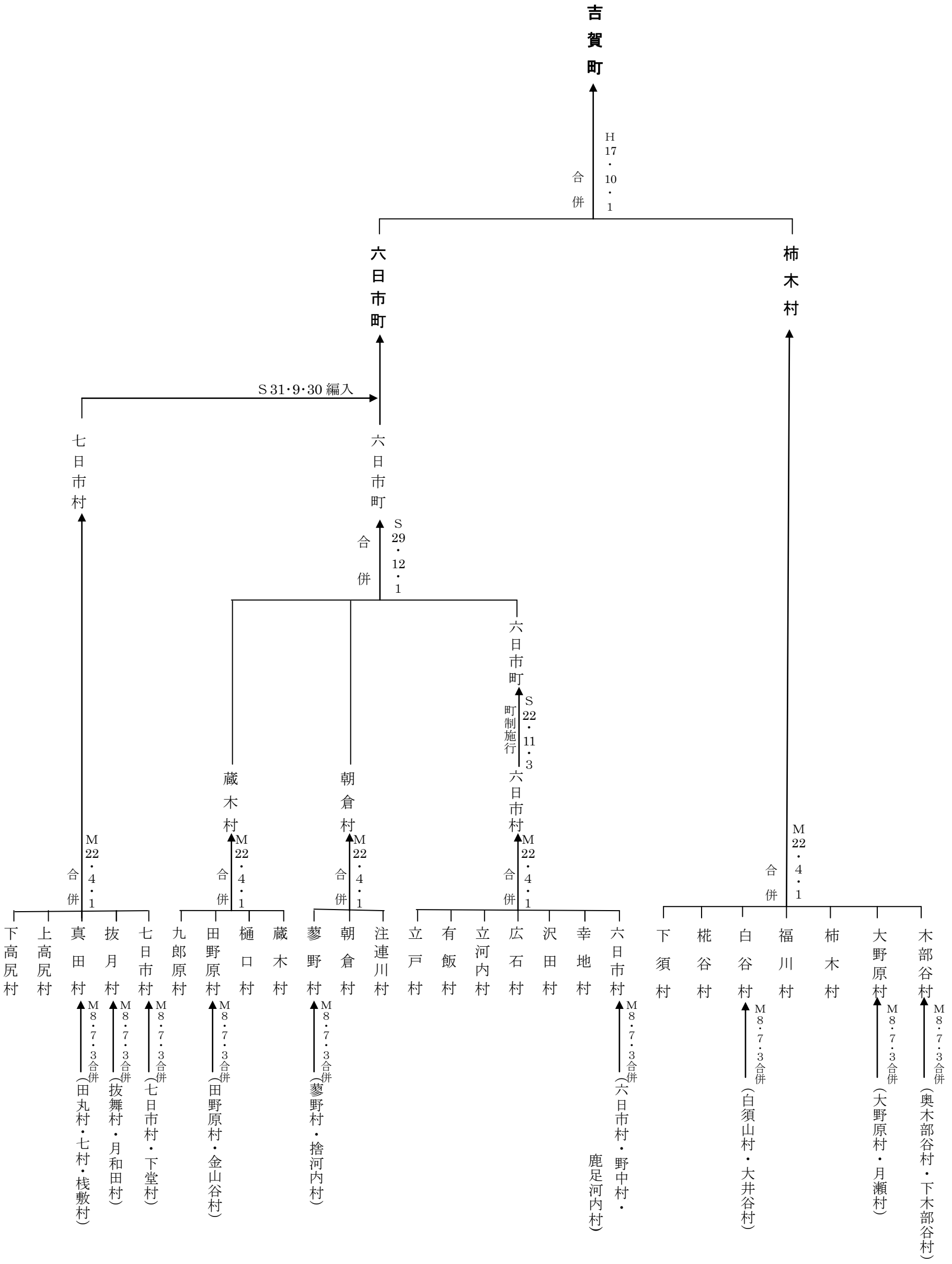
当町域は、古くは美濃郡に、承和10年(843年)以降は美濃郡から独立した鹿足郡の鹿足郷に属した。郡名鹿足は『凶鹿の足跡より起りたるもの』といわれ、中世には吉賀郡吉賀郷の名で呼ばれており、5万分の1の地形図にも「俚称吉賀郷」と注記してある。

吉賀盆地を北流する高津川本流と支流が織り成すデルタ地帯は古くから開け、中世にはすでに市が立ち市場町として栄えた。また、この地は広島県廿日市に通ずる吉賀路とこれに通ずる街道が交差しているため、交通の要衝となっていた。江戸期には、当町域は津和野藩の支配下におかれた。江戸中期には市店が開かれ、古代の市名も復興し、定市が月3回立ち、吉賀地方の交易の市として繁栄した。また、亀井氏時代には参勤交代路として陣屋、宿駅が置かれた。

当町は中国山脈の北側、島根県の西南端に位置し、町域のほとんどが山林であることから、古来よりこの山林と吉賀川やその支川の溪流を利用した木材、木炭、シイタケ、半紙などの農林業が営まれてきた。亀井氏時代の主産物は農産物と製紙で、製紙は藩財政の重要な分野を占め、当地の生産量は藩の中で常に1~2位を占めていた。しかし、近代に至りこれも壊滅している。

近世以来の製紙に代わるシイタケ、ワサビ、栗などの栽培は、現在当町の特産になっている。今後は有機農業をはじめとする安全で美味しい食べ物の生産を継承し、自然と共生できるまちをめざす。

また、中国縦貫自動車道・六日市インターチェンジを有しており、この高速交通体系を活かし、山陽方面の都市部との経済、文化、産業交流を行っている。特に隣接する山口県、広島県との結びつきは強い。



吉 賀 町

市町村名		よ し か 賀 ち よ う 町 吉 賀 町							
役場の位置		〒699-5513 吉賀町六日市 750 番地			電話番号	0856-77-1111			
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名						
	明 22. 4. 1	(村制)	(柿木村)						
	昭 22. 11. 3	(町制)	六日市村 (六日市町)						
	29. 12. 1	合 体	六日市町・朝倉村・蔵木村 (六日市町設置)						
	31. 9. 30	編 入	七日市村を六日市町に						
	平 17. 10. 1	合 体	柿木村・六日市町						
字 名	旧市町村及び大字名	通 称	小字の区域		廃止済				
			有	全域一部					
柿木村 柿のき木	柿木村 (柿木村)	柿のき木	ようちばらかみ 夜打原上	ようちばらしも 夜打原下	だいいち 第一	やなばら 柳原			○
			やなばらじゅうたく 柳原住宅	なかやまじゅうたく 中山住宅	しんやなばらじゅうたく 新柳原住宅				
			きょういんじゅうたく 教員住宅	さかもと 坂本	なかばら 中原	あいおいかみ 相生上			
			あいおいなか 相生中	あいおいじゅうたく 相生住宅	あいおいしも 相生下	あさひかみ 旭上			
			あさひじゅうたく 旭住宅	あさひしも 旭下					
柿木村 福くがわ川	" (")	福くがわ川	くりのき 栗木	いずはら 伊豆原	かめだ 亀田	きんのせ 三之瀬			○
			もとごうしも 本郷下	もとごうじゅうたく 本郷住宅	もとごうなか 本郷中	くちや 口屋			
			おれぼし 折れ橋	ひらの 平野	こもと 古本	すがはら 菅原			
			まつばら 松原						
柿木村 梶たに谷	" (")	梶たに谷	もどろ 茂土路	どば 土場	かばたに 梶谷	なかごうち 中河内			○
			くろぶち 黒瀨						
柿木村 白らたに谷	" (")	白らたに谷	しらたにかみ 白谷上	しらたにしも 白谷下	すぎやま 杉山	いでがはら 井手ヶ原			○
			おおいだにしも 大井谷下	おおいだにし 大井谷西	おおいだにひがし 大井谷東				
柿木村 下もす須	" (")	下もす須	ほうしぶち 法師淵	はらてかみ 原手上	はらてしも 原手下	しもがはらかみ 下ヶ原上			○
			しもがはらしも 下ヶ原下						

吉 賀 町

字 名	旧 市 町 村 及 び 大 字 名		通 称				小 字 の 区 域	
							有	廃 止 済
							全 域	
柿 木 村 大 野 原	柿 木 村 (柿木村)	お 大 野 原	つ 月 瀬	こ う 津	な か 組	と の 明 殿		○
柿 木 村 木 部 谷	〃 (〃)	木 部 谷	お ち 落 合	き べ だ に 住 宅	し も 木 部 上	な か 中 村 下		○
			な か 中 村 上	な な 七 瀬	い の こ や ま 猪 子 山	な か 中 間		
			か み 上 木 部					
田 野 原	蔵 木 村 (六日市町)	田 野 原	か 河 津	か な や ま た に 金 山 谷	は つ 初 見	し ん 新 田		○
			ほ し 星 坂	か し た に 柏 谷	た の は ら な か 田 野 原 中	た の は ら に し 田 野 原 西		
樋 ぐ ち 口	〃 (〃)	樋 ぐ ち 口	お 岡	よ し 吉 舂	し も 下 河 内	い か 居 鍛 冶		○
蔵 ぎ 木	〃 (〃)	蔵 ぎ 木	ふ じ 藤 根 上	ふ じ 藤 根 中	ふ じ 藤 根 下	お や 親 迫		○
			た い 太 の 妙	と し 利 光	し げ の 重 則			
九 郎 原	〃 (〃)	九 郎 原	は た 畑 詰	お き 沖 場	み 溝 手	つ 常 国		○
有 り 飯	六 日 市 村 (〃)	有 り 飯	や ま 山 根	お き 沖 場	や が 八 ヶ 迫	あ り つ 有 綱		○
幸 ち 地	〃 (〃)	幸 ち 地	か め 亀 原	こ う 幸 地	は た 畑			○
立 河 内	〃 (〃)	立 河 内	た ち 立 河 内 上	た ち 立 河 内 中	た ち 立 河 内 下			○
沢 だ 田	〃 (〃)	沢 だ 田	さ わ 沢 田 上	さ わ 沢 田 中	さ わ 沢 田 下	お ん 恩 給		
六 日 市	〃 (〃)	六 日 市	か の 鹿 足 河 内	み 溝 上	し ん 新 宮 町	あ さ 朝 日 町		○
			さ か 栄 町	く 久 保 田	よ こ 横 町	ほん 本 町		
			は ち 八 王 寺	し ん 新 町				
広 い 石	〃 (〃)	広 い 石	か わ 河 口	ど う 堂 免	お 岡	か み 上 土 井		○
			し も 下 土 井	く 久 保	ひろいししも 広 石 下			
立 戸	〃 (〃)	立 戸	た ち 立 戸 東	た ち 立 戸 西				○
注 連 川	朝 倉 村 (〃)	注 連 川	な かの 仲 の 原	さん 三 助	こ う 河 内	お き 沖 場		○
			ど う 堂 免	み つ 光 長				
朝 さ く 倉	〃 (〃)	朝 さ く 倉	ひろ 広 尾	な かの 仲 仙 道	き 吉 原	さ か 坂 折		○
			い ん 院 身	ひ の 樋 の 口	お 奥 仲			

吉 賀 町

字 名	旧 市 町 村 及び大字名		通 称				小字の区域		
							有		廃止 済
							全域	一部	
<small>た</small> で <small>の</small> 野 <small>ま</small> で <small>の</small> 野 蓼 野	朝 倉 村 (六日市町)	<small>た</small> で <small>の</small> 野 蓼 野	<small>なつめ</small> 棗	<small>も</small> と <small>ご</small> う 本郷	<small>な</small> か <small>む</small> ら 中村	<small>やすよし</small> 安吉			○
			<small>かわ</small> や <small>ま</small> お <small>く</small> 河山奥	<small>で</small> あ <small>い</small> 出合	<small>す</small> て <small>ご</small> う <small>ち</small> 捨河内	<small>お</small> ご <small>う</small> ち 小河内			
			<small>の</small> だ 野田						
<small>な</small> ぬ <small>か</small> い <small>ち</small> 市 七日市	七日市村 (")	<small>な</small> ぬ <small>か</small> い <small>ち</small> 市 七日市	<small>お</small> の <small>の</small> 小野々	<small>も</small> と <small>ま</small> ち 元町	<small>ま</small> る <small>ま</small> ち 丸町	<small>ほん</small> まち 本町			○
			<small>い</small> せ <small>ぼ</small> ら 伊勢原	<small>あ</small> い <small>お</small> い 相生	<small>あ</small> さ <small>ひ</small> ま <small>ち</small> 旭町	<small>さい</small> わ <small>い</small> ま <small>ち</small> 幸町			
			<small>よ</small> こ <small>だ</small> て 横立	<small>み</small> な <small>と</small> み 皆富	<small>お</small> お <small>ほ</small> し 大橋				
<small>ぬ</small> く <small>つ</small> き 抜月	(")	<small>ぬ</small> く <small>つ</small> き 抜月	<small>つき</small> わ <small>だ</small> 月和田	<small>こ</small> う <small>ち</small> 河内	<small>お</small> お <small>た</small> に 大谷				○
<small>ま</small> な <small>だ</small> 田 真田	(")	<small>ま</small> な <small>だ</small> 田 真田	<small>な</small> な <small>む</small> ら 七村	<small>や</small> ま <small>ね</small> 山根	<small>た</small> ま <small>る</small> 田丸	<small>さ</small> じ <small>き</small> 棧敷			○
<small>した</small> た <small>か</small> じ <small>り</small> 下高尻	(")	<small>した</small> た <small>か</small> じ <small>り</small> 下高尻	<small>し</small> り <small>た</small> か 尻高	<small>ほ</small> ど <small>う</small> 保道	<small>に</small> し <small>ぐ</small> み 西組				○
<small>か</small> み <small>た</small> か <small>じ</small> り 上高尻	(")	<small>か</small> み <small>た</small> か <small>じ</small> り 上高尻	<small>か</small> し <small>わ</small> ば <small>ら</small> 柏原	<small>う</small> え <small>の</small> ほ <small>ら</small> 上ノ原	<small>な</small> ら <small>ば</small> ら 奈良原	<small>お</small> り <small>も</small> と 折元			○

海士町



町章

下方の三は水、輪郭は波で「海」を意味し、中央の菊は「士」の字形で海士を表現している。また、本町は海中の一島であり、後鳥羽上皇行在所及び御火葬塚があり、菊は皇室の御紋章でその始まりは後鳥羽上皇といわれ、御製「我こそは新島守よ隠岐の海の荒き波風こころして吹け」の海と菊をもって史跡の町を併せ表現している。

町の花

—

町の木

—

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	2,581	2,374
	世帯数 (世帯)	1,160	1,052
	面積 (km ²)	33.51	33.52

<町名の由来>

「海士」という名称は、古代律令制に基づく国郡里制の「海部郡」によるものであり、海・漁夫・漁撈民等を意味すると思われる。

<沿革>

当町域は、古くは海部郡といわれ、布施・海部・佐作の3郷がおかれた。中世の「吾妻鏡」には阿摩郡苅田郷の地名がみえる。奈良時代より罪人遠流の島として、有名無名の人が流され、その哀話や史蹟が数多く残っている。後鳥羽上皇の配流はその代表的なものである。戦国大名の領国時代を経て、松江藩による検地が慶長18年(1613年)に行われた。長い封建統治下、住民は農漁民として苦しい生活を強いられた。この頃の村は「隠州記」によると8か村がみえる。

明治末期から昭和初期にかけて、村の産業奨励により耕地整理事業が進められ、農漁村としての基盤が整い、漁船の動力化もあって経済力が増した。第一次大戦後は京阪神への出稼者が増加し、男子は工場労働者及び船員、女子は紡績工などになった。戦後の農地解放で水田を基盤とした農村として再生し、機械化も進み畑作も拡大した。しかし、昭和30年代半ばより高度経済成長の時代となり、再び農業を離れて都市に流出する人が増え、出生率の低下とあいまって過疎高齢化が進んだ。

近年は、自然環境と地域資源を活かした農林水産と観光とを絡めた取り組みや地産地消の拡大による新しい産業づくりを手がけている。昭和38年に国立公園に指定され観光地として一躍脚光を浴びたが、当時の「離島ブーム」は一過性のものであり、年間を通じての継続的な観光振興は現在にも続く重要な課題となっている。

昭和50年代から、就業機会や雇用の場が無いことから若年層の島外流出が進み、生産年齢層が大幅に脱落して極端な少子高齢化が進展。さらに昭和55年頃以降は漁業を中心に島の第一次産業が低迷し、人口の社会的流出が続いていた。

時代が平成となっても少子高齢化による生産年齢人口の減少に歯止めがかからないばかりか、公共投資の急激な縮小、地方交付税の大幅な減額による財政危機といった極めて厳しい状況におかれる。

しかし海士町は平成11年、第3次海士町総合振興計画「キンニャモニャの変」始動とともに地域資源を活かした商品開発に着手。『平成の大合併』が進む中でも単独町制の道を選び、平成16年には「海士町自立促進プラン」を策定。人件費削減などの徹底的な行財政改革と、「島まるごとブランド化計画」による産業振興を推進してきた。

以来、官民一体となった取り組みが功を奏し、島の地域資源に付加価値をつけた「海士ブランド」が続々と生まれており、「島じゃ常識さざえカレー」やいわがき「春香」、「島生まれ、島育ち、隠岐牛」などは既に全国レベルの知名度を持つ。平成16年度に導入した特殊な冷凍技術「CAS」による冷凍加工食品も、首都圏を中心に販路を広げ、年々売上を伸ばしている。

そして平成21年、第4次海士町総合振興計画「島の幸福論」が始動。少子高齢化は依然として進行して

いるが、町政の経営指針として『自立・挑戦・交流 ～そして人と自然が輝く島～』を掲げ、さらなる雇用創出や定住促進、きめ細かい福祉の充実などにより、‘持続可能な島’を目指してさまざまな取り組みを続けている。

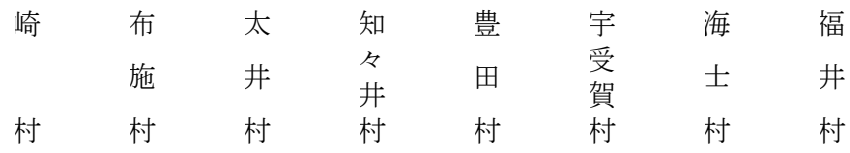
中でも定住促進の面では、近年はIターン者の増加が著しく、(平成16年度から22年度末までの7年間で310人、188世帯、定着率8割)Uターン者を含む地元民との交流から生まれるパワーやアイデアを活かした柔軟な発想のまちづくりを、島民一丸となって推進中である。

海
士
町

町制施行
S
44
・
1
・
1

海
士
村

合併
M
37
・
4
・
1



市町村名		あ ま ち よ う 海 士 町					
役場の位置		〒684-0403 海士町大字海士 1490 番地			電話番号	08514-2-0111	
合併等の状況	年月日	合体編入等の別	関係市町村名				
	明 37. 4. 1	(村制)	(海士村)				
	昭 44. 1. 1	(町制)	海士村 (海士町)				
字名	旧市町村及び大字名		通称			小字の区域	
						有 全域 一部	廃止 済
ふく井	海士村	福井	ひしうら	ふくい			○
あま士	〃	海士	にし	なかざと	ひがし	きたぶ	○
うず賀	〃	宇受賀					○
とよ田	〃	豊田					○
ちち井	〃	知々井	ほぼみ	ちち井			○
みな波	〃	御波	みな波	ひすか			○
き崎	〃	崎	き崎	おおい			○

西ノ島町



町章

西ノ島町の地形を図案化し、調和のある発展を象徴し、円は町民の融和と団結を表している。

町の花

椿（つばき）

町の木

黒松（くろまつ）

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	3,486	3,136
	世帯数 (世帯)	1,568	1,477
	面積 (km ²)	56.01	56.05

〈町名の由来〉

「西ノ島」という名称は、昭和 32 年の浦郷町、黒木村の合併の際公募により決定されたもので、島の名称西ノ島による。西ノ島は、その昔島前地区海上交通の玄関口であった知夫里島の西にあることから名付けられたといわれており、古くから伝わる固有の地名である。

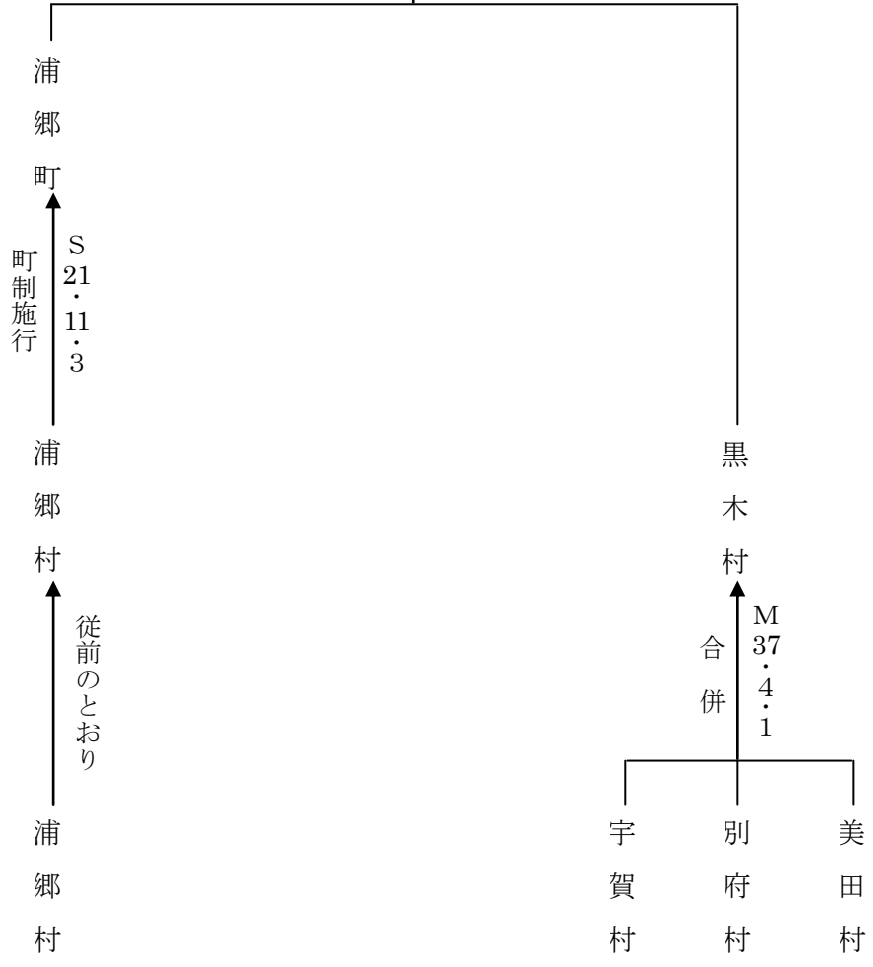
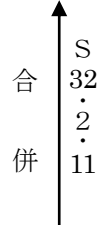
〈沿革〉

当町域は、古くは智夫郡(「和名抄」では知夫郡)に属し、宇良、由良、三田の 3 郷がおかれた。(由良郷は、現在の知夫里島という説もある。)

当町は、総面積の 93%が山林原野で、耕地は美田川に沿ったわずかの平坦地で開けているにすぎない。中世期には、元弘 2 年(1332 年)後醍醐天皇がこの地に流され、黒木御所が置かれたといわれている。江戸期には、西ノ島の東海岸は良港に恵まれており、日本海の西廻海運の寄港地となっていた。古くから水利の便が悪く耕地が限られているため、主たる産業は、牧畑による畜産と漁業であった。特に、大正 4 年島の中央部にあたる船引地峡の運河(約 340m)の開削は、東海岸の漁港から大きく迂回せずとも好漁場である西海岸に出られるようになり、町の漁業発展に重要な役割を果たした。現在も町の生産高の 8 割を占める漁業の振興は最大の課題で、漁業基地の整備、漁業経営体の体質改善、養殖漁業の振興など漁業発展のための施策が重点的に進められている。

また、昭和 38 年隠岐島の国立公園編入以来観光客が急増し、観光産業の発展による波及効果が期待されている。しかし、交通体系が島後の西郷を中心としているため、島前交通は必ずしも便利とはいえず、観光客のみならず島民の生活上の最大のネックとなっており、西ノ島をはじめとする島前 3 島の発展にとって、今後の交通問題の整備が最大の課題といわれている。

西ノ島町



西ノ島町

市町村名		に し の し ま ち よ う 町 西ノ島町						
役場の位置		〒684-0211 西ノ島町大字浦郷 534 番地			電話番号	08514-6-0101		
合併等 の 状況	年月日	合併編入 等の別	関係市町村名					
	昭32. 2.11	合 体	浦郷町・黒木村（西ノ島町設置）					
字 名	旧市町村 及び大字名		通 称			小字の区域		
						有	廃止	
宇 ^う 賀 ^か	黒木村 (西ノ島町)	宇賀	宇 ^う 賀 ^か	倉 ^{くら} ノ ^の 谷 ^{たに}	物 ^{もの} 井 ^い	○		
別 ^べ 府 ^つ	([〃] [〃])	別府				○		
美 ^み 田 ^た	([〃] [〃])	美田	美 ^み 田 ^た 尻 ^{じり}	小 ^こ 向 ^{かい}	大 ^{おお} 津 ^つ	市 ^{いち} 部 ^ぶ	○	
			船 ^{ふな} 越 ^{ごし}	大 ^{おお} 山 ^{やま}	波 ^は 止 ^し			
浦 ^う 郷 ^ご 村 ^{むら}	浦郷村 ([〃] [〃])	浦郷	本 ^{ほん} 郷 ^ご	赤 ^{しやく} 之 ^の 江 ^え	三 ^み 度 ^た	珍 ^{ちん} 崎 ^{ざき}	○	

知 夫 村



村 章

だれにも愛され、親しまれる
ようにと漢字の「知夫」の
字を円形に図案化したもので、
村民の円満・融和・団結と
限りない繁栄を祈念し、表現
したものである。

村の花

—

村の木

—

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口 (人)	725	657
	世帯数 (世帯)	366	326
	面積 (km ²)	13.70	13.70

〈村名の由来〉

「知夫」という名称は、古代船人が海上安全を祈ってこの島に道路の神、すなわち道触神ちぶりのかみを奉祀したことから発生したと考えられている。

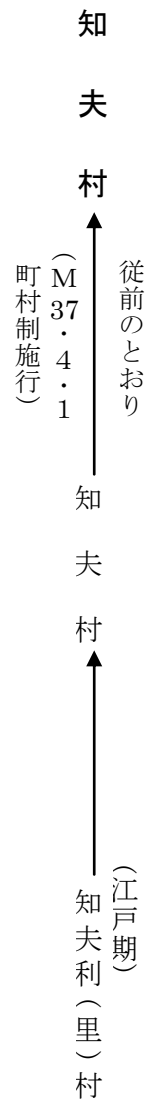
〈沿革〉

当村域は、古くは智夫郡(「和名抄」では知夫郡)に属したが、郷については定かでない。(由良郷とする説もある。)

当村は、島根半島沖合の日本海に浮かぶ隠岐諸島中最南端に位置し、本土に最も近いいため、古く奈良・平安の時代から日本海航行の船舶の避難港あるいは風待港として、欠くことのできない要港として発達してきた。中世期には流人の歴史がある。近世は、最近まで存続していた牧畑農法に特徴づけられる。これは、畑を4区分し、4年に1度の割合で放牧、麦作、稗作、大豆作を交代させるもので、放牧は集落共同の慣行であった。明治に入ると、牧畑及び畑作を中心に漁業が盛んに行われ、少しばかりの稲作も行われた。主たる漁獲物は、スルメ・ナマコ・アワビで、これらは長崎俵物として清国へも輸出された。

当村は古代から一島一村であり、明治を経て現在に至るまでずっと一島一村を続けている。当村においても高度経済成長時に人口が減少し、出稼者も多く、高齢型の村となっている。現在、漁業、農業、観光を重点に施策が進められているが、昭和52年に村有史以来の未曾有の集中豪雨に襲われ、甚大な被害を受けた。この災害による村民の物心両面にわたる深い痛手は村行政全般に停滞をもたらしたが、現在はこの災害復旧工事も完遂し、「活力ある住み良い郷土知夫」を築き上げるための努力が続けられている。

知夫村



市町村名		知 ^ち 夫 ^ぶ 村 ^{むら}							
役場の位置		〒684-0102 知夫村 1065 番地			電話番号	08514-8-2211			
合併等 の 状況	年月日	合併編入 等の別	関係市町村名						
	明 37. 4. 1	(村制)	(知夫村)						
字名	旧市町村 及び大字名	通称	小字の区域		有	廃止 済			
			全域	一部					
—	知夫村		多 ^た 沢 ^{たく}	薄 ^う 毛 ^{すげ}	郡 ^{こおり}	大 ^{おお} 江 ^え	○		
			来 ^く 居 ^{りい}	仁 ^に 夫 ^{ぶり}	古 ^う 海 ^{るみ}				

(注) 大字はない。

隠岐の島町



町章

隠岐の島町の頭文字「O（オー）」と日本海の波頭をモチーフに、まちの調和ある発展とところのやすらぎを表す円（輪＝和）の広がりを見調とし、まちの輝きを表す白い円とそれをやさしく、かつ力強くつつむ二つの波は、活発な交流、人々が共に支え合う姿、隠岐に育つたくましい隠岐びとの姿を、色は隠岐の美しく豊かな自然と悠久の歴史を表し、全体として隠岐の島町のまちづくりの理念を表しています。

町の花

隠岐しゃくなげ
(H21.10.25 制定)

町の木

杉
(H21.10.25 制定)

人口等の状況	年月日	平成17.10.1	平成22.10.1
	人口(人)	16,904	15,521
	世帯数(世帯)	6,784	6,468
	面積(km ²)	242.97	242.95

〈町名の由来〉

平成16年10月1日の島後4か町村合併のため、全国より募集した約4千通の作品の中から、「隠岐の島町」を日本海の島であり、歴史、景観をうたった観光においても隠岐の島というイメージが最も全国的に知られており、地理的にもよくわかり、一番親しみやすい名前であるとして、新町の名称として、隠岐島後町村合併協議会において決定した。

〈沿革〉

かつて日本海を航行する船の標識ともみなされたという、隠岐島後の最高峰大満寺山の一带には、オキシクナゲの群落や、オキフウランの自生地が今も残されています。

遙か遠い歴史を伝える蓮華会舞、御霊会風流、武良祭風流、牛突きなどのまつりごとは、それぞれの想いを秘め次の世代に伝えられています。

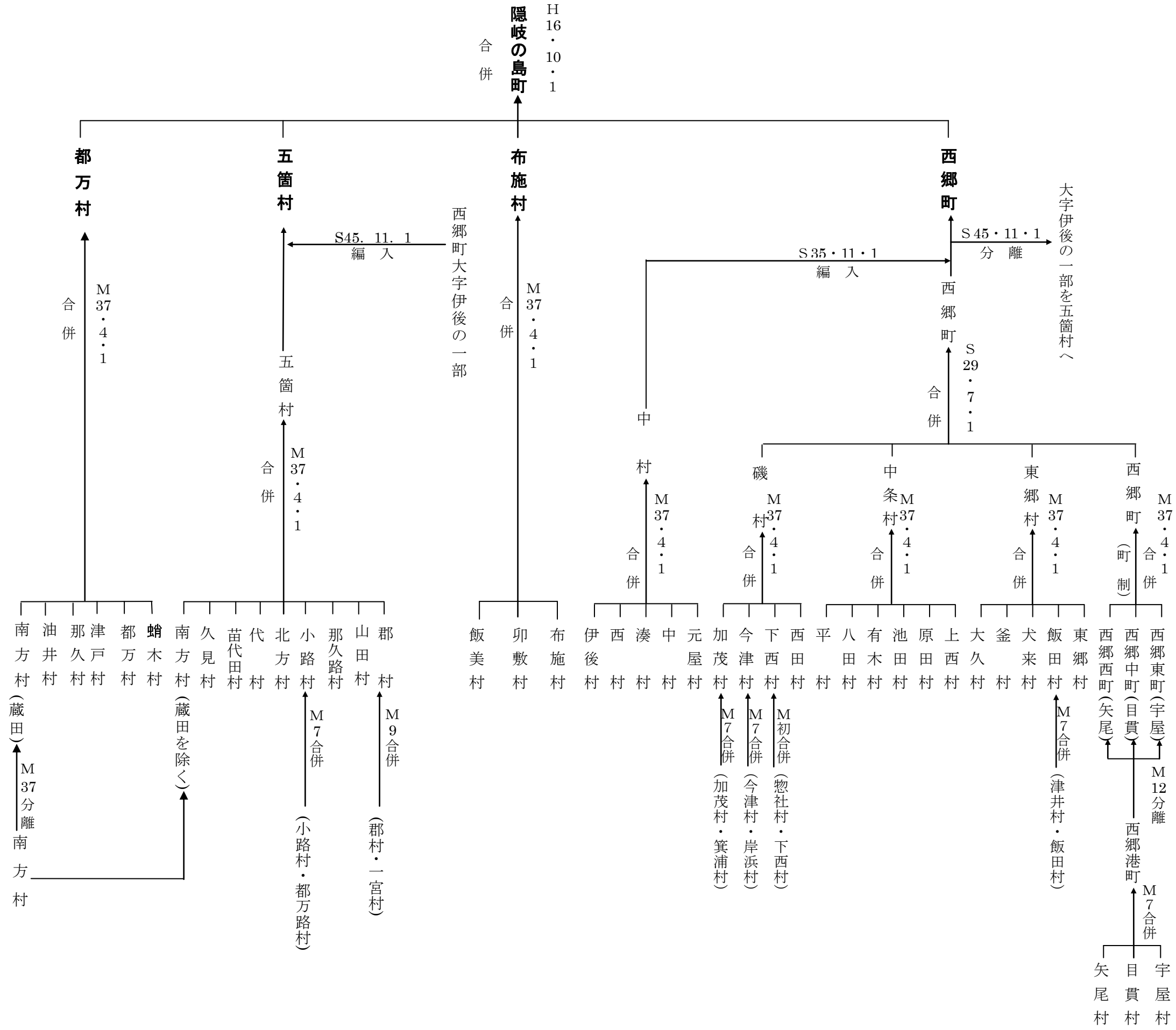
なだらかな曲線の美しさが印象的な白島、雄々しくそびえる断崖絶壁、わたしたちのまち隠岐の島町は、ぐるりと日本海に囲まれた隠岐島後にあり、永く遙かな歴史をとおして、ずっと海とともに暮らしてきました。

隔絶された離島だからこそ残された自然があり、配流の地として、北前船の寄港地として海を越えてやってくるものを受け入れた離島ならではの歴史文化があります。

わたしたちは、海と山がもたらした自然の恵みと、先人が築いてきた人々の営みを受け継いできました。

幕末の混乱の中、松江藩郡代を追放し隠岐自治政権を樹立するため隠岐維新がありました。「自らのことは自らで守り」、「自らの願いは自らで実現する」ため、島民自らによる自治機関を設立し、81日間の短期間でしたが独立した政権による自治が行われました。

地方分権が進む中で、この町の自然と歴史を踏まえて「円い輪のなか心ゆき交うやすらぎのまち」を合言葉に掲げ、平成16年10月1日に西郷町（旧）、布施村（旧）、都万村（旧）、五箇村（旧）の四町村合併により新生「隠岐の島町」として新たな歴史を力強く刻み始めました。



市町村名		おきのしまちょう 隠岐の島町						
役場の位置		〒685-8585 隠岐の島町城北町1番地		電話番号	08512-2-2111			
合併等の状況	年月日	合併編入等の別	関係市町村名					
	昭29.7.1	合体	西郷町・東郷村・中条村・磯村（西郷町設置）					
	35.11.1	編入	中村					
	45.11.1	境界変更	西郷町の一部(大字伊後の一部)を五箇村へ					
	平16.10.1	合体	西郷町・布施村・五箇村・都万村					
字名	旧市町村 及び大字名		通称			小字の区域		
						有	廃止済	
				全域	一部			
あ ら き 木	中条村 (西郷町)	有木	いはら	いわいち	うしろだに	くそじ	○	
			井原	岩市	後谷	久曾地		
			くらみぐち	ごんげんぼら	さかね	まくらだ		
			クラミ口	権現原	坂根	桜田		
			せりさわ	たけだ	だいこうじまえ	つきなし		
			芹沢	竹田	大光寺前	月無		
てらばら	とのやしき	どうでん	にしばら					
寺原	殿屋敷	堂田	尼寺原					
にじやま	はし	ひろた	まえだ					
尼寺山	橋	広田	前田					
みなみ	みやのまえ	むかい	やまさき	よこた				
南	宮の前	向	山崎	横田				
い い だ 田	東郷村 (〃)	飯田	ありた	かじやさき	くまのこし	くらのまえ	○	
			有田	鍛冶屋崎	熊の腰	倉の前		
			さと	しらさき	たちいし	たのまえ		
			里	白崎	立石	田の前		
			ついの井	とのはた	なぎうら	はげのまえ		
津の井	戸の畑	湊浦	ハゲの前					
はま	はら	ふるやがだに	まえだ					
浜	原	風呂屋ヶ谷	前田					
みやはら	やしきあまり	やだに						
宮原	屋敷余り	矢谷						
い い び 美	布施村 (布施村)	布施					○	
池 け だ 田	中条村 (西郷町)	池田	いけぐる	おぞい	たかじょう	のなか	○	
			池畔	尾添	高城	野中		
ふながたに	ふるまえ	むこうだ	よこて					
船ヶ谷	風呂前	向田	横手					

隠岐の島町

字 名	旧市町村 及び大字名		通 称	小字の区域						
				有		廃止 済				
				全域	一部					
伊 後 <small>いご</small>	中 村 (西郷町)	伊 後		○						
犬 来 <small>いぬぐ</small>	東 郷 村 (")	犬 来		○						
今 津 <small>いまづ</small>	磯 村 (")	今 津			○					
卯 敷 <small>うずき</small>	布 施 村 (布施村)	卯 敷		○						
大 久 <small>おおく</small>	東 郷 村 (西郷町)	大 久	伊 浜 <small>いはま</small>	上 原 <small>うえのはら</small>	内 畑 <small>うちばたけ</small>	上 浜 <small>かみはま</small>	○			
			上平市 <small>かみひらいち</small>	神 原 <small>かんばら</small>	小 坂 <small>こさか</small>	下 モ <small>しも</small>				
			下 浜 <small>しもはま</small>	下平市 <small>しもひらいち</small>	寿満山 <small>すまやま</small>	寺 空 <small>てらそら</small>				
			中 原 <small>なかはら</small>	諸 浦 <small>かきうら</small>	原	前 田 <small>まえだ</small>				
			宮 原 <small>みやばら</small>	山 根 <small>やまね</small>						
釜 <small>かま</small>	" (")	釜		○						
上 西 <small>かみにし</small>	中 条 村 (")	上 西	安 部 <small>あべ</small>	雨 来 <small>あめぐ</small>	一ノ瀬 <small>いちのせ</small>	一本松 <small>いっぽんまつ</small>	入久戸 <small>いりくど</small>	○		
			後ヶ谷 <small>うしろがたに</small>	大 道 <small>おおみち</small>	奥 谷 <small>おくのたに</small>	隠 畑 <small>かくればた</small>	上真杉 <small>かみまさぎ</small>			
			上屋敷 <small>かみやしき</small>	上 脇 <small>かみわき</small>	蔵 見 <small>くらみ</small>	小井手平 <small>こいてびら</small>				
			坂ノ下 <small>さかのした</small>	椎並崎の一 <small>しいなみざきのいち</small>	蛇 谷 <small>じやだに</small>	千 峯 <small>せんぼう</small>				
			滝 畑 <small>たきばたけ</small>	田平上 <small>たひらのかみ</small>	溪 田 <small>たんだ</small>	津戸畑 <small>つどばたけ</small>				
			中河原 <small>なかがわら</small>	中 田 <small>なかだ</small>	中 脇 <small>なかわき</small>	巴豆尾 <small>はずお</small>				
			原	平 <small>へい</small>	平 田 <small>へいだ</small>	坊主山 <small>ぼうずやま</small>				
			前平田 <small>まえへいだ</small>	馬 盤 <small>ま だらい</small>	峯 堀 <small>みねぼり</small>	骸 谷 <small>むくろだに</small>				
			森ノ前 <small>もりのまえ</small>	落ヶ谷 <small>らくがだに</small>	蓮花畑 <small>れんげばた</small>	脇 <small>わき</small>				
加 茂 <small>かも</small>	磯 村 (")	加 茂	神 尾 <small>かんばん</small>	箕 浦 <small>みのうら</small>		○				
元 屋 <small>がんや</small>	中 村 (")	元 屋			○					

隠岐の島町

字 名	旧市町村 及び大字名		通 称	小字の区域		
				有		廃止 済
				全域	一部	
北 ^{きた} 方 ^{かた}	五 箇 村 (五箇村)	北 方		○		
久 ^く 見 ^み	" (")	久 見		○		
蔵 ^{くら} 田 ^た	都 万 村 (都万村)	蔵 田		○		
小 ^こ 路 ^ろ	五 箇 村 (五箇村)	小 路		○		
郡 ^{こおり}	" (")	郡		○		
栄 ^{さかえ} 町 ^{まち}	西 郷 町 東 郷 村 (西郷町)	東町 西町 中町 東郷 の一部				○
下 ^{しも} 西 ^{にし}	磯 村 (")	下 西			○	
代 ^{しろ}	五 箇 村 (五箇村)	代		○		
城北町 ^{じょうほくまち}	西 郷 町 中 条 村 (西郷町)	港町 八田 下西 有木 の一部				○
蛸 ^{たか} 木 ^ぎ	都 万 村 (都万村)	蛸 ^{たか} 木 ^ぎ		○		
津 ^つ 戸 ^と	" (")	津 戸		○		
都 ^つ 万 ^ま	" (")	都 万		○		
東 ^{とう} 郷 ^{ごう}	東 郷 村 (西郷町)	東 郷	赤 ^{あか} 地 ^じ 粟井原 ^{あわいほら} 浦 ^{うら} 地 ^じ 浦 ^{うら} 松 ^{まつ}	○		
			榎 ^{えの} 本 ^{もと} 大 ^{おお} 井 ^い 大 ^{おお} 風 ^{ふう} 呂 ^{りょ} 奥 ^{おく} 日 ^に 記 ^き			
			小 ^お 田 ^だ 亀 ^{かめ} 尻 ^{じり} 川 ^{かわ} 尻 ^{しり} 神 ^か 米 ^{んべ}			

隠岐の島町

字名	旧市町村 及び大字名		通称	小字の区域		
				有		廃止済
				全域	一部	
とうごう郷	東郷村 (西郷町)	東郷	かんべばな 神米鼻 くんだ 宮田 こうのせ 甲の瀬 こうらじ 小浦地	○		
			すなお 砂尾 すみだ 角田 たきのこし 滝の腰 てんなん 転難			
			なかだに 中谷 はら 原 ひがし 東 みやお 宮尾			
			むこうなだ 向灘 ゆのつ 温の津 よしづ 吉津			
なかまち町	西郷町 (〃)	中町	いずもいのいち 出雲結の一 いずもいのに 出雲結の二 いずもいのさん 出雲結の三	○		
			いずもいのかみ 出雲結の上 おおしろのご 大城の五 おおしろのに 大城の二 つつみじり 堤尻			
			めいだのいち 名田の一 めいだのに 名田の二 めいだのさん 名田の三 めぬきのいち 目貫の一			
			めぬきのに 目貫の二 めぬきのさん 目貫の三 めぬきのよん 目貫の四 ゆきのお 行尾			
なかむら村	中村 (〃)	中村			○	
なぐ久	都万村 (都万村)	那久			○	
なぐち路	五箇村 (五箇村)	那久路			○	
なわしろだ苗代田	〃 (〃)	苗代田			○	
にしだ田	磯村 (西郷町)	西田			○	
にしまち町	西郷町 (〃)	西町	おおしろのいち 大城の一 おおしろのよん 大城の四 どいしき 土居敷 めいだのいち 名田の一	○		
			めいだのに 名田の二 めいだのさん 名田の三 めいだのよん 名田の四 めいだのご 名田の五			
			やびのいち 八尾の一 やびのに 八尾の二 やびのさん 八尾の三 やびのよん 八尾の四			
			よしだのいち 吉田の一 よしだのに 吉田の二 よしだのさん 吉田の三 よしだのよん 吉田の四			
にしむら村	中村 (〃)	西村			○	
はらだ田	中条村 (〃)	原田				○
ひがしまち東	西郷町 (〃)	東町	いずもいのしも 出雲結の下 うやのおく 宇屋の奥 うやのかみ 宇屋の上	○		

隠岐の島町

字 名	旧市町村 及び大字名		通 称	小字の区域		
				有		廃 止 済
				全域	一部	
ひがしまち町 東 町	西 郷 町 (西郷町)	東 町	うやのしも 宇屋の下 かざはや 風 早 と 具 登 具 はんざき 半 崎 へ ぎ へ ぎ みないだ 米 奈 伊 太	○		
ふせせ 布 施	布 施 村 (布施村)	布 施		○		
へい 平	中 条 村 (西郷町)	平		○		
みさきまち町 岬 町	磯 村 (")	岬 町	いいのやま 飯の山 いけがとこ 池ヶ床 いしばたけ 石 畑 うるしだに 漆 谷 かぜのまつ 風の松 からしやま 辛 山 た か い 高 井 た が き 田 垣 なかのつのよん 中の津の四 ひらいわのいち 平岩の一 ひらいわの二 平岩の二 ひらいわのさん 平岩の三 みさき 岬	○		
みなと 湊	中 村 (")	湊		○		
みなとまち町 港 町	西 郷 町 (")	港 町	おおつのいち 大津の一 おおつの二 大津の二 きしむこう 指 向 しおぐち 塩 口 てんじんぼら 天神原	○		
みなみかた 南 方	五 箇 村 (五箇村)	南 方		○		
やまだ田 山 田	" (")	山 田		○		
ゆい井 油 井	都 万 村 (都万村)	油 井		○		

【参考資料】 島根県内の市町村役場住所一覧

(平成 23 年 10 月 1 日現在)

郡名	フリガナ	市町村名	フリガナ	郵便番号	所在地	電話番号	FAX
		松江市	マツエシ	690-8540	松江市末次町 86	0852-55-5555	55-5530
		浜田市	ハマダシ	697-8501	浜田市殿町 1	0855-22-2612	23-1866
		出雲市	イズモシ	693-8530	出雲市今市町 70	0853-21-2211	21-2222
		益田市	マスダシ	698-8650	益田市常盤町 1-1	0856-31-0100	23-5001
		大田市	オオダシ	694-0064	大田市大田町大田 1111	0854-82-1600	82-8944
		安来市	ヤスキシ	692-8686	安来市安来町 878-2	0854-23-3000	23-3152
		江津市	コウツシ	695-8501	江津市江津町 1525	0855-52-2501	52-1380
		雲南市	ウンナンシ	699-1392	雲南市木次町木次 1013-1	0854-40-1000	40-1029
仁多郡	ニダケン	奥出雲町	オクイズモチョウ	699-1511	仁多郡奥出雲町三成 358-1	0854-54-1221	54-1229
飯石郡	イシケン	飯南町	イナンチョウ	690-3513	飯石郡飯南町下赤名 890	0854-76-2211	76-2221
邑智郡	オチケン	川本町	カワモトチ	696-8501	邑智郡川本町大字川本 545-1	0855-72-0631	72-0635
〃	〃	美郷町	ミサトチョウ	699-4692	邑智郡美郷町粕渕 168	0855-75-1211	75-1218
〃	〃	邑南町	オナンチョウ	696-0192	邑智郡邑南町矢上 6000	0855-95-1111	95-2351
鹿足郡	カノアシケン	津和野町	ツワノチョウ	699-5292	鹿足郡津和野町日原 54-25	0856-74-0021	74-0002
〃	〃	吉賀町	ヨシカチョウ	699-5513	鹿足郡吉賀町六日市 750	0856-77-1111	77-1891
隠岐郡	オキケン	海士町	アマチョウ	684-0403	隠岐郡海士町大字海士 1490	08514-2-0111	2-0208
〃	〃	西ノ島町	ニシノシマチョウ	684-0211	隠岐郡西ノ島町大字浦郷 534	08514-6-0101	6-0683
〃	〃	知夫村	チフムラ	684-0102	隠岐郡知夫村 1065	08514-8-2211	8-2093
〃	〃	隠岐の島町	オキノシマチョウ	685-8585	隠岐郡隠岐の島町城北町 1	08512-2-2111	2-6005